

特記仕様書

工事名称 (仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)

工事場所 三原市宗郷三丁目

工事内容 旧田野浦幼稚園を幼稚園型認定こども園に改修する。

【工事概要】

- ・内装改修工事
- ・外装改修工事
- ・外構工事
- ・ダムウェーター新設工事
- ・調理機器新設工事

準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)(令和4年版)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)(令和4年版)、建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)(国土交通省官房官庁営繕部監修)に基づき施工する。

別途工事

- ・(仮称) 田野浦認定こども園耐震改修工事(電気設備工事)
- ・(仮称) 田野浦認定こども園耐震改修工事(給排水衛生設備工事)
- ・(仮称) 田野浦認定こども園耐震改修工事(空調換気設備工事)

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法, 同施行令, 同施行規則
- ・消防法, 同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則
- ・労働安全衛生法, 同法施行令, 同法施行規則
- ・建設業法, 同施行令, 同施行規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法, 振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律, 同法施行令
- ・その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

施工中は本設計図書との整合を確認すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

本設計図書と不整合が確認されて設計変更(増額)が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。
商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。
設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和6年2月29日をもって工期とする。
このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

留意事項

- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行い、質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。

- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現地会議とWeb会議を想定する。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・工事関係者等の作業に関わる全員については、周辺住民への心遣いとして挨拶を徹底すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・騒音については、騒音規制法(特定建設作業)により、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・振動については、振動規制法(特定建設作業)により、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
- ・「低騒音型、低振動型建設機械」として指定を受けた機械を使用すること。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡してすること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所にも交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。
- ・工事区域内にある残置する設備配管等については、事前に位置を十分確認してから作業を行うこと。
- ・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
- ・敷地の出入口付近には、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
- ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・枠組足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合させて施工すること。
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・図面等に示されている仮設等（山留め等）については、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって施工すること。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、わくその他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日から10年間責任を負うこと。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
- ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、検査範囲が設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
- ・石綿含有建材の調査（書面及び目視調査、検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建

材調査者，又は特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。

- ・工事着手前までに石綿含有建材の事前調査結果を書面にまとめて発注者に対し説明を行い，労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
- ・その他石綿の飛散防止等については，改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・アスベスト分析調査は試料採取と分析調査費を含む。分析は定性及び定量（JIS A 1481-1及びJIS A 1481-3による。含有の場合は，含有する層の判定も行う。）を見込んでいる。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・家電リサイクル法又はフロン排出抑制法に関する機器等の処分については，当該法律に基づき適正に行うこと。
- ・工事に係る電気，水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・昇降機その他の建築設備について，計画通知等の申請手続き等を行うこと。
- ・仮使用申請，道路使用，道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは，受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・その他，工事に伴う官公庁等への手続きは，受注者により遅滞なく行うこと。この時，各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため，本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画，取り合い工事及び工事用車両の出入り等については，当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い，相互の工事を考慮した上で十分調整し，工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場，交通誘導員，工事関係者駐車場用地等は，建築主体工事に見込んでいるが，別途工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は，各業者で協議の上分担すること。）
- ・本工事の外注資材，労務等の調達については，極力，三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は，あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお，本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し，工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・工事完了後，完成図として製本図面（二つ折り・A3縮小版）を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は，A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)

番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名
A-00	表紙、図面リスト	A-32	改修後2階平面詳細図-1(保育室棟)	A-64	ゲルメーター詳細図	S-01	建築改修工事特記仕様書-1
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	A-33	改修前2階平面詳細図-2(保育室棟)	A-65	改修前外構配置図	S-02	建築改修工事特記仕様書-2
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)	A-34	改修後2階平面詳細図-2(保育室棟)	A-66	改修後外構配置図	S-03	改修後 3通り壁改修詳細図(保育室棟)
A-03	建築改修工事特記仕様書(3)	A-35	改修前展開図-1	A-67	電子扉、砂場詳細図	S-04	1階床補強詳細図(保育室棟)
A-04	建築改修工事特記仕様書(4)	A-36	改修前展開図-2	A-68	アコーデイオ門扉詳細図	S-05	2階床開口 鉄骨補強詳細図(保育室棟)
A-05	建築改修工事特記仕様書(5)	A-37	改修後展開図-1	A-69	倉庫詳細図	S-06	既存部材リスト(保育室棟)
A-06	建築改修工事特記仕様書(6)	A-38	改修後展開図-2	A-70	ﾌﾞｰﾙ詳細図		
A-07	建築改修工事特記仕様書(7)	A-39	改修後展開図-3	A-71	撤去外構詳細図-1		
A-08	建築改修工事特記仕様書(8)	A-40	改修後展開図-4	A-72	撤去外構詳細図-2		
A-09	建築改修工事特記仕様書(9)	A-41	改修後展開図-5	A-73	仮設計画-1		
A-10	外壁等改修工事特記仕様書(1)	A-42	改修前天井伏図(保育室棟)	A-74	仮設計画-2		
A-11	外壁等改修工事特記仕様書(2)	A-43	改修後天井伏図(保育室棟)				
A-12	外壁等改修工事特記仕様書(3)	A-44	改修前後1階平面図(管理棟)				
A-13	付近見取図、建築概要、配置図	A-45	改修前後立面図(管理棟)				
A-14	工事区分表	A-46	改修前平面詳細図(管理棟)				
A-15	面積計算式	A-47	改修後平面詳細図(管理棟)				
A-16	仕上表-1	A-48	改修前矩計図(管理棟)				
A-17	仕上表-2	A-49	改修後矩計図(管理棟)				
A-18	仕上表-3	A-50	改修前展開図-1(管理棟)				
A-19	改修前1階平面図(保育室棟)	A-51	改修前展開図-2(管理棟)				
A-20	改修後1階平面図(保育室棟)	A-52	改修後展開図-1(管理棟)				
A-21	改修前2階平面図(保育室棟)	A-53	改修後展開図-2(管理棟)				
A-22	改修後2階平面図(保育室棟)	A-54	改修後展開図-3(管理棟)				
A-23	改修前後立面図-1(保育室棟)	A-55	改修前後天井伏図(管理棟)				
A-24	改修前後立面図-2(保育室棟)	A-56	建具表-1				
A-25	改修前矩計図(保育室棟)	A-57	建具表-2				
A-26	改修後矩計図(保育室棟)	A-58	建具表-3				
A-27	改修前1階平面詳細図-1(保育室棟)	A-59	部分詳細図				
A-28	改修後1階平面詳細図-1(保育室棟)	A-60	ｽｰﾌﾟ 平面詳細図				
A-29	改修前1階平面詳細図-2(保育室棟)	A-61	ｽｰﾌﾟ 断面詳細図、排水桝詳細図				
A-30	改修後1階平面詳細図-2(保育室棟)	A-62	家具詳細図				
A-31	改修前2階平面詳細図-1(保育室棟)	A-63	厨房機器リスト				



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名

表紙、図面リスト

A 2版 100%

A 3版 71%

縮尺

図面No

A-00

3	1	降雨等に対する養生方法	<p>改修標準仕様書3.1.3(5)(7)-(9)による。 [3.1.3]</p>																																																																																										
	2	既存防水の処理	<p>既存保護層の除去 ・ 行う (範囲 図示) [3.1.4] [3.2.3, 4, 6] ・ 行わない 既存防水層の除去 ・ 行う (範囲 図示) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗料の除去 ・ 行う (M4S ・ M4S1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X) ・ 行わない</p>																																																																																										
	3	既存下地の処理	<p>既存下地の補修箇所形状、長さ、数量等 図示 [3.2.6] POS工法及びPOS1工法(機械的固定工法)の既存保護層を除去し防水層を非除去とした立上り部等の処理 改修標準仕様書3.2.6(4)(g) - による 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸壇の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層未端部の納まり部の処理 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する</p>																																																																																										
	4	アスファルト防水	<p>屋根保護防水 [3.3.2-5] 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">P2A</td> <td>A-1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70/m²程度</td> <td>乾式保護材</td> </tr> <tr> <td>A-2</td> <td>コンクリート</td> </tr> <tr> <td>A-3</td> <td>押入</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1B</td> <td>B-1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>れんが押入</td> </tr> <tr> <td>B-2</td> <td>JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">P2AI</td> <td>AI-1</td> <td rowspan="3">(材質) JISA9521に基づく押出法</td> <td rowspan="3">クラット</td> <td rowspan="3">クラット</td> <td>ヤーンクロス</td> </tr> <tr> <td>AI-2</td> <td>70/m²程度</td> </tr> <tr> <td>AI-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1BI</td> <td>BI-1</td> <td rowspan="2">熱材3種bA(スキニング付)</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>付き</td> </tr> <tr> <td>BI-2</td> <td>(厚さ)(mm) 25・50</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 改修標準仕様書3.3.5から表3.3.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 R種 材料構成による区分 R種 厚さ (mm以上)</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 R種 材料構成による区分 R種 厚さ (mm以上)</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ として仕上げ 水 80mm以上 床タイル張り 水 60mm以上</p> <p>乾式保護材 窯業系パネル：黒石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押し出し成形しシート状に養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>窯業系パネル類 (寒冷地仕様)</th> <th>窯業系パネル類 (一般仕様)</th> <th>金属複合板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>厚さ(mm) 幅(mm)</td> <td>厚さ(mm) 幅(mm)</td> <td>厚さ(mm) 幅(mm)</td> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td>厚さ：±10%、幅：±1%</td> <td>厚さ：±10%、幅：±1%</td> <td>厚さ：±10%、幅：±1%</td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td>標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上(300)</td> <td>標準時 450以上 凍結融解完了時 320以上(200)</td> <td>300以上 250以上(300)</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)</td> <td>400以上</td> <td>320以上</td> <td>250以上</td> </tr> <tr> <td>(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)</td> <td>試験サイクル数</td> <td>試験サイクル数</td> <td>試験サイクル数</td> </tr> <tr> <td>吸水率(%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率(%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>断熱性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍結融解性能</td> <td>300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。</td> <td>200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないこと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)</td> <td>300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td>質量500(窯業系パネル類は1,000)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。</td> <td>質量500(窯業系パネル類は1,000)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。</td> <td>質量500のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。</td> </tr> <tr> <td>剛性(E×1) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時の、たわみ4mm以下となる剛性)</td> <td></td> <td></td> <td>80,000N・cm²以上</td> </tr> </tbody> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	P2A	A-1			ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70/m ² 程度	乾式保護材	A-2	コンクリート	A-3	押入	P1B	B-1				れんが押入	B-2	JIS R 1250	P2AI	AI-1	(材質) JISA9521に基づく押出法	クラット	クラット	ヤーンクロス	AI-2	70/m ² 程度	AI-3		P1BI	BI-1	熱材3種bA(スキニング付)			付き	BI-2	(厚さ)(mm) 25・50	分類・規格	窯業系パネル類 (寒冷地仕様)	窯業系パネル類 (一般仕様)	金属複合板	寸法(mm)	厚さ(mm) 幅(mm)	厚さ(mm) 幅(mm)	厚さ(mm) 幅(mm)	寸法の許容差	厚さ：±10%、幅：±1%	厚さ：±10%、幅：±1%	厚さ：±10%、幅：±1%	出荷時の含水率	標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上(300)	標準時 450以上 凍結融解完了時 320以上(200)	300以上 250以上(300)	曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	400以上	320以上	250以上	(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	試験サイクル数	試験サイクル数	試験サイクル数	吸水率(%)	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下	断熱性	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないこと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	耐衝撃性能	質量500(窯業系パネル類は1,000)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500(窯業系パネル類は1,000)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	質量500のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	剛性(E×1) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時の、たわみ4mm以下となる剛性)			80,000N・cm ² 以上
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																								
P2A	A-1			ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70/m ² 程度	乾式保護材																																																																																								
	A-2				コンクリート																																																																																								
	A-3				押入																																																																																								
P1B	B-1				れんが押入																																																																																								
	B-2				JIS R 1250																																																																																								
P2AI	AI-1	(材質) JISA9521に基づく押出法	クラット	クラット	ヤーンクロス																																																																																								
	AI-2				70/m ² 程度																																																																																								
	AI-3																																																																																												
P1BI	BI-1	熱材3種bA(スキニング付)			付き																																																																																								
	BI-2				(厚さ)(mm) 25・50																																																																																								
分類・規格	窯業系パネル類 (寒冷地仕様)	窯業系パネル類 (一般仕様)	金属複合板																																																																																										
寸法(mm)	厚さ(mm) 幅(mm)	厚さ(mm) 幅(mm)	厚さ(mm) 幅(mm)																																																																																										
寸法の許容差	厚さ：±10%、幅：±1%	厚さ：±10%、幅：±1%	厚さ：±10%、幅：±1%																																																																																										
出荷時の含水率	標準時 550以上 凍結融解完了時 400以上(300)	標準時 450以上 凍結融解完了時 320以上(200)	300以上 250以上(300)																																																																																										
曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	400以上	320以上	250以上																																																																																										
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	試験サイクル数	試験サイクル数	試験サイクル数																																																																																										
吸水率(%)	20以下	20以下	1以下																																																																																										
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																																																										
断熱性	不燃	不燃	表面材は不燃																																																																																										
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。(明らかに吸水しないこと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。																																																																																										
耐衝撃性能	質量500(窯業系パネル類は1,000)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500(窯業系パネル類は1,000)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	質量500のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。																																																																																										
剛性(E×1) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時の、たわみ4mm以下となる剛性)			80,000N・cm ² 以上																																																																																										
			<p>(試験方法)</p> <p>(1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。 (2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築物ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネル類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1-3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 (3) 吸水試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 (4) 断熱性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の断熱試験方法」に準じて行う。 (5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品類に適合するシリカゲルで調製したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の乾燥間隔が140mmになるように乾燥を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもコンパレータを用いて乾燥間の長さ測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立てし、その上端が水深約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきせる。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び乾燥間の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率(L)は、次式によって求める。 $(L) = (L2 - L1) / L1 \times 100$ L: 吸水による長さ変化率(%) L1: 乾燥時の乾燥間の長さ(mm) L2: 吸水時の乾燥間の長さ(mm) (6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の凍結融解試験方法に準じて行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネル類は200サイクルまでとする。) 凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5-35の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3の空气中で約2時間の凍結20±3の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。 (7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築物ポード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単端支持方法による。試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。</p>																																																																																										

<p>10 アルミニウム製窓木</p> <p>といたけ金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 改修標準仕様書3.8.2により、消磁歪めつきを行ったもの</p> <p>多量地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>既存のといその他の撤去及び取付け等に対する養生方法 図示 網巻といたけ防露巻き 改修標準仕様書3.9.4による たてとい取金物の取付け 図示</p> <p>種類 ・オープン形式（ ・押し250形 ・押し300形 ・押し350形 ） [3.9.2.3] ・ 板材折曲げ形（ ・オープン形式 ・シール形式 ） 本体幅（ ）mm 板厚（ 2.0mm ）mm 表面処理 種類（ ）種 色合等 ・標準色（ ） ・特注色（ ） 既存窓木の撤去 ・行う（範囲 図示 ） ・ 行わない（ ） 下地修繕の工法 図示 ・ 板材折曲げ形の窓木の取付け方法 図示 ・ 窓木の固定金具の工法等 1章 17 適用区分による風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3 ）倍の風圧力に対応した工法</p> <p>防水改修フロー及び数量 ・ 既存保護層の補修及び処置</p> <p style="text-align: center;">防水調査（施工数量調査）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>ひび割れ部補修</td> <td>欠損部改修</td> <td>浮き部補修</td> <td>びり部補修</td> <td>既存目地欠損部補修</td> <td>既存目地欠損部補修（脱乳に利用する場合）</td> </tr> </table> <p>アスファルト防水工事用シーリング材（幅2mm未満） 0m Uカットのうすいシリリング材（幅2mm以上） 0m ポリマーセメントモルタル補修 0m ポリマーセメントモルタル補修 0m2 除去のうすいポリマーセメントモルタル補修 0m2 ケレン等のうすいポリマーセメントペースト補修 0m2 アスファルト防水工事用シーリング材 0m ポリマーセメントモルタル補修 0m 既存目地除去のうすいポリマーセメントモルタル補修 0m</p> <p>シーリング改修 シーリング再充填工法</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>mm x mm</td> <td>mm</td> <td>mm x mm</td> <td>mm</td> </tr> </table> <p>1 ポリマーセメントモルタル (品質・性能) [4.2.2] 項目 品質・性能 だれ 下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 びり割れの発生が無いこと。 曲げ強さ (N/mm²) 6.0以上 圧縮強さ (N/mm²) 20.0以上 接着強さ (N/mm²) 標準条件 1.0以上 特殊条件 浸透時 0.8以上 低温時 0.5以上 透水性 裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。 その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルジョンは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。</p> <p>2 ポリマーセメントスラリー (品質・性能) [4.2.2] 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (材前28日) (材前28日) (劣化曲げ強さ) (%) (N/mm²) (%) (N/mm²) 3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00</p> <p>3 吸水調整材 改修標準仕様書4.3.2による [4.3.5]</p> <p>4 既調合モルタル モルタル下地としたタイل工事に使用する添付け用モルタルとして、セメント、細骨材、水和剤等を手前工場において所定の割合に配合した材料とする。 [4.3.5]</p> <p>(品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80kg/L以上 曲げ強さ 4.0N/mm²以上 接着強さ 標準時 0.60N/mm²以上 ・ 温冷繰返し後 0.40N/mm²以上</p> <p>(試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準すり上がり量より換算して、所定量の試料をすり上げるのに要する材料とすり混ぜ水を計算して用意する。 すり混ぜは、JIS A5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定するすり混ぜ機を使用し、すりばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間攪拌して試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロード板ガラス及び覆き板ガラス」に規定する覆き板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上をJIS P3801「紙(化学分析用)」に規定する5.8紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製のリング型(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型からガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へしみ出した水分の量が最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをもノズルを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次の式により保水率を求める。 保水率 = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型の内径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 4171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ(標準時)の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水溜しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの「50角ユニットタイル」</p>	ひび割れ部補修	欠損部改修	浮き部補修	びり部補修	既存目地欠損部補修	既存目地欠損部補修（脱乳に利用する場合）	mm x mm	mm	mm x mm	mm	<p>(外)の寸法約300mm×300mm)を圧着する。その後、28日間、温度20±2、湿度80%以上の状態で温湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A6909「建築用仕上げ材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地に達するまで切り込みを入れ、樹脂接着剤で複製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエボキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.8N/mm²以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T : タイルの母材破断 TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断 M : 既調合モルタルの母材破断 MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断 G : 下地板の母材破断</p> <p>ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水溜しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2、湿度80%以上の状態で温湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>(5) 接着強さ(温冷繰返し)の試験方法 (試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上げ材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2の水中に18時間浸せきした後、直ちに20±2の恒温器中で3時間冷却し、次に50±3の別の恒温器中で3時間加熱し、この2時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及びぬれの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm²以上を確保していること)</p> <p>(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスペンション及び再処理粉未樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗料」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2、湿度65±10%とする。</p> <p>4 1 ひび割れ部改修工法 樹膠注入工法 [4.1.4] [4.2.4, 5, 6, 7] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/m) 自動式低圧エボキシ樹脂 0.2以上0.3未満 40 40 注入工法 0.3以上0.5未満 200-300 40 0.5以上1.0未満 70 70 ・ 自動式エボキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50-100 40 ・ 機械式エボキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100-200 70 0.5以上1.0未満 150-250 130 注入状況の確認方法 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ポリマーセメントモルタル充填 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 1成分又は2成分ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 行う ・ 行わない 可とう性エボキシ樹脂 シール工法 パテ状エボキシ樹脂 ・ 可とう性エボキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 充填工法 [4.1.4] [4.2.4, 8] ・ エボキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>3 ひび割れ部改修工法 モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.5, 6, 7, 8] 樹膠注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/m) 自動式低圧エボキシ樹脂 0.2以上0.3未満 40 40 注入工法 0.3以上0.5未満 200-300 40 0.5以上1.0未満 70 70 ・ 自動式エボキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50-100 40 ・ 機械式エボキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100-200 70 0.5以上1.0未満 150-250 130 注入状況の確認方法 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ポリマーセメントモルタル充填 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 1成分又は2成分ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 行う ・ 行わない 可とう性エボキシ樹脂 ・ シール工法 パテ状エボキシ樹脂 ・ 可とう性エボキシ樹脂 ・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による</p> <p>4 欠損部改修工法 充填工法(欠損部の面積が0.25m²/箇所以下の場合) [4.1.4] [4.3.9, 10] 充填材の種類 ポリマーセメントモルタル ・ エボキシ樹脂モルタル ・ モルタル塗替え工法 モルタルの材料 現場調査材料 ・ 既調査材料 既製目地材 ・ 使用する(形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 図示</p> <p>5 浮き部改修工法 モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.11-16] ・ アンカーピンニング部分エボキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エボキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング部分エボキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンニング全面エボキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエボキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピン本数 アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p>	<p>4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)</p> <p>4 1 タイルの形状、寸法等 [4.4.5, 8] タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 ・ JIS A 5557による一液反応硬化型の変成シリコン樹脂系 タイルの形状、寸法等</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">工工</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">両生材料</th> <th colspan="2">浸透率による区分</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> <tr> <td>場所 (mm)</td> <td>の適用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐滑り性: JIS A 1509-12(セラミックタイル試験方法-第12部:耐滑り性試験方法)で規定する C.S.R値は0.4-1.0とする。 役物の使用箇所 内 装 出 露 天 露 外 装 出 露 窓 台、マガサ(標準一体成型品以外は接着成型品とする)</p> <p>見本焼き ・ 行う(施工箇所:) 行わない 試験強り ・ 行う(施工箇所:) 行わない</p> <p>2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.5.5, 6] タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)による モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)による タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による ・ タイルを撤去しないで改修</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧エボキシ樹脂</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>200-300</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・ 自動式エボキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50-100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エボキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100-200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150-250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>注入状況の確認方法 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ポリマーセメントモルタル充填 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 1成分又は2成分ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 行う ・ 行わない 可とう性エボキシ樹脂 シール工法 パテ状エボキシ樹脂 ・ 可とう性エボキシ樹脂</p> <p>3 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.5.7, 8] ・ タイル部分張替え工法(欠損部の面積が0.25m²/箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合) 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤張りの接着剤 ・ タイル張替え工法(下地モルタルを撤去する場合) 貼付けモルタルの材料 現場調査材料 ・ 既調査材料 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 改修標準仕様書4.4.2による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材張りの接着剤試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り タイル張りの工法 ・ 外装タイル(・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り ・ ユニットタイル(・ マスク張り ・ モザイクタイル張り) ・ 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り 目地詰め 行う ・ 行わない 下地モルタル張りをコンクリート素地面の処理 目無し工法 シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変成シリコン系 ・</p> <p>4 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.4.5, 9-15] [4.5.9-15] ・ アンカーピンニング部分エボキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エボキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング部分エボキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エボキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエボキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピン本数 アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>5 目地改修工法 [4.1.4] [4.5.5, 16] ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 図示</p> <p>6 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁) 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする</p>	工工	形状寸法	両生材料	浸透率による区分		色	耐凍害性	耐凍害性	備考	有	無	有	無	場所 (mm)	の適用								工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧エボキシ樹脂	0.2以上0.3未満	40	40	注入工法	0.3以上0.5未満	200-300	40		0.5以上1.0未満	70	70	・ 自動式エボキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50-100	40	・ 機械式エボキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100-200	70		0.5以上1.0未満	150-250	130	<p>4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)</p> <p>4 1 下地調整材 [4.5.2] 下地調整材 ・ ポリマーセメントモルタル [4.1.5] [4.5.2] [表 4.5.1]</p> <p>2 仕上塗材仕上げ [4.1.5] [4.5.2] [表 4.5.1] 建築物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 F 仕上塗材の種類 ・ 薄付け仕上塗材 呼び名 仕上の形状 工法 上塗り材 防火材料 外装薄塗材E ・ 適用する ・ 適用する</p> <p>・ 厚付け仕上塗材 呼び名 仕上の形状 工法 上塗り材 防火材料 ・ 適用する ・ 適用する</p> <p>・ 複層仕上塗材 呼び名 仕上の形状 工法 上塗り材の種類 耐候性 防火材料 複層塗材E ・ 塗層の種類 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 ・ 3種 ・ 外観 つやあり</p> <p>軽量骨材仕上塗材 呼び名 防火材料 ・</p> <p>4 マスチック塗材塗り [4.1.5] [4.6.2] [表 4.6.1] 種別 ・ A種 ・ B種</p> <p>5 外壁用塗膜防水塗り [4.1.5] [4.7.2, 3] [表 4.7.1] 仕上の形状 工法 仕上塗材の耐候性 ・ 耐候性1種 ・ 耐候性2種 ・ 耐候性3種 下地準拠種別材 ・ 適用する ・ 適用しない 根拠材の種類 仕上塗材の種類</p>	<p style="text-align: center;">[4.5.4]</p> <p>下地の補修 処理範囲 下地調整材 ・ サンダー工法 既存仕上げ面全体 ・ 図示 4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁) ・ 高圧水洗工法 既存仕上げ面全体 ・ 図示 4-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)による</p> <p>・ 塗膜はく離工法 既存仕上げ面全体 ・ 図示 ・ 水洗工法 サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲 以外の既存仕上げ面全面 ・ 図示</p> <p>石綿含有仕上げ塗材の除去は、9章環境配慮改修工事による</p>
ひび割れ部補修	欠損部改修	浮き部補修	びり部補修	既存目地欠損部補修	既存目地欠損部補修（脱乳に利用する場合）																																																											
mm x mm	mm	mm x mm	mm																																																													
工工	形状寸法	両生材料	浸透率による区分		色	耐凍害性	耐凍害性	備考																																																								
			有	無					有	無																																																						
場所 (mm)	の適用																																																															
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																													
自動式低圧エボキシ樹脂	0.2以上0.3未満	40	40																																																													
注入工法	0.3以上0.5未満	200-300	40																																																													
	0.5以上1.0未満	70	70																																																													
・ 自動式エボキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50-100	40																																																													
・ 機械式エボキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100-200	70																																																													
	0.5以上1.0未満	150-250	130																																																													



⑥	網戸等	<p>種類 材質 線径 網目</p> <p>・防虫網 合成樹脂製 0.25mm以上 16・18メッシュ</p> <p>・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm</p> <p>性能値等 [5.2.2][5.3.2~5]</p> <p>・耐風圧性の等級()、気密性の等級()、水密性の等級()</p> <p>改修標準仕様書5.3.1による種別</p> <p>外部に面する建具 ・ A種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)</p> <p>・ B種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)</p> <p>・ C種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ・ T - 1 ・ T - 2 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ・ H - 4 ・ H - 5 ・ H - 6 ・ H - 7 ・ H - 8 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級</p> <p>形状及び仕上げ 種の見込み寸法 建具表による</p> <p>表面色 標準色 ・ 特注色</p> <p>取付方法 水切り板、ぜん板 図示</p> <p>木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する</p> <p>ガラス 複層ガラス</p>	
	7	樹脂製建具	<p>性能値等(建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 気密性の等級()、水密性の等級()</p> <p>・ W - 1</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S - 4</p> <p>・ S - 5</p> <p>・ S - 6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級()</p> <p>耐震ドア 面内変形促進性の等級()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板の材料 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ 改修標準仕様書5.4.2.2による</p> <p>使用箇所()</p> <p>標準型樹脂製建具の形状及び寸法 建具表による</p> <p>性能値等(建具符号: ・ 建具表による ・) [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>・ 気密性の等級()、水密性の等級()</p> <p>・ W - 1</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S - 4</p> <p>・ S - 5</p> <p>・ S - 6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級()</p> <p>耐震ドア 面内変形促進性の等級()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>鋼板の材料 亜鉛めっき鋼板 ・ ヒニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板の材料 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ 改修標準仕様書5.5.1による</p> <p>使用箇所()</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板</p> <p>標準型樹脂製建具の形状及び寸法 建具表による</p>
	8	鋼製建具	<p>性能値等(建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ 気密性の等級()、水密性の等級()</p> <p>・ W - 1</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S - 4</p> <p>・ S - 5</p> <p>・ S - 6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級()</p> <p>耐震ドア 面内変形促進性の等級()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板の材料 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ 改修標準仕様書5.4.2.2による</p> <p>使用箇所()</p> <p>標準型鋼製建具の形状及び寸法 建具表による</p> <p>性能値等(建具符号: ・ 建具表による ・) [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>・ 気密性の等級()、水密性の等級()</p> <p>・ W - 1</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S - 4</p> <p>・ S - 5</p> <p>・ S - 6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級()</p> <p>耐震ドア 面内変形促進性の等級()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>鋼板の材料 亜鉛めっき鋼板 ・ ヒニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板の材料 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ 改修標準仕様書5.5.1による</p> <p>使用箇所()</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板</p> <p>標準型鋼製建具の形状及び寸法 建具表による</p>
	9	鋼製軽量建具	<p>性能値等(建具符号: ・ 建具表による ・) [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]</p> <p>・ 気密性の等級()、水密性の等級()</p> <p>・ W - 1</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S - 4</p> <p>・ S - 5</p> <p>・ S - 6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級()</p> <p>耐震ドア 面内変形促進性の等級()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板の材料 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ 改修標準仕様書5.5.1による</p> <p>使用箇所()</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板</p> <p>標準型鋼製建具の形状及び寸法 建具表による</p>
	10	ステンレス製建具	<p>性能値等(建具符号: ・ 建具表による ・) [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]</p> <p>・ 気密性の等級()、水密性の等級()</p> <p>・ W - 1</p> <p>外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S - 4</p> <p>・ S - 5</p> <p>・ S - 6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級()</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級()</p> <p>耐震ドア 面内変形促進性の等級()</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板の材料 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板の厚さ 改修標準仕様書5.5.1による</p> <p>使用箇所()</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板</p> <p>標準型鋼製建具の形状及び寸法 建具表による</p>
	11	建具用金物	<p>金物の種類及び見出し部の材質等 改修標準仕様書5.7.1及び適用は建具表による</p> <p>金製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 改修標準仕様書5.8.2.2による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 標準仕様書5.8.3Cによる</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 標準仕様書5.8.5.4による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール 標準仕様書5.8.5.5による</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 建具表による</p> <p>錠前類 【シリンダ錠及びシリンダ本錠より錠】 (品製) デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。建付きのものはマスターキー、グラッドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。(性能) <使用精度による性能></p> <p>1) (シリンダ錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。</p> <p>2) キーによるデッドボルトの解除錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、解除錠操作に支障がない。(シリンダ錠のみ)シリンダ単体の解除錠繰り返し試験は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。</p> <p>3) キーによる錠前機構の解除錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、解除錠操作に支障がない。</p> <p>4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合建でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1角差し込みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)</p> <p><外力に対する性能></p> <p>1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行った後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。</p> <p>2) デッドボルトの耐圧強度試験(10KN)を行った後、加圧板がデッドボルトを通過しない。</p> <p>3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、錠前状態(デッドボルトの突出量が9mm未満)にならないこと。</p> <p>4) デッドボルトの耐圧強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、錠前状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。</p> <p>5) (シリンダ錠)錠はグレード3以上の錠錠の場合)ストライププレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トコヨコは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体錠りとする。又はストライプの強度と同等以上の強度をもつものとする。</p> <p><使用精度による性能(シリンダ錠のみ)></p> <p>1) ラッチボルトの耐圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。</p>
	5	① 改修工法 [5.1.3]	<p>建具の種類</p> <p>○アルミ製建具</p> <p>・樹脂製建具</p> <p>・鋼製建具</p> <p>・鋼製軽量建具</p> <p>・ステンレス製建具</p> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示</p>
		2 防火戸 [5.1.4]	<p>・ 適用する 指定箇所() 建具表による</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 運動させない 適用箇所() 建具表による</p>
		3 見本の製作等 [5.1.5]	<p>建具見本の製作 ・ 行う(建具符号:) ・ 行わない</p> <p>特殊な建具の取組 ・ 行う(建具符号:) ・ 行わない</p>
		4 防犯建物部品 [5.1.7]	<p>・ 適用する 適用箇所() 建具表による</p>
	5 アルミニウム製建具 [5.2.2~5][表5.2.2]	<p>性能値等</p> <p>・ 耐風圧性の等級()、気密性の等級()、水密性の等級()</p> <p>改修標準仕様書5.2.1による種別</p> <p>外部に面する建具の種類 ・ A種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)</p> <p>・ B種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)</p> <p>・ C種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級() (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>ステンレス鋼板の材料 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p> <p>形状及び仕上げ 種の見込み寸法 建具表による</p> <p>表面処理 外部に面する建具 種類 ・ BB-1種 ○BB-2種 ・ 色合等 標準色() ・ 特注色()</p> <p>屋内の建具 種類 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ 色合等 標準色() ・ 特注色()</p> <p>結露水の処理方法 図示</p> <p>取付方法 水切り板、ぜん板 図示</p> <p>木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する</p>	

⑫	鍵	<p>2)レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に動作していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、解除錠操作に支障がない。</p> <p>3)握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に動作していること。また、錠錠時握り玉が固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、解除錠操作に支障がない。</p> <p>4)ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に動作していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、解除錠操作に支障がない。</p> <p>5)ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に動作していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、解除錠操作に支障がない。</p> <p><鍵></p> <p>1)かぎ(鍵)数は、1.5以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ(鍵)連打数とみなさないものとする。</p> <p>2)同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一期目は、最大2連続までとしていること。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物 - 錠 - 第1部:試験方法)による。</p> <p>【レバーハンドル】 (性能) <ねじり強度> レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に動作していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、解除錠操作に支障がないこと。</p> <p><引張り強度> ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に動作していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、解除錠操作に支障がないこと。</p> <p>ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に動作していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、解除錠操作に支障がないこと。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物 - 錠 - 第1部:試験方法)による。</p> <p>クローザー類 (品質・性能)</p>																																																				
	14	自閉式上吊り引戸装置	<p>性能値等 標準仕様書5.10.1による [5.10.3]</p> <p>(試験方法)</p> <p>(1)耐久性(開閉繰り返し)試験</p> <p>閉開については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から閉開位置までの動作を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は内引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸地質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点での1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。</p> <p>(2)耐衝撃性試験</p> <p>落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。</p> <p>耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸地質量の区分毎に試験を行う。</p> <p>(3)気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。</p>																																																			
	15	重量シャッター	<p>シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防塵シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度()Pa</p> <p>開閉方式の種類 手動式(手動併用) ・ 上部電動式</p> <p>安全装置 急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 図示</p> <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 図示</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止機構の設置箇所 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類 JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 Z12又はF12を満足するもの</p> <p>ガイドレール、まくさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質</p> <p>ステンレス鋼板の材料 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1</p>																																																			
	16	軽量シャッター	<p>開閉方式の種類 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) [5.12.2~4]</p> <p>耐風圧強度() N/m²</p> <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 図示</p> <p>スラットの材質の種類 JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 Z06又はF06を満足するもの</p> <p>・ JIS G 3312(塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 AZ90を満足するもの</p> <p>スラットの形状 インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形</p> <p>シャッターケース 設ける ・ 設けない</p> <p>ガイドレール(中柱共)の材質 ステンレス鋼板(SUS304) 厚さ1.0mm</p> <p>座板の材質(壁外の場合) ステンレス製既製品</p>																																																			
	17	オーバーヘッドドア	<p>セクション材料 耐風圧性能 開閉方式 収納方式 ガイドレールの材料による区分 による区分</p> <p>スチールタイプ ・ 175 ・ パラソラ式 ・ スタンダード形 溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>アルミニウムタイプ ・ 125 ・ チェーン式 ・ ローヘッド形 ・ ステンレス鋼板</p> <p>ファイバーグラスタイプ ・ 75 ・ 電動式 ・ ハリフット形 ・ パーチカル形</p> <p>電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 図示</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 A種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 F</p> <p>・ フラッシュ戸</p> <p>表面材のホルムアルデヒド放数量等 標準仕様書16.7.2(2)(4)(a)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 普通合板</td> <td>表面の樹脂 生地、透明塗料塗り ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>() ラウソ合板程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>不透明塗料塗り ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>() 仕上げ合板程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面の品質 () 広葉樹1等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 () 1種 ・ 2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 天然化粧合板</td> <td>樹脂名 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 () 1種 ・ 2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>() オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面性能 () タイプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度 () 1種 ・ 2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)</td> <td>表面裏面の状態による区分 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>曲げ強度による区分 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着剤による区分 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>断熱性による区分 ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面材の厚さ 改修標準仕様書5.7.6.1による</p> <p>引戸の召合せがまちのいんうけの適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>・ かまち戸</p> <p>・ かまち戸</p> <p>見込み寸法 建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	・ 普通合板	表面の樹脂 生地、透明塗料塗り ()			() ラウソ合板程度			不透明塗料塗り ()			() 仕上げ合板程度			表面の品質 () 広葉樹1等			接着の程度 () 1種 ・ 2種		・ 天然化粧合板	樹脂名 ()			接着の程度 () 1種 ・ 2種		・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ()			() オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装			表面性能 () タイプ			接着の程度 () 1種 ・ 2種		・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)	表面裏面の状態による区分 ()			曲げ強度による区分 ()			接着剤による区分 ()			断熱性による区分 ()	
	合板の種類	規格等	備考																																																			
	・ 普通合板	表面の樹脂 生地、透明塗料塗り ()																																																				
		() ラウソ合板程度																																																				
		不透明塗料塗り ()																																																				
		() 仕上げ合板程度																																																				
	表面の品質 () 広葉樹1等																																																					
	接着の程度 () 1種 ・ 2種																																																					
・ 天然化粧合板	樹脂名 ()																																																					
	接着の程度 () 1種 ・ 2種																																																					
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ()																																																					
	() オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装																																																					
	表面性能 () タイプ																																																					
	接着の程度 () 1種 ・ 2種																																																					
・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)	表面裏面の状態による区分 ()																																																					
	曲げ強度による区分 ()																																																					
	接着剤による区分 ()																																																					
	断熱性による区分 ()																																																					
19	木製建具	<p>性能値等 [5.7.2~4]</p>																																																				
13	自動ドア開閉装置	<p>引き戸用駆動装置</p> <p>性能値 改修標準仕様書5.8.1.1による</p> <p>種類 ・ SSDL-1 ・ SSDL-2 ・ DSDL-1 ・ DSDL-2</p>																																																				

ガラス

・ふすま
張りの種別 (・ 型 ・ 型)
上張り (押入等の裏面以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンリキヤール塗装)
見込み寸法 建具表による

・戸ふすま 見込み寸法 建具表による
・紙張り障子 見込み寸法 建具表による
種の材料 木製特 (6 章内装改修工事による)
・鋼製特 (亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板)
・木製特 (6 章内装改修工事による)
・ステンレス鋼板 ・ 木製

かつずりの材料 ・ ステンレス鋼板 ・ 木製 (3.7, 5.13, 2.4) (図 5.14.1)

下記のガラス以外の品名、厚さの呼びによる種類等
建具表による

合わせガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類
下記以外は建具表による

材料ガラスの種類、組合せ

フロート板、フロート板合わせガラス	特殊性能は各種特性及びショットバック衝撃特性による種類
・ 類 ・ 1類	・ 類
・ 2類	・ 2類

強化ガラスの形状による種類、材料ガラスの種類による名称及び特性による種類
下記以外は建具表による

材料ガラスの種類	材料ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・ フロート強化ガラス	・ フロート板ガラス	・ 類

熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類
下記以外は建具表による

材料ガラスの種類	性能による種類	色 調
・ 熱線吸収フロート板ガラス	・ 1類 ・ 2 類	・ グリーン
・ 熱線吸収入り層板ガラス		

複層ガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
下記以外は建具表による

断熱性による区分	乾燥気体の種類
・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6	・ 空気 ・ アルゴン

日射取得性、日射遮蔽性による区分
乾燥気体の種類
・ G ・ S

熱線反射ガラスの材料ガラスの種類及び厚さによる種類
下記以外は建具表による

材料ガラスの種類	日射遮蔽性による区分	耐久性による区分
・ 色調 (・ ブルー ・ グレー)	・ 1類	A類
	・ 2類	・ A類 ・ B類
	・ 3類	B類

反射皮膚面 ・ 内面 ・ 外面
映像調整 ・ 行わない ・ 行う

ガラスの屋根材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス屋根材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	・ 建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	・ 建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・ シーリング材	・ 建具の製造所の仕様による
樹脂製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	・ 建具の製造所の仕様による

20 ガラスブロック組み

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による [5.14.5]								
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	自重 (mm)	伸縮調整位置 (mm)	防火性能		
・ 正方形	・ 160 × 160	・ 95	・ クリア	・ 乳白	・ 8 - 15	・ 外側	・ 6mm以下	・ 無し
		・ 125				・ 標準仕	・ ごとくに幅10 - 25	・ 有り
	・ 200 × 200	・ 95				・ 5(2)(9)		
		・ 125				・ (a)		
						・ 内側		
						・ 標準仕	・ 5.14, 5(2)(9)	
						・ (a)		

21 ガラス用フィルム

設置用金属種及び補強材の材質 ・ 形状 図示			
力骨 材質	ステンレス鋼 (SUS304)	寸法	径5.5mm
形状	はしご形状覆筋及び単筋	化粧自地モルタルの色 ()	
シーリングの種類 ()		金属製化粧カバー 材質	・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法 図示		形状 図示	
工法 1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法		目地部の構力骨の納まり	
ガラスブロック製造所の仕様による		図示	

種 類		記号		その他性能等	
内張り用	外張り用	記号	記号	性能	性能
・ 日射調整フィルム	・ SC - 1	・ SC - 2		日射遮蔽性能による区分	・ A ・ B ・ C ・ D ・ E
・ 低放射フィルム	・ LE			熱通流率による区分	・ A ・ B ・ C ・ D
・ 衝撃破壊対応ガラス	・ GI - 1	・ GI - 2			
・ 飛散防止フィルム					
・ 相関変位破壊対応ガラス	・ GD - 1	・ GD - 2			
・ 飛散防止フィルム					
・ ガラス貫通防止フィルム	・ SF			ガラスの貫通防止性能による区分	・ A ・ B

品質 JIS A 5759による

- 6 内装改修工事
- 7 既存床の除去及び下地補修
- 8 既存壁の除去及び下地補修
- 9 製材
- 10 造作用集材材

6 内装改修工事

他の部位との取り合い等

既存間仕切り壁の除去に伴う当該壁の取り合い天井、壁面及び床の改修範囲 [6.1.3]

壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示

天井内の既存壁の除去に伴う当該壁の取り合い天井の改修範囲

壁面より内側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示

既存天井の除去に伴う取り合い部の壁面の改修

既存のまま ・ 図示

7 既存床の除去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 仕上げのみ (接着剤とも) [6.2.2]

・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・ 除去範囲全て)

合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。

8 既存壁の除去及び下地補修

間仕切り壁除去に伴う他の構造体の補修

改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 図示 ・)

9 製材

ホルムアルデヒド放散量 F 又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による [6.5.2]

・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存	開伐材等の適用
・ 2級		A類 ・ B類			
・ 2級		A類 ・ B類			

・ JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存	開伐材等の適用
見え掛り面	見小部	A類 ・ B類			
見え掛り面以外	小部以上	A類 ・ B類			

・ JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存	開伐材等の適用
1等		A類 ・ B類	10%以下	・ A類	
1等		A類 ・ B類	10%以下	・ A類	

・ JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	開伐材等の適用
		()	・ 適用する	A類	
		(造作材の場合)	・ 適用しない	・ B類	
		(A類 ・ B類)			

ホルムアルデヒド放散量 F 又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による [6.5.2]

・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	開伐材等の適用
					1等	
					2等	

・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	開伐材等の適用
				15%以下	

・ 「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	開伐材等の適用
					15%以下	

6 造作用単板積層材 [6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量 F 又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による [6.5.2]

・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	開伐材等の適用
			・ 有り (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 適用する	
			・ 無し (等級：)	・ 適用しない	

・ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	開伐材等の適用
			・ 有り (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)	・ 適用する	14%以下	
			・ 無し (等級：)	・ 適用しない		

・ JAS 3078に基づく交互積層板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	開伐材等の適用

7 合板等 [6.5.2]

ホルムアルデヒド放散量 F 又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による [6.5.2]

・ 普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	開伐材等の適用
5.5		1類	広葉樹	2等以上	1等	・ 適用する
		2類	針葉樹	C-D	・ 適用しない	
			C-D以上			

・ 構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	開伐材等の適用
2級以上	1級	・ C-D	12	・ 適用する				
1級	・ 特類	以上		・ 適用しない				

・ 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	開伐材等の適用
			1類 ・ 特類	・ 適用する	
				・ 適用しない	

・ 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	開伐材等の適用
			1類 ・ 2類	・ 適用する	
				・ 適用しない	

・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	開伐材等の適用
		1類 ・ 2類			・ 適用する	
					・ 適用しない	

・ パーティクルボード

施工箇所	表面の状態	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性	厚さ (mm)
	13タイプ	P又はM			15

・ JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	等級	寸法 (mm)
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級

・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)

施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	開伐材等の適用

- 8 接合具等 [6.5.3]
- 9 防湿・防蟻処理 [6.5.5]
- 10 内閣間仕切り輪及び床組み [6.5.6]
- 11 窓、出入口その他 [6.5.7]
- 12 床板張り [6.5.8]
- 13 壁及び天井下地 [6.5.9]

14 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 [6.6.2-4]

屋外 (25形) 屋内 (19形 ・ 25形)

・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

野縁受、トリボルト及びインサートの間隔 ・ 図示

周辺部の端からの間隔 ・ 図示

野縁の間隔 ・ 図示

既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない

あと施工アリの施工後の確認試験

・ 行う (試験箇所数 屋内の場合、当該階において3箇所)

(確認強度 改修標準仕様書6.4(1)(9)による)

・ 行わない

・ トリボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法 図示

・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合

補強方法 図示

・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所 高さが6mを超える天井 ・ 図示

補強方法 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号)第3第2項第二号に適合させる。

図示

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

15 軽量鉄骨下地 [6.7.3.4] [表6.7.1]

スタッド、ランナの種類 改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示

出入口及びこれに準ずる開口部の補強 改修標準仕様書6.7.4.(5)による

16 ビニル床シート [6.8.2.3]

種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考
FS	・ 無地	・ 帯電防止	2.0	
	・ マーブル柄	・ 耐動荷重性		
	・ 柄物	・ 防汚性		
		・ 防汚性		

目地処理 (工法 熱溶接工法) ・ 突付け (施工箇所：)

特殊機能

帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上 - 3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1 × 10¹¹ - 1 × 10¹⁰ 程度

17 ビニル床タイル [6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考
KT	・ 無地	・ 300 × 300	・ 帯電防止	2.0	
TT ・ FT	・ 柄物	・ 450 × 450	・ 防汚性	・ 2.5	
FOA ・ FOB		・ 500 × 500		・ 3.0	

特殊機能

帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上 - 3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1 × 10¹¹ - 1 × 10¹⁰ 程度

18 接着剤 [6.5.3.4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]

接着剤は可塑性 (難燃性の可塑性を除く) が追加されていないものとする。

ホルムアルデヒド放散量

規制対象外

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類

・ 図示

19 ビニル幅木 [6.8.2]

材質の種類	軟質	硬質
高さ (mm)	60	75 ・ 100
厚さ (mm)	1.5以上	

20 ゴム床タイル [6.8.2]

種類	・ 単層品	・ 複層品
色柄 ()		
厚さ (mm) ()	・ 3.0	・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0

21 カーペット敷き [6.9.2.3] [表6.9.1]

・ 織じゅうたん				
織り方	パイルの形状	帯電性	備考	
・ ウイルトンカーペット	・ カットパイル	・ 適用する		
・ ダブルフェースカーペット	・ ルーフパイル	・ 適用しない		
・ アキスモニターカーペット	・ カット、ルーフ併用			

色柄

模様のない無地

パイル糸の繊維種等

無地の織りじゅうたんの種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種)

織じゅうたんの接合方法

ヒートボンド工法 ・ つづり縫い

・ タフテッドカーペット				
パイルの形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・ カットパイル	・ 5 - 7	・ 全面接着工法	・ 適用する	
・ ルーフパイル	・ 4 - 6	・ グリッパ工法	・ 適用しない	
・ カット、ルーフ併用				

タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 F

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考
ルーフパイル	・ 第一種		500 × 500	6.5	
	・ 第二種				
・ カットパイル	・ 第一種		500 × 500	6.5	
	・ 第二種				
・ カット、ルーフ併用	・ 第一種		500 × 500	6.5	
	・ 第二種				

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 F

タイルカーペットの敷き方

平 場 市松敷き ・ 模様流し ・

階段部分 模様流し ・ 市松敷き

見切り、押入金物の材質、種類及び形状 図示

下敷き材 反毛フェルト (JIS L 3204) の2種2号 呼び厚さ 8mm



22	合成樹脂塗床	[6. 1. 0. 2. 3]			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
23	防じん用塗床	水性アクリル樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする 仕上げの種類 (※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ) (※ 標準色) JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
24	フローリング張り	[6. 1. 1. 2 ~ 6]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)
25	敷敷き	[6. 1. 2. 2]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)
26	せっこうボードその他ボード及び合板張り	[6. 1. 3. 2. 3]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)

27	壁紙張り	[6. 1. 4. 2. 3]			
		種別	施工箇所	工法	厚さ (mm)
28	モルタル塗り	[6. 1. 5. 3. 5, 6]			
		種別	施工箇所	工法	厚さ (mm)
29	タイル張り	[6. 1. 6. 2 ~ 4]			
		種別	施工箇所	工法	厚さ (mm)

30	セルフレベリング材塗り	[6. 1. 7. 2. 3]			
		種別	施工箇所	工法	厚さ (mm)
7	塗装改修工事	[7. 1. 1 ~ 7]			
		種別	施工箇所	工法	厚さ (mm)

8	耐震改修工事	[7. 4. 2. 3]			
		種別	施工箇所	工法	厚さ (mm)
9	石綿含有建材の除去工事	[9. 1. 1. 3 ~ 6]			
		種別	施工箇所	工法	厚さ (mm)

測定方法 ・自動測定器による測定			
測定名称		測定方法	
・測定4	・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	
・測定()			
・ JIS K 3850-1に基づいた測定			
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定4	・測定5	・測定()	25 5 30
・測定()	47	10	120
・測定()	47	10	240
・測定()			

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 図示
除去方法 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 湿潤化・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(消融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 図示
除去方法 原形のまま、手ばらし・破砕して除去
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 湿潤化・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(消融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外)の除去
除去対象範囲 図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有石こうボード
埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せつこうボードを除くアスベスト含有成形板
埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(消融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種)の除去
除去対象範囲 図示
養生方法
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(消融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による
除去方法
石綿障害予防規則(平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号)第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法
・集じん装置併用手工具ケレン工法
・集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30-50MPa程度)
・集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)
○超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用)
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・剥離剤併用高圧水洗工法(30-50MPa程度)
・剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上)
・剥離剤併用超音波ケレン工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示

・

新熱材
断熱材の種類()、断熱材の厚さ(mm) [9.2.1-4]
施工箇所 図示
ホルムアルデヒド放散量 F

種類	防火性能	備考
----	------	----

既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去 ・あり ・なし
下地面の清掃 ・行う ・行わない
欠損部がある場合の改修工法 4章外装改修工事による

工法
1章適用区分による風圧力(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 図示
通気層の有無 ・あり(mm) ・なし
断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け
断熱材及び外装材製造所の仕様による

3 断熱・防露改修工事 [9.3.2-4]

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 F
・断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・25	・
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	2種 B A 25	外壁
	3種 B A 25	スラブ
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・25	・
・フェノールフォーム断熱材	・25	・

施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 A種1 ・ A種1H
吹付け厚さ(mm) ・25 ・30
施工箇所 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトン回りの床下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
図示

現場発泡断熱材(品質・性能)

項目	品質・性能
----	-------

難燃性
下記のいずれかによっていること
(1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
(2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コークロリー試験)に適合していること。

発熱性
準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。
(1) 総発熱量が9MJ/m²以下であること。
(2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
(3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。

(試験方法)
(1) 原液試験(原液粘度試験)
JIS K 7117-1「プラスチック・液状・乳濁状又は分散状の樹脂・ブロックフィード形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。
(2) 発泡品試験
1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。
2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。
3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。
4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。
5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。
6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。
7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。
(3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。
1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。
2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

・断熱材後張り工法
断熱材の種類()
断熱材の厚さ(mm)
・断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネル(材質 厚さ mm)

・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張り付け工法

4 屋上緑化改修工事 [9.4.2-4]

植栽基礎及び材料
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被の種類等 図示
見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 図示

(品質・性能等)

項目	品質・性能
----	-------

透水・排水層等構成
成分の主要材料
透水層
目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造とすること。
排水層
植物の生育に必要な排水性能を持ち、透気性及び種込み土壌を支え、流出しない構造とすること。
排水層の鉛直方向の排水性能
240L/m²・h以上
耐荷重性能
一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。
(排水層の許容圧縮強度)
3×10⁴N/m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。
耐根層
重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層
材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。

(試験方法)
(1) 排水層の耐荷重性能
(イ) 3×10⁴N/m²の等分荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。)
(ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

1章 適用区分による風圧力(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・設置する(種類)
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない

新植した芝及び地被類の枯補償の期間 引き渡しの日から1年

5 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2-5、9]

下記以外は、10章その他による

既存舗装の撤去及び再利用 図示

フリーアクセスフロア (20.2.2.)

構造	・置敷式	・支柱調整式
所定荷重	3,000N ・ 5,000N	3,000N ・ 5,000N
耐震性能	・1.0 ・0.6	・1.0 ・0.6
パネル寸法(mm)		
高さ(mm)		
表面仕上材	・タイルカーベット ・帯電防止床タイル	・タイルカーベット ・帯電防止床タイル
施工箇所	図示	図示
寸法精度	標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)～(c)による	
スロープ及びボーダー	製造所の仕様による 図示	
配線取り出しパネル	フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 製造所の仕様による ・20-30(パーセント) 配線取り出し開口 製造所の仕様による ・パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上	
空調用吹き出し(吸い込み)パネル	なし ・あり(形式、施工箇所: 図示)	
(性能)	(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 (2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと (3) ローリングロード性能 所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意)による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下 (4) 耐震性能	
イ) 固定台試験による耐震性能	項目	性能
ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上	
上記 以上の部分の耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上	
適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下	

<適用地震時水平力>
3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重
{ (m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数 } × 0.6
3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重
{ (m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数 } × 1.0
5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重
{ (m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数 } × 0.6
5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重
{ (m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数 } × 1.0

ロ) 揺動台試験による耐震性能(設計床高さ 300mmの場合のみ)
揺動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がないこと。
(5) 耐燃性能
建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒
(6) 帯電防止性能評価値(U)
0.6以上
(7) 感電防止性能
漏れ電圧(R1) 1×10³
(8) 歩行感
通常の歩行において空洞音がたつきがなく、歩行感違和感がない
(9) メンテナンス性
交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。

(試験方法)
(1) 耐震性能
1) 設計床高さ 300mmの場合
試験体ユニット1000mm×2500mm程度
所定の重りの質量 3000N:200k 5000N:350k
加振 0.6:所定加速度600cm/s² 1.0:所定加速度1000cm/s²
2) 300mm<設計床高さ 600mmの場合
固定台による耐震性能試験
イ、支柱調整式・支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法・1又は、試験方法・2による。
ロ、原則として、試験方法・1はパネル単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法・2はパネル連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。
試験方法・1
イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した支柱の頂部に對し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。
ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。
試験方法・2
イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に對し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。
ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N(3,000N/1m²相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。
零点補正及び測定記録
試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。

3) 共通事項
試験に使用する表面仕上材
種類:タイルカーベット
パイル携帯:ループパイル
パイル長:3.0mm~4.0mm
パッキング素材:強化ビニル樹脂
全厚:6.0mm~7.0mm
単位質量:4.0kg/m²~6.0kg/m²
人体耐電圧:2kV以下

表示 (20.2.1.1)

案内用記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用出入口等の表示 消防法に適合する市販品
室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の取扱い形式等 図示

(20.2.1.4)

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ	取付箇所
・板形	・手動	・ギア式 ・コード式 ・操作棒式 ・電動	・アルミニウム 合金製 □	・25	・鋼製	・	・図示
・板形	・手動	・2本操作 コード式 ・1本操作 コード式 ・電動	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・アルミニウム 合金製	・	・図示

アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ
クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工

(20.2.1.5)

材質	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考
・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示	・

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 製造所の仕様

(20.2.1.6)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け ・電動	・つまみひだ ・ひも引き ・布ひだ、片ひだ ・ブレーションひだ	・	・図示	・

(暗幕)

暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり 300mm以上

(20.2.1.6)

材料による区分 アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分 10-90
仕上げ アルミマイト
形状 角形

7 ブラインドボックス及びカーテンボックス

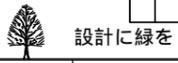
寸法(mm)	形式	外枠	内枠
アルミニウム製 450×450 ・600×600	一般形	・屋内外用 ・屋内用	・隠線タイプ ・目地タイプ ・目地タイプ

(品質・性能)
内外枠の材質 アルミニウム製
JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの
表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(A6)又は同等の性能を有するもの
(外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)
内枠及び外枠のコーナース
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
外枠の取付け金物
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
内枠の仕上げ材留付金物
アルミニウム及びアルミニウム合金押出し成型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの
耐久性(繰り返し開閉試験)
(1) 50回、100回、300回の内装の重ね下りがあり、0.5mm以内。
(2) 開閉試験後、使用上支障をきたさず異常がないこと。
枠の寸法許容差 ±0.5mm以内
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内
(試験方法)
内装(内枠)の繰り返し開閉試験
(1) 試験体は、枠深み40mm程度のものとする。
吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接吊り付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4部により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各スカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せつこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せつこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上)二重張りとする。
(2) 試験は、内装を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。
(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内装の重ね下り状態を測定する。

カーテン (20.2.1.6)

カーテンレール (20.2.1.6)

天井点検口



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名

建築改修工事特記仕様書(7)

A 2版 100%
A 3版 71%

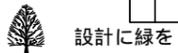
縮尺

図面No

A-07

9	床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製</td> <td>・ 450 x 450 600 x 600</td> <td>・ 一般形 ・ 密閉形</td> <td>・ 屋内外用 ・ 屋内用</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものをとする。 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td>受持材 蓋材材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製</td> <td></td> <td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>二重蓋の中蓋</td> <td>鋼鉄</td> <td>JIS G 5501のFC150, FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>塩化ビニル樹脂製等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 のC2600, C2720, C2801</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L又はSUS443J1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>底材コーナーピース底板補強材</td> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理: 陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼材</td> <td></td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td></td> <td>塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパター、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカー材</td> <td></td> <td>鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取手</td> <td></td> <td>黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鍵</td> <td></td> <td>黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td></td> <td>蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重Pnの2倍以上であること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>耐荷重試験 試験体は、張物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部に 50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について、1,000Nまで3回繰り返す。</td> <td></td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)	形式	備考	・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450 x 450 600 x 600	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受持材 蓋材材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15			ステンレス製	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度		鋼製		標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150, FC200			その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600, C2720, C2801			ステンレス	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L又はSUS443J1			ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	底材コーナーピース底板補強材	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理: 陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)			鋼材		鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパター、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの		アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの		取手		黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする		鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする		蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重Pnの2倍以上であること。				受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法)				耐荷重試験 試験体は、張物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部に 50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について、1,000Nまで3回繰り返す。	
		材種	寸法 (mm)	形式	備考																																																																													
		・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450 x 450 600 x 600	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 屋内用																																																																													
		部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																													
		受持材 蓋材材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																														
			ステンレス製	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度																																																																													
			鋼製		標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																													
		二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150, FC200																																																																														
			その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																														
		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600, C2720, C2801																																																																														
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L又はSUS443J1																																																																																
	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																															
底材コーナーピース底板補強材	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理: 陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)																																																																																
	鋼材		鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																															
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパター、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの																																																																																
アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの																																																																																
取手		黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																
鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする																																																																																
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重Pnの2倍以上であること。																																																																																
		受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法)																																																																																
		耐荷重試験 試験体は、張物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部に 50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について、1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																
10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ クリアラッカー</td> <td>・ 35 - 45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレスパイプ</td> <td>・ HL程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製パイプ</td> <td>・ SOP</td> <td>・ EP-G</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 - 45		・ ステンレスパイプ	・ HL程度			・ 鋼製パイプ	・ SOP	・ EP-G		・ ビニル製ハンドレール																																																															
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																															
・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 - 45																																																																																
・ ステンレスパイプ	・ HL程度																																																																																	
・ 鋼製パイプ	・ SOP	・ EP-G																																																																																
・ ビニル製ハンドレール																																																																																		
11	天井見切り線等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切線(天井見切線、下がり壁見切線)の材質 アルミニウム製製品 ・ ビニル製製品																																																																																
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	(11.2.2, 19.2.2)																																																																																
		<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>300 x 300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>300 x 300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジコンクリート製</td> <td>300 x 300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td>300 x 300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ セラミックタイル</td> <td>300 x 300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジコンクリート製</td> <td>300 x 300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td>300 x 300</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	300 x 300	・ 7.0	・ セラミックタイル	300 x 300	・	・ レジコンクリート製	300 x 300	・	・ コンクリート製	300 x 300	・	屋外	・ セラミックタイル	300 x 300	・	・ レジコンクリート製	300 x 300	・	・ コンクリート製	300 x 300	・																																																					
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																															
屋内	・ 塩化ビニル製	300 x 300	・ 7.0																																																																															
	・ セラミックタイル	300 x 300	・																																																																															
	・ レジコンクリート製	300 x 300	・																																																																															
	・ コンクリート製	300 x 300	・																																																																															
屋外	・ セラミックタイル	300 x 300	・																																																																															
	・ レジコンクリート製	300 x 300	・																																																																															
	・ コンクリート製	300 x 300	・																																																																															
		突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による																																																																																
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)																																																																																
		<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>SD 295 A</td> <td>D 16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD 345</td> <td>D 19以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	SD 295 A	D 16以下		SD 345	D 19以上																																																																								
種類の記号	呼び名	備考																																																																																
SD 295 A	D 16以下																																																																																	
SD 345	D 19以上																																																																																	
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)																																																																																
		<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>溶接金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	溶接金網			鉄筋格子																																																																									
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																
溶接金網																																																																																		
鉄筋格子																																																																																		
15	鉄筋の握手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)																																																																																
		鉄筋の握手の方法等 重ね握り手																																																																																
		鉄筋の重ね握りの長さ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね握りの長さのうち大きい値とする																																																																																
		鉄筋の定着長さ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による																																																																																
		機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 種類 ・ 図示による ・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定																																																																																

16	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)																																														
		<table border="1"> <tr> <th>普通コンクリート</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>設計基準強度 (F c) { N / mm² }</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.4</td> <td>標準仕様書表6.2.2による</td> <td>コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	普通コンクリート	スランプ (cm)	適用箇所	設計基準強度 (F c) { N / mm ² }			2.4	標準仕様書表6.2.2による	コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																					
		普通コンクリート	スランプ (cm)	適用箇所																																												
		設計基準強度 (F c) { N / mm ² }																																														
		2.4	標準仕様書表6.2.2による	コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																												
		17	セメント	種類 (6.3.1) 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種																																												
		18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 合板 厚さ (12mm) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m ² /KCa1以上																																												
		19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)																																												
				<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (F c) { N / mm² }</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>普通コンクリート</td> <td>1.8</td> <td>1.5</td> <td>標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による</td> </tr> </table>	種類	設計基準強度 (F c) { N / mm ² }	スランプ (mm)	施工箇所	普通コンクリート	1.8	1.5	標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による																																				
		種類	設計基準強度 (F c) { N / mm ² }	スランプ (mm)	施工箇所																																											
普通コンクリート	1.8	1.5	標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による																																													
		種類 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種																																														
20	床コンクリート 直均し仕上げ	(8.1.4)(表8.1.5) 仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種類別 施工箇所																																														
		<table border="1"> <tr> <th>a種</th> <th>b種</th> <th>c種</th> </tr> <tr> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア(置数式)</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式)</td> </tr> </table>	a種	b種	c種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア(置数式)	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式)																																								
a種	b種	c種																																														
合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア(置数式)	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式)																																														
21	あと施工アンカー	(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 行う ・ 行わない																																														
22	トイレブース	(20.2.5) <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>形状 幅木タイプ</td> <td>材質 アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td> </tr> </table> <p>(品質・性能) (1)パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>裏面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏打材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>枠材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>エッジ材</td> <td>処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table> <p>(2)構造金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table> <p>(3)付着金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>ヒンジ</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table> <p>(4)外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。</p> <p>(5)パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひたつき性・開閉耐久性</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>耐薬品性及び耐汚染性</td> <td>耐ひたつき性</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2006)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧板MDF</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボード</td> <td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1)ヒンジは、JIS A 1510-2「建築物ドア金物の試験方法-第2部:ドア用金物」に規定する試験による。 (2)戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によりF 以上</p>	表面材の材料	脚部	ドアエッジ	メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	形状 幅木タイプ	材質 アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	項目	品質・性能	裏面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき処理を施した材料とする。	エッジ材	処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	項目	品質・性能	耐薬品性及び耐汚染性	耐ひたつき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2006)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。	ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	ポリエステル樹脂系化粧板MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。	ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																																														
メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	形状 幅木タイプ	材質 アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材																																														
項目	品質・性能																																															
裏面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																																															
裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																															
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																															
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき処理を施した材料とする。																																															
エッジ材	処理を施した材料とする。																																															
小口	防水処理を施す。																																															
項目	品質・性能																																															
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																															
項目	品質・性能																																															
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。																																															
ラッチセット																																																
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																															
項目	品質・性能																																															
耐薬品性及び耐汚染性	耐ひたつき性																																															
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2006)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。																																															
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。																																															
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。																																															
ポリエステル樹脂系化粧板MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																																															
ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																															



設計に緑を

株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日	工事名 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 2版 100% A 3版 71%	図面No A-08
	図面名 建築改修工事特記仕様書(8)	縮尺	

名称	A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理	
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.2.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 1.0mm以上	B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	C-1 打放し面錆鉄筋部処理
改修前						
改修後						
工程	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量: 60㎡	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量:	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量: 11.7㎡	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、②④の工程はA-1工法に含む。 参考数量:	①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量: 22.7㎡
名称	B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理	
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4.3.6] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上	B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm	C-1 打放し面錆鉄筋部処理	
改修前						
改修後						
工程	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す	①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、②④の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量: 22.7㎡	
名称	C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		E アンカーピン部処理	
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり	D-2 モルタル面アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.11] D-2' タイル面アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	E-1 アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.9]	
改修前						
改修後						
工程	①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、④⑦の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:	①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [バテ状エポキシ樹脂] ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合は、⑥⑦⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③幅幅部:	

名称		D 浮き部処理																									
記号・仕様		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10]																									
改修前	改修後																										
工程	<table border="0"> <tr> <td>ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td rowspan="6">セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm ± 0.5mm)</td> </tr> <tr> <td>孔内エア清掃</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>孔内エア清掃</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> </tr> </table>	ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	注入口穿孔	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm ± 0.5mm)	孔内エア清掃	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	孔内エア清掃	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	サンダーケレン	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所			高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		<p>A-2工法を行う場合は、 , , の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：</p>
ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	注入口穿孔	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm ± 0.5mm)																							
孔内エア清掃	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	孔内エア清掃	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																								
エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																								
ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																								
穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	サンダーケレン	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																								
		高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																									

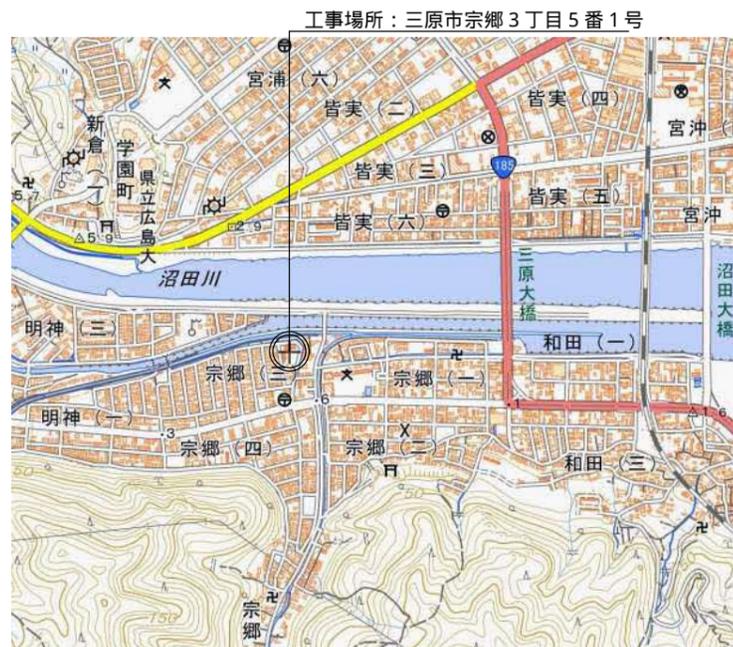
名称		D 浮き部処理																									
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.3.13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.11]																									
改修前	改修後																										
工程	<table border="0"> <tr> <td>ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td rowspan="6">セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm ± 0.5mm)</td> </tr> <tr> <td>孔内エア清掃</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>孔内エア清掃</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> </tr> </table>	ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	注入口穿孔	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm ± 0.5mm)	孔内エア清掃	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	孔内エア清掃	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	サンダーケレン	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所			高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		<p>A-2工法を行う場合は、 , , の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：</p>
ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	注入口穿孔	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm ± 0.5mm)																							
孔内エア清掃	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	孔内エア清掃	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																								
ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																								
ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																								
穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	サンダーケレン	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																								
		高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																									

名称		D 浮き部処理																									
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.14] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.12]																									
改修前	改修後																										
工程	<table border="0"> <tr> <td>穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td rowspan="6">セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm ± 0.5mm)</td> </tr> <tr> <td>孔内エア清掃</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>サンダーケレン</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A-2工法を行う場合は、 , , の工程はA-2工法に含む。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：</td> <td></td> </tr> </table>	穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm ± 0.5mm)	孔内エア清掃	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	サンダーケレン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所					A-2工法を行う場合は、 , , の工程はA-2工法に含む。				参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：		<p>A-2工法を行う場合は、 , , の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：</p>
穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm ± 0.5mm)																							
孔内エア清掃	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	サンダーケレン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																								
ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																									
エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																										
		A-2工法を行う場合は、 , , の工程はA-2工法に含む。																									
		参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：																									

名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.3.15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13]	
改修前	改修後		
工程		ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 サンダーケレン 高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) A-2工法を行う場合、この工程はA-2工法に含む 参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：
		一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分) 	指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)
		狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) 	● 注入口付アンカーピン固定部 ○ 注入口

名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.3.16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.14] 標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	
改修前	改修後		
工程		ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー] 一般部 9ヶ所 サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) A-2工法を行う場合、この工程はA-2工法に含む 参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：
		D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4.4.15]	
		穿孔 孔内エアークリーニング ステンレスピン (注入口付) 挿入 エポキシ樹脂注入 穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]	
		参考数量：	

名称		E 欠損部処理		F 外壁複合改修工法							
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4.2.8]		E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.2.3]							
改修前	改修後										
工程		欠損部はつり等での整形 高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 欠損はつり部埋戻し [ポリマーセメントスラリー・エポキシ樹脂モルタル] セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) A-1工法を行う場合、この工程はA-1工法に含む 参考数量： 12m ²	欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 錆落とし 高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 防錆処理 欠損はつり部埋戻し [ポリマーセメントスラリー・エポキシ樹脂モルタル] セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) A-1工法を行う場合、この工程はA-1工法に含む 参考数量： 12m ²	カッター縁切り 欠損部はつり等での整形 高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) 欠損はつり部埋戻し [ポリマーセメントスラリー・エポキシ樹脂モルタル] セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による) A-2工法を行う場合、この工程はA-2工法に含む 参考数量：	下地補修後 プライマー下塗り ポリマーペースト中塗り 三輪ネット張り ワッシャー付アンカーピン打ち込み ポリマーペースト中塗り アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) シーリング打設 (MS-2) *印寸法は8.0程度とする						
				<table border="1"> <tr> <td>参考数量</td> <td>ネット張り</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水切</td> <td>m</td> </tr> </table>		参考数量	ネット張り	m ²		水切	m
参考数量	ネット張り	m ²									
	水切	m									



出典: 国土地理院

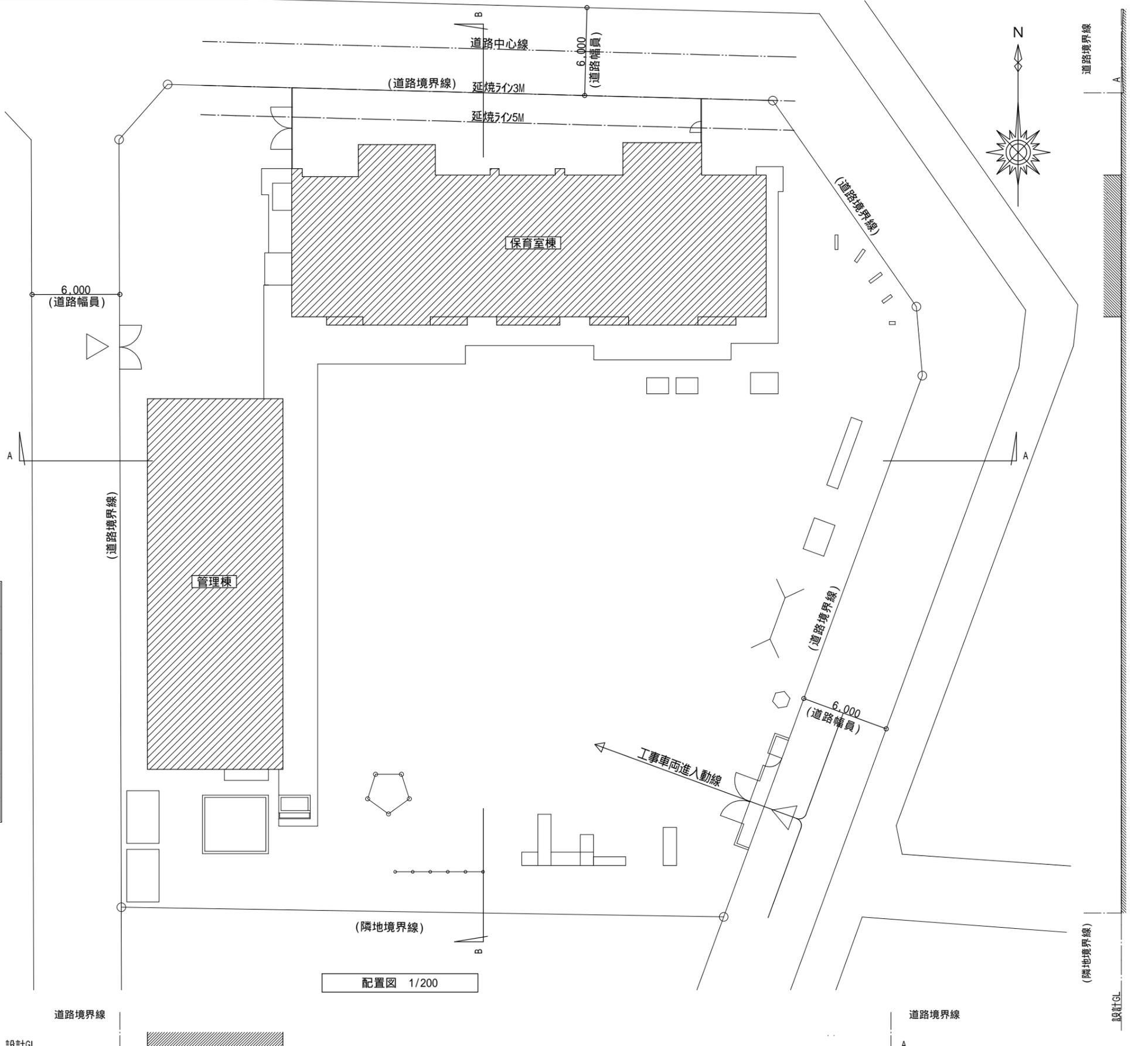
附近見取図

工事概要

工事名称	(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)
用途	児童福祉施設、幼稚園
工事場所	三原市宗郷3丁目5番1号
工事種別	1 内部改修工事(保育室棟、管理棟) 2 外部改修工事(保育室棟、管理棟) 3 建具改修工事(保育室棟、管理棟) 4 タムエーター設置工事(保育室棟) 5 外構改修工事 6 建築工事に伴う電気設備改修工事 7 建築工事に伴う機械設備改修工事
用途地域	都市計画区域内 第一種住居地域
防火地域	指定なし
主要構造	鉄筋コンクリート造 2階建て, 鉄骨造 平屋建て

凡例

-  工事対象部分を示す。
-  建物名 工事対象建物を示す。
- (建物名) 工事対象外建物名を示す。
-  交通誘導員を示す。



配置図 1/200

設計に緑を

記事

株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

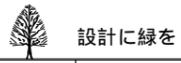
設計年月日

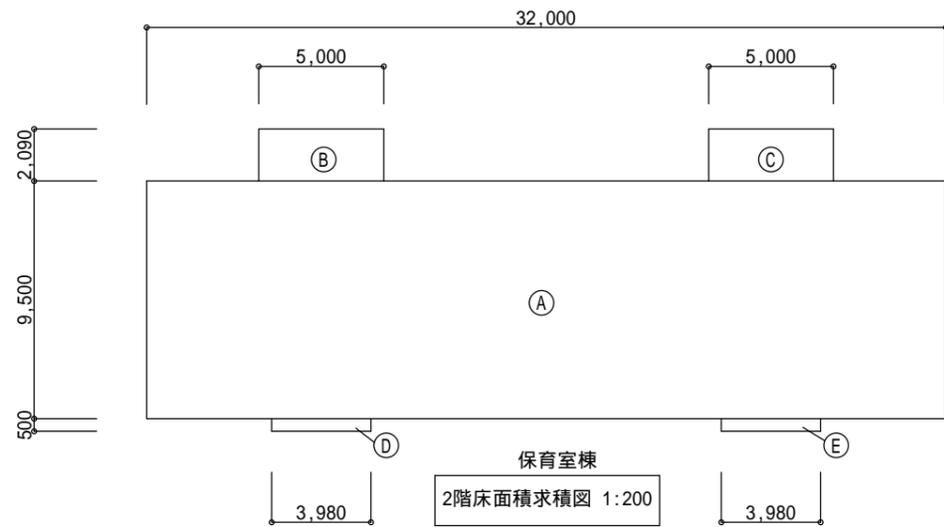
工事名
(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)
図面名
付近見取図、建築概要、配置図

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
1/200

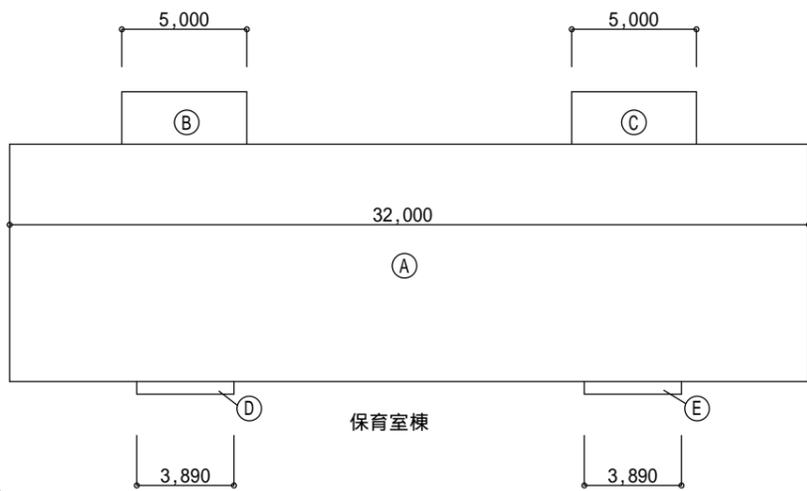
図面No
A-13

工事区分は本工事に係る項目に、印を適用する。																																
項目	建 築	給 排 水 衛 生	空 調 換 気	電 機	昇 降 機 途	別 備 考	項目	建 築	給 排 水 衛 生	空 調 換 気	電 機	別 備 考	項目	建 築	給 排 水 衛 生	空 調 換 気	電 機	別 備 考	項目	建 築	給 排 水 衛 生	空 調 換 気	電 機	別 備 考								
1.スラブ・穴明け 穴埋め・補修等							7.排水設備						10.空調機設備						14.既存工作物関係						15.その他							
構造体の箱入れ、スラブ 同上 穴埋め補修(防水の必要な部分はコキング共) 同上 貫通箇所の補強 鉄骨部分の穴空け、スラブ、補強 CE壁の各種器具取付け用の開口 同上 穴埋め補修 ALC板等のスチッチ、コンクリートその他器具類の穴空け 同上 穴埋め 天井の各種器具取付け用切込み 天井の各種器具取付け下地補強 各種穴明け補強箇所のミ出し 二重スラブ内の各工事用材料搬入用開口部及びその穴埋め							雨水排水用パイプ及び壁樋 同上 屋内横引き雨水管 壁樋の屋外埋設雨水管 屋外雨水排水工事 屋内雑排水及び汚水排水工事 屋外雑排水及び汚水排水工事 各種排水溝の排水金物 ポンプ基礎の排水金物 マット排水及び排水金物 厨房 グリーストラップ 外構敷地内集水溝						空調機用動力制御盤 同上 二次側配管配線工事 室内外渡り配線工事 空調機取付 同上裏ボックス取付 取付配線工事 同上配管工事 壁内に限る 同上配管工事 露出配管						既設スラブ撤去 既存躯体撤去(建築物に関わるもの) 既存躯体撤去(設備に関わるもの)						ボイラールーム回り防油堤及び油溜槽 湯沸器、ボイラールームの吊り戸棚干及び隔壁の不燃材仕上げ 消火器(建築物にかかるもの) 消火器(設備にかかるもの) 消防又は危険物等、法律上必要な表示及び説明板 既製品以外の水栓柱でコンクリート製又は化粧塗装スチッチ 各種機械室、電気室、エレベーター機械室等の 軽重打撃防止 同上 防塵塗装仕上げ							
2.シャフトトンチベット 各種コンクリート水溝 及び各種排水溝							8.衛生器具・ 厨房器具・流し台						各種使用料金及び 本設引込み工事等						工事用仮設引込み費(給排水・電気) 工事用仮設引込み費(給排水・電気) 本設後完成引き渡しまでの基本料金(給排水・電気) 本設後完成引き渡しまでの基本料金(給排水・電気) 本設給水引込み工事 同上 水道施設整備納付金(給水負担金) 本設電力引込み工事 同上 負担金 本設下水本管接続工事(雑排水・汚水) 構内柱(電話・電力引込み用) 火災保険及び第三者に対する損害保険 電力引込負担金 下水放流負担金 放流同意料						各種機械室の吸音、防音仕上げ 梁上部の直近する壁に衛生器具を取付ける場合の 増し打ち壁及び防塵 将来増築を見越した給排水管引込及び配線 竣工図の作成 セキュリティ設備 受変電設備の工事新設 空調室外機の工事新設							
3.点検口・マホール トラップ							厨房器具 同上 器具への接続工事 各種実習実験台、及び設備工事のための穴空け加工 同上 器具への接続工事 給湯器 同上 付属コンロスイッチ及びケープの入線 同上 コンセント及び配管配線工事 既製品流し台、スナッチ流し台 同上 排水トラップ 造り付け流し台 同上 排水トラップ 既製品浴槽及び外釜(ボイラースタンド) 洗濯機パン及び排水トラップ(周囲コキング、止め金具共) エントランス(照明器具、衛生器具、換気口共) 同上 器具への接続工事 便所、洗面所の身障者用すすり (下地補強スナッチ・プレート 10.8含む) 洗面化粧台・手洗器 同上 器具への接続工事 化粧鏡(既製品) 化粧鏡(姿見用等で単独で使用するもの・大型のもの) はめ込み形洗面器 同上 カンパ及びトラップ(切込み共) 衛生器具の使用説明板 ペーパーホルダー、紙巻き器 タコ掛け 電気温水器(シャワー・ミキシング) 電気温水器(流し台・手洗器) 埋美容台及び付属家具 同上 一次側配管配線工事						天井埋込み換気扇及び接続パイプ 換気扇及び有圧扇 同上 取付け枠 同上 プラン 補加工(W300 x H340程度) 全熱交換器付換気扇及び接続パイプ 同上 取付け枠 換気扇類の外壁取付け用フード 湯沸室の排気フード 厨房、調理室の排気フード 同上 取付け用防水立上りの築造 自然排煙ドーム(操作器及びリフト共) 外壁の給排気パイプ又は給排気塔 給排気パイプ用防虫網 同上 グル接続形の点検口 グル接続形給排気パイプの接続用、相アタッチ 外壁用の小口径ペンドキャップ グル接続しない内壁用給排気口 遮光パイプ ドレンパイプ又はアンダーカットドレン 厨房内パイプ取付けパイプ						天井点検口 各シャフト、煙突の点検扉又は点検口 配管トンチ、便所トンチのマホール及びトラップ 各種コンクリート水溝のマホール及びトラップ 屋上点検口及びトラップ(防護欄共) マホールの化粧蓋						各シャフト、煙突の点検扉又は点検口 配管トンチ、便所トンチのマホール及びトラップ 各種コンクリート水溝のマホール及びトラップ 屋上点検口及びトラップ(防護欄共) マホールの化粧蓋							
4.コンクリート基礎							9.換気扇類・フード 給排気塔・ガリ																									
5.防火シャッター 自動ドア カーテンラインド							屋上設置の各種設備機器 同上 防水巻き上げ及びコキング 屋外設置の各種設備機器 屋内設置の各種設備機器 機器類のアンカー打込み、及びミ出し (屋上の場合にはアンカー回りのコキング共) ポンプ用基礎の周囲排水溝 屋上及び屋外の設備配管用支持架台基礎 受変電設備のコンクリート基礎																									
6.昇降機設備 (EV図面優先)							自動ドア及び制御盤、操作スイッチ、感知器類 同上 操作制御用配管配線工事 同上 一次側配管配線工事 シャッター及び制御盤、操作スイッチ 同上 操作制御用配管配線工事 同上 一次側配管配線工事 同上 煙感知器連動閉鎖表示用リミットスイッチ及びリリース 同上 煙感知器用配管配線工事 煙感知器連動閉鎖扉、防煙垂れ壁 同上 表示用リミットスイッチ及びリリース 同上 配管配線工事 カーテンボックス及びラインドボックス																									
昇降路出入口扉 同上 三方枠 同上 取付け用補強金物 昇降路出入口及び機械室の穴空け、穴埋め補修 軌条、中間ドーム、パイプ等の昇降路内鋼材一式 ホールド、インジケータ等の開口及び穴埋め補修 機械室内の吊りフック シャフト内のパイプ及びスチッチ 同上 配管配線工事(シャフト内) 外部パイプ 同上 配管配線工事							天井埋込み換気扇及び接続パイプ 換気扇及び有圧扇 同上 取付け枠 同上 プラン 補加工(W300 x H340程度) 全熱交換器付換気扇及び接続パイプ 同上 取付け枠 換気扇類の外壁取付け用フード 湯沸室の排気フード 厨房、調理室の排気フード 同上 取付け用防水立上りの築造 自然排煙ドーム(操作器及びリフト共) 外壁の給排気パイプ又は給排気塔 給排気パイプ用防虫網 同上 グル接続形の点検口 グル接続形給排気パイプの接続用、相アタッチ 外壁用の小口径ペンドキャップ グル接続しない内壁用給排気口 遮光パイプ ドレンパイプ又はアンダーカットドレン 厨房内パイプ取付けパイプ																									

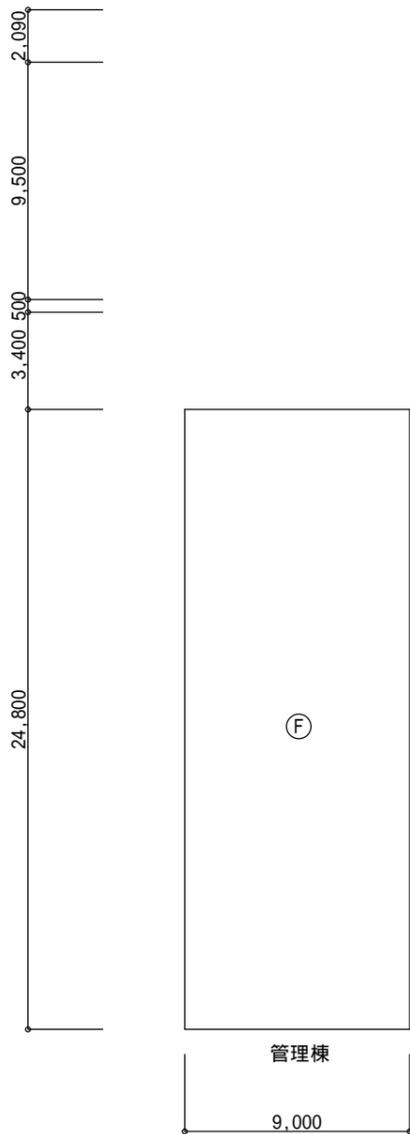




保育室棟
2階床面積求積図 1:200

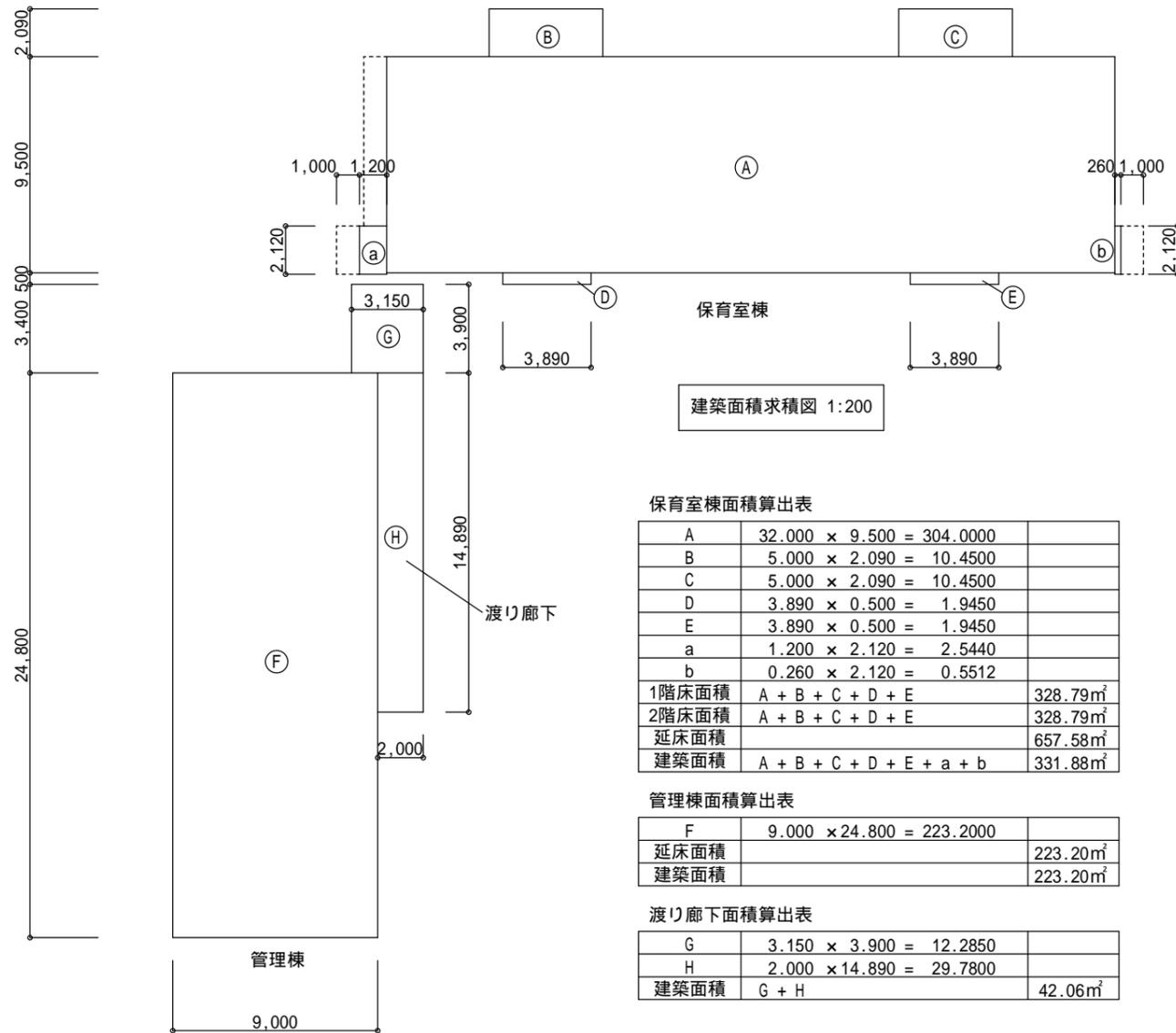


保育室棟
1階床面積求積図 1:200



管理棟

9,000



保育室棟
建築面積求積図 1:200

保育室棟面積算出表

A	$32.000 \times 9.500 = 304.0000$	
B	$5.000 \times 2.090 = 10.4500$	
C	$5.000 \times 2.090 = 10.4500$	
D	$3.890 \times 0.500 = 1.9450$	
E	$3.890 \times 0.500 = 1.9450$	
a	$1.200 \times 2.120 = 2.5440$	
b	$0.260 \times 2.120 = 0.5512$	
1階床面積	$A + B + C + D + E$	328.79m ²
2階床面積	$A + B + C + D + E$	328.79m ²
延床面積		657.58m ²
建築面積	$A + B + C + D + E + a + b$	331.88m ²

管理棟面積算出表

F	$9.000 \times 24.800 = 223.2000$	
延床面積		223.20m ²
建築面積		223.20m ²

渡り廊下面積算出表

G	$3.150 \times 3.900 = 12.2850$	
H	$2.000 \times 14.890 = 29.7800$	
建築面積	$G + H$	42.06m ²



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名

面積計算式

A 2版 100%
A 3版 71%

縮尺

図面No

A-15

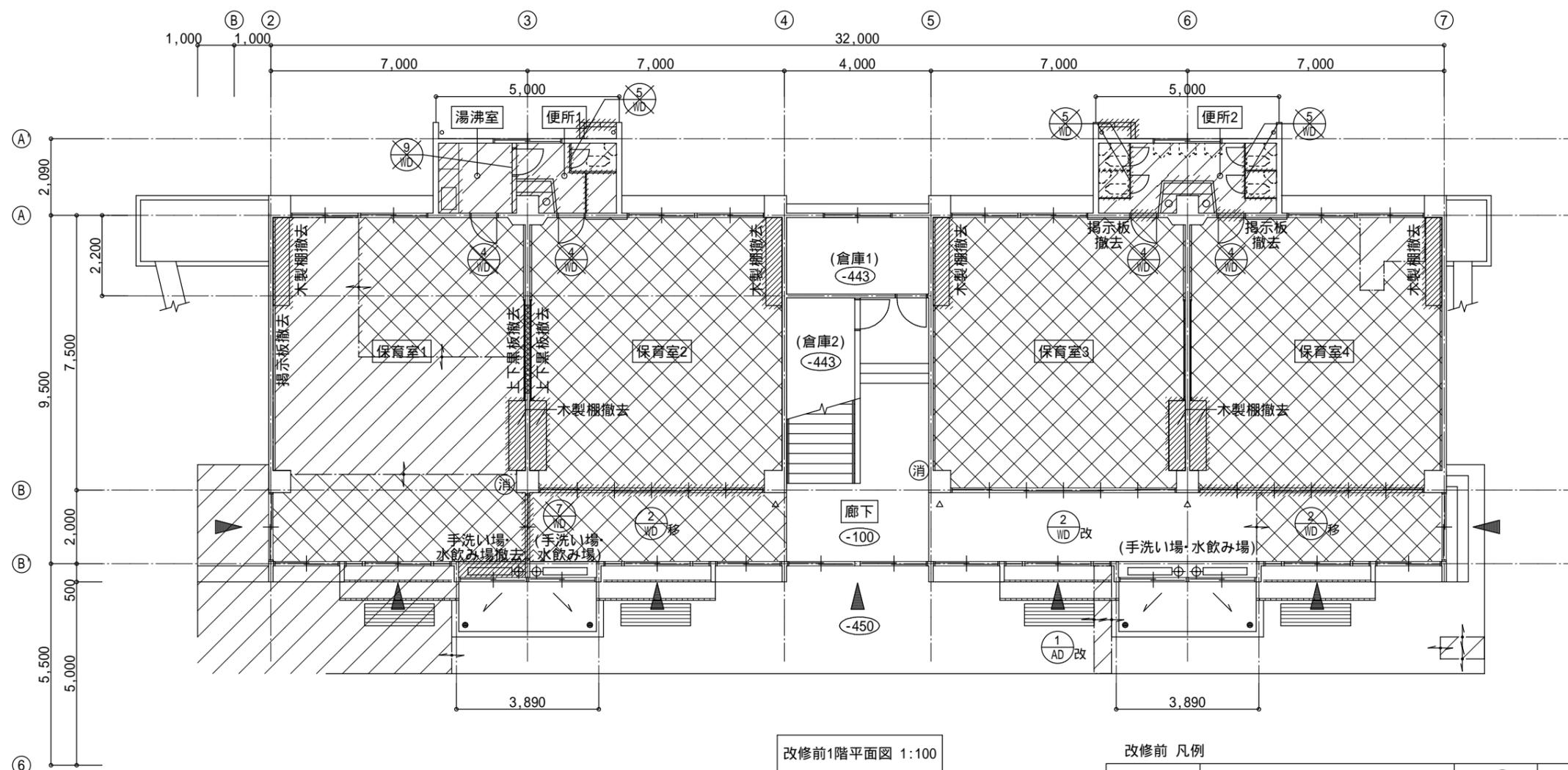
場所 部位	改修前		改修後																防火認定記号											
	下地	仕上	外壁劣化改修(※劣化部分についての塗膜除去部分は、除去後の下地を既存仕上げに合わせる。)												下地処理				仕上	ケイカル板		NM-3522 (不燃)								
			コンクリート打放し仕上			モルタル塗仕上				タイル張り仕上					既存塗膜等の除去					下地調整材			石膏ボード	t=6	NM-8619 (不燃)					
			クラック部			欠損部		クラック部		欠損部		浮き部			クラック部		浮き部			(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	耐水石膏ボード	t=12.5	NM-9639 (不燃)	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	耐水石膏ボード	t=12.5	QM-0524 (準不燃) NM-1864 (不燃)									
屋根	C	平場部:(シート防水) 立上り部:(シート防水)																									硬質石膏ボード	t=9.5	NM-1908 (不燃)	
根廻り	C	(モルタル金コ)	○	○	○	○																						木毛セメント板	t=25	QM-9701 (準不燃)
外壁	C	(モルタル刷毛引の上外装薄塗材E)	○	○	○	○																								
軒裏	C	(モルタル刷毛引の上外装薄塗材E【●L1】)	○	○	○	○																								
庇	C	(防水モルタル金コの上外装薄塗材E)	○	○	○	○																								
縦樋	-	(硬質塩ビ製100φVP管)																												

略記号						特記事項										※仕上名の後に	
C	コンクリート下地	LGS	軽量鉄骨下地	FK	化粧ケイカル板	1. 使用材料は、全て無石棉とする。 2. 改修仕様書は「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。 3. 撤去部分の周囲は補修するものとし、その幅は100mmとする。また、その周囲はかき切りを行うものとする。 4. 特記なき限り塗装替え部分はRB種とし、既存塗膜の除去率は30%内外とする。(内外共) 5. 特記なき限り、新設塗膜防水の既存下地については「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)既存下地補修及び処置による。 6. (仕上名)は、既存のままの仕上を示す。 7. 管理棟の検収室、調理室、下処理室、廊下の壁・天井に使用する仕上は不燃材料とする。 8. 水洗いは10MPa程度とする。										【●L1】とあるのは、レベル1による除去が必要なアスベスト含有建材を示す。	
CB	コンクリートブロック	W	木下地・木造床組	K	ケイカル板											【●L3】とあるのは、レベル3による除去が必要なアスベスト含有建材を示す。	
M	モルタル下地	PB	石膏ボード	SOP	合成樹脂調合ペイント												
		F	フレキシブルボード	DP	耐候性塗料塗り												

内部仕上表																		
棟	階	室名		床			巾木			壁			天井				備考	
		改修後	改修前	床高	下地	仕上名	下地	仕上名	塗装	下地	仕上名	塗装	下地	仕上名	塗装	天井廻り縁		天井高
保育室棟	1階	保育室1		±0	W新設	構造用合板t=15の上 ビニルシートt=2.0新設	(C)	ビニル巾木H=60新設	-	(C)	(モルタル金コ)	EP塗替	LGS新設	化粧石膏ボードt=9.5新設	-	塩ビ製新設	2,500	手洗い新設
		保育室3		±0	W撤去	化粧フローリング t=15撤去	(C)	木製巾木H=60撤去	-	(C)	(モルタル金コ)	(EP)	(C)	(外装薄塗材E) (モルタル金コ)	-	-	3,000	木製棚撤去、掲示板撤去
	ほふく室 調乳室		±0	W新設	構造用合板t=15の上 クッションフロアt=2.3張り 新設	(C)	ビニル巾木H=60新設	-	(C)	(モルタル金コ)	EP塗替	LGS新設	化粧石膏ボードt=9.5新設	-	塩ビ製新設	2,500	手洗い新設、流し台新設、コンロ新設、手洗い新設、侵入防止柵新設	
	保育室4		±0	W撤去	化粧フローリング t=15撤去	(C)	木製巾木H=60撤去	-	(C)	(モルタル金コ)	(EP)	(C)	(外装薄塗材E) (モルタル金コ)	-	-	3,000	木製棚撤去、掲示板撤去	
	教員室		±0	W新設	構造用合板t=15の上 ビニルシートt=2.0新設	(C)	ビニル巾木H=60新設	-	(C)	(モルタル金コ)	EP塗替	LGS新設	石膏ボードt=12.5新設 石膏ボードt=12.5+石膏ボードt=12.5新設 耐水石膏ボードt=12.5の上ケイカル板t=6.0新設	-	塩ビ製新設	2,500	洗濯パン新設、物干しポール新設、コンロ新設、流し台新設	
	保育室1,2		±0	W撤去	化粧フローリング t=15撤去	(C)	木製巾木H=60撤去	-	(C)	(モルタル金コ)	一部撤去	(C)	(外装薄塗材E) (モルタル金コ)	-	-	3,000	木製棚撤去、上下黒板撤去	
	男女更衣室 休憩室		±0	W新設	構造用合板t=15の上 ビニルシートt=2.0新設	(C)	ビニル巾木H=60新設	-	(C)	(モルタル金コ)	EP塗替	LGS新設	石膏ボードt=12.5新設 石膏ボードt=12.5+石膏ボードt=12.5新設	-	塩ビ製新設	2,500	上部カーテンレール新設	
	保育室1,2		±0	W撤去	化粧フローリング t=15撤去	(C)	木製巾木H=60撤去	-	(C)	(モルタル金コ)	一部撤去	(C)	(外装薄塗材E) (モルタル金コ)	-	-	3,000		
	保健スペース		±0	W新設	構造用合板t=15の上 ビニルシートt=2.0新設	(C)	ビニル巾木H=60新設	-	(C)	(モルタル金コ)	EP塗替	LGS新設	石膏ボードt=12.5新設	-	塩ビ製新設	2,500		
	保育室2		±0	W撤去	化粧フローリング t=15撤去	(C)	木製巾木H=60撤去	-	(C)	(モルタル金コ)	一部撤去	(C)	(外装薄塗材E) (モルタル金コ)	-	-	3,000		

内部仕上表																									
棟	階	室名		床			巾木			壁			天井					備考							
		改修後	改修前	床高	下地	仕上名	下地	仕上名	塗装	下地	仕上名	塗装	下地	仕上名	塗装	天井 廻り縁	天井高								
保育室棟	1階	廊下		±0	W 新設	構造用合板t=15の上 複合フローリング t=15新設	(C)	(木製巾木H=60)	-	(C)	(珪藻石)	(EP)	LGS 新設	化粧石膏ボード t=9.5新設	-	塩ビ製 新設	2,850	-							
				W 一部 新設	化粧フローリング t=15一部新設	(C)													(珪藻石)	(EP)	LGS 撤去	石膏ボード t=9.5撤去	VP 撤去	塩ビ製 撤去	2,330
				(W)	(化粧フローリング t=15) 防滑性ビニル床シートt=2.0新設																				
		廊下		±0 +100	(C)	(珪藻石の上) ビニル床シートt=2.0【アスベスト含有建材】	(C)	木製巾木H=60	-	(C)	(珪藻石)	(EP)	LGS 撤去	石膏ボード t=9.5撤去	VP 撤去	塩ビ製 撤去	2,330	-							
		男子便所		±0	C 新設	コンクリート直均しの上 抗菌防滑性ビニル床シートt=2.0新設	(C) PB 新設	ビニル巾木H=60新設	-	(C) LGS65 新設	耐水石膏ボード t=12.5(GL工法)の上ケイ酸板 t=6.0新設	EP-G 新設	LGS 新設	ケイ酸加珪石 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,500	鏡新設							
		湯沸し室		±0	C 撤去	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去	(C)	ビニル巾木H=60撤去	-	(C)	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去	-	(C) LGS 撤去	(珪藻石) ケイ酸加珪石 t=6.0撤去	(EP)	塩ビ製 撤去	2,700 2,700	-							
	女子便所		±0	C 新設	コンクリート直均しの上 抗菌防滑性ビニル床シートt=2.0新設	(C) PB 新設	ビニル巾木H=60新設	-	(C) LGS65 新設	耐水石膏ボード t=12.5(GL工法)の上ケイ酸板 t=6.0新設	EP-G 新設	(LGS)	ケイ酸加珪石 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,500	鏡新設								
	便所1		±0	C 撤去	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去 珪藻石下地セラミック撤去	(C)	珪藻石下地の上 陶器質100角タイル撤去	-	(C)	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去	-	(LGS)	セラミックボード t=4.0 【L3】撤去	EP 撤去	塩ビ製	2,330	-								
	便所2		±0	C 新設	コンクリート直均しの上 抗菌防滑性ビニル床シートt=2.0新設	PB 新設	ビニル巾木H=60新設	-	(C)	耐水石膏ボード t=12.5(GL工法)の上ケイ酸板 t=6.0新設	EP-G 新設	(LGS)	ケイ酸加珪石 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,500	-								
	便所2		±0	C 撤去	珪藻石下地セラミック撤去	(C)	珪藻石下地の上 陶器質100角タイル撤去	-	(C)	珪藻石下地の上 陶器質100角タイル撤去	-	EP (LGS)	セラミックボード t=4.0 【L3】撤去	EP 撤去	塩ビ製	2,350	-								
	2階	読書・多目的スペース		±0	(W)	(化粧フローリング t=15)	(C)	ビニル巾木H=60新設	-	(C)	(珪藻石)	EP 塗替	LGS 新設	化粧石膏ボード t=9.5新設	-	塩ビ製 新設	2,500 2,720	-							
		保育室5		±0	W 新設	構造用合板t=15の上 複合フローリング t=12新設	(C)	木製巾木H=60新設	-	(C) LGS65 新設	石膏ボード t=12.5+石膏ボード t=12.5新設	EP 塗装	(C)	(珪藻石)	(EP)	3,000	-								
保育室2,3,4			±0	(W)	(化粧フローリング t=15)	(C)	ビニル巾木H=60一部新設	-	(C)	(珪藻石)	EP 塗替	LGS 新設	化粧石膏ボード t=9.5新設	-	塩ビ製 新設	2,500	手洗い新設								
保育室6,7,8			±0	(W)	(化粧フローリング t=15)	(C)	木製巾木H=60一部撤去	-	(C)	(珪藻石)	(EP)	(C)	(珪藻石) (外装薄塗材E)	EP	-	3,000	-								
便所3,4			±0	(C)	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0新設	PB 新設	ビニル巾木H=60新設	-	(C)	耐水石膏ボード t=12.5(GL工法)の上ケイ酸板 t=6.0新設	EP-G 新設	(LGS)	ケイ酸加珪石 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,500	-								
便所3,4			±0	(C)	珪藻石下地セラミック撤去	(C)	珪藻石下地の上 陶器質100角タイル撤去	-	(C)	珪藻石下地の上 陶器質100角タイル撤去	-	EP (LGS)	セラミックボード t=4.0 【L3】撤去	EP 撤去	塩ビ製	2,350	-								
倉庫3		±0	(C)	(珪藻石)	(C)	(珪藻石)	(EP)	(C)	(珪藻石)	(EP)	LGS 新設	化粧石膏ボード t=9.5新設	-	塩ビ製 新設	2,540	-									
倉庫3		±0	(C)	(珪藻石)	(C)	(珪藻石)	(EP)	(C)	(珪藻石)	(EP)	(C)	(珪藻石) (タイル t=25)	(EP)	-	直天	-									
廊下		±0	W 新設	構造用合板t=15の上 複合フローリング t=15新設	(C)	(木製巾木H=60)	-	(C)	(珪藻石)	(EP)	LGS 新設	化粧石膏ボード t=9.5新設	-	塩ビ製 新設	2,850	-									
廊下		±0 +100	W 一部 新設	化粧フローリング t=15一部新設													(C)	(珪藻石)	(EP)	LGS 撤去	石膏ボード t=9.5撤去	VP 撤去	塩ビ製 撤去	2,330	
廊下		±0 +100	(W)	(化粧フローリング t=15) 防滑性ビニル床シートt=2.0新設																					
廊下		±0 +100	(C)	(珪藻石の上) ビニル床シートt=2.0【アスベスト含有建材】	(C)	木製巾木H=60	-	(C)	(珪藻石)	(EP)	LGS 撤去	石膏ボード t=9.5撤去	VP 撤去	塩ビ製 撤去	2,330	-									

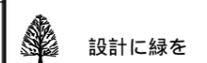
内部仕上表																			
棟	階	室名		床			巾木			壁			天井					備考	
		改修後	改修前	床高	下地	仕上名	下地	仕上名	塗装	下地	仕上名	塗装	下地	仕上名	塗装	天井 廻り縁	天井高		
管理棟	1階	検収室		±0	C 新設	コンクリート直均しの上 特殊防滑性ビニル床シートt=2.0張り 新設	K 新設	ビニル床シート巻上げH=200新設	-	LGS65 新設	耐水石膏ボード t=12.5の上ケイカル板t=6.0新設	EP-G 新設	LGS 新設	ケイ酸カルシウム板 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,830	-	
			事務室	±0	C 撤去	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去	PB 撤去	木製巾木H=100撤去	-	LGS 撤去 W 撤去	石膏ボード t=12.5撤去	EP 撤去	LGS 撤去	石膏ボード t=9.0撤去	EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,830	-	
		調理室		±0	C 新設	コンクリート直均しの上 特殊防滑性ビニル床シートt=2.0張り 新設	K 新設	ビニル床シート巻上げH=200新設	-	LGS65 新設	耐水石膏ボード t=12.5の上ケイカル板t=6.0新設	EP-G 新設	LGS 新設	ケイ酸カルシウム板 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,830	鏡新設	
			事務室	±0	C 撤去	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去	PB 撤去	木製巾木H=100撤去	-	LGS 撤去 W 撤去	石膏ボード t=12.5撤去	EP 撤去	LGS 撤去	石膏ボード t=9.0撤去	EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,830	-	
		下処理室		±0	C 新設	コンクリート直均しの上ビニル床シートt=2.0新設	K 新設	ビニル床シート巻上げH=200新設	-	LGS65 新設	耐水石膏ボード t=12.5の上ケイカル板t=6.0新設	EP-G 新設	LGS 新設	ケイ酸カルシウム板 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,830	鏡新設	
			事務室	±0	C 撤去	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去	PB 撤去	木製巾木H=100撤去	-	LGS 撤去 W 撤去	石膏ボード t=12.5撤去	EP 撤去	LGS 撤去	石膏ボード t=9.0撤去	EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,830	-	
		食品庫		±0	C 新設	コンクリート直均しの上ビニル床シートt=2.0新設	K 新設	ビニル床シート巻上げH=200新設	-	LGS65 新設	耐水石膏ボード t=12.5の上ケイカル板t=6.0新設	EP-G 新設	LGS 新設	ケイ酸カルシウム板 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,830	-	
			事務室	±0	C 撤去	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去	PB 撤去	木製巾木H=100撤去	-	LGS 撤去 W 撤去	石膏ボード t=12.5撤去	EP 撤去	LGS 撤去	石膏ボード t=9.0撤去	EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,830	-	
		廊下		±0	C 新設	コンクリート直均しの上ビニル床シートt=2.0新設	K 新設	ビニル床シート巻上げH=200新設	-	LGS65 新設	耐水石膏ボード t=12.5の上ケイカル板t=6.0新設	EP-G 新設	LGS 新設	ケイ酸カルシウム板 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,830	鏡新設、下足箱新設	
			事務室	±0	C 撤去	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去	PB 撤去	木製巾木H=100撤去	-	LGS 撤去 W 撤去	石膏ボード t=12.5撤去	EP 撤去	LGS 撤去	石膏ボード t=9.0撤去	EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,830	-	
		休憩室		±0	C 新設	コンクリート直均しの上ビニル床シートt=2.0新設	PB 新設	ビニル巾木H=60新設	-	LGS65 新設	石膏ボード t=12.5新設	EP 新設	LGS 新設	化粧石膏ボード t=9.5新設	-	塩ビ製 新設	2,830	-	
			事務室	±0	C 撤去	珪藻石の上 ビニル床シートt=2.0撤去	PB 撤去	木製巾木H=100撤去	-	LGS 撤去 W 撤去	石膏ボード t=12.5撤去	EP 撤去	LGS 撤去	石膏ボード t=9.0撤去	EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,830	-	
		外便所		±0	C 新設	コンクリート直均しの上ビニル床シートt=2.0新設	K 新設	ビニル巾木H=60新設	-	(W) LGS65 新設	耐水石膏ボード t=12.5の上ケイカル板t=6.0新設	EP-G 新設	LGS 新設	ケイ酸カルシウム板 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,380	鏡新設	
			外便所	±0	C 撤去	珪藻石の下地 セラミック撤去	M 撤去	珪藻石の下地の上 陶器質100角タイル撤去	-	(S) (W)	珪藻石撤去H=1,880以上 珪藻石下地の上 陶器質100角タイル撤去H=1,880まで	EP	W 撤去	石膏ボード t=9.0【L3】撤去	EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,380	-	
		厨房便所		±0	C 新設	コンクリート直均しの上ビニル床シートt=2.0新設	K 新設	ビニル巾木H=60新設	-	LGS65 新設	耐水石膏ボード t=12.5の上ケイカル板t=6.0新設	EP-G 新設	LGS 新設	ケイ酸カルシウム板 t=6新設	EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,380	着替え台新設、鏡新設	
			湯沸し室	±0	C 撤去	珪藻石の上ビニル床タイルt=2.0, クッションシートt=2.0撤去	M 撤去	珪藻石下地の上 陶器質100角タイル撤去	-	(W)	珪藻石撤去H=1,880以上 珪藻石下地の上 陶器質100角タイル撤去H=1,880まで	EP	W 撤去	石膏ボード t=9.0撤去	EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,380	-	

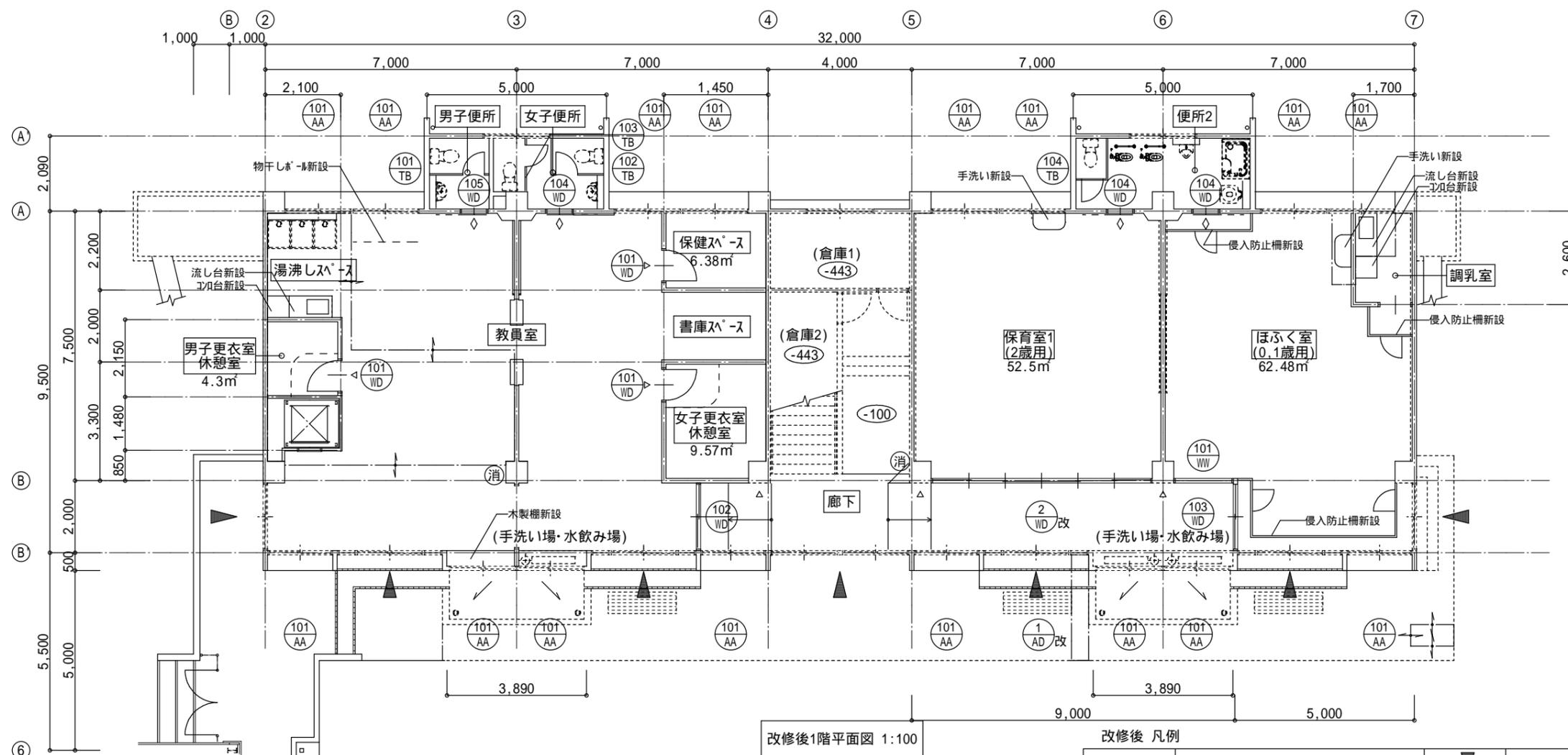


改修前1階平面図 1:100

改修前 凡例

室名	工事対象室を示す。	消	消火器位置を示す。
項目	工事対象項目を示す。	▼	外部出入口位置を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。	実線表示	工事対象部分を示す。
(項目)	工事対象外項目を示す。	破線表示	備品または建築工事外を示す。
////	撤去部分を示す。(壁、建具等)	△	室名札撤去位置を示す。
	コンクリート間撤去部分を示す。		
XXXX	床撤去部分を示す。		
±	FL± を示す。 特記なき限り高さはFL±0とする。		

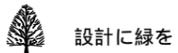




改修後1階平面図 1:100

改修後 凡例

室名	工事対象室を示す。	▼	外部出入口位置を示す。
項目	工事対象項目を示す。	△	室名札新設位置を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。		化学物質濃度測定箇所を示す。
(項目)	工事対象外項目を示す。	◇	ビツサツ新設位置を示す。
実線表示	新設部分を示す。		
破線表示	既存のままの部分を示す。		
±	FL± を示す。 特記なき限り高さはFL±0とする。		
消	消火器位置を示す。		



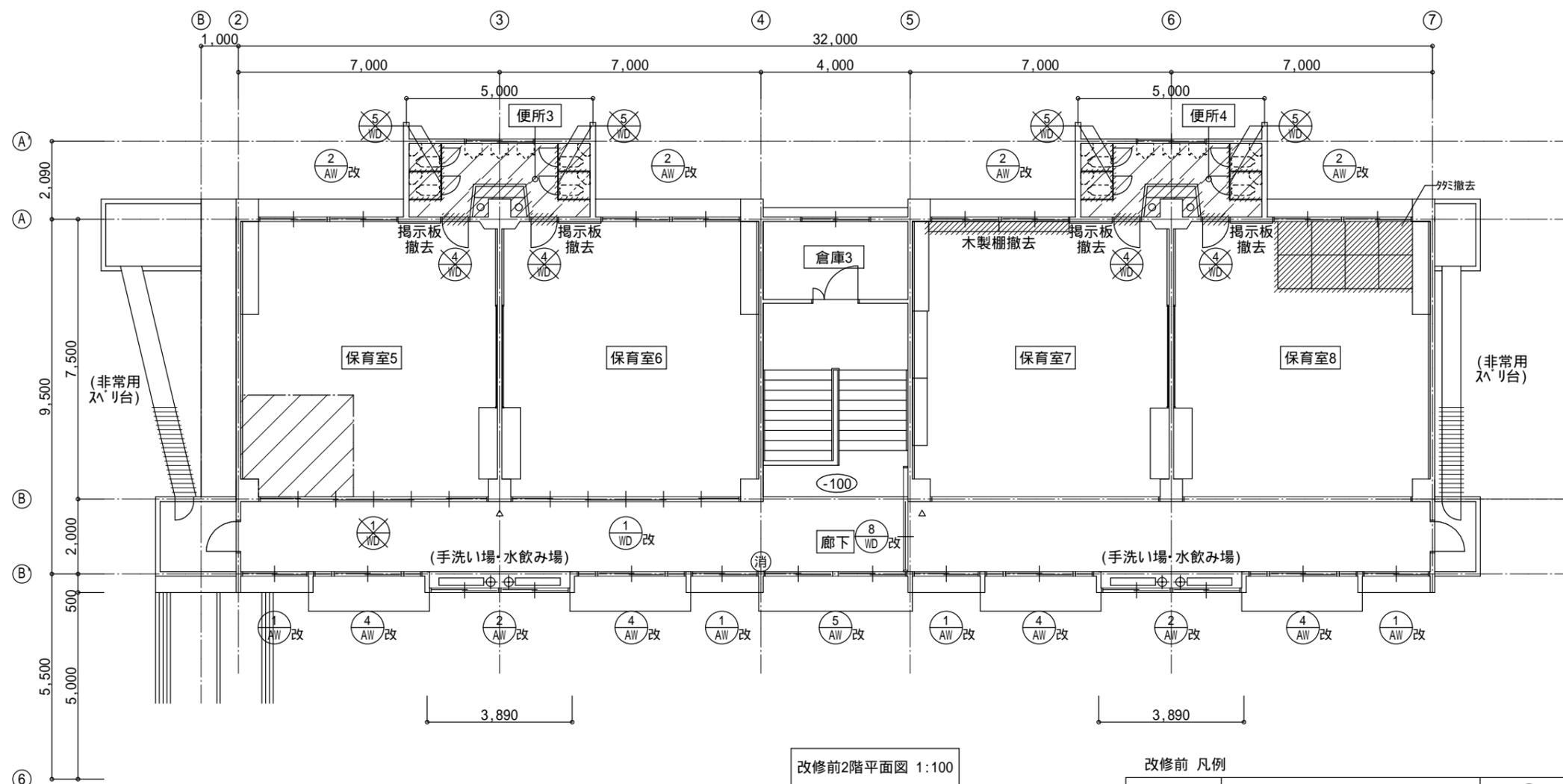
設計に緑を

記事	

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

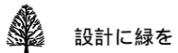
設計年月日	工事名 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 2版 100%	図面No
	図面名 改修後1階平面図(保育室棟)	A 3版 71%	A-20
		縮尺 1/100	



改修前2階平面図 1:100

改修前 凡例

室名	工事対象室を示す。	消	消火器位置を示す。
項目	工事対象項目を示す。	▼	外部出入口位置を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。	実線表示	工事対象部分を示す。
(項目)	工事対象外項目を示す。	破線表示	備品または建築工事外を示す。
////	撤去部分を示す。(壁、建具等)	△	室名札撤去位置を示す。
///	コンクリート間撤去部分を示す。		
///	床撤去部分を示す。		
±	FL± を示す。 特記なき限り高さはFL±0とする。		



設計に緑を

記事

株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

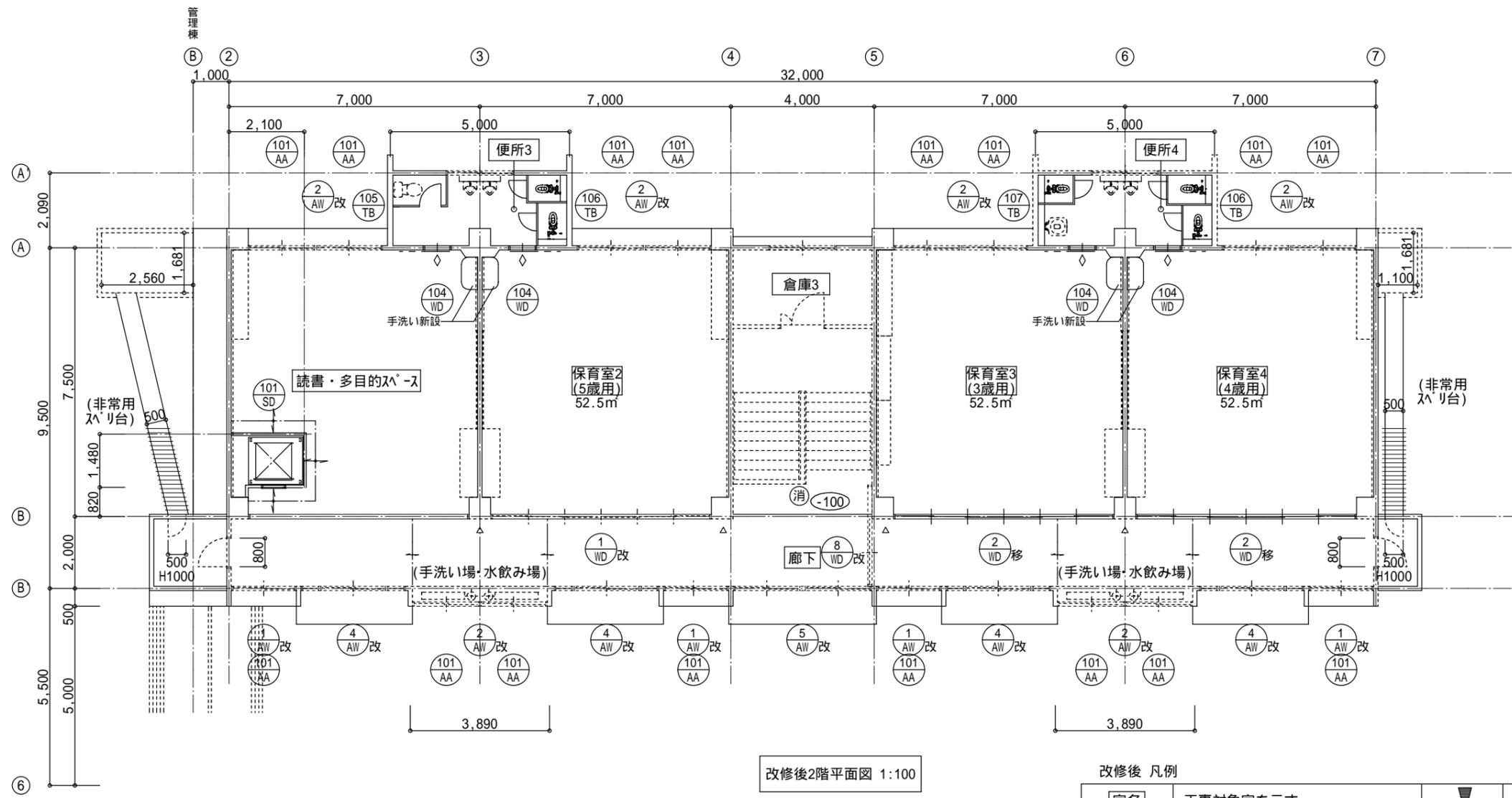
管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)
図面名
改修前2階平面図(保育室棟)

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
1/100

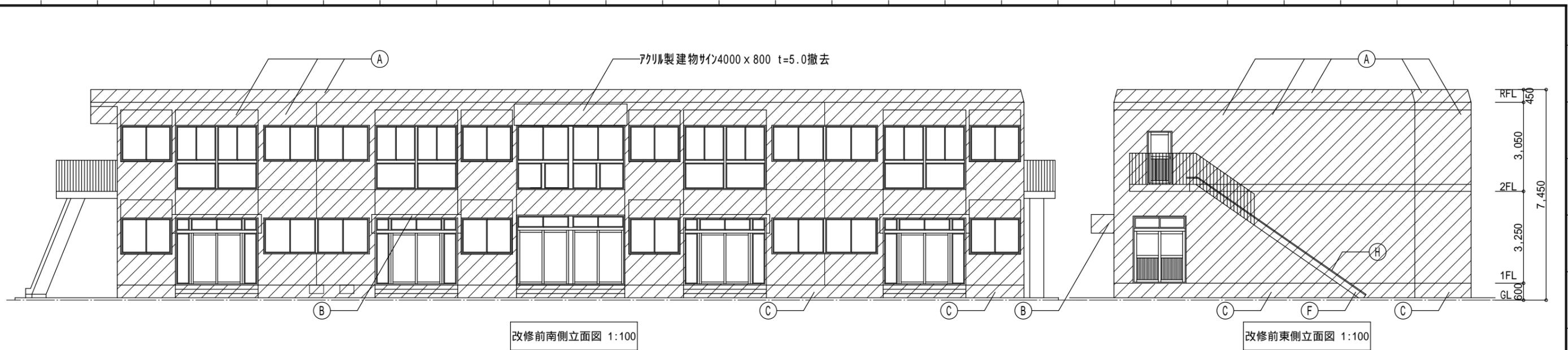
図面No
A-21



改修後2階平面図 1:100

改修後 凡例

室名	工事対象室を示す。	▼	外部出入口位置を示す。
項目	工事対象項目を示す。	△	室名札新設位置を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。		化学物質濃度測定箇所を示す。
(項目)	工事対象外項目を示す。	◇	ビュティ新設位置を示す。
実線表示	新設部分を示す。		
破線表示	既存のままの部分を示す。		
±	FL± を示す。 特記なき限り高さはFL±0とする。		
消	消火器位置を示す。		

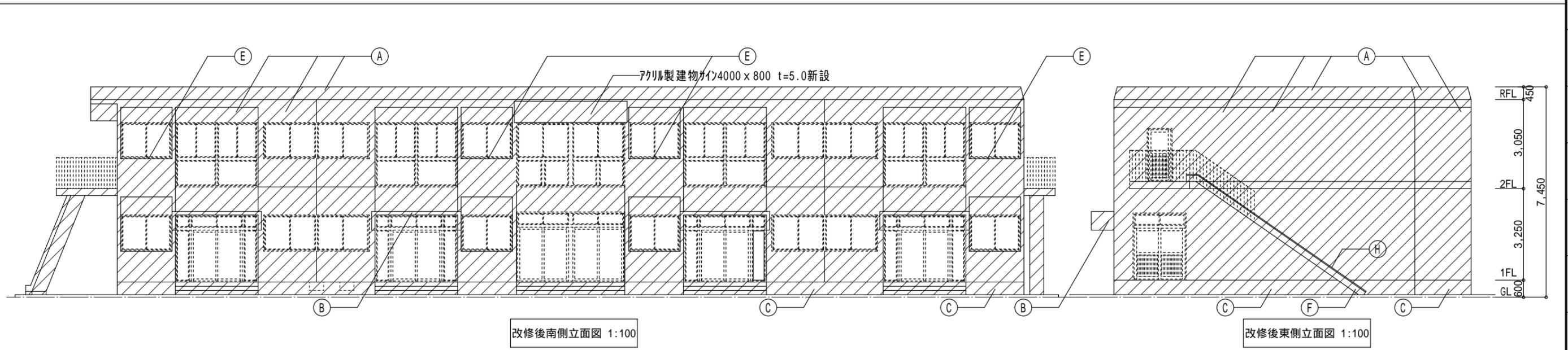


改修前南側立面図 1:100

改修前東側立面図 1:100

改修前 凡例

	改修対象範囲を示す。	Ⓒ	(根廻り:珪外金戸)	Ⓕ	(PL-1.6 OP)	Ⓘ	コンクリート' ロックt=100撤去
Ⓐ	(珪外刷毛引の上外装薄塗材E)	Ⓓ	(硬質塩ビ製100 (VP管))	Ⓖ	(PL-3.2 OP)		
Ⓑ	(防水珪外金戸の上外装薄塗材E)	Ⓔ	油性コーキング撤去【 L3】	Ⓖ	(34 X2.3 OP)		

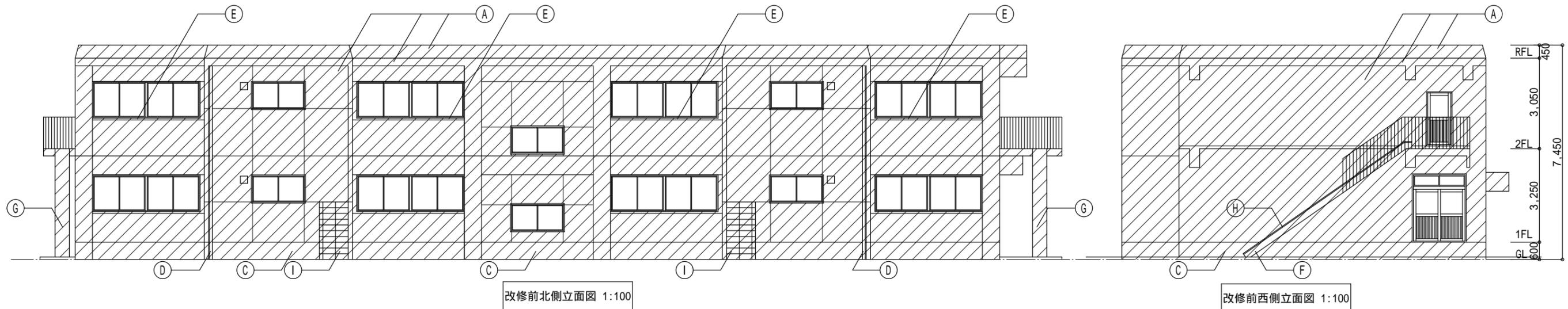


改修後南側立面図 1:100

改修後東側立面図 1:100

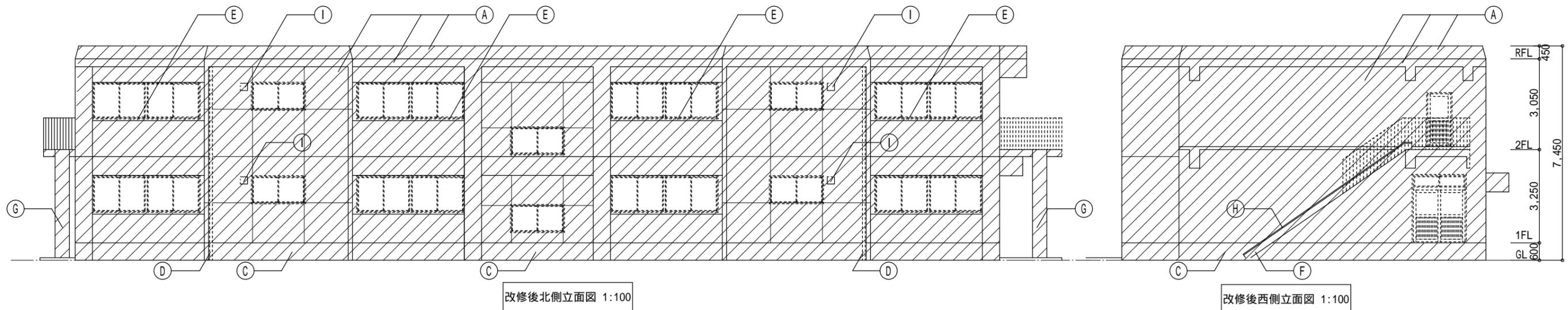
改修後 凡例

	改修対象範囲を示す。	Ⓒ	(根廻り:珪外金戸) 下地調整材塗りのうえ撥水材塗布仕上	Ⓕ	(PL-1.6 OP)DP塗替(下地調整を含む)
Ⓐ	(珪外刷毛引の上外装薄塗材E) 複層塗材E吹付替	Ⓓ	(硬質塩ビ製100 (VP管))	Ⓖ	(PL-3.2 OP)DP塗替(下地調整を含む)
Ⓑ	(防水珪外金戸の上外装薄塗材E) 複層塗材E吹付替	Ⓔ	シーリング MS-2 10 x 10新設	Ⓖ	(34 X2.3 OP)DP塗替(下地調整を含む)



改修前 凡例

	改修対象範囲を示す。	Ⓒ	(根廻り:珪外金工)	Ⓕ	(PL-1.6 OP)	Ⓘ	コンクリート' ロックt=100撤去
Ⓐ	(珪外刷毛引の上外装薄塗材E)	Ⓓ	(硬質塩ビ製100 (VP管))	Ⓖ	(PL-3.2 OP)		
Ⓑ	(防水珪外金工の上外装薄塗材E)	Ⓔ	油性コーキング 撤去【 L3】	Ⓖ	(34 X2.3 OP)		



改修後 凡例

	改修対象範囲を示す。	Ⓒ	(根廻り:珪外金工) 下地調整材塗りのおえ撥水材塗布仕上	Ⓕ	(PL-1.6 OP)DP塗替(下地調整を含む)	Ⓘ	無収縮珪外 差し筋アカ-4-D10
Ⓐ	(珪外刷毛引の上外装薄塗材E) 複層塗材E吹付替	Ⓓ	(硬質塩ビ製100 (VP管))	Ⓖ	(PL-3.2 OP)DP塗替(下地調整を含む)		
Ⓑ	(防水珪外金工の上外装薄塗材E) 複層塗材E吹付替	Ⓔ	シーリング MS-2 10x10新設	Ⓖ	(34 X2.3 OP)DP塗替(下地調整を含む)		



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名

改修前後立面図-2(保育室棟)

A 2版 100%

A 3版 71%

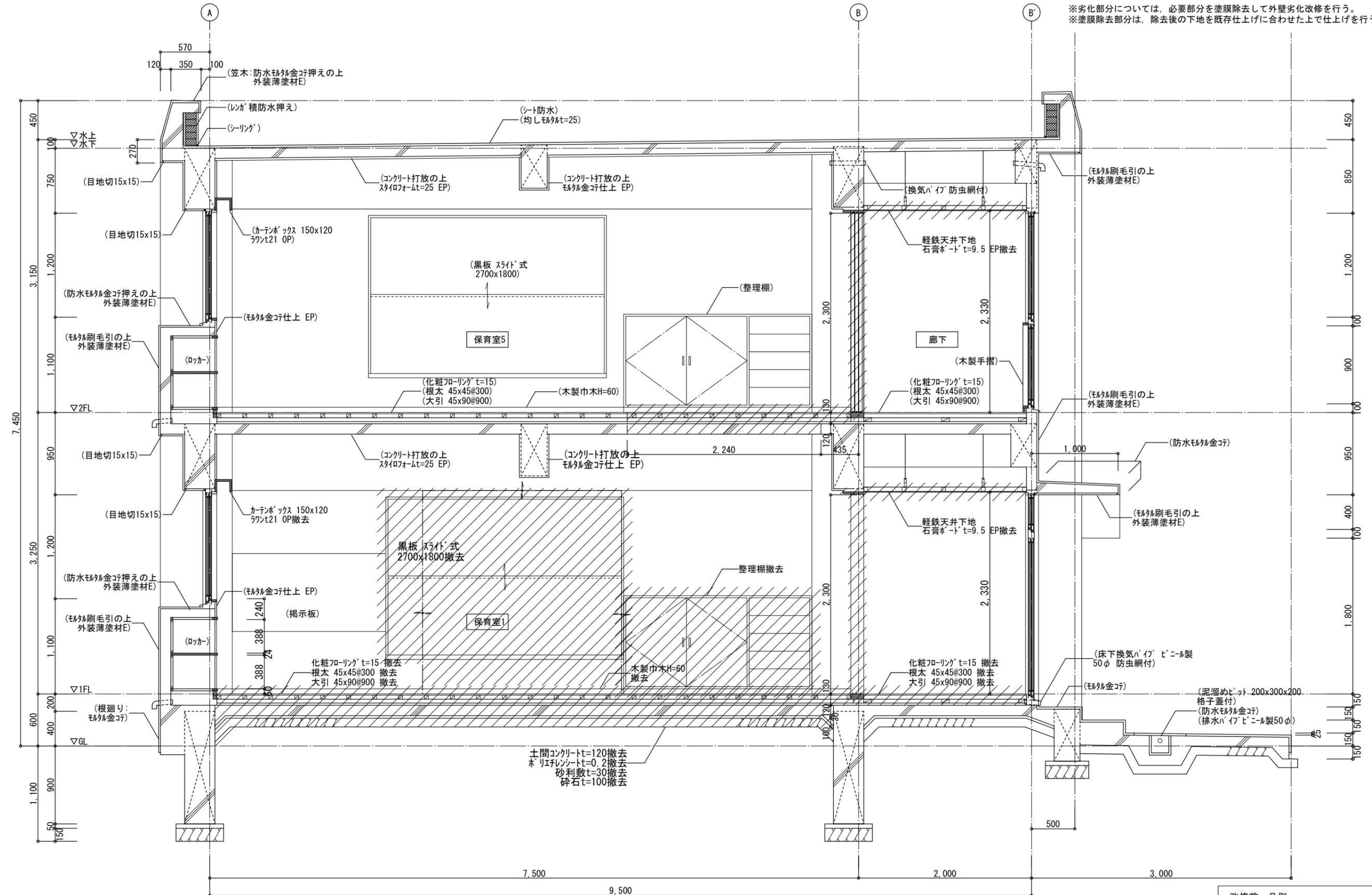
縮尺

1/100

図面No

A-24

※劣化部分については、必要部分を塗膜除去して外壁劣化改修を行う。
 ※塗膜除去部分は、除去後の下地を既存仕上げに合わせた上で仕上げを行う。



改修前 凡例	
※※	改修対象室を示す
////	撤去部分を示す。

設計に緑を

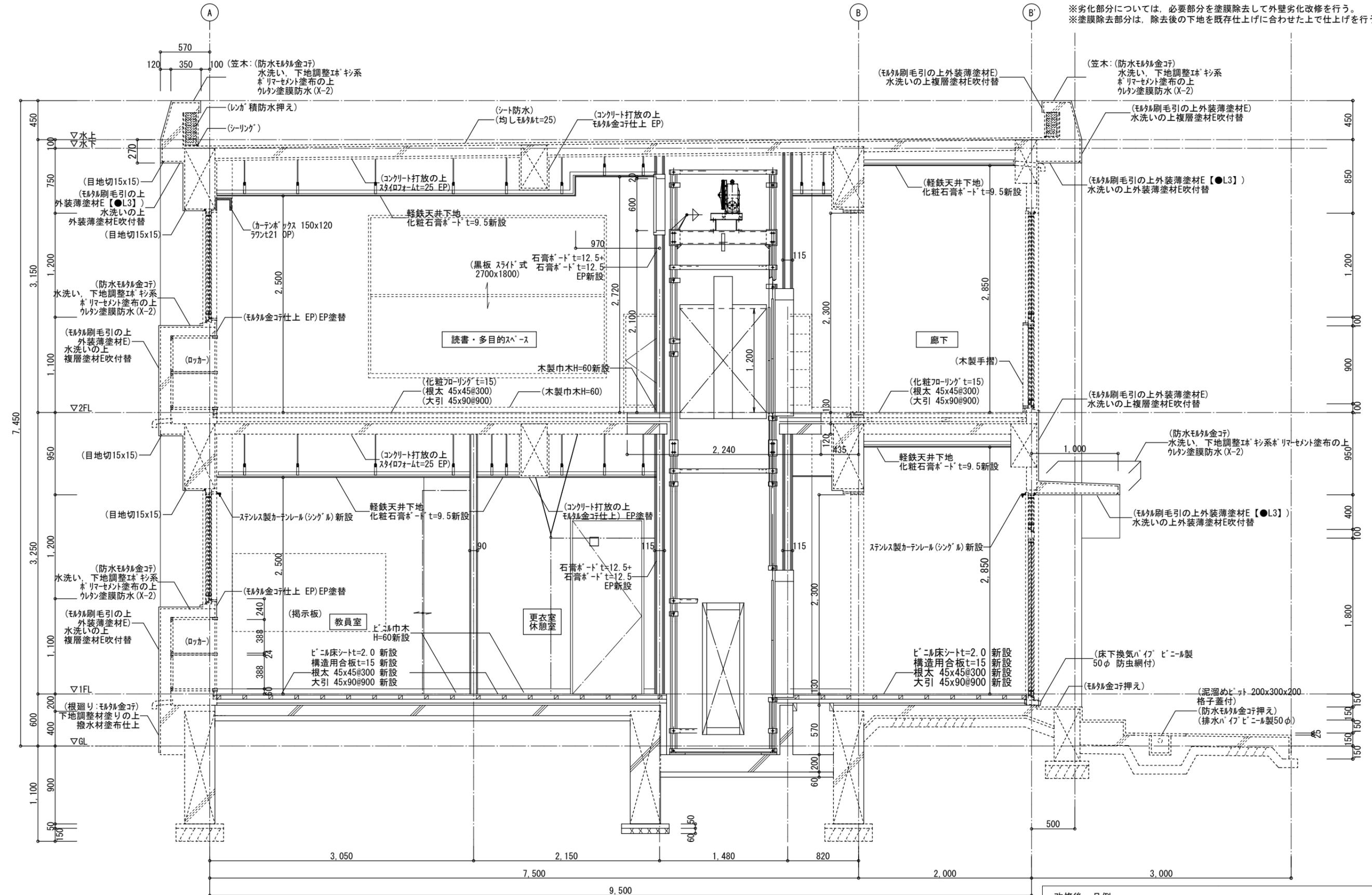
記事	

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
	(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)	A 3版 71%	A-25
	図面名	縮尺	
	改修前矩計図(保育室棟)	1/30	

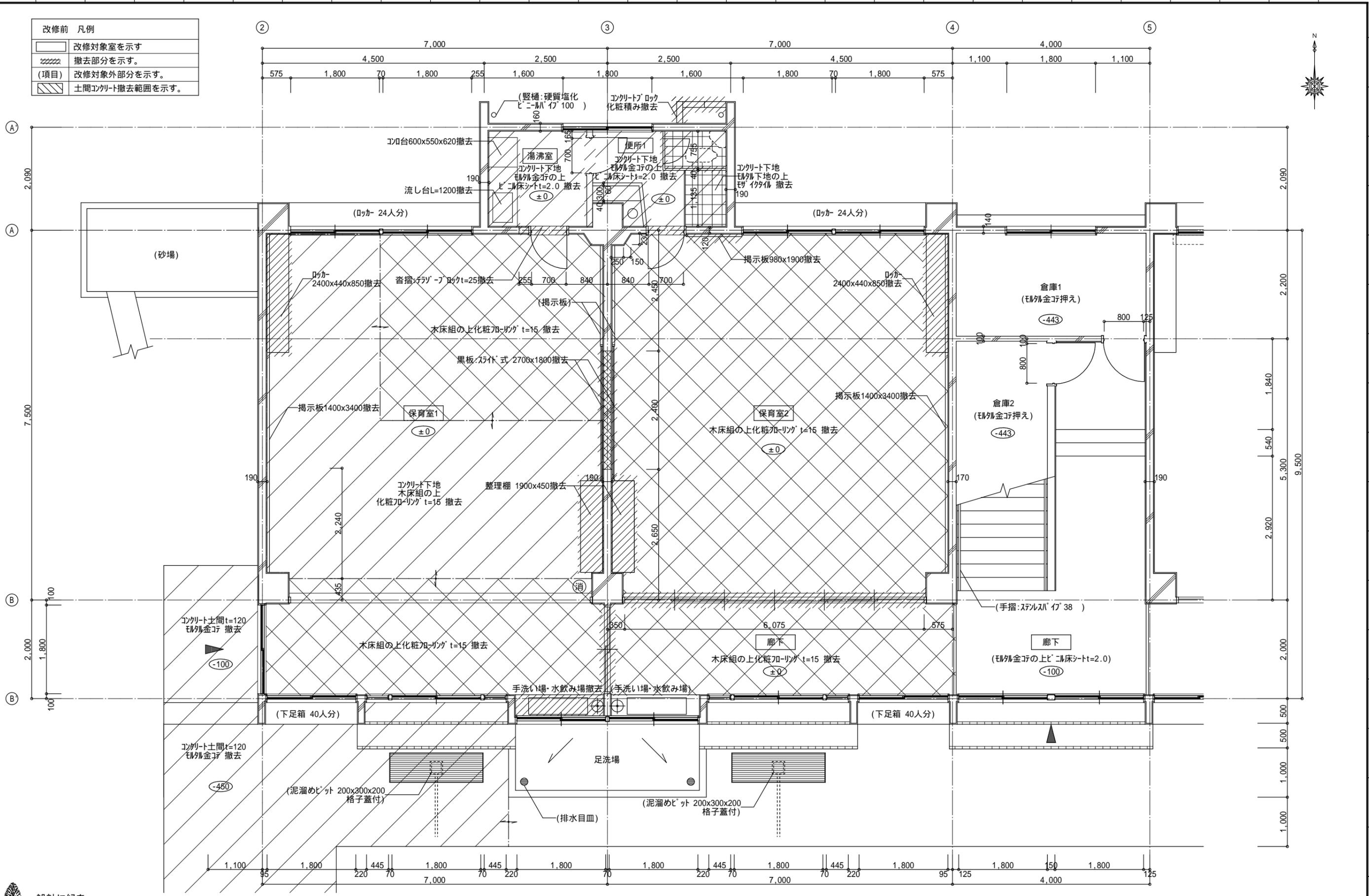
※劣化部分については、必要部分を塗膜除去して外壁劣化改修を行う。
 ※塗膜除去部分は、除去後の下地を既存仕上げに合わせた上で仕上げを行う。



改修後 凡例	
※※	改修対象室を示す
----	既存のままの部分を示す。
—	新設部分を示す。

設計に緑を

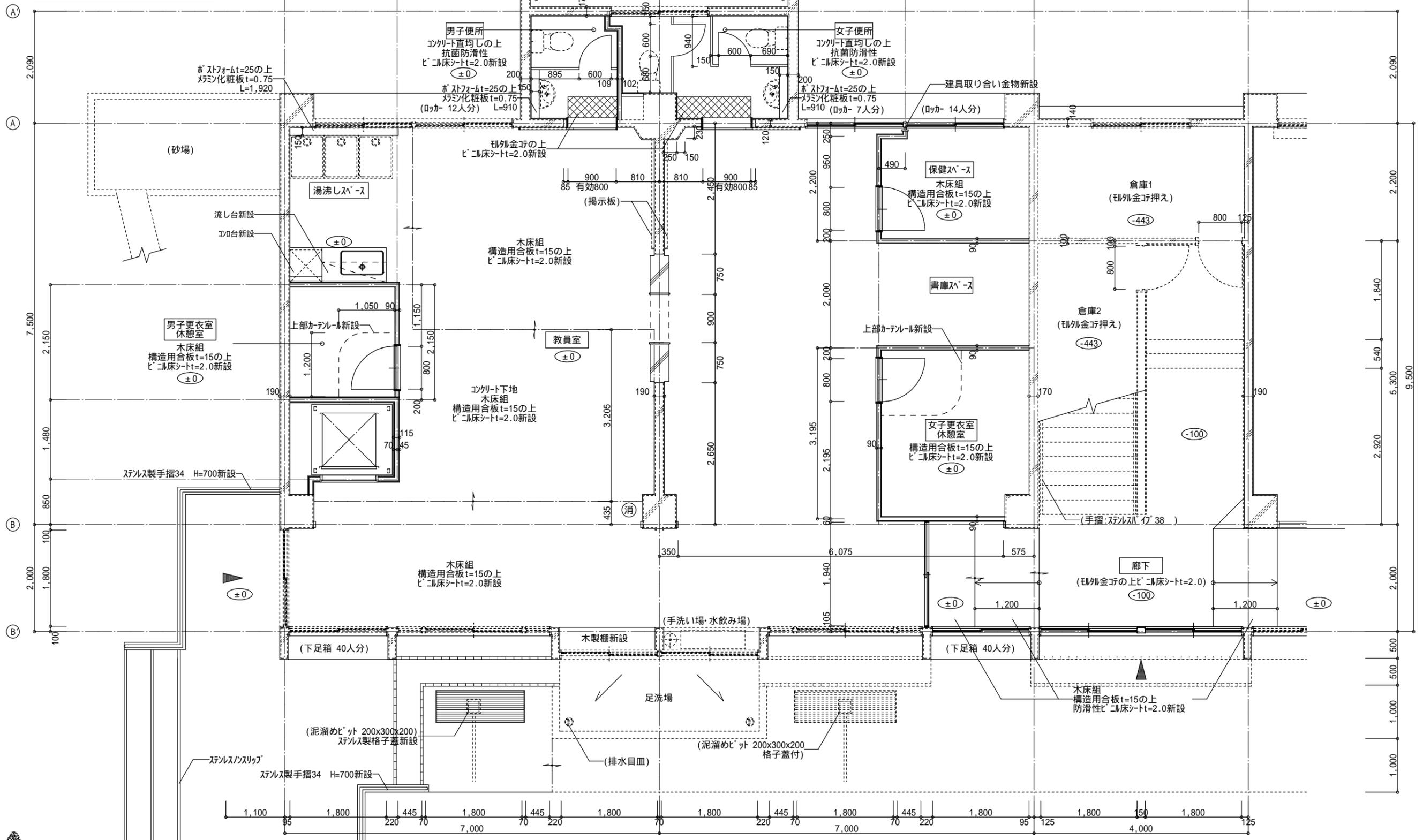
改修前 凡例	
	改修対象室を示す
	撤去部分を示す。
	(項目) 改修対象外部分を示す。
	土間コンクリート撤去範囲を示す。



設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)	A 3版 71%	
			図面名	改修前1階平面詳細図-1(保育室棟)	縮尺	
					1/50	

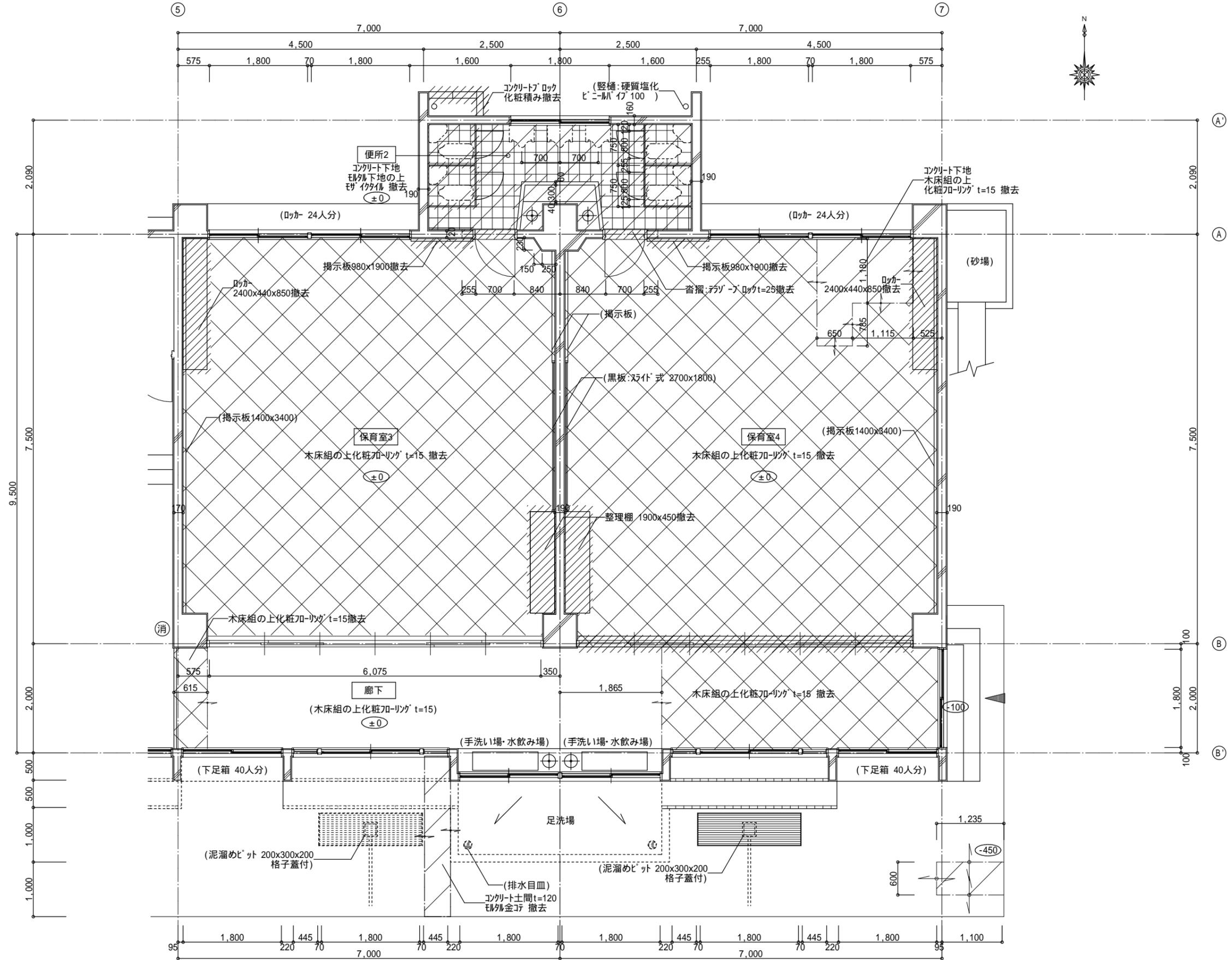
改修後 凡例	
	改修対象室を示す
	既存部分を示す。
	新設部分を示す。
(項目)	改修対象外部分を示す。
	床の色調を変え、スリッパの履き替えゾーンを示す。



設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
			図面名	改修後1階平面詳細図-1(保育室棟)	縮尺	A-28
					1/50	

改修前 凡例	
	改修対象室を示す
	撤去部分を示す。
(項目)	改修対象外部分を示す。
	土間コンクリート撤去範囲を示す。



設計に緑を

記事	

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

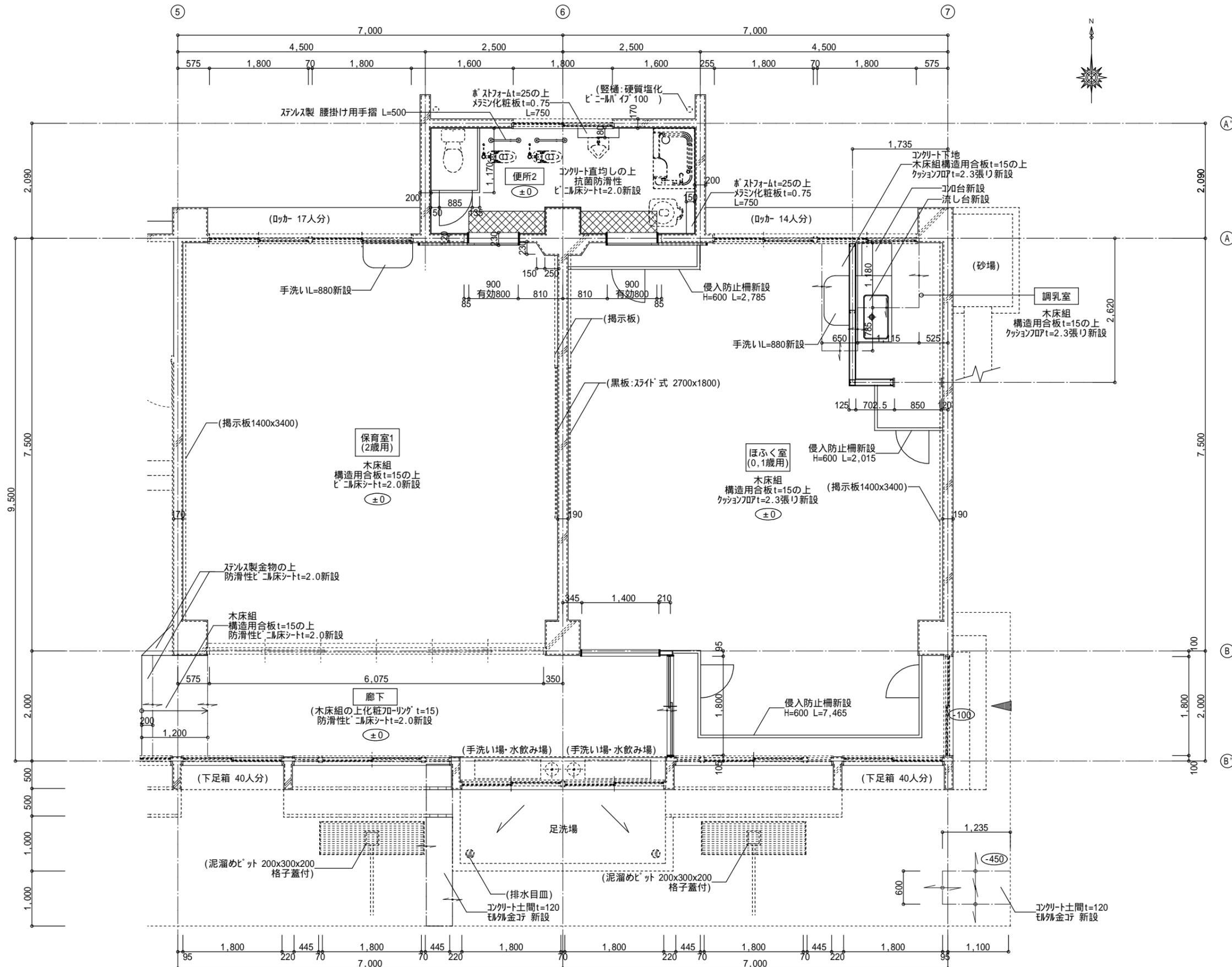
管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名
 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)
 図面名
 改修前1階平面詳細図-2(保育室棟)

A 2版 100%	図面No
A 3版 71%	A-29
縮尺 1/50	

改修後 凡例	
	改修対象室を示す
	既存部分を示す。
	新設部分を示す。
(項目)	改修対象外部分を示す。
	床の色調を変え、スリッパの履き替えゾーンを示す。



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名

改修後1階平面詳細図-2(保育室棟)

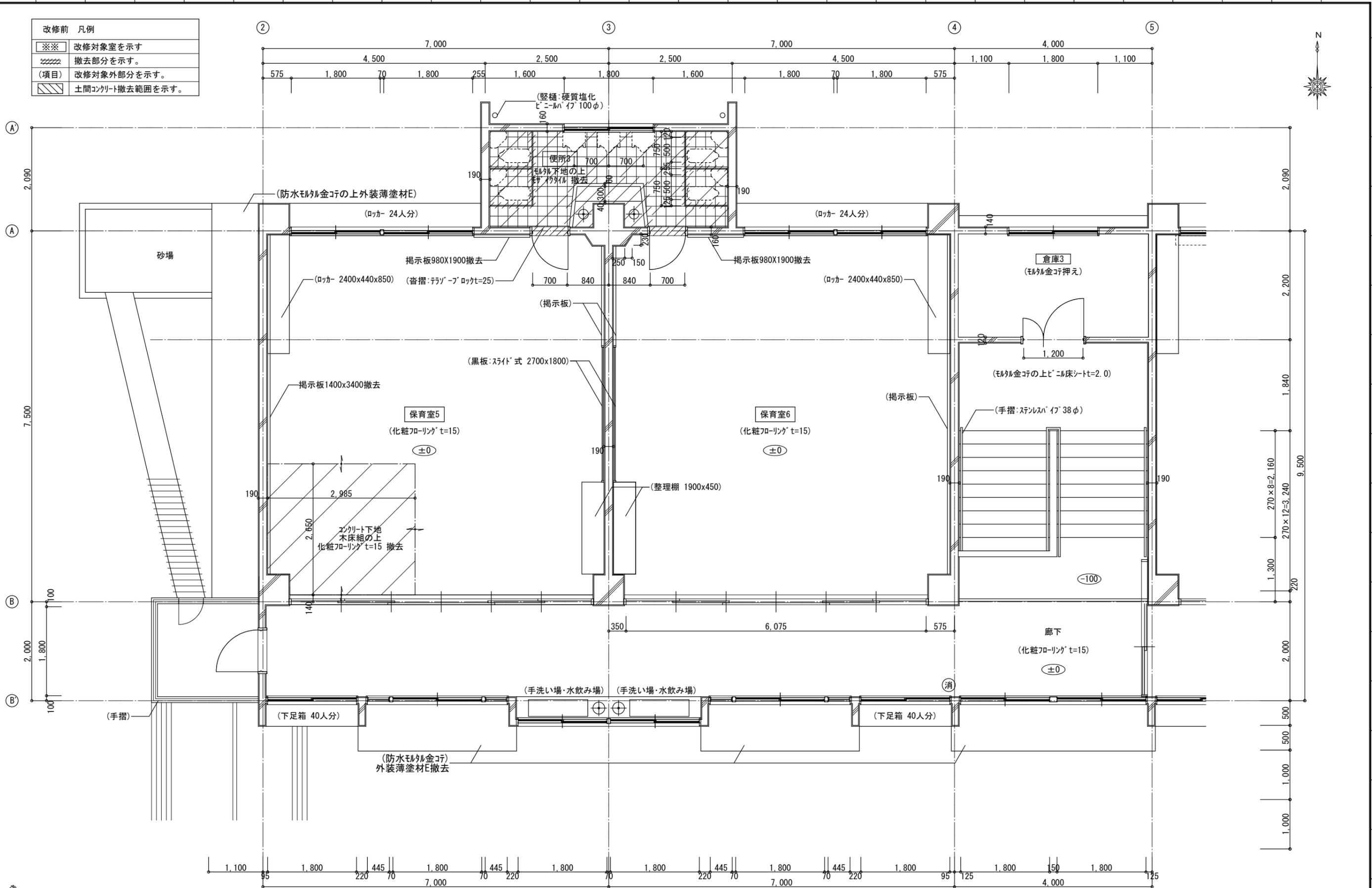
A2版 100%
A3版 71%

縮尺
1/50

図面No

A-30

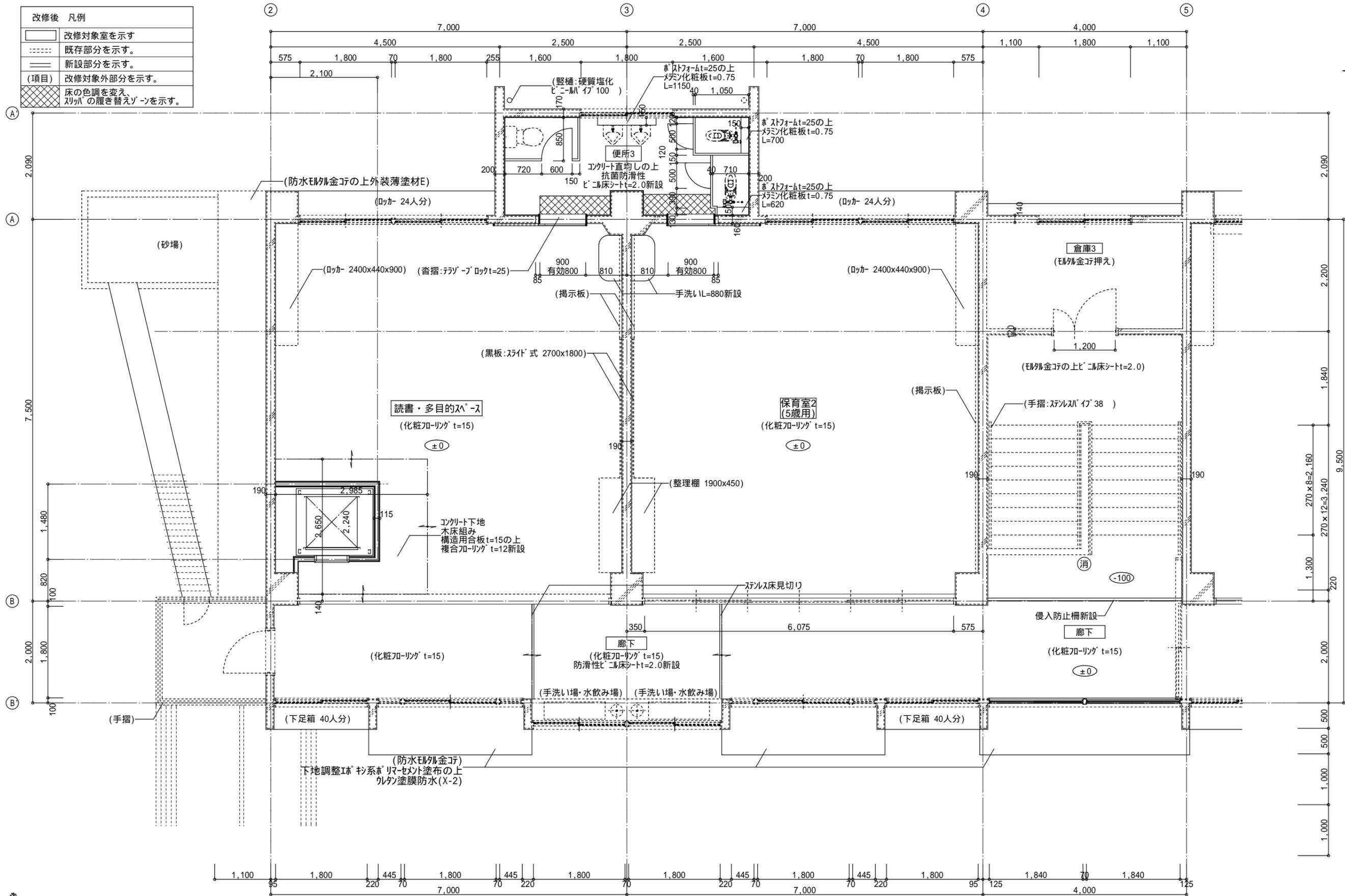
改修前 凡例	
※※	改修対象室を示す
////	撤去部分を示す。
(項目)	改修対象外部分を示す。
	土間コンクリート撤去範囲を示す。



設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)	A 3版 71%	
			図面名	改修前2階平面詳細図-1(保育室棟)	縮尺	A-3 1
					1/50	

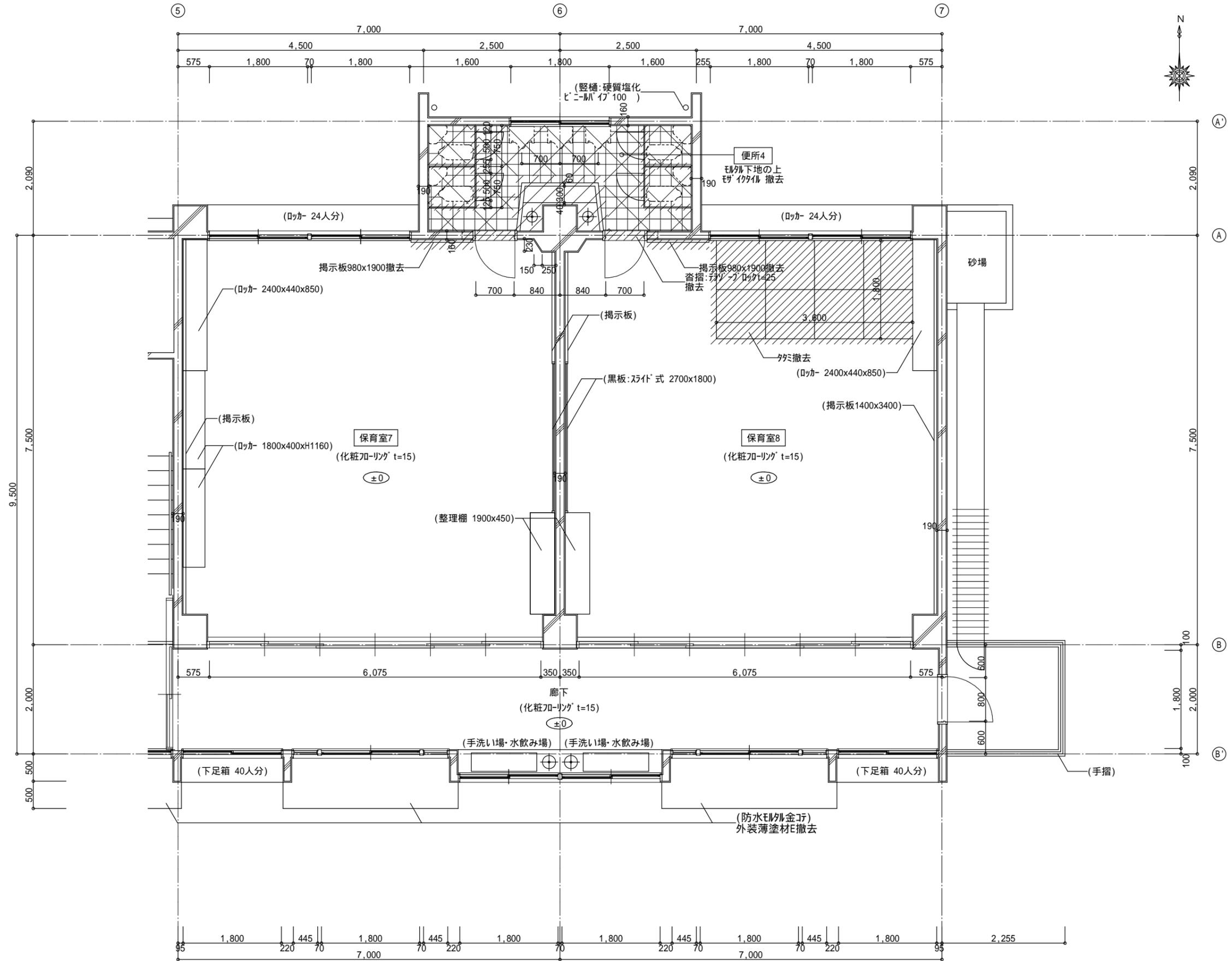
改修後 凡例	
	改修対象室を示す
	既存部分を示す。
	新設部分を示す。
(項目)	改修対象外部分を示す。
	床の色調を変え、スリッパの履き替えゾーンを示す。



設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
			図面名	改修後2階平面詳細図-1(保育室棟)	縮尺	A-32
					1/50	

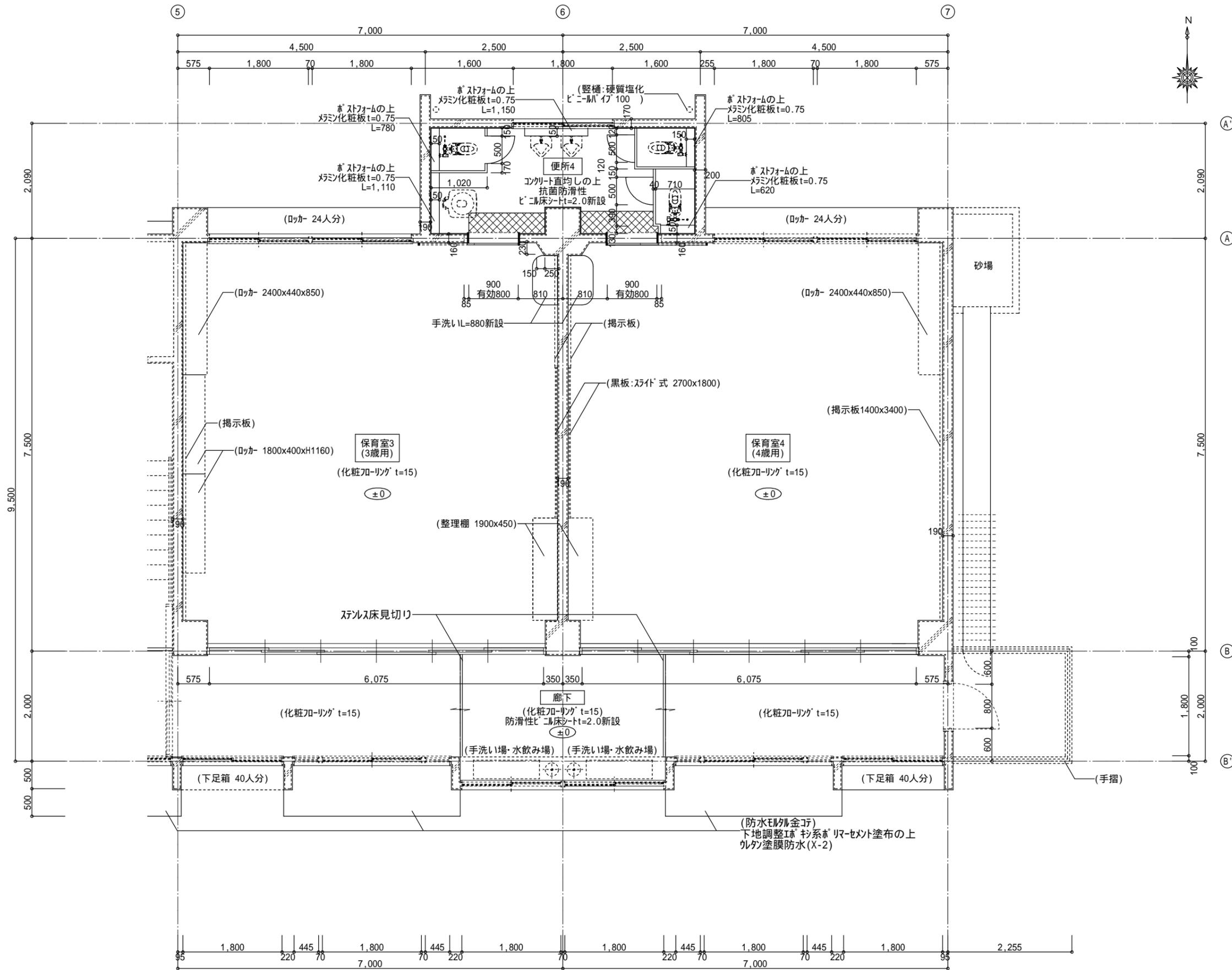
改修前 凡例	
	改修対象室を示す
	撤去部分を示す。
	(項目) 改修対象外部分を示す。
	土間コンクリート撤去範囲を示す。



設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称) 田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
			図面名	改修前2階平面詳細図-2(保育室棟)	縮尺	A-33
					1/50	

改修後 凡例	
	改修対象室を示す
	既存部分を示す。
	新設部分を示す。
(項目)	改修対象外部分を示す。
	床の色調を変え、スリッパの履き替えゾーンを示す。



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名

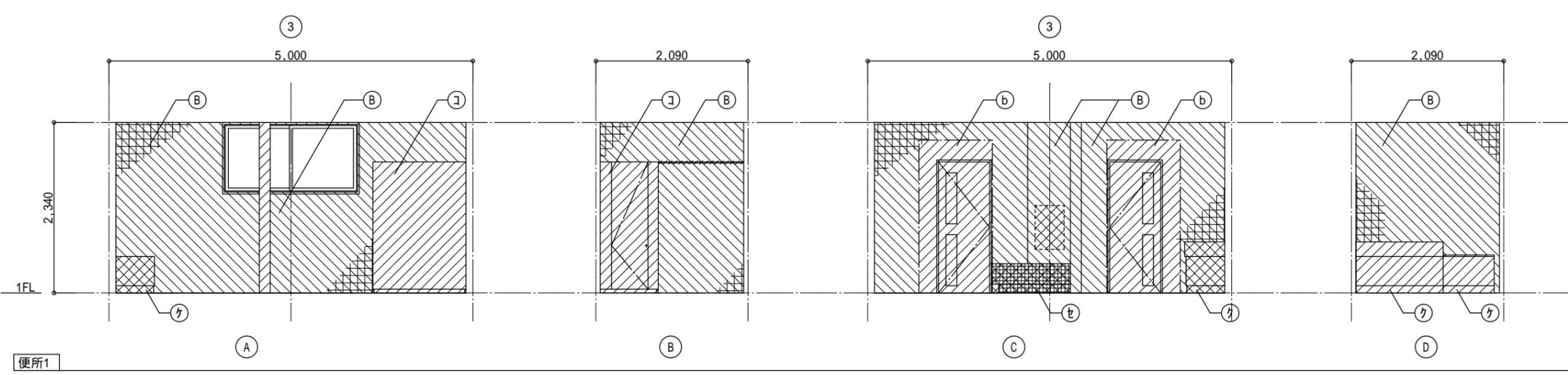
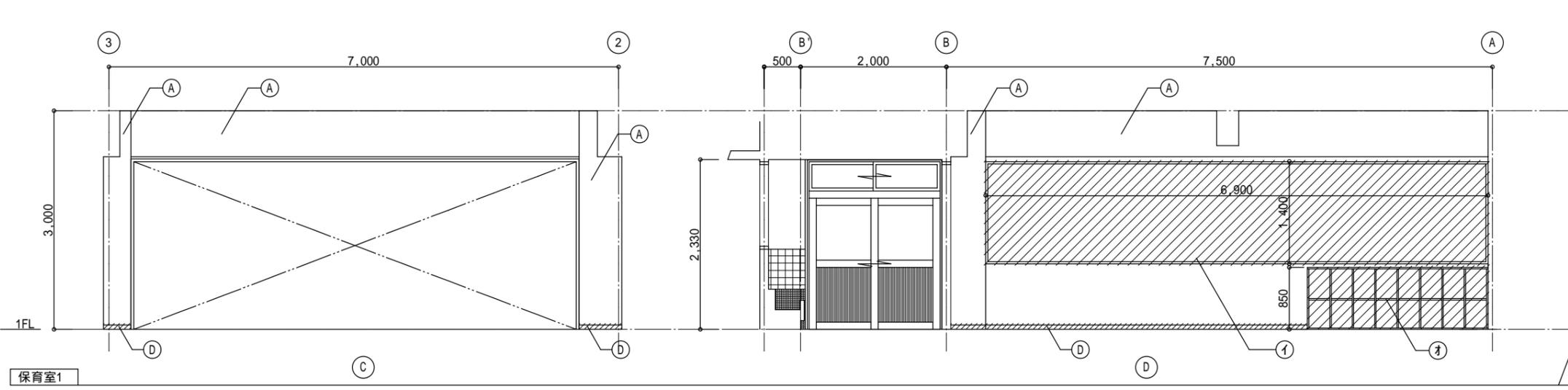
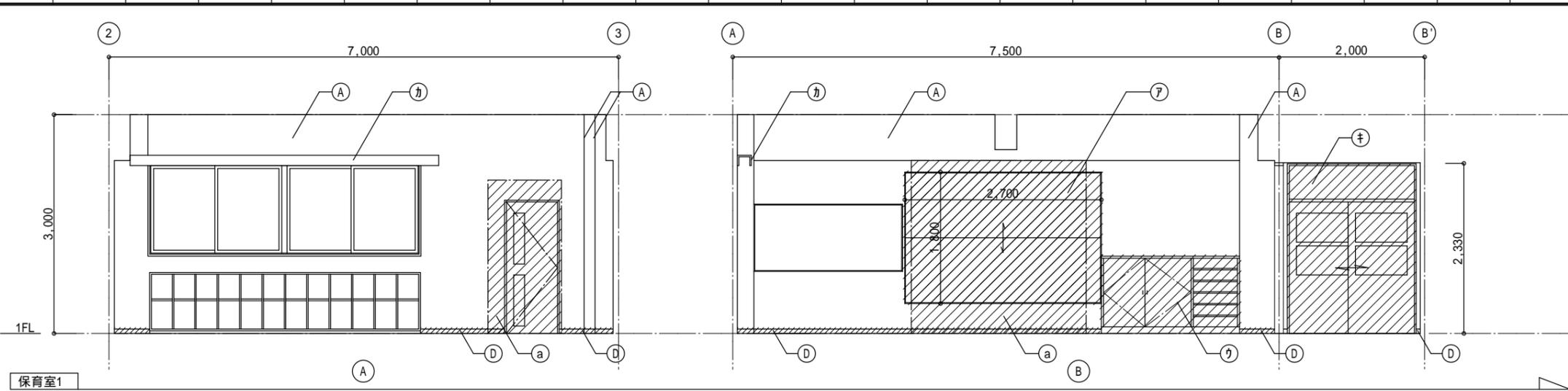
改修後2階平面詳細図-2(保育室棟)

A 2版 100%
A 3版 71%

縮尺
1/50

図面No

A-34



凡例(仕上げ)

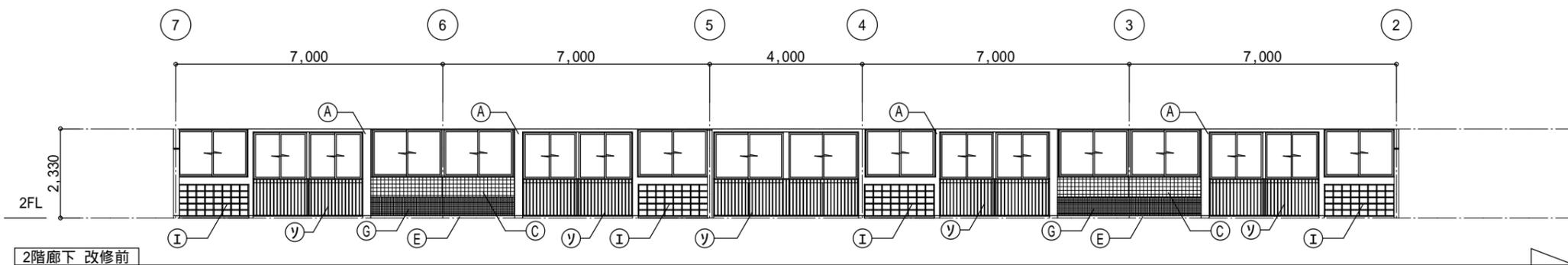
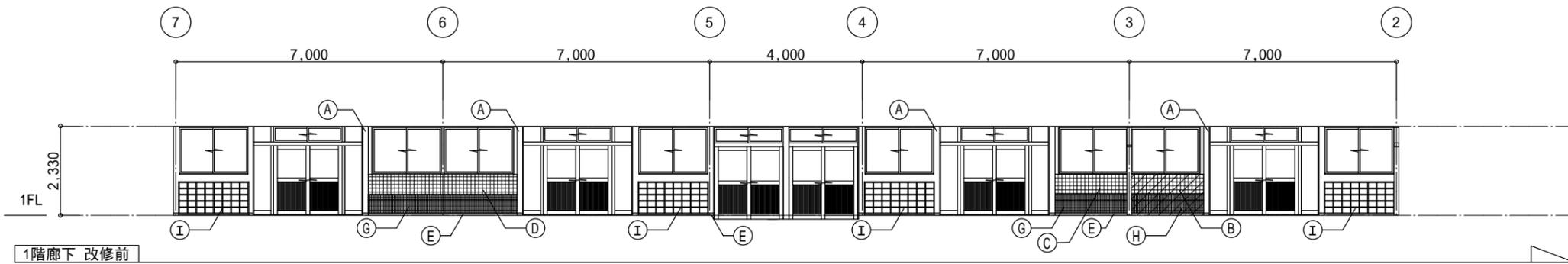
記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
(A)	(珪藻土仕上げ EP)	(F)	ビニル巾木H=60 撤去	(P)	黒板:スライド式 2700x1800 撤去	(カ)	(カーボックス)	(ウ)	吊戸棚 撤去	(ク)	木製手すり H=1,030 W=3,800 手すり 10x60x80 撤去
(B)	珪藻土下地の陶器質100角タイル 撤去	(G)	(モザイクタイル25角)	(イ)	掲示板 撤去	(キ)	木製建具 撤去	(シ)	鏡 撤去	(カ)	コンクリート壁 珪藻土仕上げ EP 撤去
(C)	(珪藻土下地の陶器質100角タイル)	(H)	モザイクタイル25角 撤去	(ク)	木製棚 1900x450x1060 撤去	(ケ)	流し台 L=1200,H=700 撤去	(ス)	便器 撤去	(キ)	コンクリート壁 珪藻土下地の陶器質100角タイル 撤去
(D)	木製巾木H=60 撤去	(K)	モルタル補修	(コ)	(下足箱)	(ケ)	コンロ台 600x550x620 撤去	(セ)	洗面台 撤去	(チ)	(木製手すり H=1,030 W=3,800 手すり 10x60x80)
(E)	(木製巾木H=60)			(ク)	ロッカ 2400x440x850 撤去	(コ)	トイレノブ 撤去	(ソ)			

設計に緑を

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日
 工事名 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)
 図面名 改修前展開図-1
 A 2版 100%
 A 3版 71%
 縮尺 S=1:50
 図面No A-35



凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
Ⓐ	(珪藻土仕上げ EP)	Ⓕ	ビニル巾木H=60 撤去	Ⓗ	黒板:スライド式 2700x1800 撤去	Ⓚ	(カーボン ックス)	Ⓝ	吊戸棚 撤去	Ⓣ	木製手すり H=1,030 W=3,800 手すり 10x60x80 撤去
Ⓑ	珪藻土下地の陶器質100角タイル 撤去	Ⓖ	(珪イタイル25角)	Ⓘ	掲示板 撤去	Ⓛ	木製建具 撤去	Ⓞ	鏡 撤去	Ⓤ	コンクリート壁 珪藻土仕上げ EP 撤去
Ⓒ	(珪藻土下地の陶器質100角タイル)	Ⓖ	珪イタイル25角 撤去	Ⓚ	木製棚 1900x450x1060 撤去	Ⓜ	流し台 L=1200,H=700 撤去	Ⓟ	便器 撤去	ⓖ	コンクリート壁 珪藻土下地の陶器質100角タイル 撤去
Ⓓ	木製巾木H=60 撤去	Ⓚ	モルタル補修	Ⓛ	(下足箱)	Ⓨ	コンロ台 600x550x620 撤去	Ⓡ	洗面台 撤去		
Ⓔ	(木製巾木H=60)			Ⓛ	ロッカ- 2400x440x850 撤去	Ⓩ	トイレ-ス 撤去	Ⓢ	(木製手すり H=1,030 W=3,800 手すり 10x60x80)		



設計に緑を

記事	



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名

改修前展開図-2

A 2版 100%

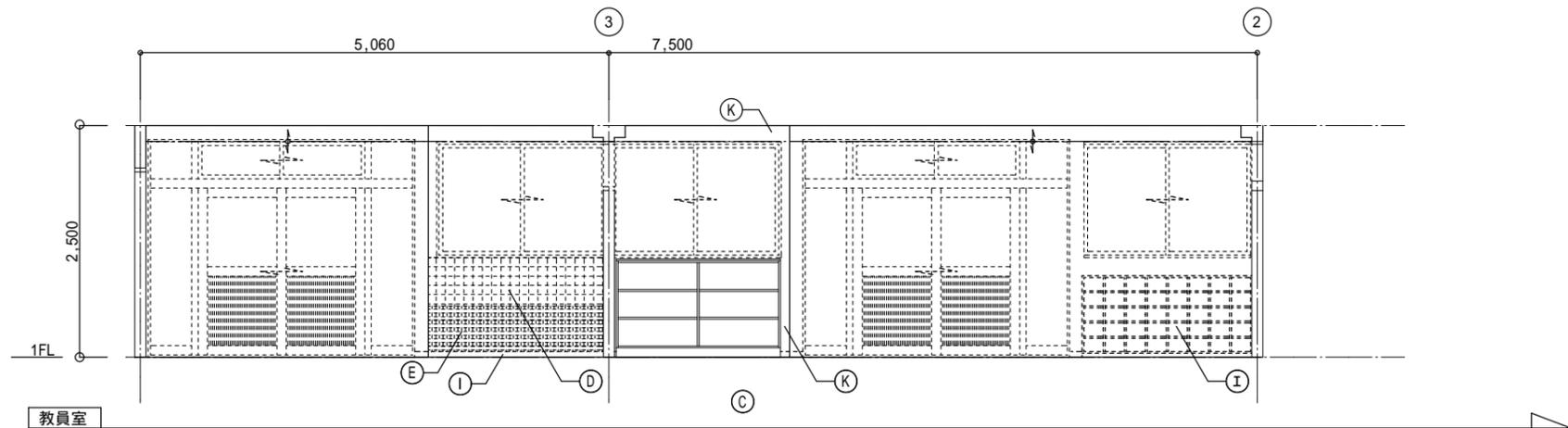
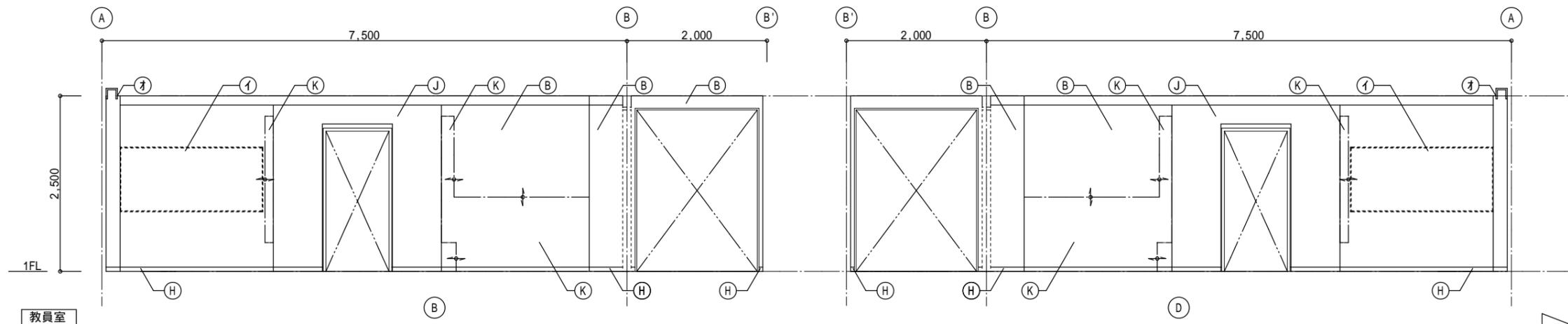
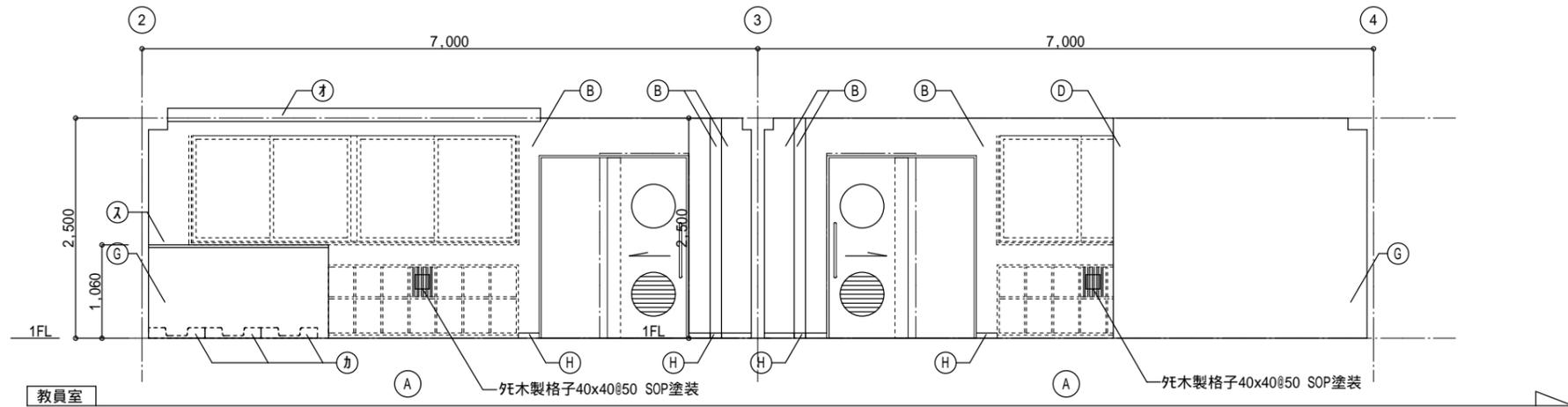
A 3版 71%

縮尺

S=1:100

図面No

A-36



凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
(A)	(珪藻土仕上げ EP)	(F)	コンクリート打放の上 耐水石膏ボード t=12.5(GL工法) EP-G 新設	(K)	珪藻土補修の上EP塗装 新設	(7)	侵入防止柵 新設	(カ)	洗濯パン(設備工事)	(サ)	レールカーテン 新設
(B)	(珪藻土仕上げ EP) EP塗替	(G)	軽鉄壁下地W=65の上 耐水石膏ボード t=12.5 EP-G 新設	(L)	(珪藻土下地の上 陶器質100角タイル)	(イ)	(掲示板)	(キ)	木製額縁 25x45 SOP塗装 新設	(シ)	(黒板:スライド式 2700x1800)
(C)	(珪藻土仕上げ EP) EP-G	(H)	ビニル巾木H=60 新設	(M)	(モザイクタイル25角)	(ク)	トイレマス 新設	(ク)	流し台 新設	(ス)	カーナビック 新設
(D)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5 EP 新設	(I)	(木製巾木H=60)			(コ)	(下足箱)	(ケ)	コンロ 新設	(セ)	(木製棚 1900x450x1060)
(E)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5+12.5 EP 新設	(J)	コンクリート打放仕上げ EP 新設			(カ)	カーテンボックス 新設	(ク)	流し台L=900 新設	(ソ)	(ロッカー 2400x440x850)



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

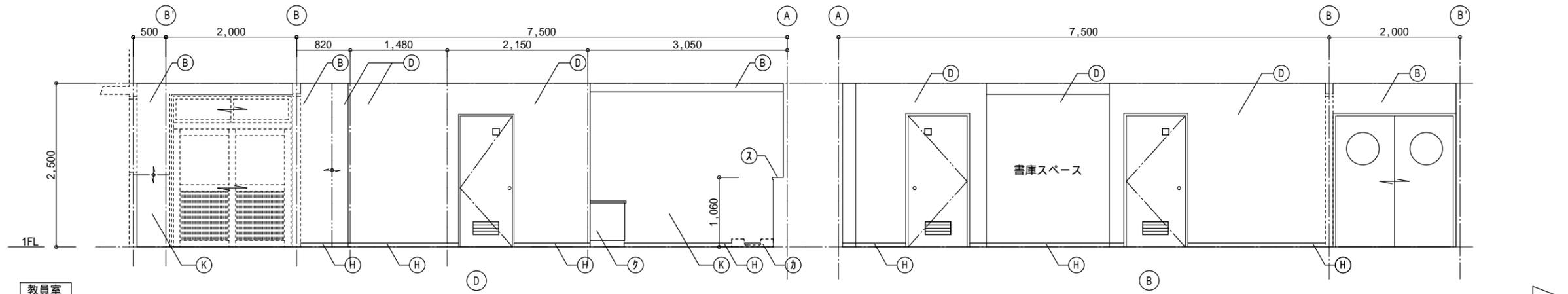
設計年月日

工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

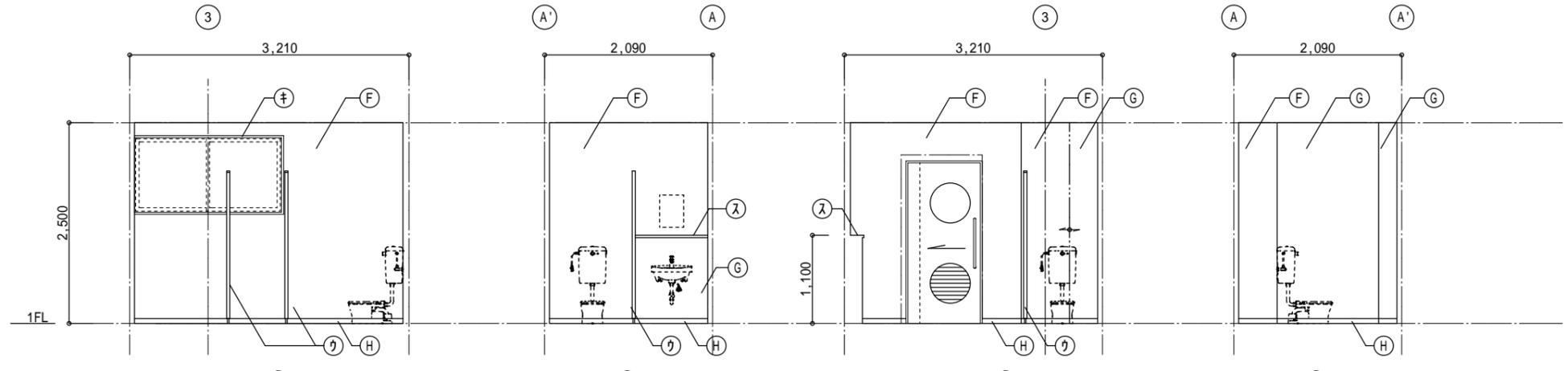
図面名
改修後展開図-1

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
S=1:50

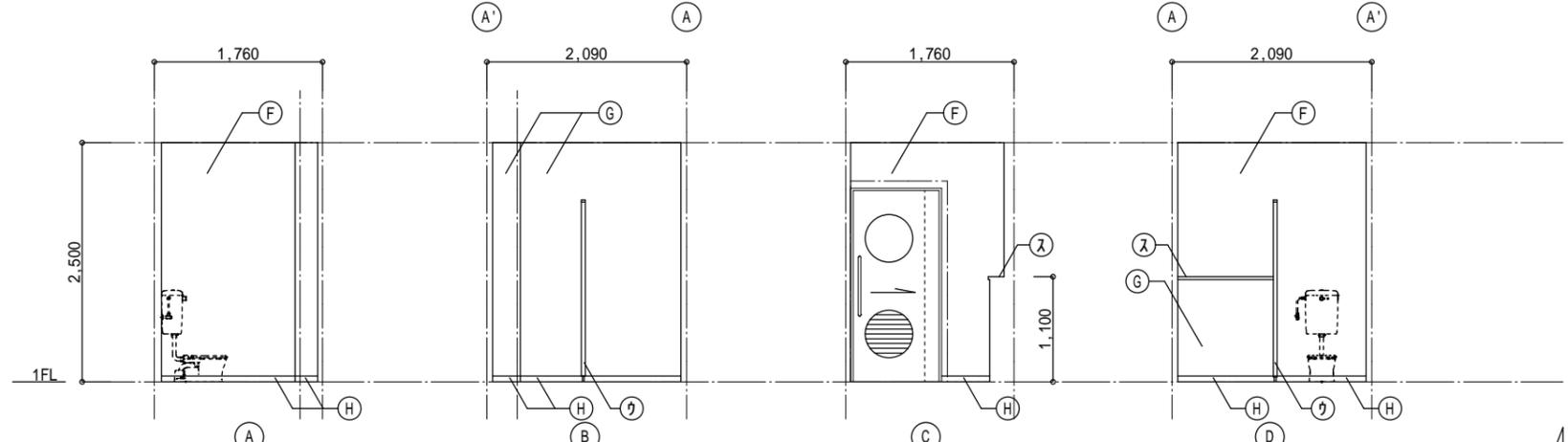
図面No
A-37



教員室



女子便所



男子便所

凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
(A)	(珪藻土仕上げ EP)	(F)	コンクリート打放の上 耐水石膏ボード t=12.5(GL工法) EP-G 新設	(K)	珪藻土補修の上EP塗装 新設	(7)	侵入防止柵 新設	(カ)	洗濯パン(設備工事)	(サ)	レールカーテン 新設
(B)	(珪藻土仕上げ EP) EP塗替	(G)	軽鉄壁下地W=65の上 耐水石膏ボード t=12.5 EP-G 新設	(L)	(珪藻土下地の上 陶器質100角タイル)	(イ)	(掲示板)	(キ)	木製額縁 25x45 SOP塗装 新設	(シ)	(黒板:スライド式 2700x1800)
(C)	(珪藻土仕上げ EP-G)	(H)	ビニル巾木H=60 新設	(M)	(モザイクタイル25角)	(ク)	トイレマス 新設	(ク)	流し台 新設	(ス)	カーナビック 新設
(D)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5 新設	(I)	(木製巾木H=60)			(コ)	(下足箱)	(ケ)	コソ台 新設	(セ)	(木製柵 1900x450x1060)
(E)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5+12.5 EP 新設	(J)	コンクリート打放仕上げ EP 新設			(カ)	カーテンボックス 新設	(コ)	流し台L=900 新設	(ソ)	(ロッカー 2400x440x850)



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

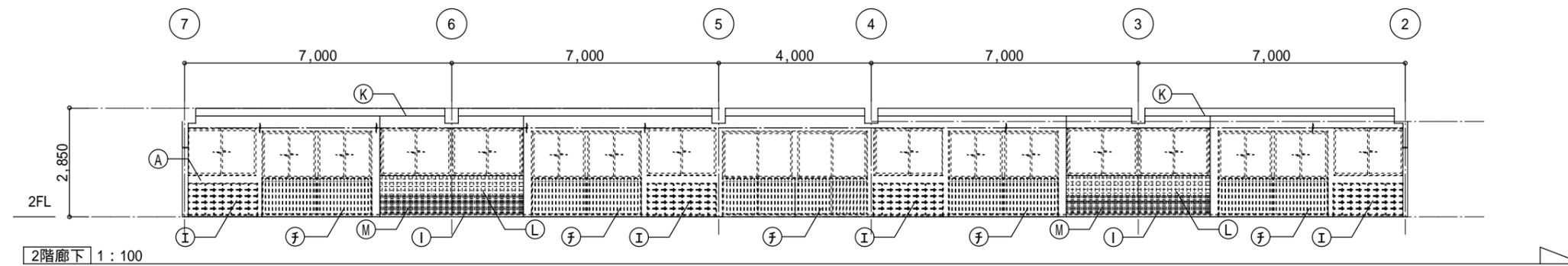
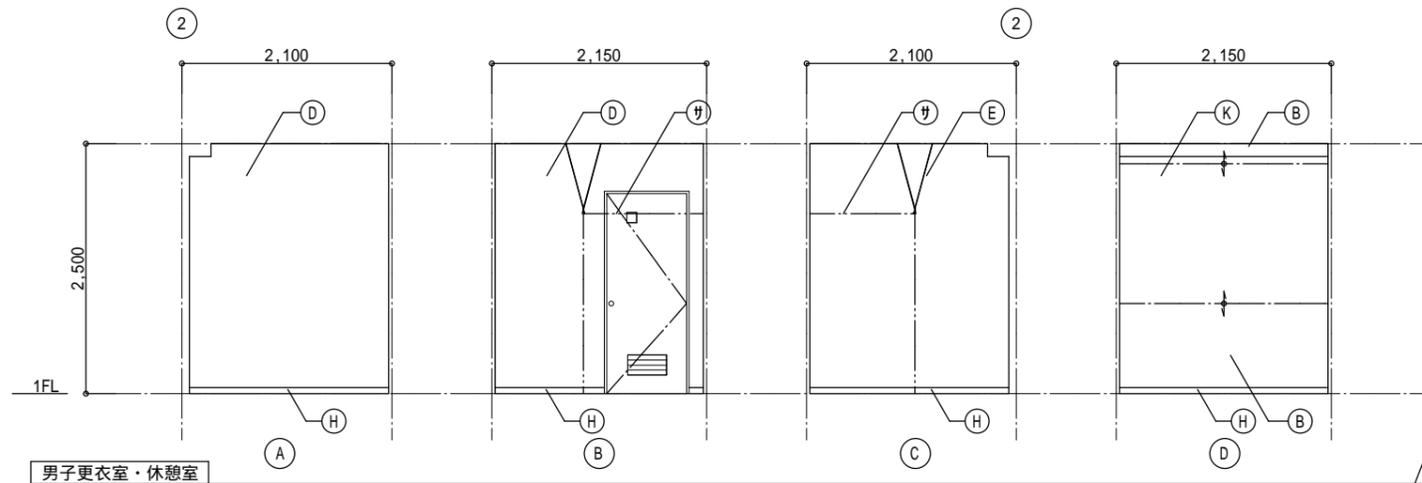
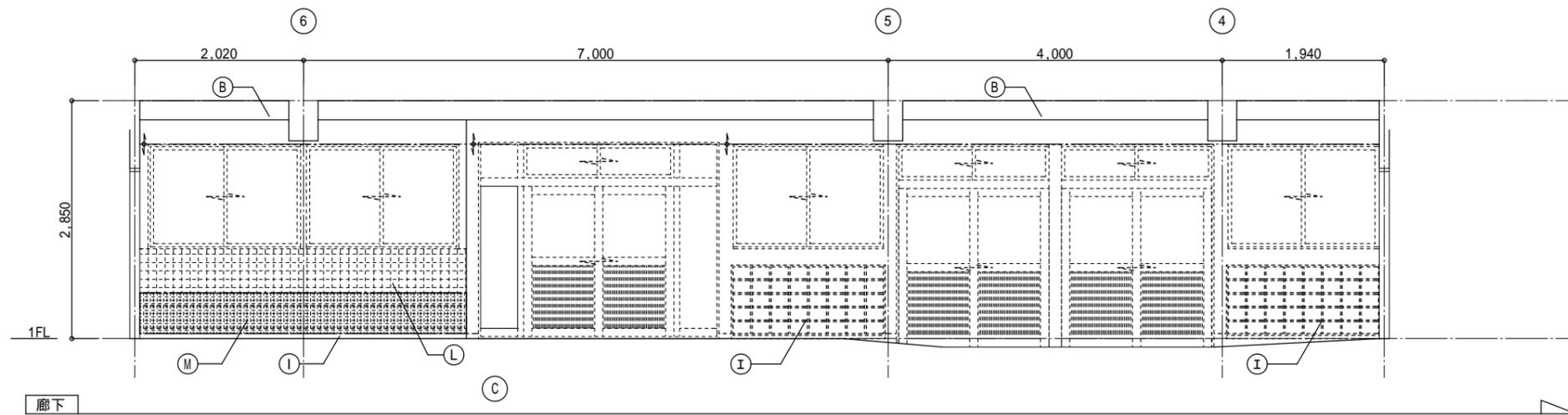
管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名
改修後展開図-2

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
S=1:50
図面No
A-38



凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
(A)	(珪藻土仕上げ EP)	(F)	コンクリート打放の上 耐水石膏ボード t=12.5(GL工法) EP-G 新設	(K)	珪藻土補修の上EP塗装 新設	(7)	侵入防止柵 新設	(カ)	洗濯パン(設備工事)	(サ)	レールカーテン 新設
(B)	(珪藻土仕上げ EP) EP塗替	(G)	軽鉄壁下地W=65の上 耐水石膏ボード t=12.5 EP-G 新設	(L)	(珪藻土下地の上 陶器質100角タイル)	(イ)	(掲示板)	(キ)	木製額縁 25x45 SOP塗装 新設	(シ)	(黒板:スライド式 2700x1800)
(C)	(珪藻土仕上げ EP) EP-G	(H)	ビニル巾木H=60 新設	(M)	(モザイクタイル25角)	(ク)	トイレマス 新設	(ク)	流し台 新設	(ス)	カーテンック 新設
(D)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5 EP 新設	(I)	(木製巾木H=60)			(コ)	(下足箱)	(ケ)	コンロ 新設	(セ)	(木製棚 1900x450x1060)
(E)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5+12.5 EP 新設	(J)	コンクリート打放仕上 EP 新設			(カ)	カーテンボックス 新設	(ク)	流し台L=900 新設	(ソ)	(ロッカー 2400x440x850)



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

A 2版 100%
A 3版 71%

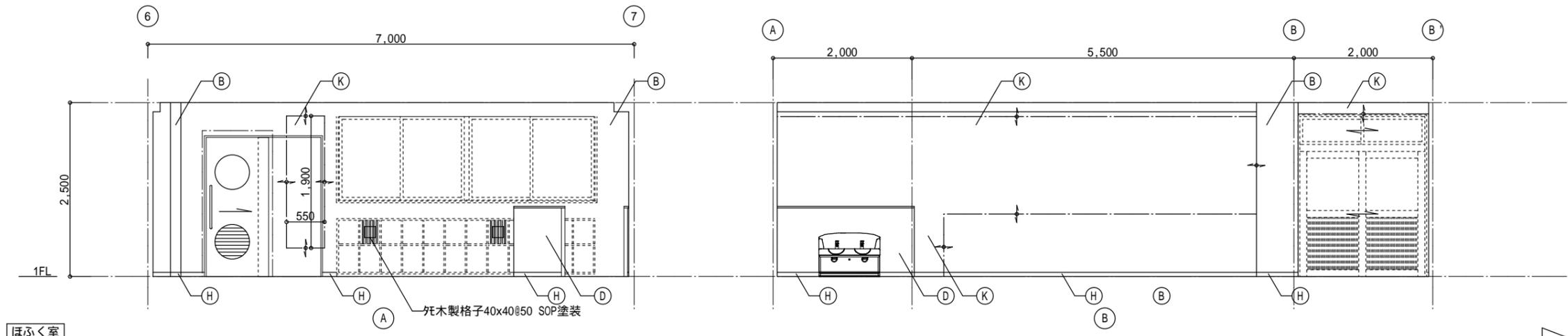
図面No

図面名

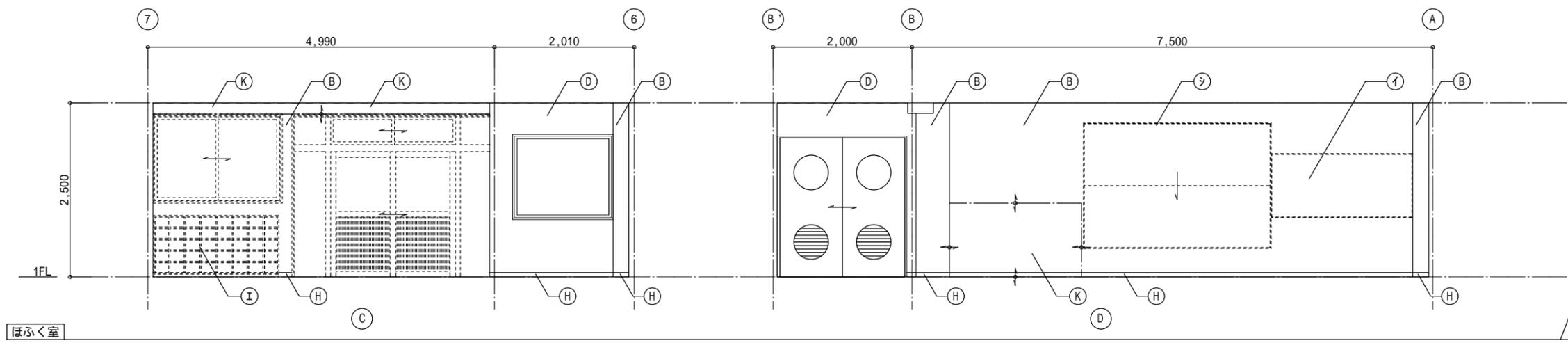
改修後展開図-3

縮尺
S=1:50、100

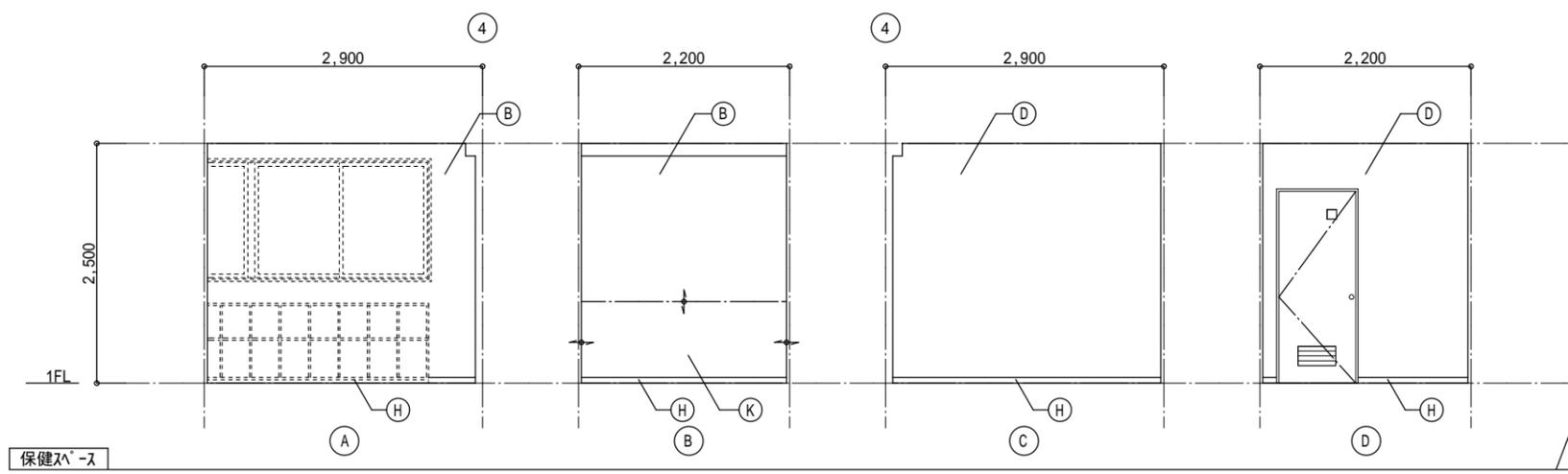
A-39



ほふく室



ほふく室



保健スペース

凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
(A)	(珪藻土仕上げ EP)	(F)	コンクリート打放の上 耐水石膏ボード t=12.5 (GL工法) EP-G 新設	(K)	珪藻土補修の上EP塗装 新設	(7)	侵入防止柵 新設	(カ)	洗濯バケツ 新設	(サ)	レールカーテン 新設
(B)	(珪藻土仕上げ EP) EP塗替	(G)	軽鉄壁下地W=65の上 耐水石膏ボード t=12.5 EP-G 新設	(L)	(珪藻土下地の上 陶器質100角タイル)	(イ)	(掲示板)	(キ)	木製額縁 25x45 SOP塗装 新設	(シ)	(黒板:スライド式 2700x1800)
(C)	(珪藻土仕上げ EP) EP-G	(H)	ビニル巾木H=60 新設	(M)	(モザイクタイル25角)	(ク)	トイレマス 新設	(ク)	流し台 新設	(ス)	カーナビック 新設
(D)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5 EP 新設	(I)	(木製巾木H=60)			(コ)	(下足箱)	(ケ)	コト台 新設	(セ)	(木製棚 1900x450x1060)
(E)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5+12.5 EP 新設	(J)	コンクリート打放仕上 EP 新設			(カ)	カーテンボックス 新設	(コ)	流し台L=900 新設	(ソ)	(ロッカー 2400x440x850)



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

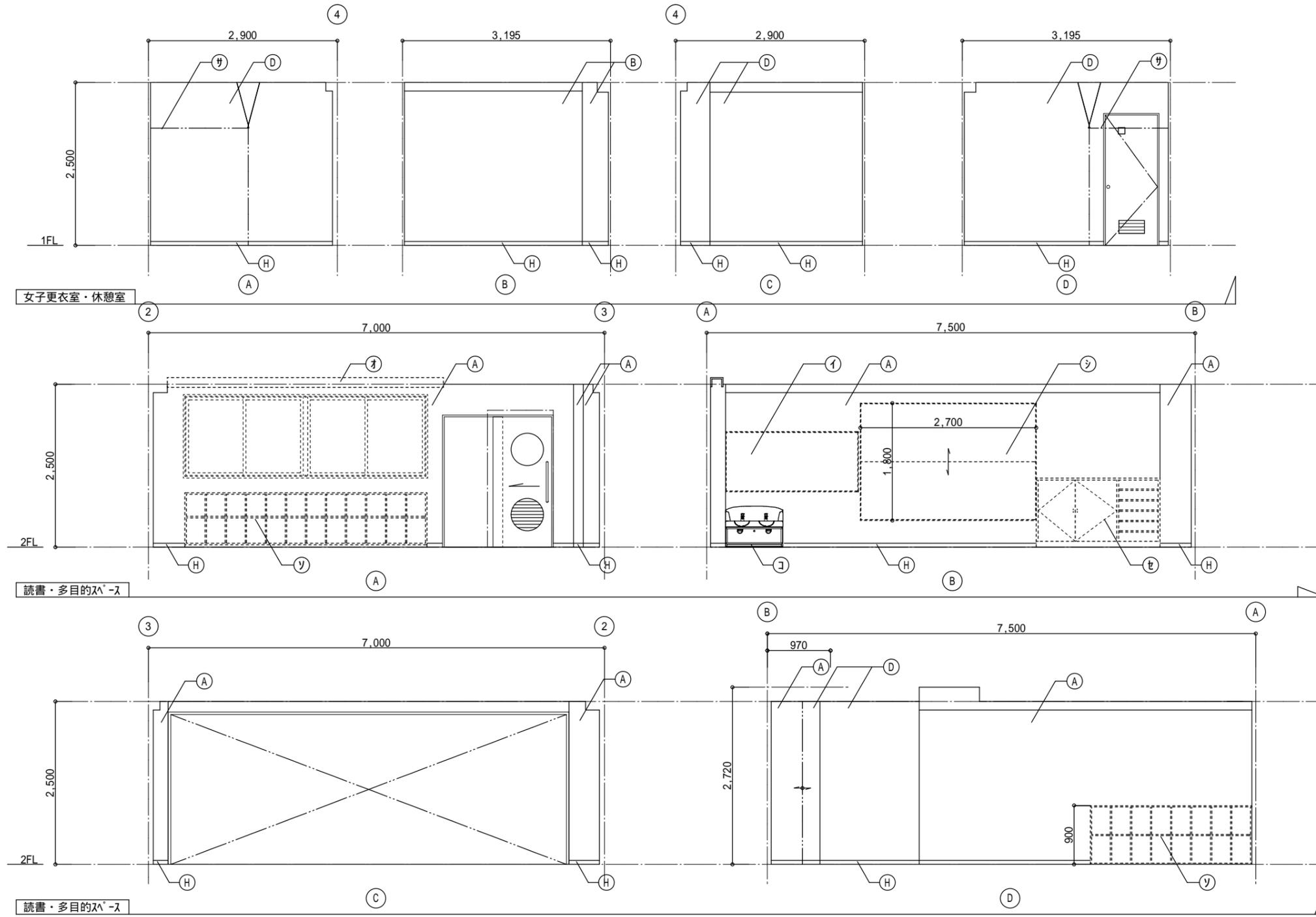
設計年月日

工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名
改修後展開図-4

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
S=1:50

図面No
A-40



凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上		
(A)	(珪藻土仕上げ EP)	(F)	コンクリート打放の上 耐水石膏ボード t=12.5(GL工法) EP-G 新設	(K)	珪藻土補修の上EP塗装 新設	(7)	侵入防止柵 新設	(カ)	洗濯パン 新設	(サ)	レールカーテン 新設	(7)	木製手すり H=1,030 W=3,800 手すり 10×60@80 新設
(B)	(珪藻土仕上げ EP) EP塗替	(G)	軽鉄壁下地W=65の上 耐水石膏ボード t=12.5 EP-G 新設	(L)	(珪藻土下地の上 陶器質100角タイル)	(イ)	(掲示板)	(キ)	木製額縁 25x45 SOP塗装 新設	(シ)	(黒板:スライド式 2700x1800)	(a)	防煙垂れ壁H=650を示す。
(C)	(珪藻土仕上げ EP-G)	(H)	ビニル巾木H=60 新設	(M)	(モザイクタイル25角)	(ウ)	トイレノブ 新設	(ク)	流し台 新設	(ス)	カーナビック 新設	(b)	防煙垂れ壁H=500を示す。
(D)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5 EP 新設	(I)	(木製巾木H=60)			(エ)	(下足箱)	(ケ)	コン台 新設	(セ)	(木製柵 1900x450x1060)		
(E)	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5+12.5 EP 新設	(J)	コンクリート打放仕上げ EP 新設			(オ)	カーテンボックス 新設	(コ)	流し台L=900 新設	(ソ)	(ロッカー 2400x440x850)		



設計に緑を

株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

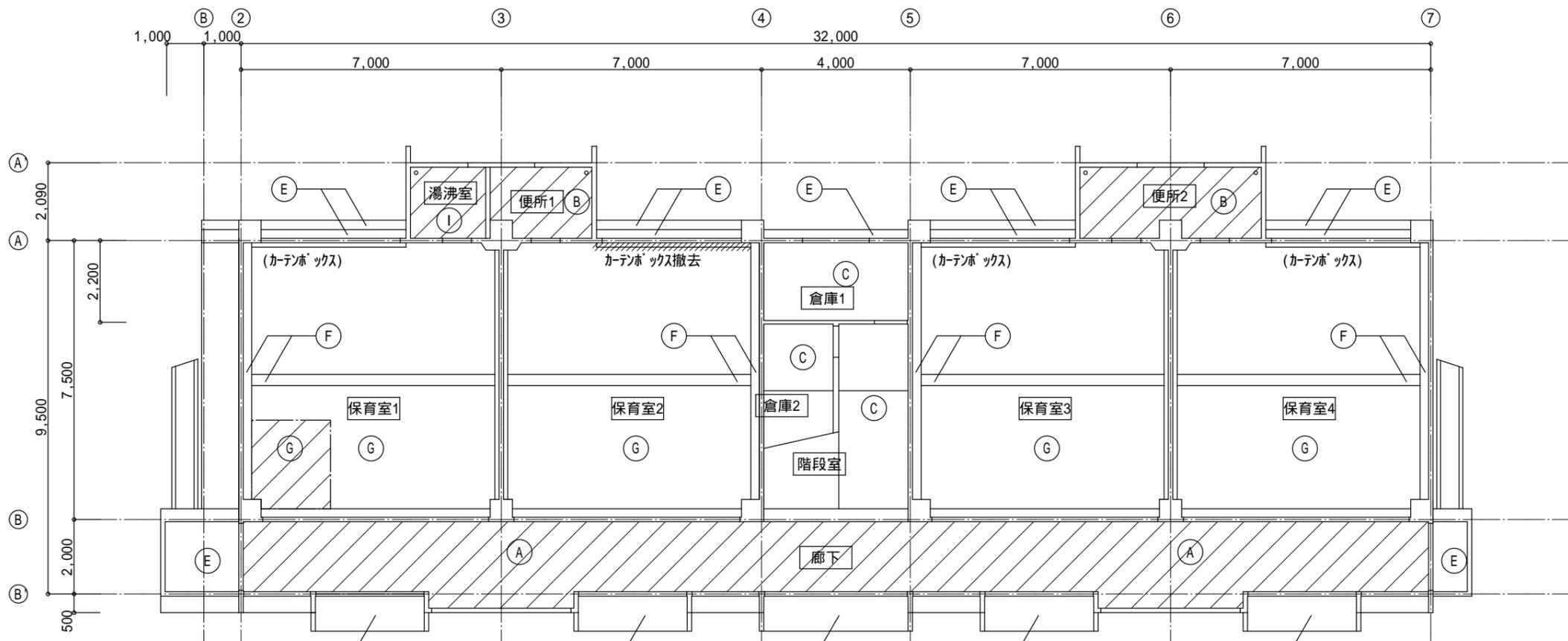
管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

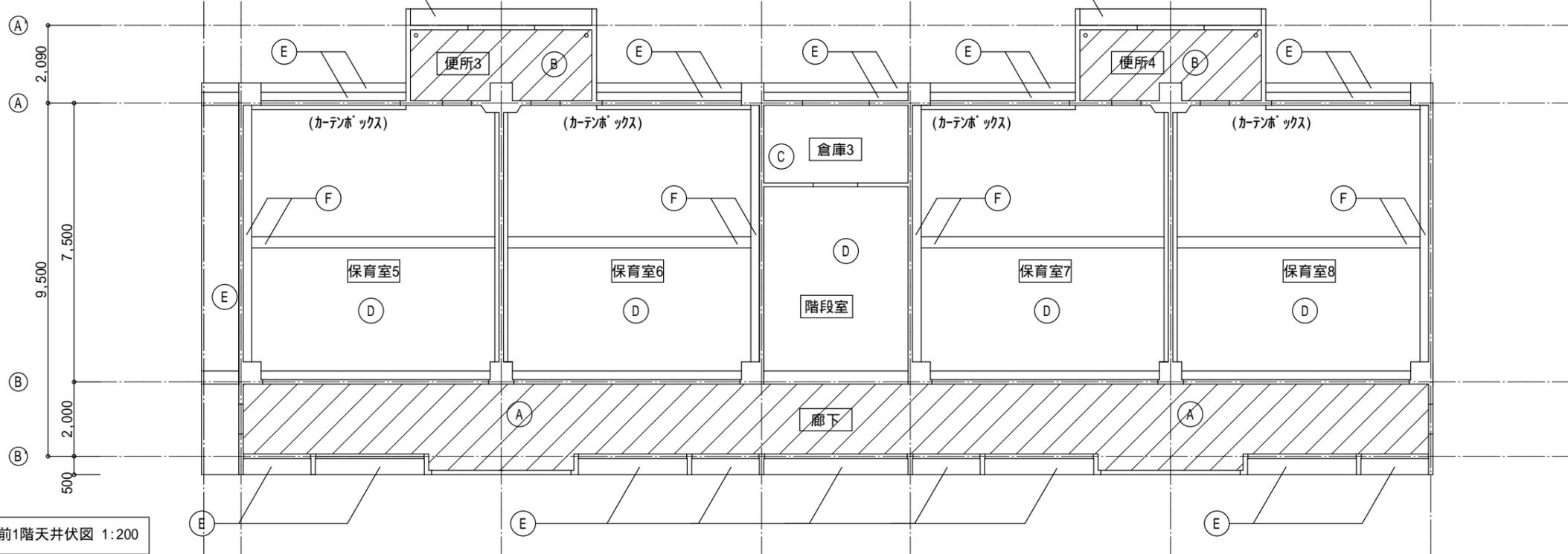
工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名
改修後展開図-5

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
S=1:50
図面No
A-41



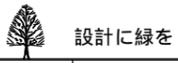
改修前1階天井伏図 1:200



改修前1階天井伏図 1:200

改修前 凡例

	天井撤去部分を示す。
(A)	石膏ボード t=9.0 VP撤去
(B)	ルキア跡 t=4.0【L3】撤去
(C)	(コンクリート打放し EP)
(D)	(スタイフォーム打込 EP)
(E)	(珪藻土金網の上 外装塗装材E)
(F)	(珪藻土金網の上 EP)
(G)	(コンクリート打放し 外装薄塗材E)
(H)	コンクリート打放し 外装薄塗材E 撤去
(I)	ケイ酸カルシウム板 t=6.0撤去

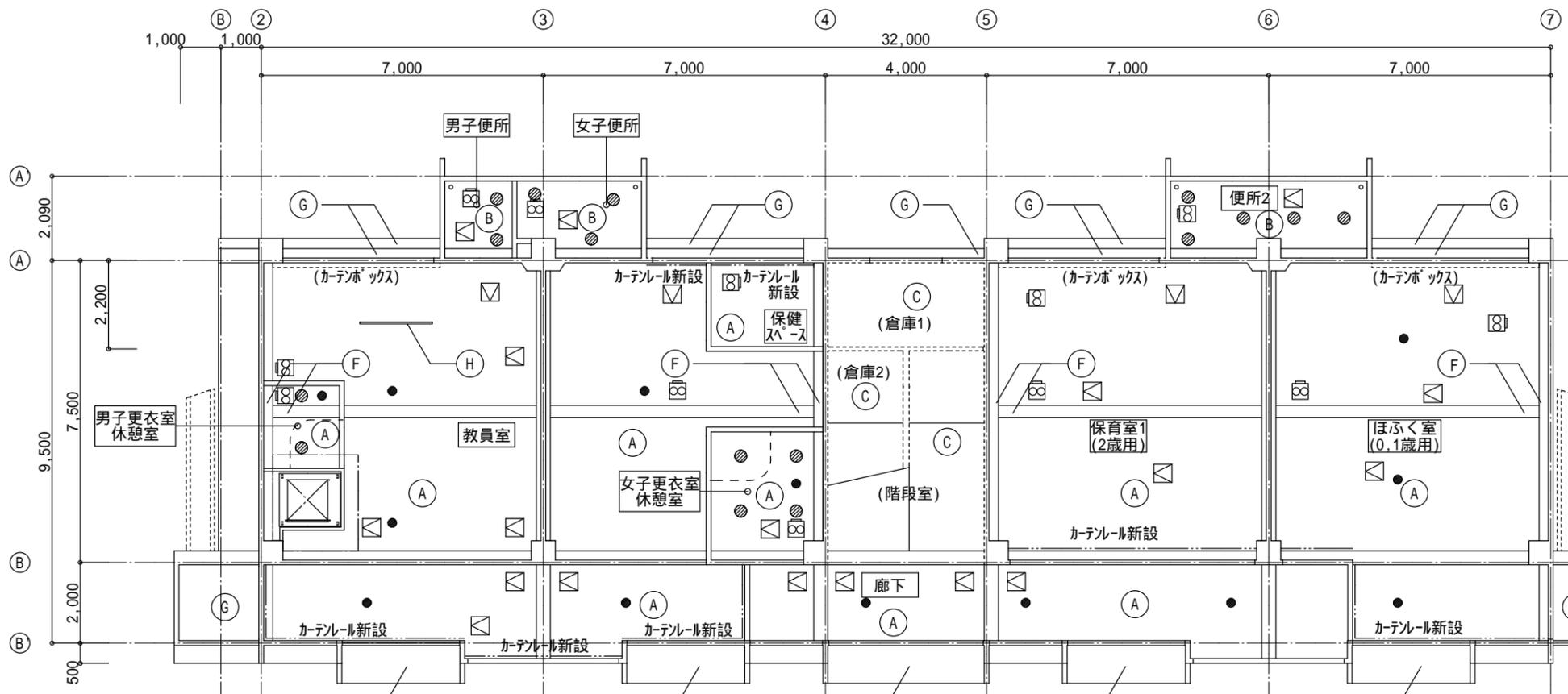


記事

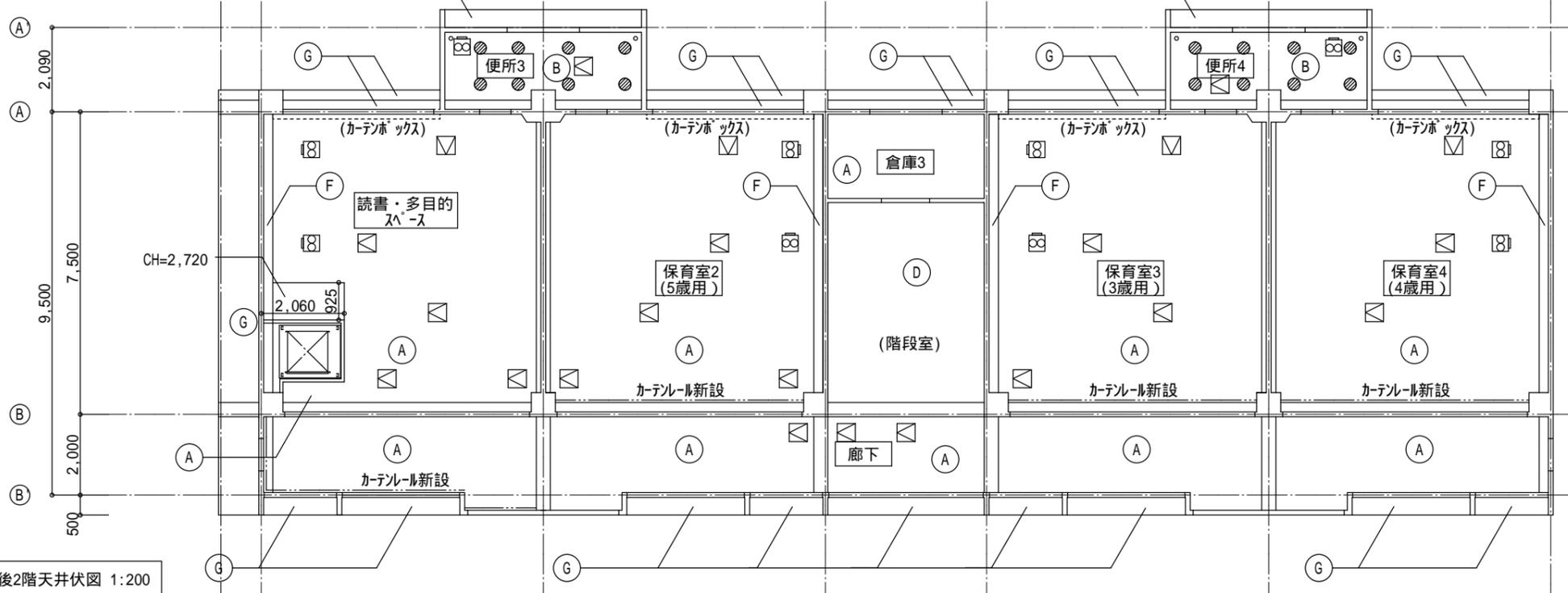
株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日	工事名 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 2版 100%	図面No
	図面名 改修前天井伏図(保育室棟)	A 3版 71%	A-42
		縮尺 1/200	



改修後1階天井伏図 1:200



改修後2階天井伏図 1:200

記号	名称	開口寸法
●	ダウンライト	150
●	非常灯	100
□	天井点検口	450x450

機器メーカー開口寸法確認の事。

記号	名称	開口寸法
⊠	天井扇	300×300

改修後 凡例

(A)	化粧石膏ボード t=9.5 新設
(B)	ケイ酸カルシウム板 t=6 EP-G新設
(C)	(コンクリート打放し EP)
(D)	(スタイロフォーム打込 EP)
(E)	(珪藻土金網の上 外装塗装材E)
(F)	(珪藻土金網の上 EP) EP塗替
(G)	(珪藻土刷毛引の上外装薄塗材E【L3】) 水洗いの上外装薄塗材E吹付替
(H)	ステンレス製物干しポール-34 L=1,800
カーテンボックス新設はステンレスカーテンル(シングル)共とする。	



設計に緑を

記事	
----	--

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名

改修後天井伏図(保育室棟)

A 2版 100%

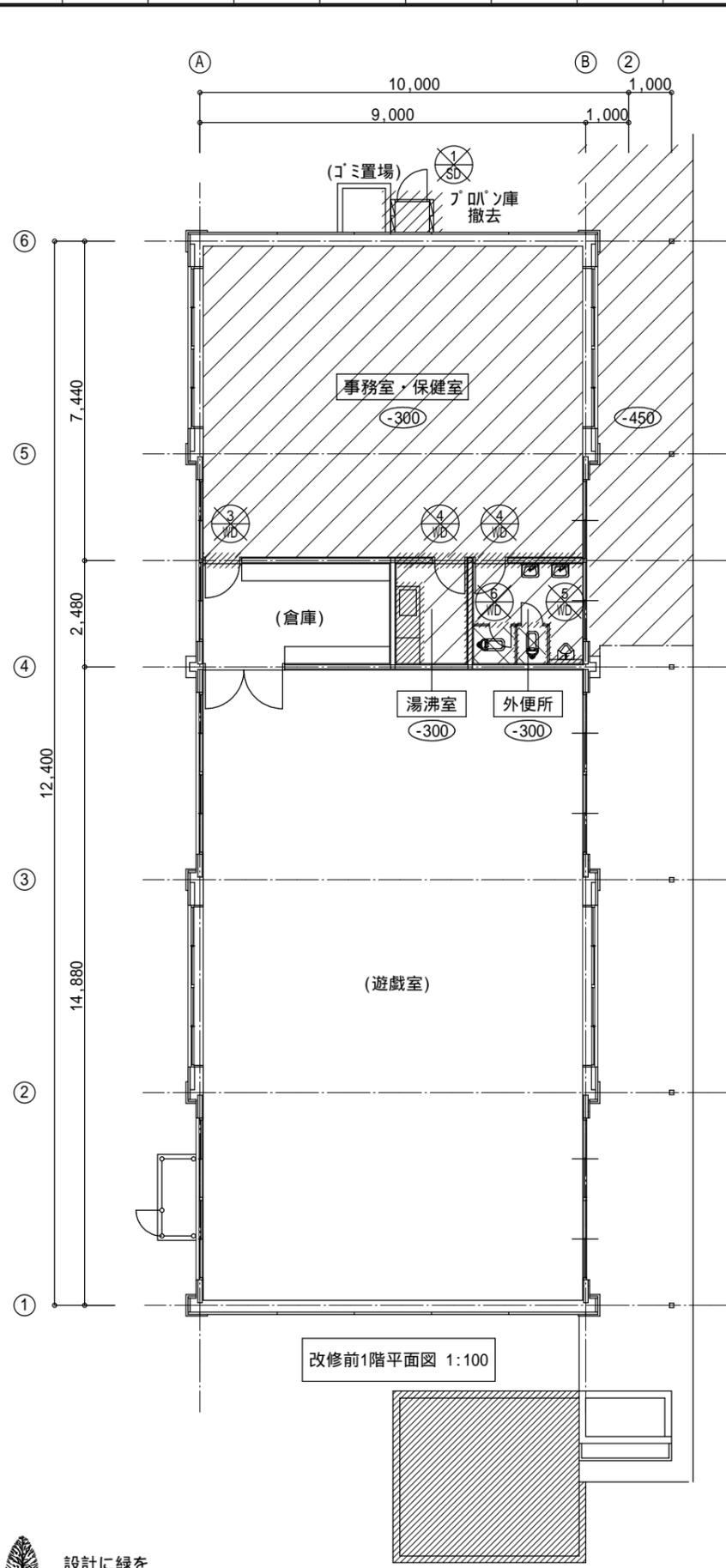
A 3版 71%

縮尺

1/200

図面No

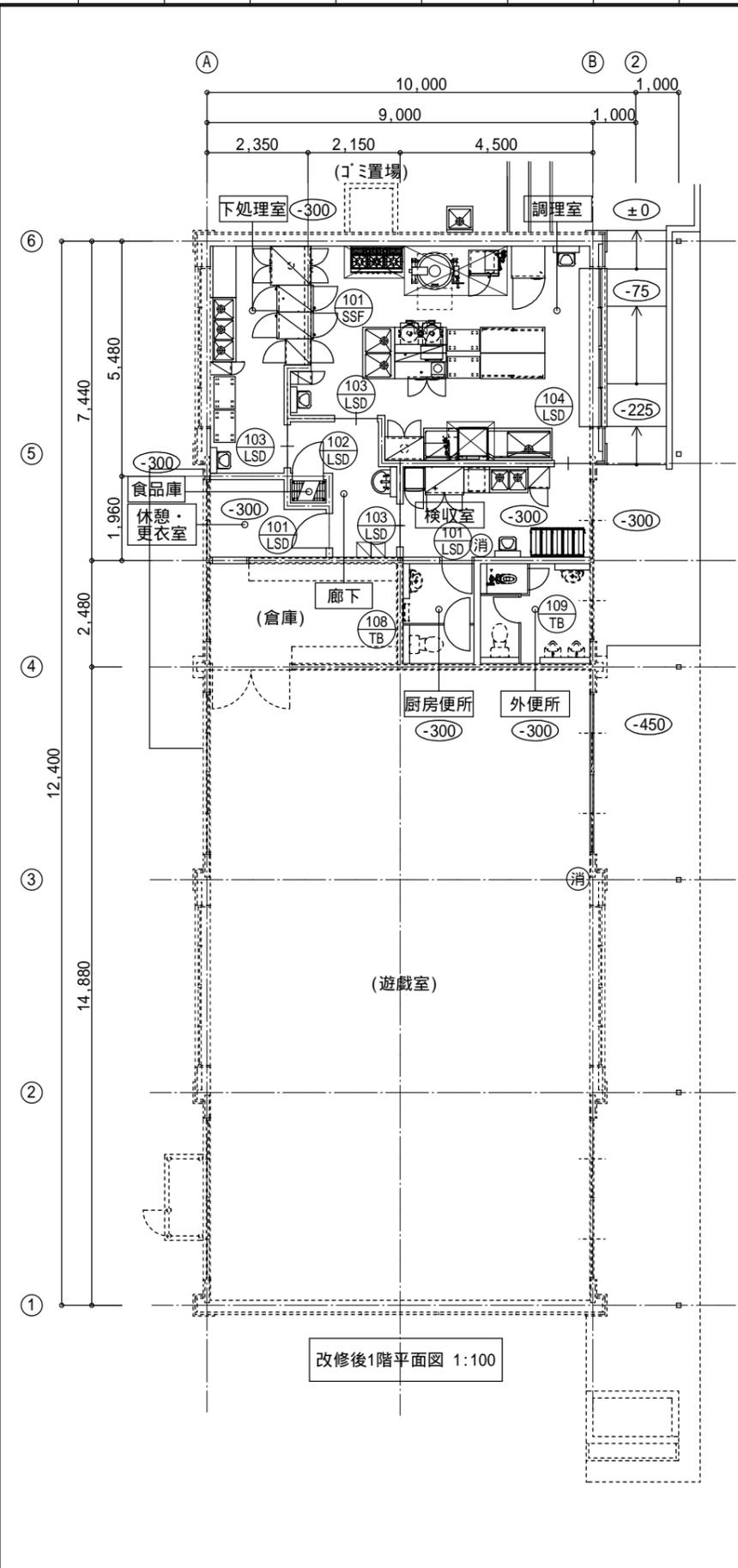
A-43



改修前1階平面図 1:100

改修前 凡例

室名	工事対象室を示す。
項目	工事対象項目を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。
(項目)	工事対象外項目を示す。
////	撤去部分を示す。(床、壁、建具等)
橢○○○ 撤去	竪樋の撤去位置、大きさを示す。
±	FL± を示す。 特記なき限り高さはFL±0とする。
消	消火器位置を示す。
▼	外部出入口位置を示す。
実線表示	工事対象部分を示す。
破線表示	備品または建築工事外を示す。
△	室名札撤去位置を示す。



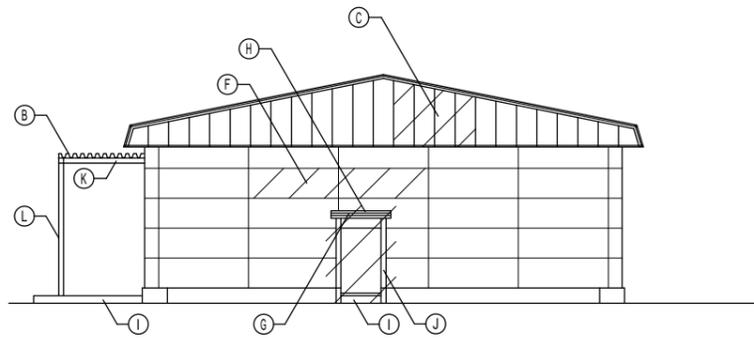
改修後1階平面図 1:100

改修後 凡例

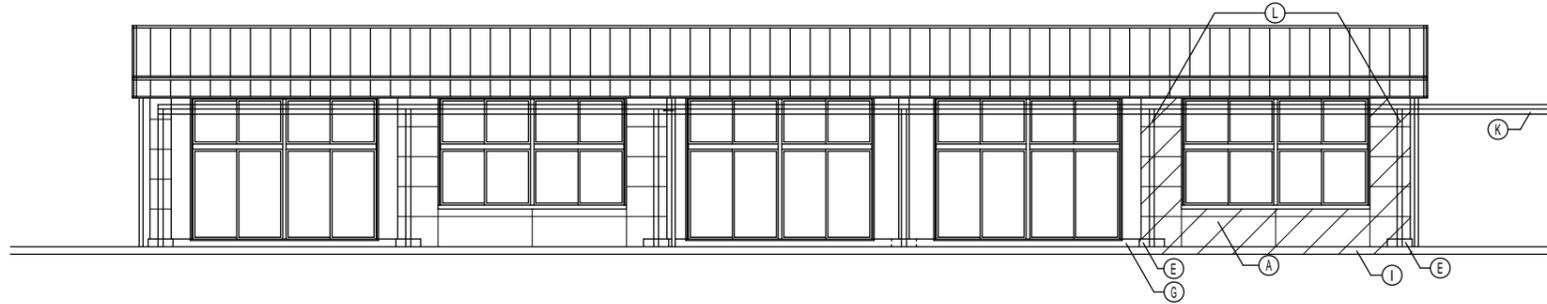
室名	工事対象室を示す。
項目	工事対象項目を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。
(項目)	工事対象外項目を示す。
実線表示	新設部分を示す。
破線表示	既存のままの部分を示す。
±	FL± を示す。 特記なき限り高さはFL±0とする。
消	消火器位置を示す。
▼	外部出入口位置を示す。
△	室名札新設位置を示す。



設計に緑を



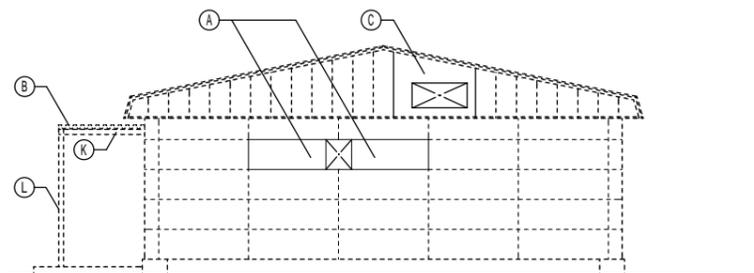
改修前北側立面図 1/100



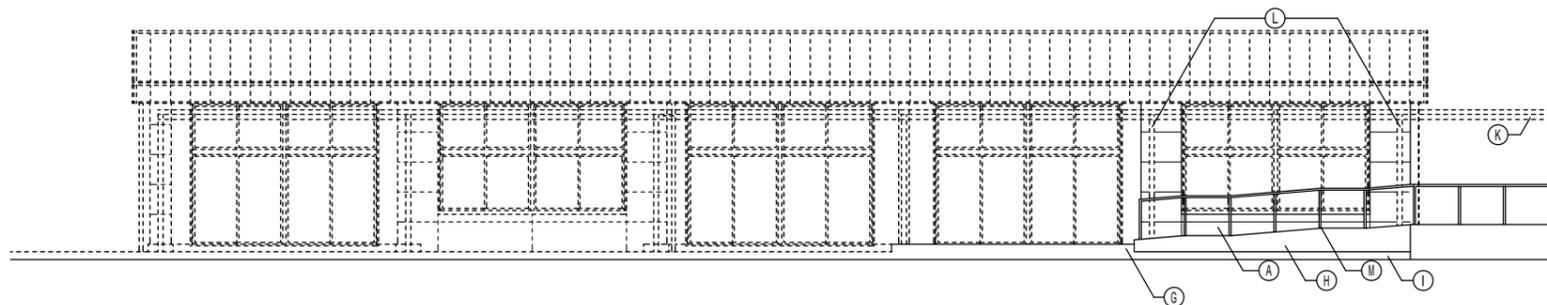
改修前東側立面図 1/100

凡例 (仕上)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	凡例 (改修前)
(A)	鉄骨下地 ALC50d 外装薄塗材E撤去	(F)	ALC50d 外装薄塗材E撤去	(K)	(2C 125x50x20x3.2 SOP)	破線表示 工事部分を示す。
(B)	(折版葺き 加-鋼板 山高87)	(G)	小波ル-ト撤去	(L)	(-100x100x3.2 SOP)	破線表示 既存のまま、又は別途工事を示す。
(C)	瓦棒葺き撤去	(H)	壁際水切り 加-ガ 鋼板t=0.5新設 系尺250撤去			(項目) 既存のまま残すものを示す。
(D)	珪砂金工塗り 新設	(I)	コンクリ-ト間撤去			仕上区分線を示す。
(E)	(根巻きコンクリ-ト打放し仕上)	(J)	CBt=100 外装薄塗材E撤去			撤去範囲を示す。



改修後北側立面図 1/100



改修後東側立面図 1/100

凡例 (仕上)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	凡例 (改修後)
(A)	鉄骨下地 ALC50d 外装薄塗材E新設	(F)	(鉄骨下地 ALC50d 外装薄塗材E)	(K)	(2C 125x50x20x3.2 SOP)	破線表示 工事部分を示す。
(B)	(折版葺き 加-鋼板 山高87)	(G)		(L)	(-100x100x3.2 SOP)	破線表示 既存のまま、又は別途工事を示す。
(C)	加-ガ 鋼板t=0.4 板金平板張り新設	(H)	コンクリ-ト打放し仕上	(M)	スルス製手摺34 H=700新設	(項目) 既存のまま残すものを示す。
(D)	珪砂金工塗り 新設	(I)	コンクリ-ト間新設	(N)		仕上区分線を示す。
(E)	(根巻きコンクリ-ト打放し仕上)	(J)				



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名

(仮称)野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)

A 2版 100%
A 3版 71%

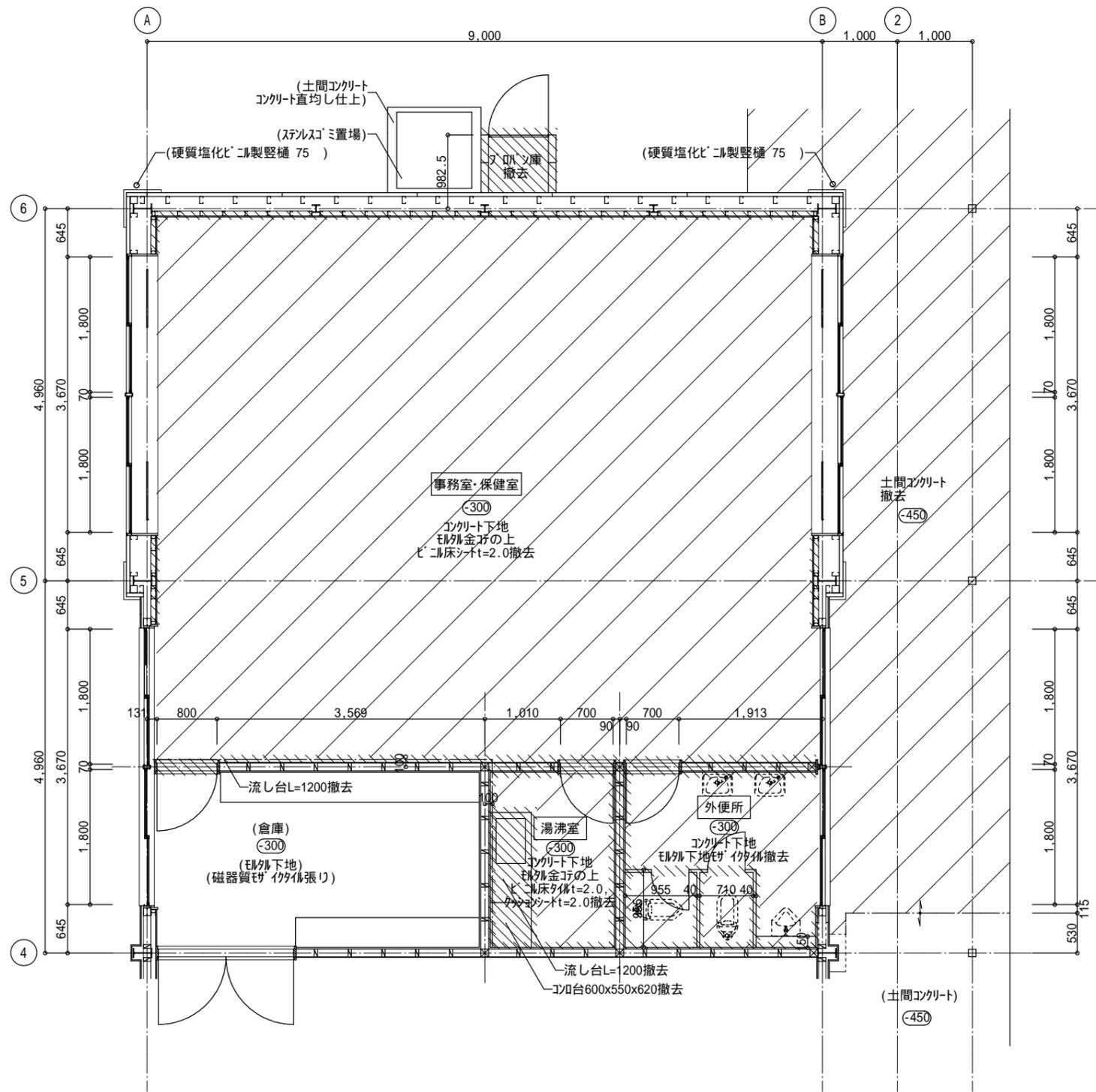
図面No

図面名

改修前後立面図 (管理棟)

縮尺
1/100

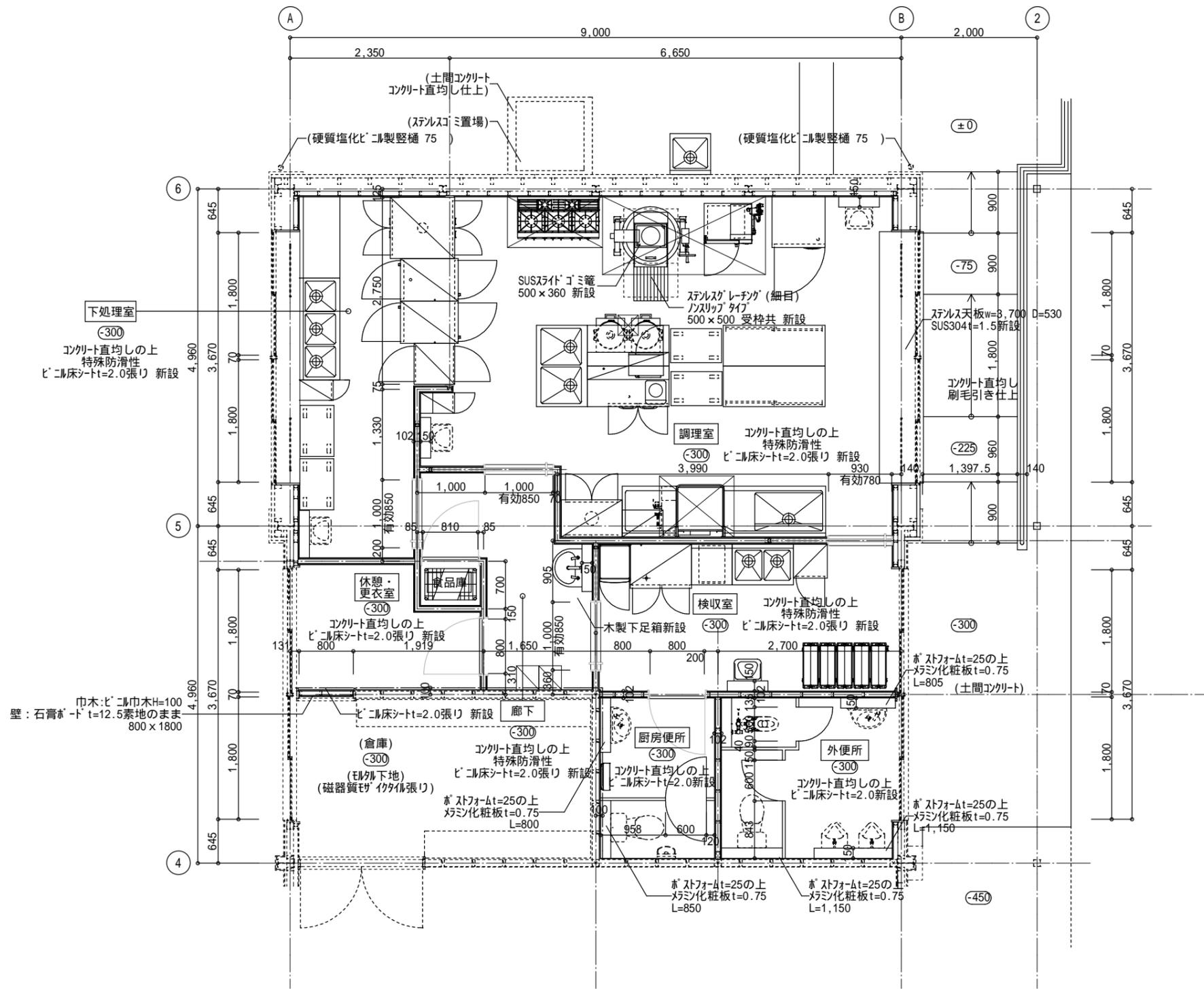
A-45



改修前平面詳細図 1/50

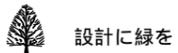
- 凡例
- 工事対象範囲を示す。
 - ⋯ 工事対象外範囲を示す。
 - () 工事対象外項目・室を示す。
 - 仕上区分線を示す。
 - ⊕ FLからの床レベルを示す。

記事	 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
				図面名	縮尺	A-46
				改修前平面詳細図(管理棟)	1/50	



改修後平面詳細図 1/50

- 凡例
- 工事対象範囲を示す。
 - 工事対象外範囲を示す。
 - () 工事対象外項目・室を示す。
 - |— 仕上区分線を示す。
 - ± FLからの床レベルを示す。



設計に緑を

記事	

株式会社 **車田建築設計事務所**
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

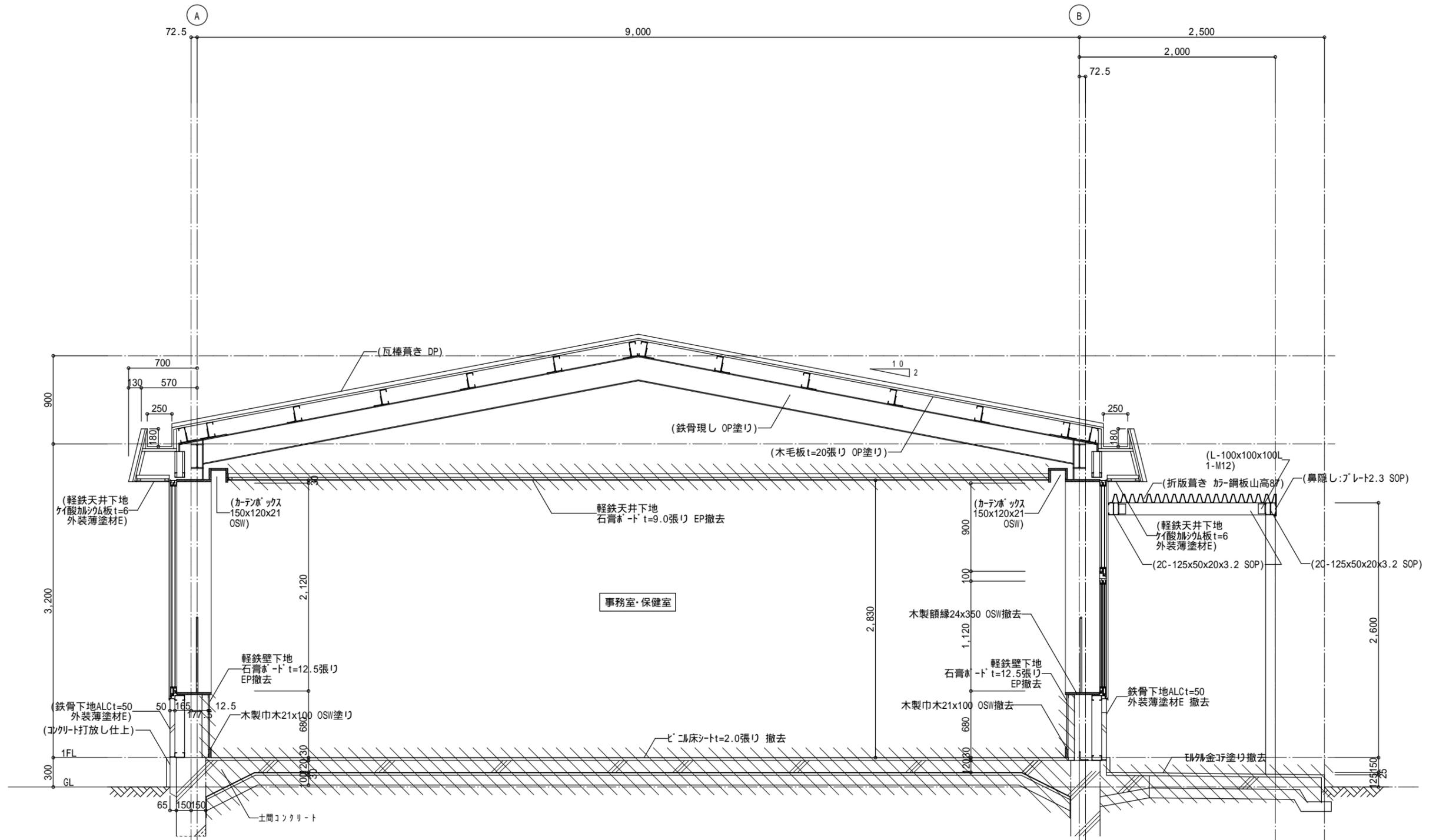
管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名
 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)
 図面名
 改修後平面詳細図(管理棟)

A 2版 100%
 A 3版 71%
 縮尺
 1/50

図面No
 A-47

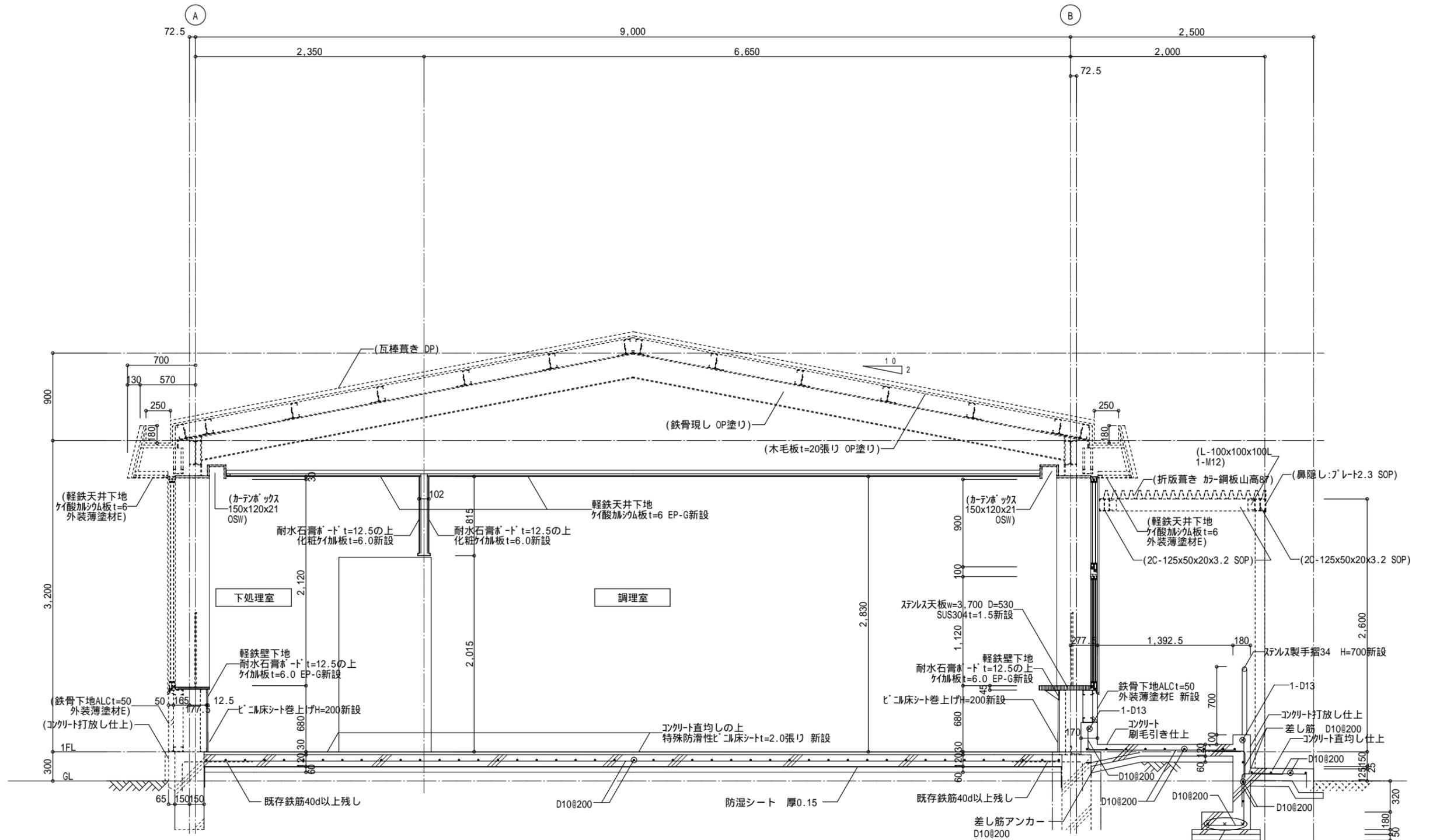


改修前矩計図 1/30

- 凡例
- 工事対象範囲を示す。
 - ⋯⋯ 工事対象外範囲を示す。
 - () 工事対象外項目・室を示す。
 - ⊥ 仕上区分線を示す。

設計に緑を

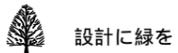
記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)	A 3版 71%	
			図面名	改修前矩計図(管理棟)	縮尺	A-48
					1/30	



改修後矩計図 1/30

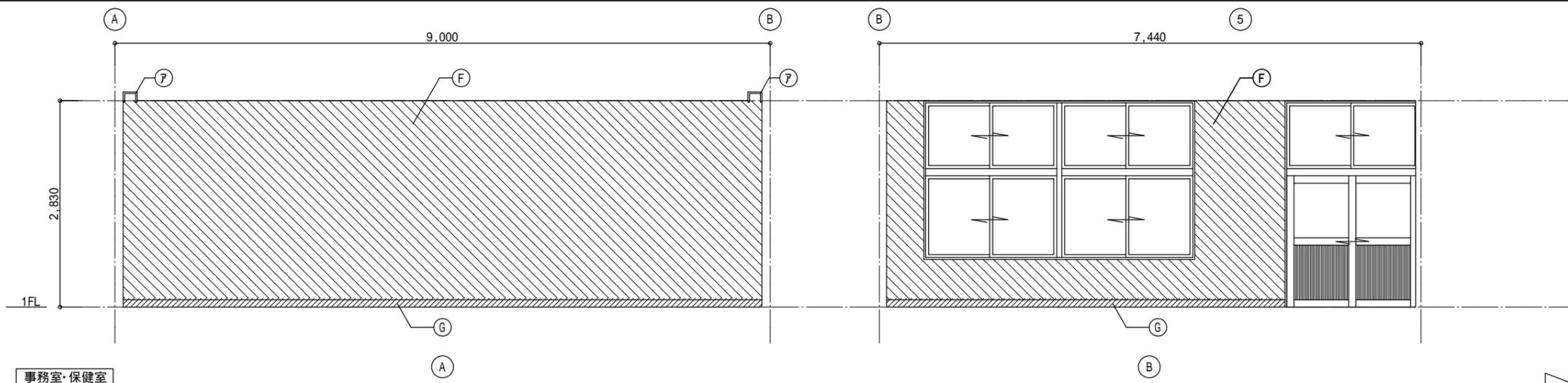
- 凡例
- 工事対象範囲を示す。
 - ⋯⋯ 工事対象外範囲を示す。
 - () 工事対象外項目・室を示す。
 - ⊥ 仕上区分線を示す。

スロープ新設土間の既存と取り合う端部は、差し筋アンカー D10@200とする。

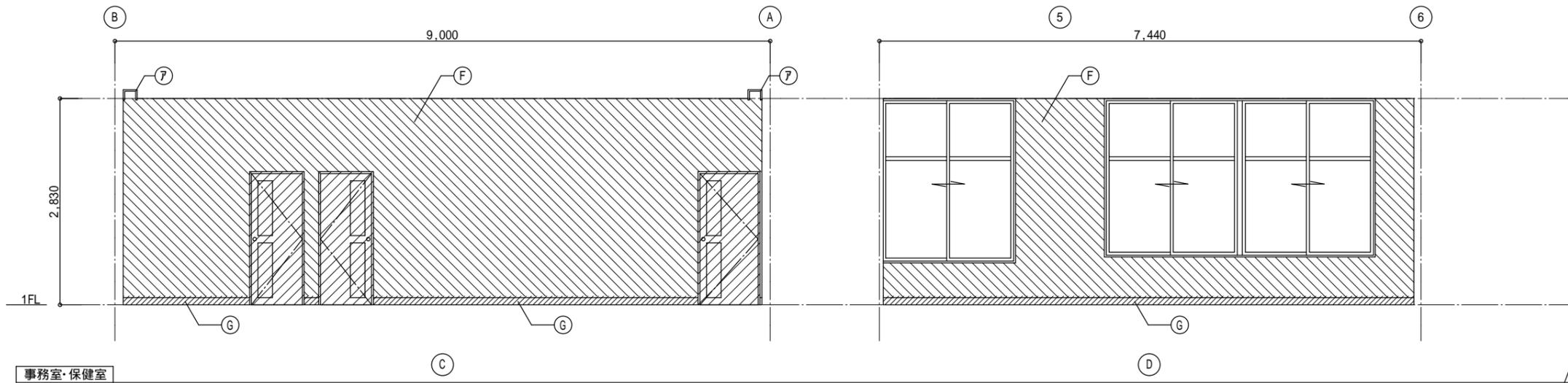


設計に緑を

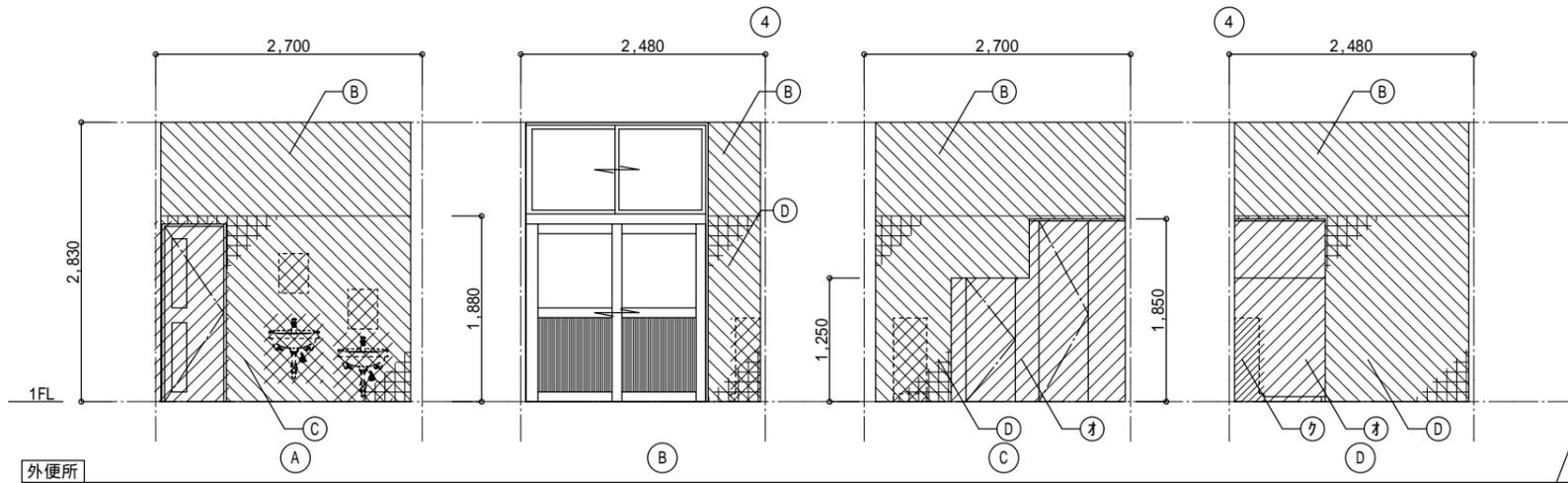
記事	 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
			図面名	改修後矩計図(管理棟)	縮尺	A-49
					1/30	



事務室・保健室



事務室・保健室



外便所

凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
ア	珪藻土仕上げ EP 撤去	フ	軽鉄壁下地の石膏ボード t=12.5 EP 撤去	チ	(カーボン) ツル	カ	吊戸棚 撤去
イ	珪藻土仕上げ EP 撤去	ク	木製巾木H=100 撤去	コ	木製建具 撤去		
エ	珪藻土下地の上陶器質100角タイル 撤去	ケ		ク	流し台 撤去		
オ	珪藻土下地の上陶器質100角タイル 撤去	コ		ク	コン台 撤去		
カ	木壁下地の石膏ボード t=12.5 EP 撤去	ク		コ	トイレース 撤去		



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

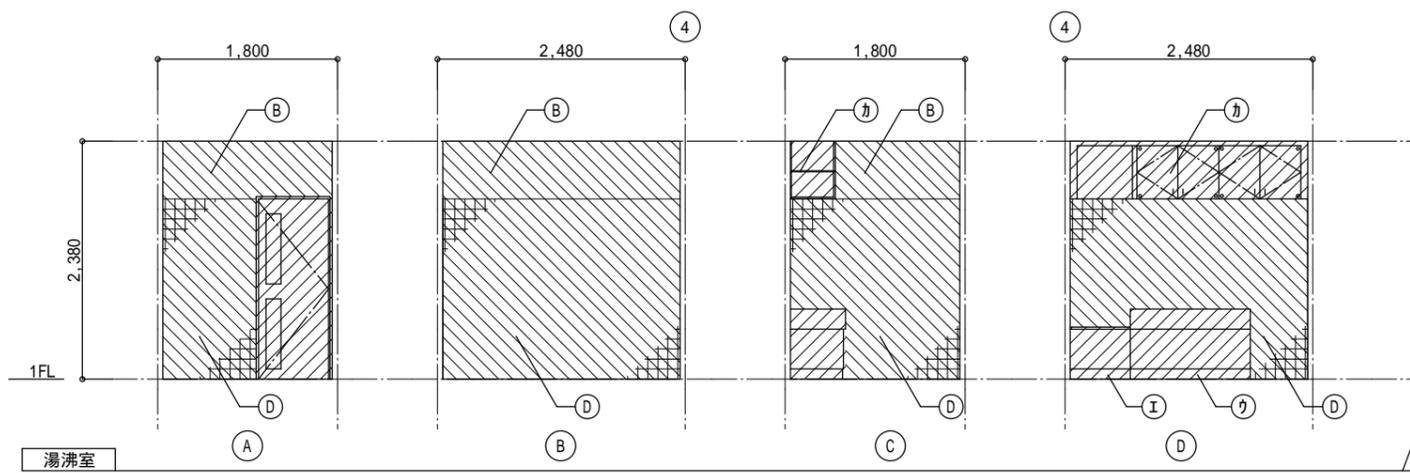
管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)
図面名
改修前展開図-1(管理棟)

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
S=1:50

図面No
A-50



凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
Ⓐ	珪藻土仕上げ EP 撤去	Ⓕ	軽鉄壁下地の上石膏ボード t=12.5 EP 撤去	Ⓗ	(カーテンボックス)	Ⓚ	吊戸棚 撤去
Ⓑ	珪藻土仕上げ EP 撤去	Ⓖ	木製巾木H=100 撤去	Ⓘ	木製建具 撤去		
Ⓒ	珪藻土下地の上陶器質100角タイル 撤去			Ⓛ	流し台 撤去		
Ⓓ	珪藻土下地の上陶器質100角タイル 撤去			Ⓜ	コン台 撤去		
Ⓔ	木壁下地の上石膏ボード t=12.5 EP 撤去			Ⓨ	トイレース 撤去		



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

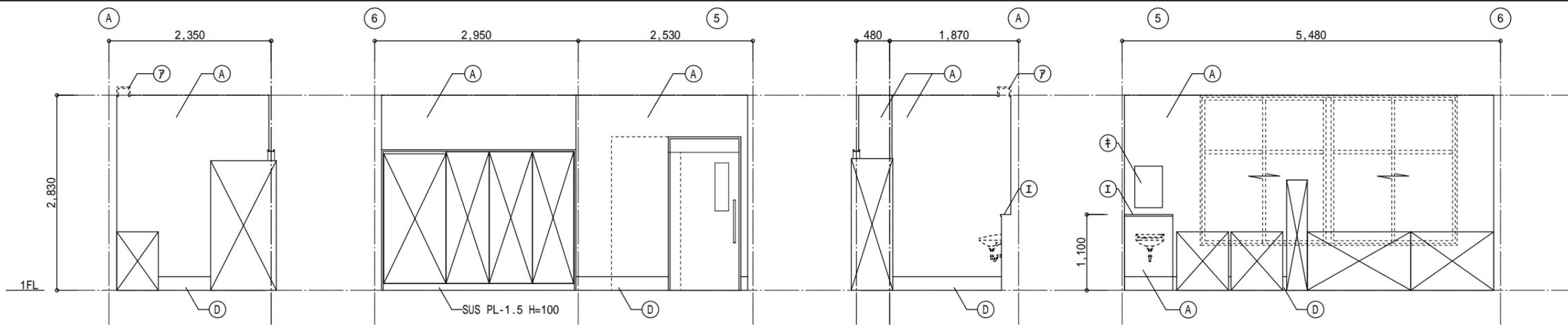
管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

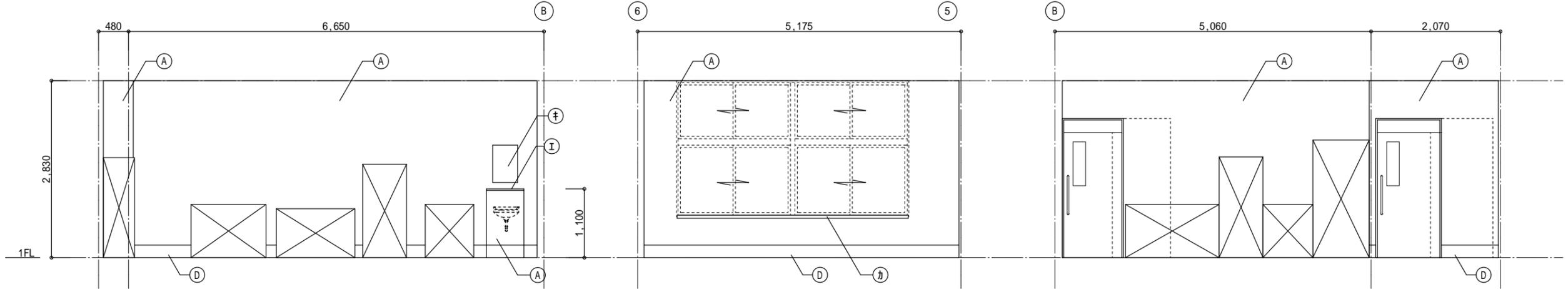
工事名
 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)
 図面名
 改修前展開図-2(管理棟)

A 2版 100%
 A 3版 71%
 縮尺
 S=1:50

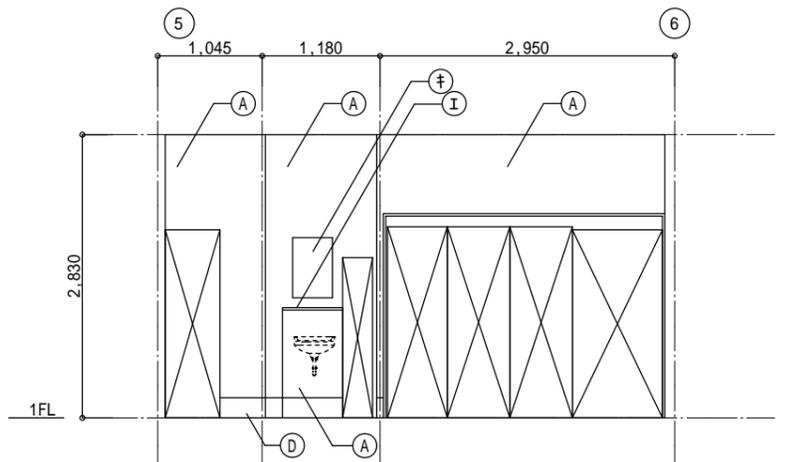
図面No
 A-51



下処理室



調理室



調理室

凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
㉠	軽鉄壁下地W=65の上 耐水石膏ボード t=12.5の上ケイ加板 t=6.0 新設	㉡	(カーボン) ッス	㉢	木製カウンター 新設
㉢	木下地の耐水石膏ボード t=12.5の上 ケイ加板 t=6.0 EP-G 新設	㉣	トイレ-ス 新設	㉤	鏡400 x 600 新設
㉣	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5 EP 新設	㉥	着替え台 新設		
㉤	ビニルシート巻上げH=200 新設	㉦	カーボン ック 新設		
㉥	ビニル巾木H=60 新設	㉧	木製下足箱 新設		



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

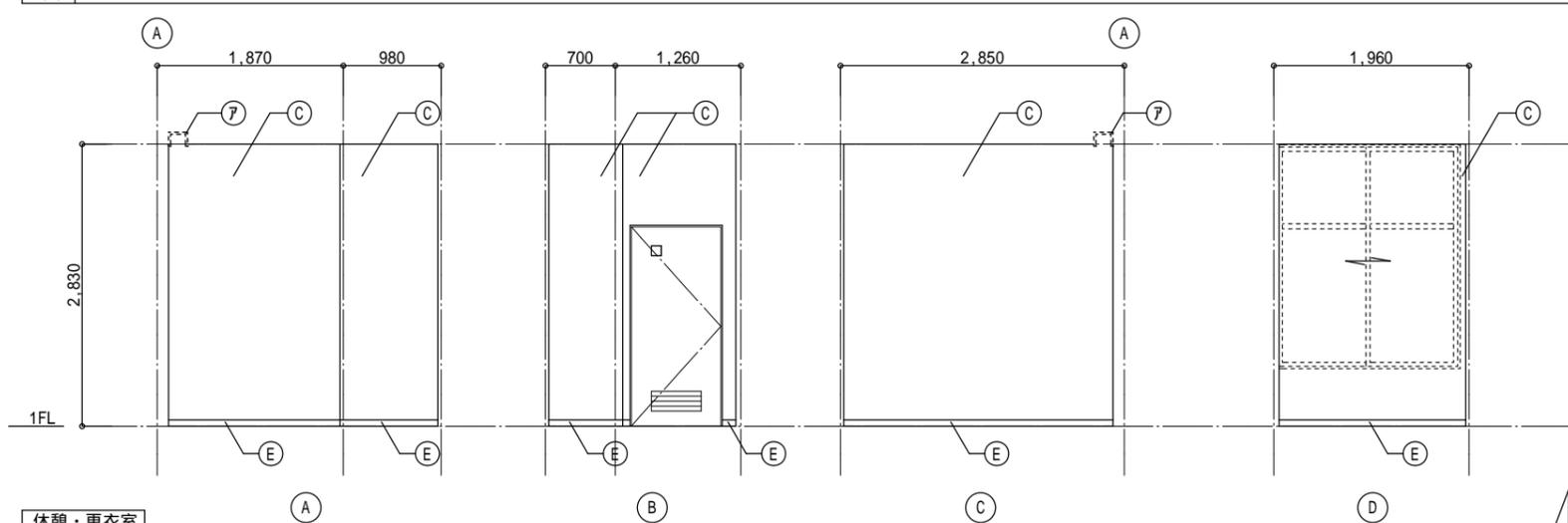
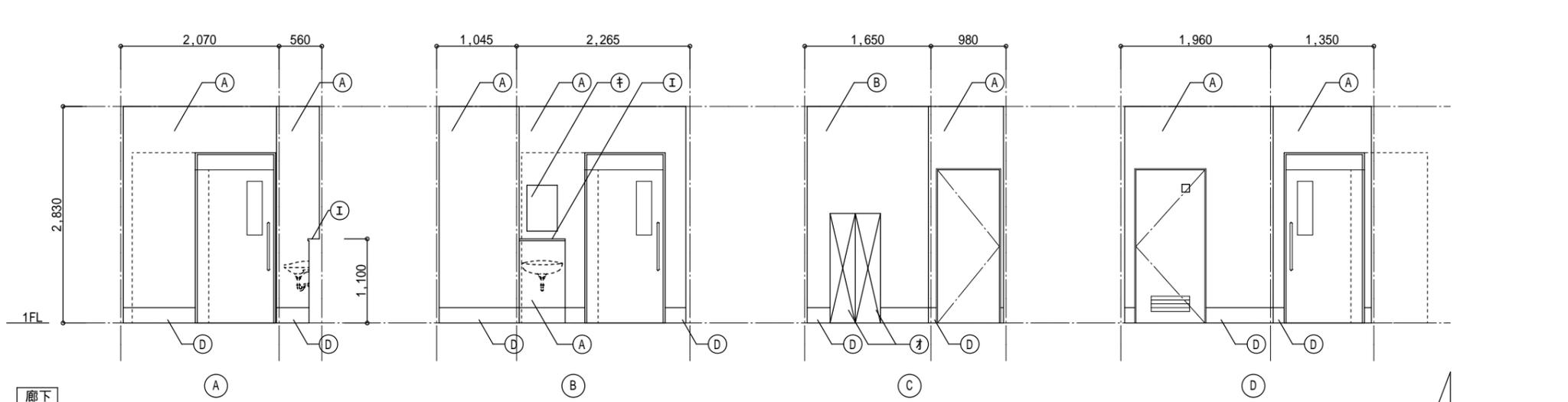
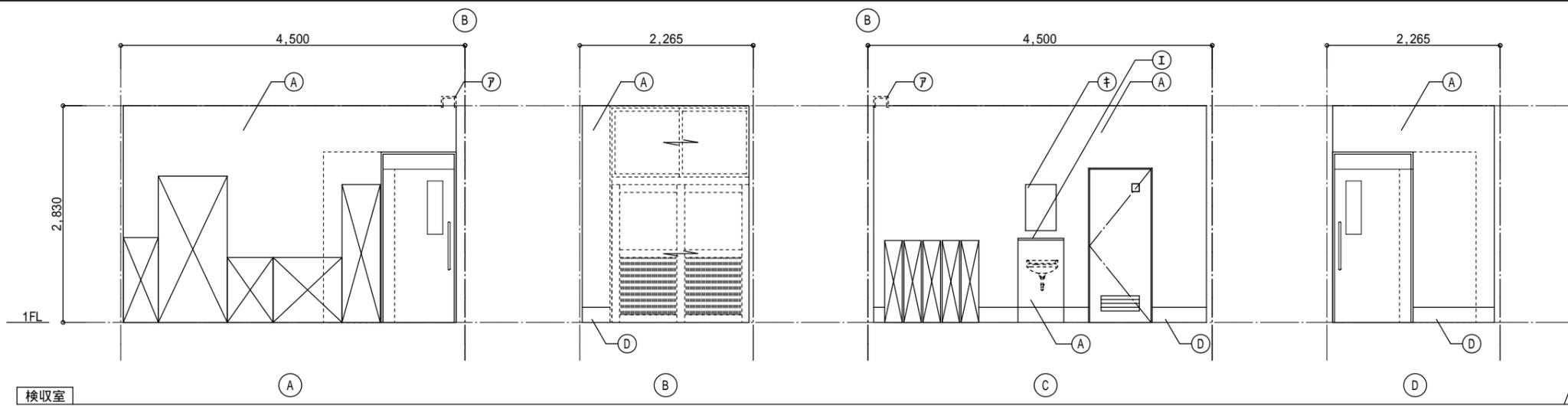
A 2版 100%
A 3版 71%

図面No

図面名
改修後展開図-1(管理棟)

縮尺
S=1:50

A-52



凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
Ⓐ	軽鉄壁下地W=65の上 耐水石膏ボード t=12.5の上ケイ加板 t=6.0 新設	㉞	(カーボン) ッス	㉿	木製カウンター 新設
Ⓑ	木下地の上耐水石膏ボード t=12.5の上 ケイ加板 t=6.0 EP-G 新設	㉟	トイレ -ス 新設	㊀	鏡400 x 600 新設
Ⓒ	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5 EP 新設	㊁	着替え台 新設		
Ⓓ	ビニルシート巻上げH=200 新設	㊂	カーバ ック 新設		
Ⓔ	ビニル巾木H=60 新設	㊃	木製下足箱 新設		



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

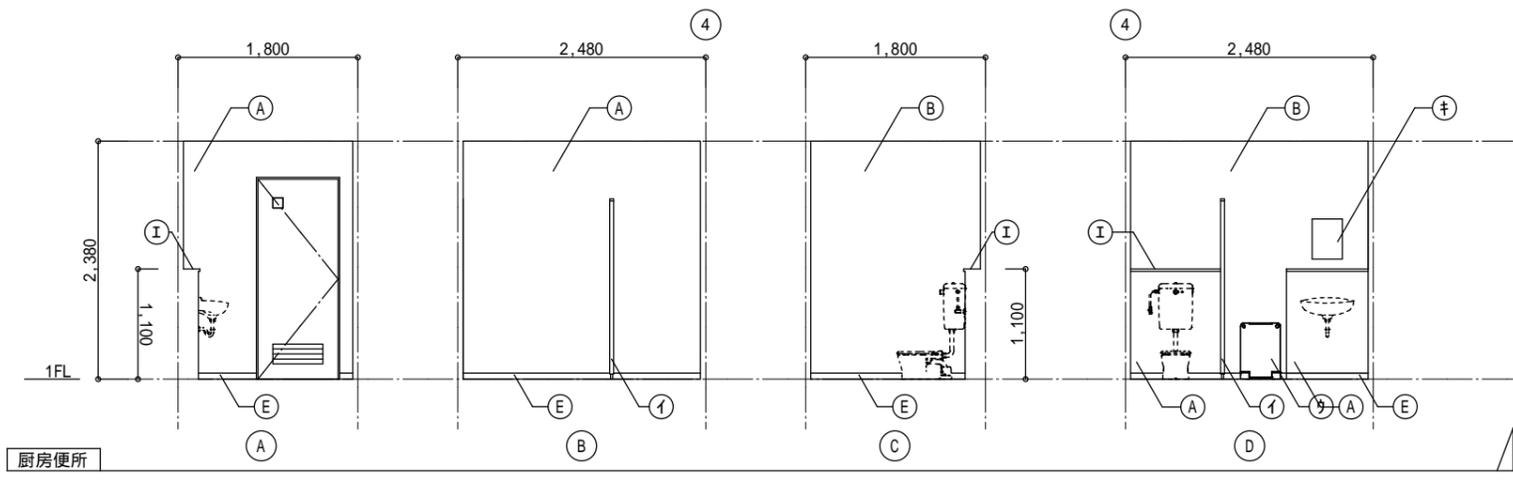
設計年月日

工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)
図面名
改修後展開図-2(管理棟)

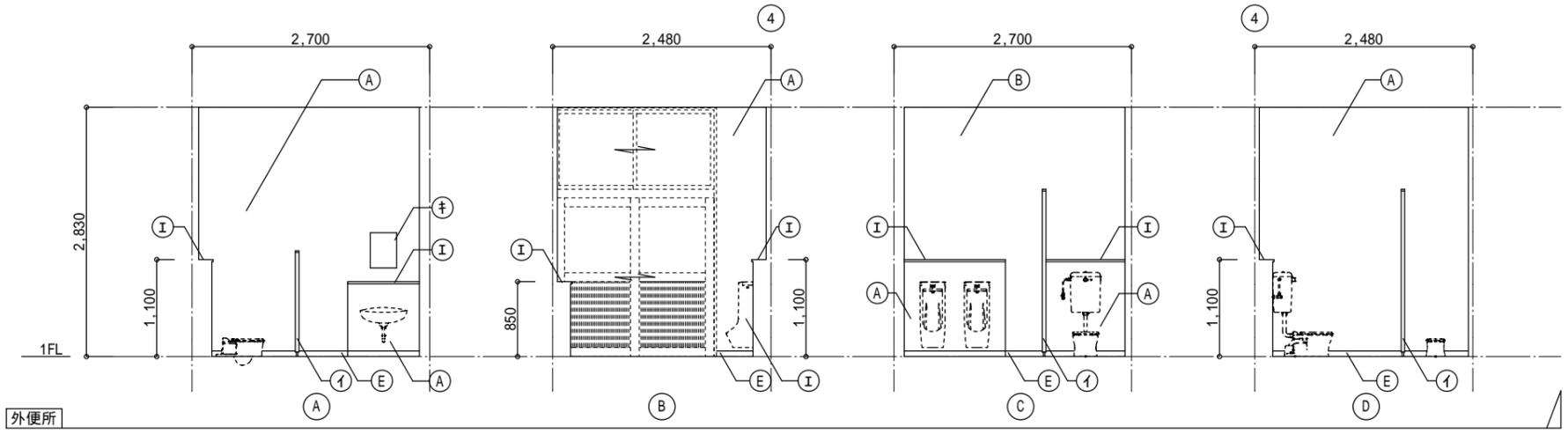
A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
S=1:50

図面No
A-53

記事



厨房便所



外便所

凡例(仕上げ)

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
Ⓐ	軽鉄壁下地W=65の上 耐水石膏ボード t=12.5の上ケガレ板 t=6.0 新設	ア	(カーボックス)	カ	木製カウンター 新設
Ⓑ	木下地の上耐水石膏ボード t=12.5の上 ケガレ板 t=6.0 EP-G 新設	イ	トイレース 新設	キ	鏡400×600 新設
Ⓒ	軽鉄壁下地W=65の上 石膏ボード t=12.5 EP 新設	ウ	着替え台 新設		
Ⓓ	ビニルシート巻上げH=200 新設	エ	カーボック 新設		
Ⓔ	ビニル巾木H=60 新設	オ	木製下足箱 新設		



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

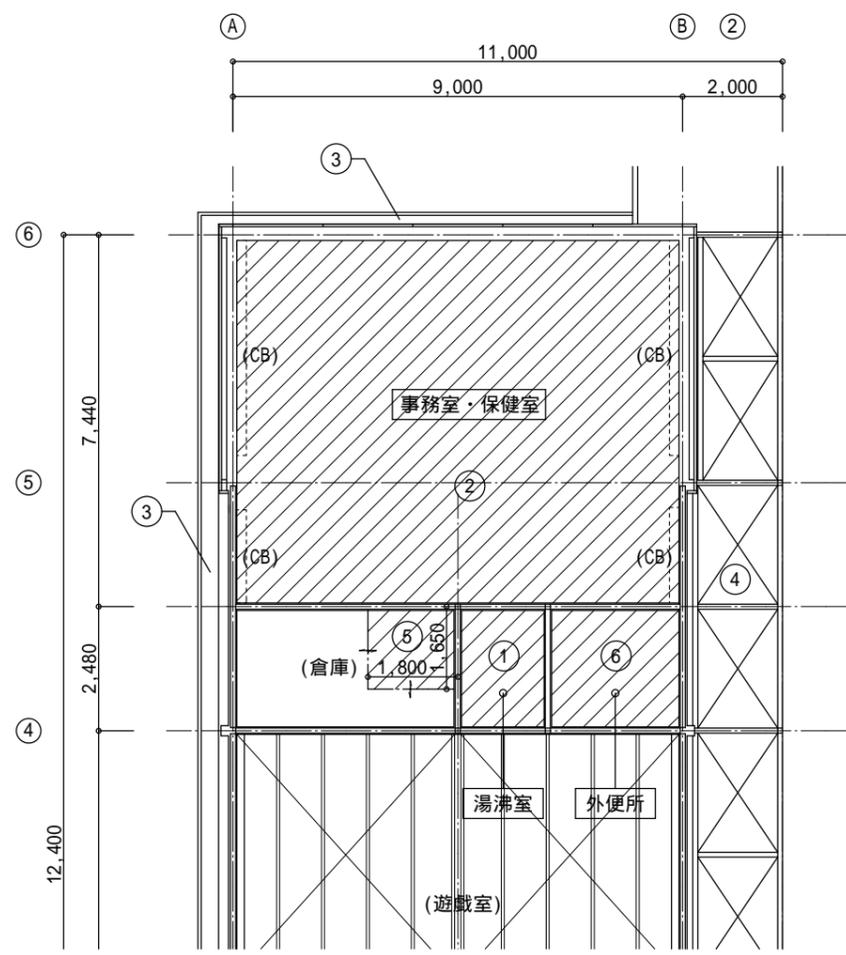
A 2版 100%
A 3版 71%

図面No

図面名
改修後展開図-3(管理棟)

縮尺
S=1:50

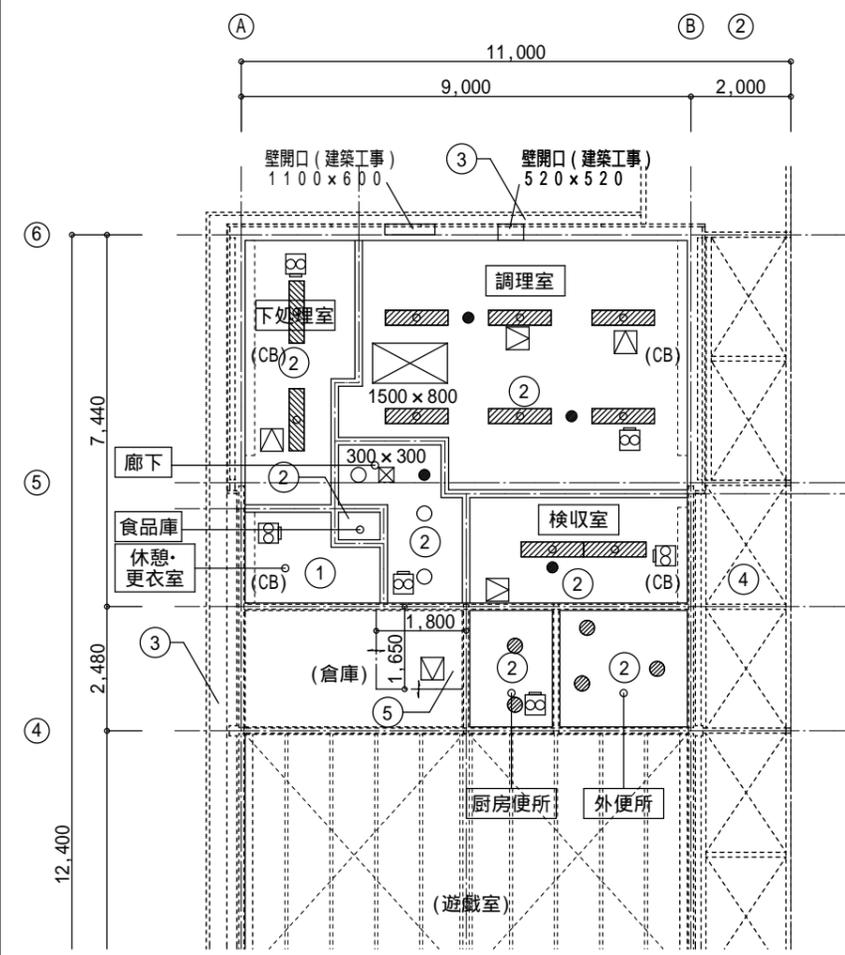
A-54



改修前1階天井伏図 1:100

天井仕上凡例	
①	木天井下地の上 石膏ボード t=9.0 EP 撤去
②	軽鉄天井下地の上 石膏ボード t=9.0 EP 撤去
③	(軽鉄天井下地の上) ケ酸加珪酸板 t=6.0 外装薄塗材E)
④	(折板葺き 加-鋼板 山高87)
⑤	木天井下地の上 ルキアボード t=4.0 EP 撤去
⑥	木天井下地の上 石膏ボード t=9.0【L3】EP 撤去
CB	(カーボン ックス150x120x21 OSW)

改修前 凡例	
室名	工事対象室を示す。
項目	工事対象項目を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。
(項目)	工事対象外項目を示す。
////	撤去部分を示す。



改修後1階天井伏図 1:100

天井仕上凡例	
①	軽鉄天井下地の上 化粧石膏ボード t=9.5 新設
②	軽鉄天井下地の上 ケ酸加珪酸板 t=6.0 EP-G 新設
③	(軽鉄天井下地の上) ケ酸加珪酸板 t=6.0 外装薄塗材E)
④	(折板葺き 加-鋼板 山高87)
⑤	軽鉄天井下地の上 ルキアボード t=4.0 EP 新設
CB	(カーボン ックス150x120x21 OSW)

改修後 凡例	
室名	工事対象室を示す。
項目	工事対象項目を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。
(項目)	工事対象外項目を示す。
実線表示	新設部分を示す。
破線表示	既存のままの部分を示す。

記号	名称	開口寸法
////	LED灯	1255x220
○	ダウンライト	200
●	ダウンライト	150
●	非常灯	175
□	天井点検口	450x450

機器メ-開口寸法確認の事。

記号	名称	開口寸法
⊠	天井扇	300x300
⊞	換気吹出口・吸込口	図示

設計に緑を

記号 種別	① AD 改 アルミ製引違い戸 ラマ引違い窓、両袖嵌め殺し窓付	① AW 改 アルミ製引違い窓	② AW 改 アルミ製2連引違い窓	④ AW 改 アルミ製2連引違い窓 腰嵌め殺し窓付	⑤ AW アルミ製2連引違い窓 腰嵌め殺し窓付
位置 箇所	保育室棟 1階:廊下	保育室棟 1・2階:廊下(下足箱上部)	保育室棟 1・2階:手洗い場・水飲み場、保育室北側	保育室棟 2階:廊下	保育室棟 2階:廊下
数量	1	4	6	4	1
内容	改修建具	改修建具	改修建具	改修建具	改修建具
図面					
塗装 枠巾	70	70	70	70	70
金物		外レフト新設	外レフト新設	外レフト新設	外レフト新設
硝子	網入り磨き板ガラスt=6.8 ラマ:ガラスt=3				
備考					
記号 種別	① WD 改 中抜引違いワッシュ戸	② WD 改 中抜引違いワッシュ戸	⑧ WD 改 中抜き引き戸	⑩ WD 鋼製アングル扉	
位置 箇所	保育室棟 2階:保育室6	保育室棟 1階:保育室3	保育室棟 2階:廊下	ブロン庫	
数量	1	1	1	1	
内容	改修建具	改修建具	改修建具	撤去建具	
図面					
塗装 枠巾		40	40		
金物					
硝子	ガラスt=3撤去、アクリル板t=3.0新設	ガラスt=3撤去、アクリル板t=3.0新設	ガラスt=3撤去、アクリル板t=3.0新設		
備考					
記号 種別	③ WD 中抜引違いワッシュ戸	③ WD 中抜片開きワッシュ戸	④ WD 中抜片開きワッシュ戸	⑤ WD 片開きワッシュ戸	⑥ WD 片開きワッシュ戸
位置 箇所	保育室棟 2階:保育室5	管理棟 倉庫	保育室棟 1・2階:便所 管理棟 外便所、湯沸室	保育室棟 1・2階:便所 管理棟 外便所	管理棟 外便所
数量	1	1	10	14	1
内容	撤去建具	撤去建具	撤去建具	撤去建具	撤去建具
図面					
塗装 枠巾	ラマニヤ 4mm OP	ラマニヤ 4mm OP	ラマニヤ 4mm OP	耐水ニヤ OP	耐水ニヤ OP
数量	40	36	36	40	40
金物					
硝子	ガラスt=3	型板ガラスt=4	型板ガラスt=4		
備考					
記号 種別	⑦ WD 中抜引違いワッシュ戸 ラマ嵌め殺し窓付				
位置 箇所	保育室棟 1階:保育室1				
数量	1				
内容	撤去建具				
図面					
塗装 枠巾	ラマニヤ 4mm OP				
数量	40				
金物	戸車、引き手4個、レール				
硝子	ガラスt=3				
備考					

記号 種別	9 WD 片開きフラス戸	2 移 中抜引違いフラス戸				101 AA 7ル製可動網戸
位置 箇所	保育室棟 湯沸室 1	保育室棟 1階:保育室2、4→保育室棟 2階:保育室3、4 2				保育室棟 32
姿図						
塗装 枠巾	耐水ペーパー OP 40					
金物						7ル製シルバー ガラス繊維入合成樹脂製、レール新設、付属金物一式
硝子		7R-トガラスt=3撤去、7クリア板t=3.0新設				
備考		※建具調整を含む				
記号 種別	101 SD 鋼製片開き戸	101 LSD 軽量鋼製片開き戸	102 LSD 軽量鋼製片開きフラス戸	103 LSD 軽量鋼製引き込み戸	104 LSD 軽量鋼製引き込み戸	101 SSF ステンレス製三方枠
位置 箇所	保育室棟 2階: 1	管理棟:休憩・更衣室、厨房便所 2	管理棟:食品庫 1	管理棟:廊下 3	管理棟:調理室 1	管理棟 1階:調理室 1
姿図						
塗装 枠巾	枠、扉:焼付塗装鋼板 150	枠、扉:焼付塗装鋼板 132	枠、扉:焼付塗装鋼板 132	枠、扉:焼付塗装鋼板 160	枠、扉:焼付塗装鋼板 160	ステンレス製 HL 135
金物	丁番、ドアローザー、ケースハンドル 付属金物一式	丁番、ドアローザー、レバーハンドル錠、 ステンレス沓摺(40x20)、付属金物一式	丁番、ドアローザー、レバーハンドル錠、 ステンレス沓摺(40x20)、付属金物一式	吊戸用標準金物一式、ステンスフラット下枠、シリンダー錠 ステンス握棒L=600(両面)、指詰防止付、付属金物一式	吊戸用標準金物一式、ステンスフラット下枠、シリンダー錠 ステンス握棒L=600(両面)、指詰防止付、付属金物一式	
硝子		学校用強化t=4		学校用強化t=4	学校用強化t=4	
備考		樹脂製ガラス開口率35%				
記号 種別	101 WD 木製片開きフラス戸	102 WD 木製引き違いフラス戸	103 WD 木製引違いフラス戸	104 WD 木製片引きフラス戸	105 WD 木製片引きフラス戸	101 WW 木製羽目殺し窓
位置 箇所	保育室棟 1階:教員室 3	保育室棟 1階:教員室 1	保育室棟 1階:保育室2、3、4 3	保育室棟 1階:教員室、ほふく室、保育室1 保育室棟 2階:保育室2、3、4、読書・多目的スペース 7	保育室棟 1階:教員室 1	保育室棟 1階:ほふく室 1
姿図						
塗装 枠巾	ホリ合板<2.5> 40	ホリ合板<2.5> 40	ホリ合板<2.5> 40	ホリ合板<2.5> 40	ホリ合板<2.5> 40	ホリ合板<2.5> 40
金物	丁番、レバーハンドル、戸当り	フッターレール、フッターレール用戸車、掘込み引手(ステンス製) 指詰防止付	フッターレール、フッターレール用戸車、掘込み引手(ステンス製) 指詰防止付	フッターレール、フッターレール用戸車、ステンス握棒L=600(両面) 指詰防止付	フッターレール、フッターレール用戸車、ステンス握棒L=600(両面) 指詰防止付	
硝子	型板ガラスt=4	学校用強化t=4	学校用強化t=4	学校用強化t=4	学校用強化t=4	学校用強化t=4
備考	樹脂製ガラス開口率35%	樹脂製ガラス開口率35%	樹脂製ガラス開口率35%	樹脂製ガラス開口率35%	樹脂製ガラス開口率35%	

記号 種別	101 TB トイレ-ス	102 TB トイレ-ス	103 TB トイレ-ス	104 TB トイレ-ス
位置 箇所	保育室棟 1階:男子便所 新設建具	保育室棟 1階:女子便所 新設建具	保育室棟 1階:女子便所 新設建具	保育室棟 1階:便所2 新設建具
数量	1	1	1	1
姿図				
塗装 枠巾	高圧メラミン化粧板 t=40	高圧メラミン化粧板 t=40	高圧メラミン化粧板 t=40	高圧メラミン化粧板 t=40
金物	グレブ・ティーンズ、スライド・ボルト、帽子掛フック(内部)、表示錠(内部) その他標準金物一式	グレブ・ティーンズ、スライド・ボルト、帽子掛フック(内部)、表示錠(内部) その他標準金物一式	グレブ・ティーンズ、スライド・ボルト、帽子掛フック(内部)、表示錠(内部) その他標準金物一式	グレブ・ティーンズ、スライド・ボルト、帽子掛フック(内部)、表示錠(内部) その他標準金物一式
硝子				
備考	スルス笠木(口字形笠木)、スルス巾木	スルス笠木(口字形笠木)、スルス巾木	スルス笠木(口字形笠木)、スルス巾木	スルス笠木(口字形笠木)、スルス巾木
記号 種別	105 TB トイレ-ス	106 TB トイレ-ス	107 TB トイレ-ス	108 TB トイレ-ス
位置 箇所	保育室棟 2階:便所3 新設建具	保育室棟 2階:便所3,4 新設建具	保育室棟 2階:便所4 新設建具	管理棟 1階:厨房便所 新設建具
数量	1	2	1	1
姿図				
塗装 枠巾	高圧メラミン化粧板 t=40	高圧メラミン化粧板 t=40	高圧メラミン化粧板 t=40	高圧メラミン化粧板 t=40
金物	グレブ・ティーンズ、スライド・ボルト、帽子掛フック(内部)、表示錠(内部) その他標準金物一式	グレブ・ティーンズ、スライド・ボルト、帽子掛フック(内部)、表示錠(内部) その他標準金物一式	グレブ・ティーンズ、スライド・ボルト、帽子掛フック(内部)、表示錠(内部) その他標準金物一式	グレブ・ティーンズ、スライド・ボルト、帽子掛フック(内部)、表示錠(内部) その他標準金物一式
硝子				
備考	スルス笠木(口字形笠木)、スルス巾木	スルス笠木(口字形笠木)、スルス巾木	スルス笠木(口字形笠木)、スルス巾木	スルス笠木(口字形笠木)、スルス巾木
記号 種別	109 TB トイレ-ス			
位置 箇所	管理棟 1階:外便所 新設建具			
数量	1			
姿図				
塗装 枠巾	高圧メラミン化粧板 t=40			
金物	グレブ・ティーンズ、スライド・ボルト、帽子掛フック(内部)、表示錠(内部) その他標準金物一式			
硝子				
備考	スルス笠木(口字形笠木)、スルス巾木			

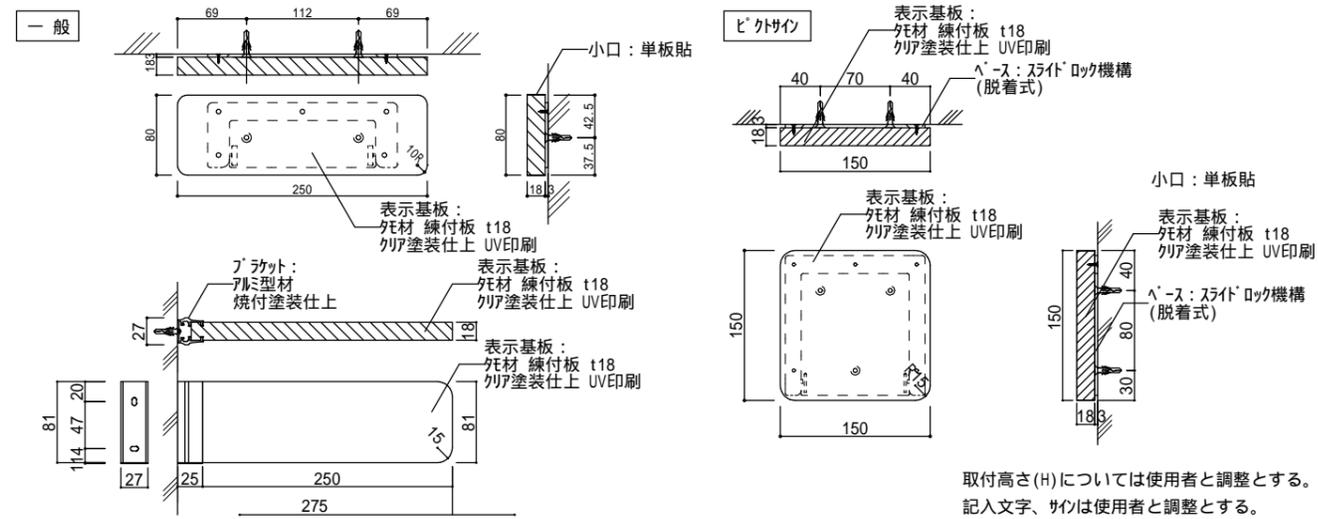


設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
				図面名	縮尺	A-58
				建具表-3	1/50	

室名札、ピクサイン詳細図 参考

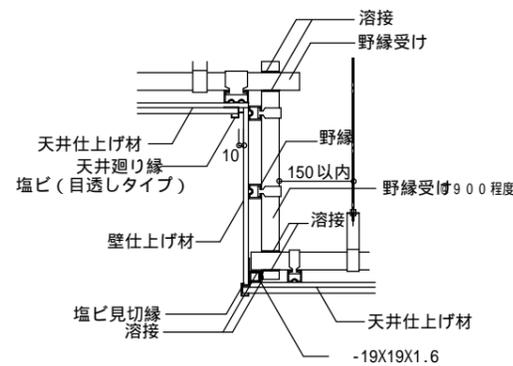
1/5, 1/10



取付高さ(H)については使用者と調整とする。
記入文字、サインは使用者と調整とする。

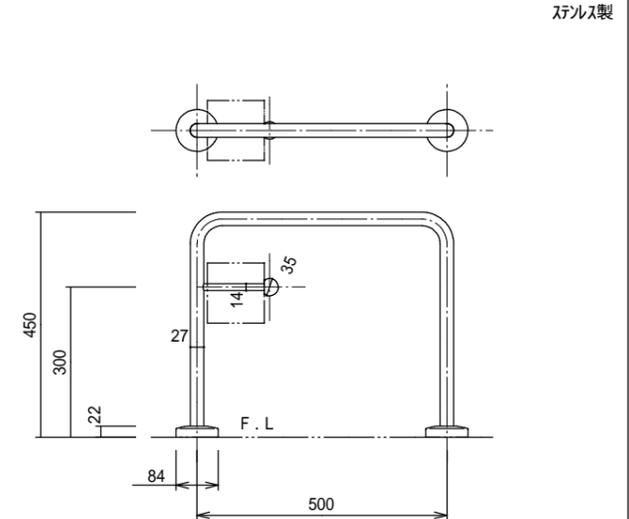
下り天井 詳細図

1/10



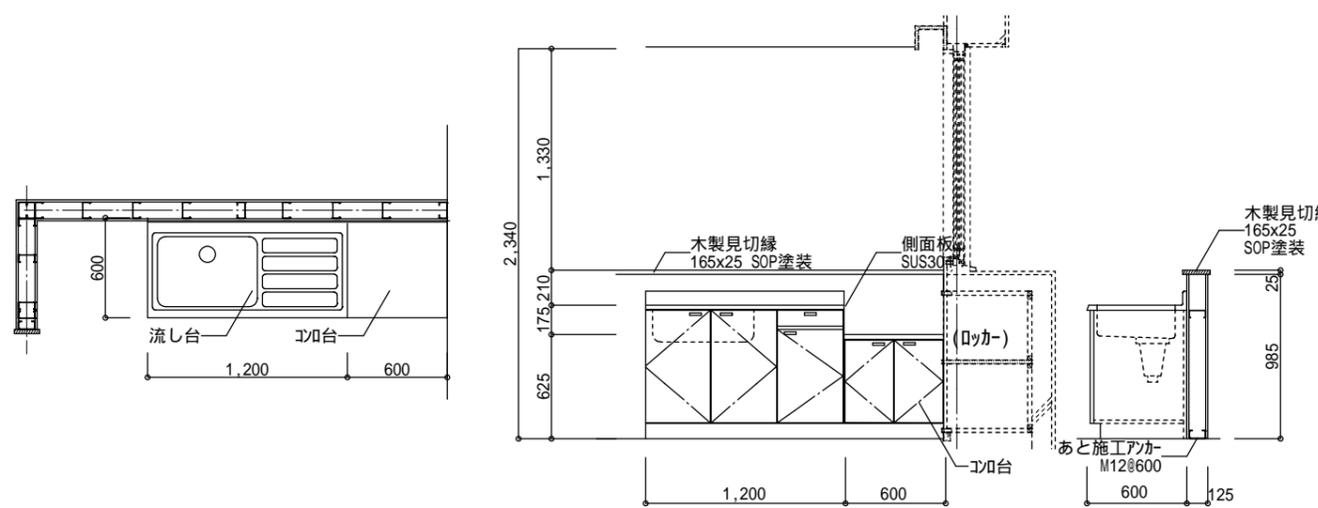
腰掛け用足摺詳細図

1/10



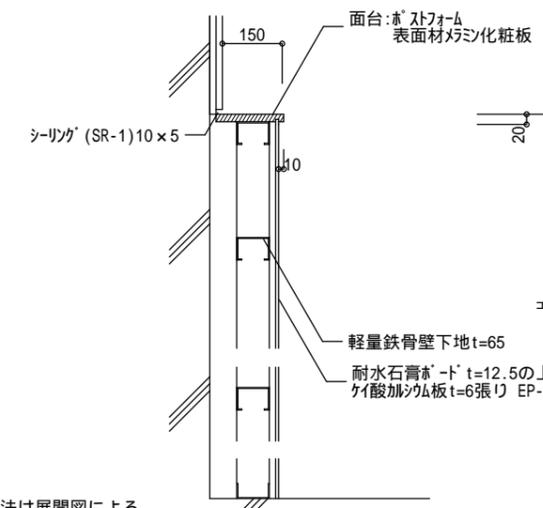
流し台詳細図

1/30



ラインダ 詳細図

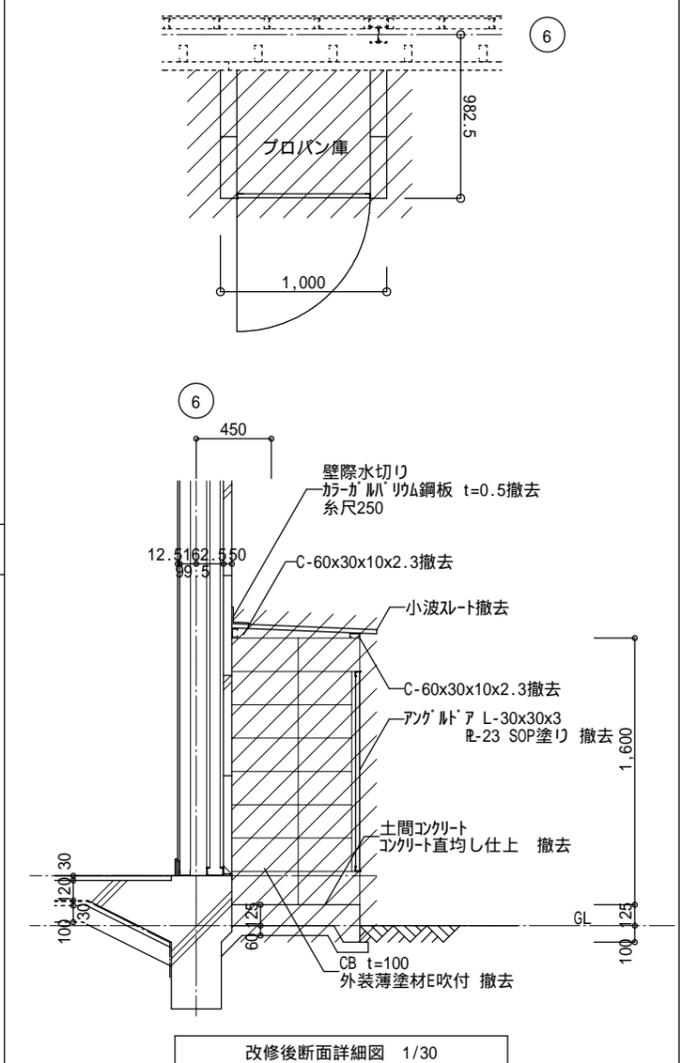
1/10



H寸法は展開図による。

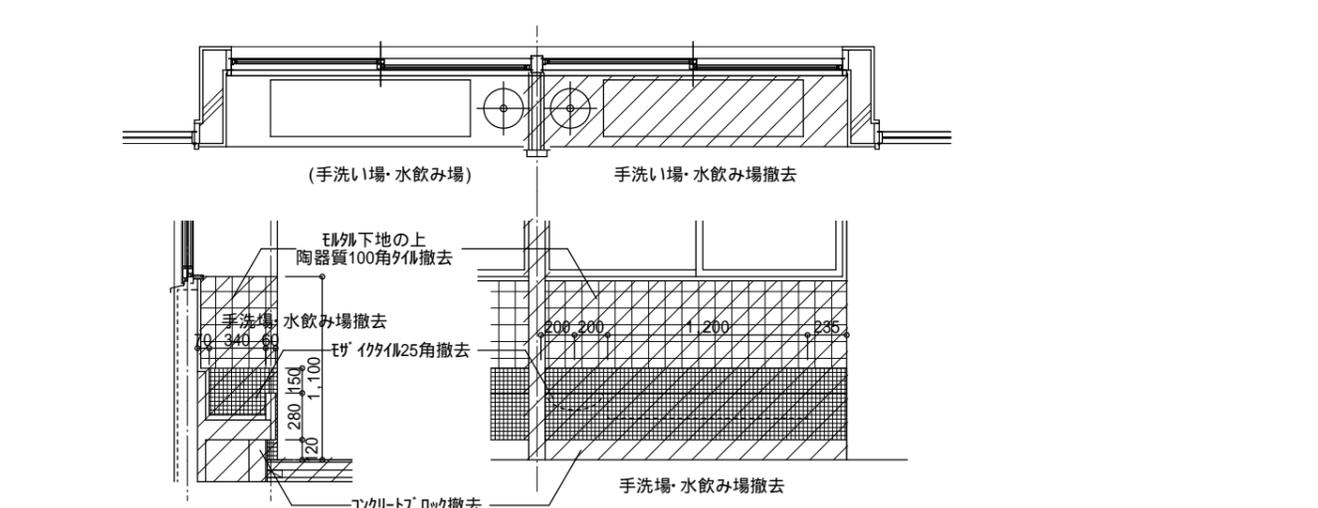
プロパン庫撤去詳細図

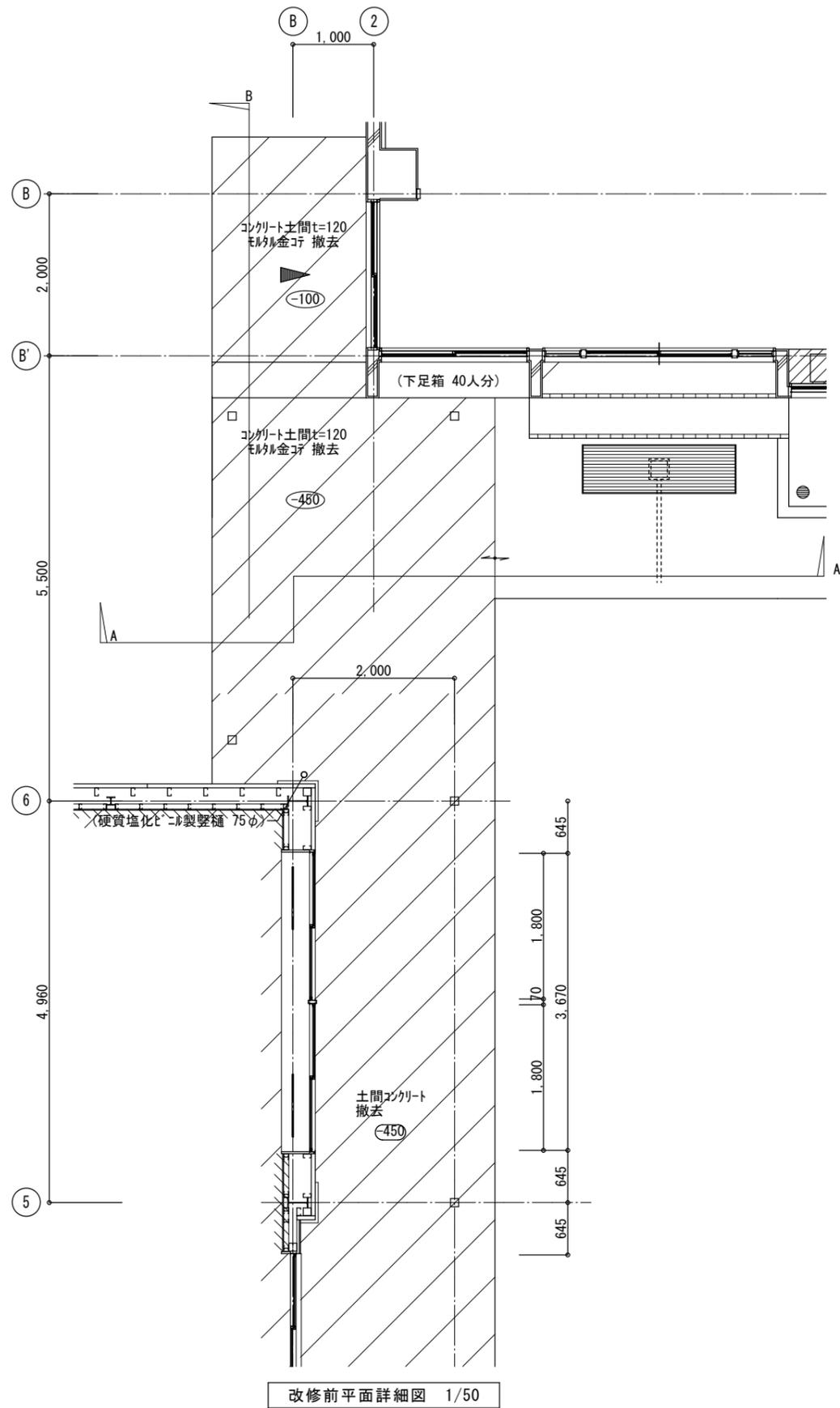
1/30



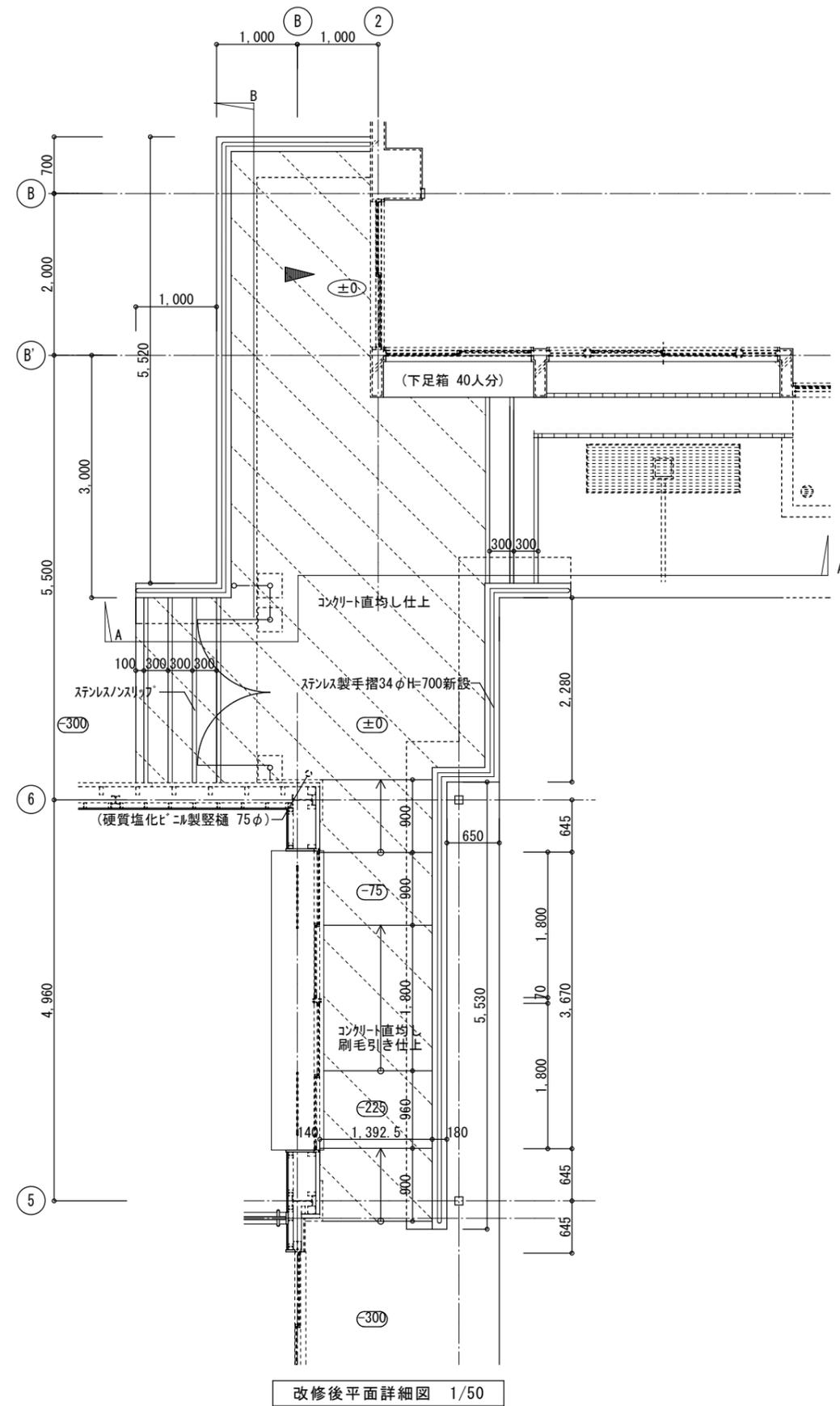
流し台撤去詳細図

1/30





改修前平面詳細図 1/50



改修後平面詳細図 1/50



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

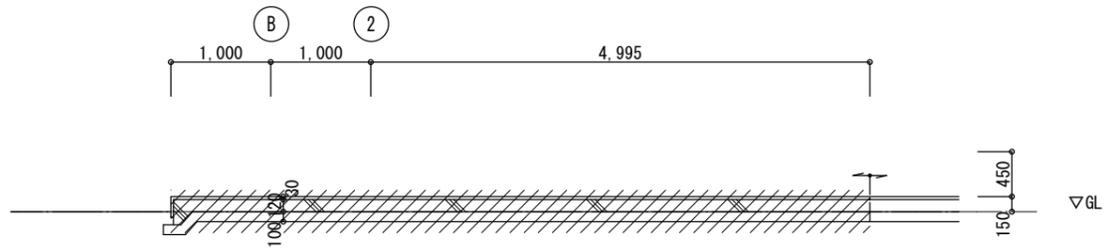
設計年月日

工事名
(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)

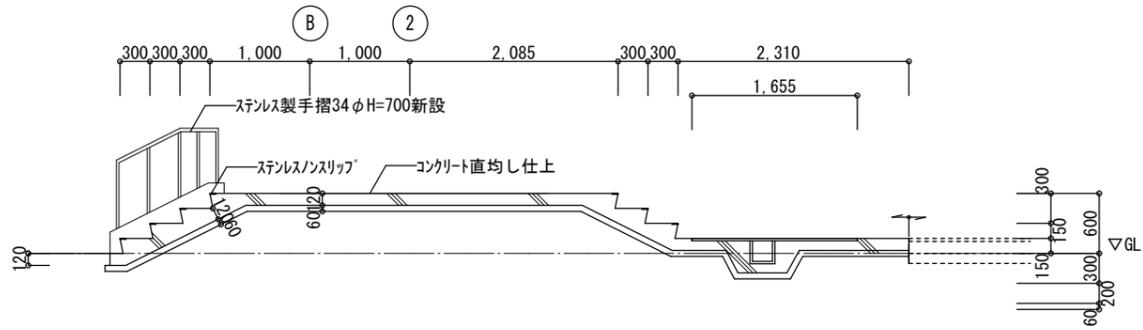
図面名
30-J 平面詳細図

A2版 100%
A3版 71%
縮尺

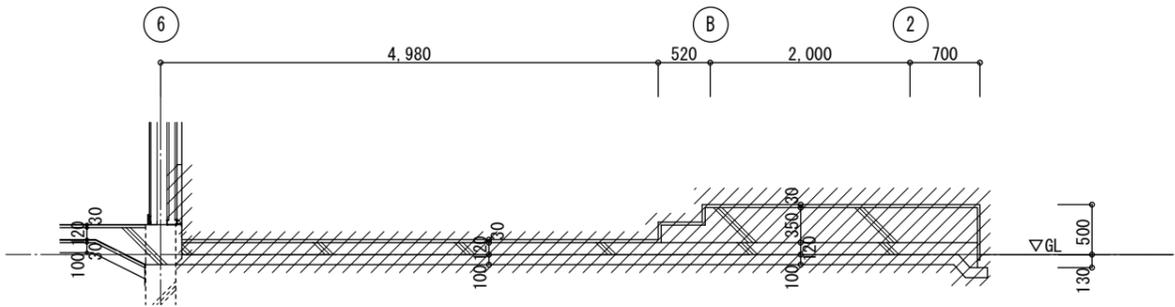
図面No
A-60



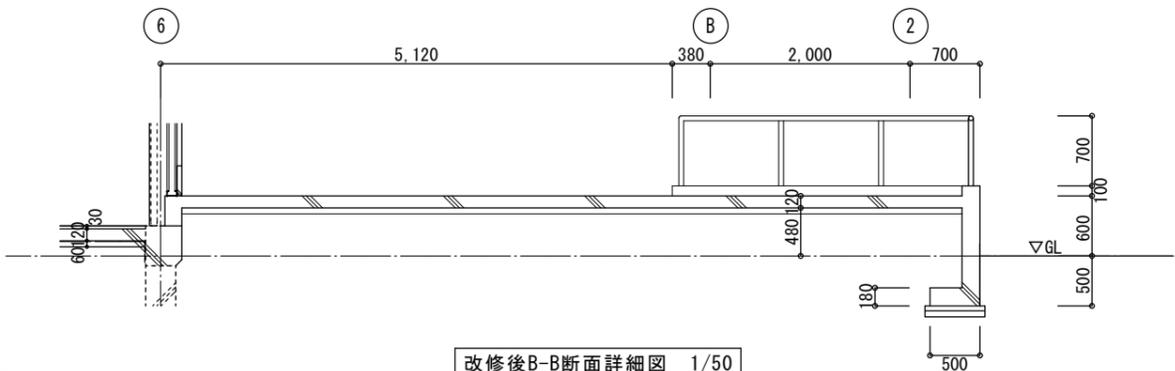
改修前A-A断面詳細図 1/50



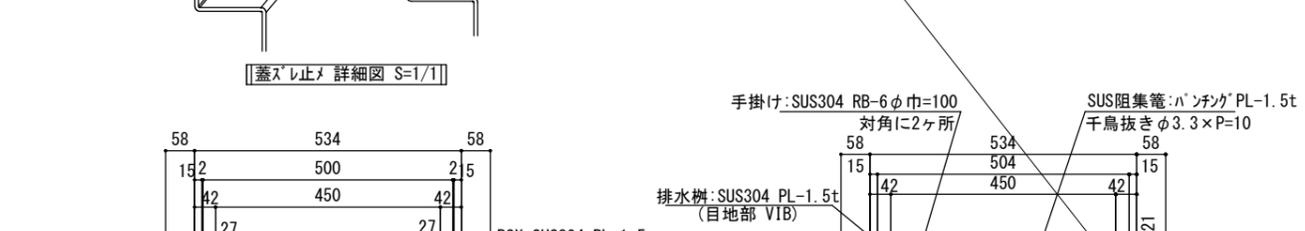
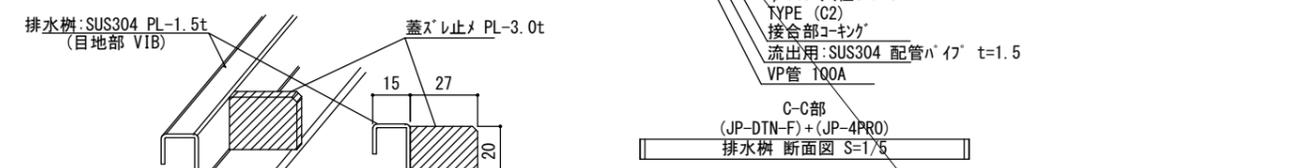
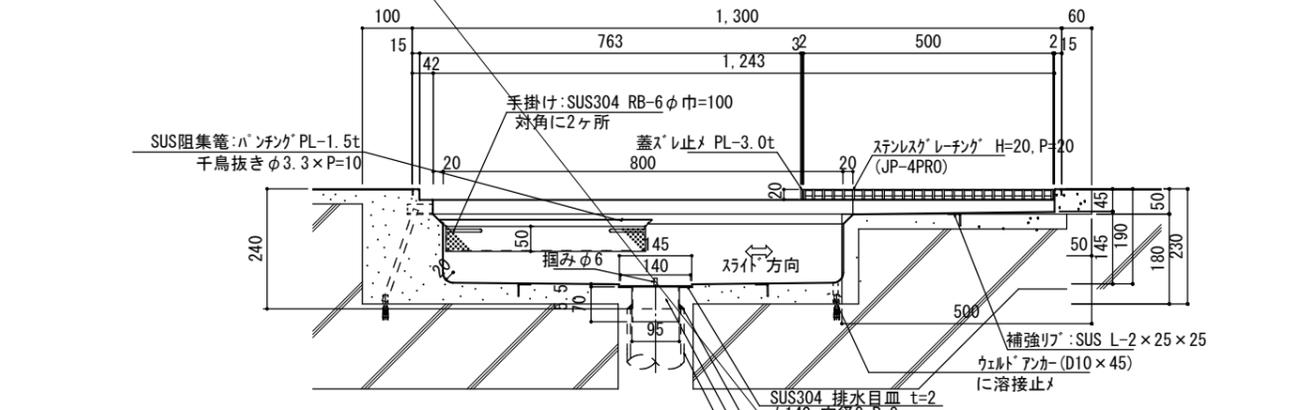
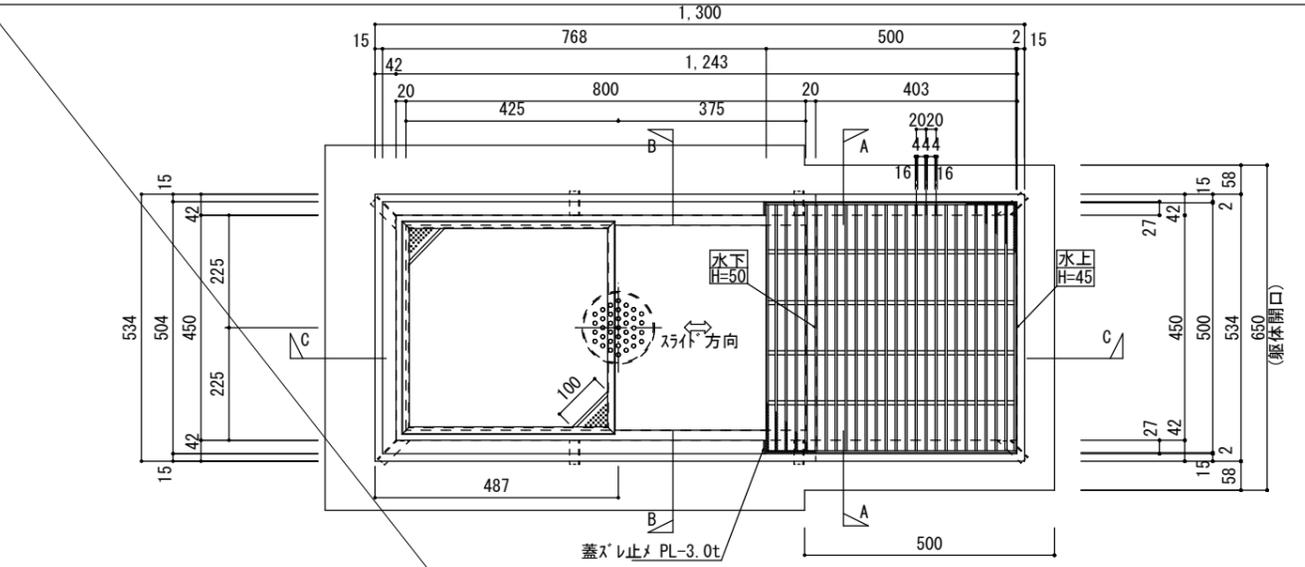
改修後A-A断面詳細図 1/50



改修前B-B断面詳細図 1/50



改修後B-B断面詳細図 1/50



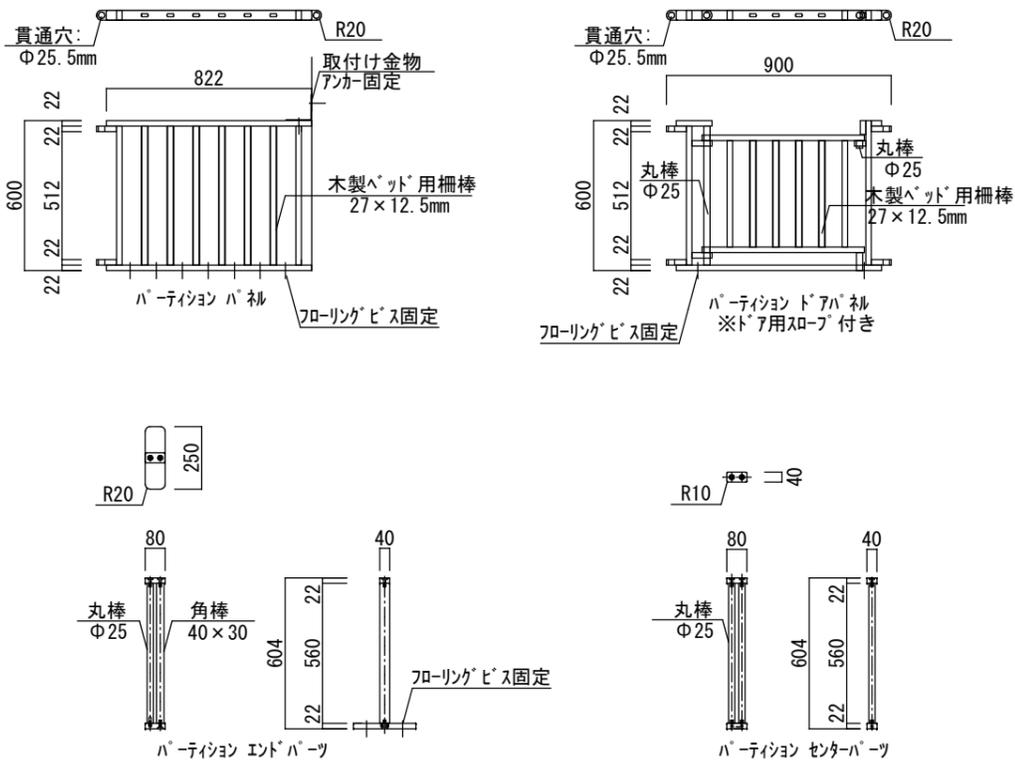
設計に緑を

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

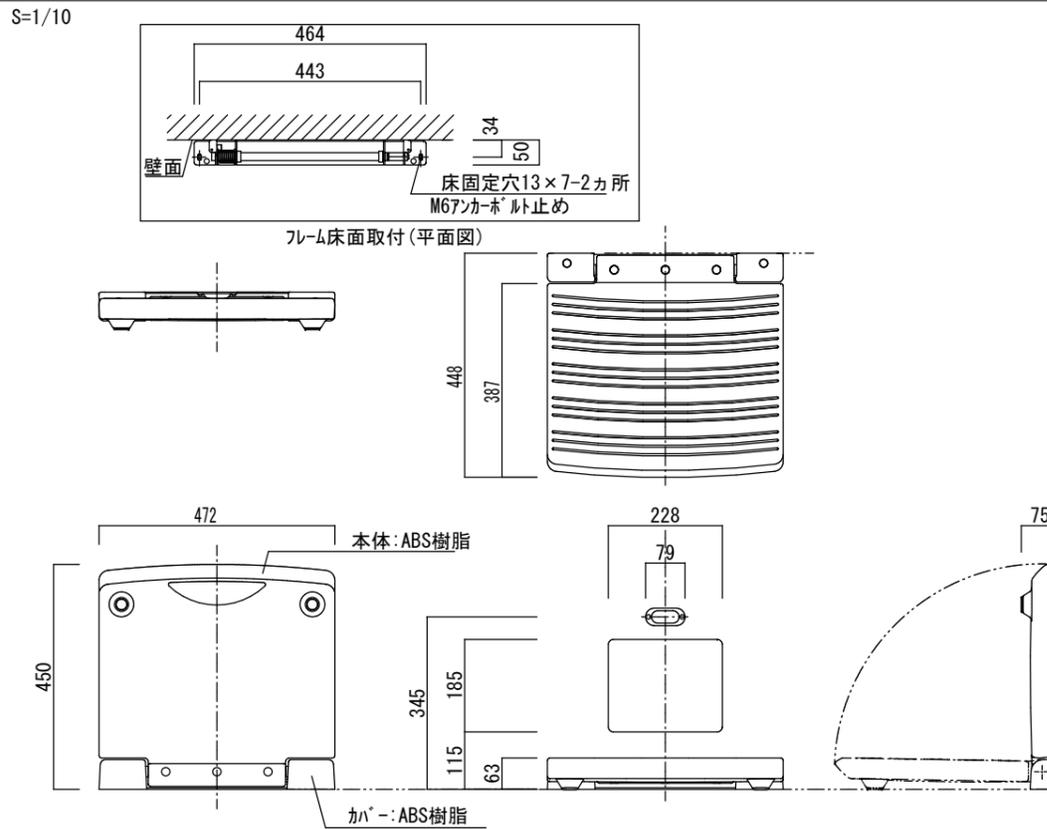
設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
	(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)	A 3版 71%	A-61
	図面名	縮尺	
	スロープ断面詳細図、排水樹詳細図		

侵入防止柵



木部はすべてブナ材 すべて面取り処理ウレタンクリアコート

着替え台 1ヶ所



※アンカーボルト等の固定金具は付属されておりません
床の種類に合わせて御用意下さい。

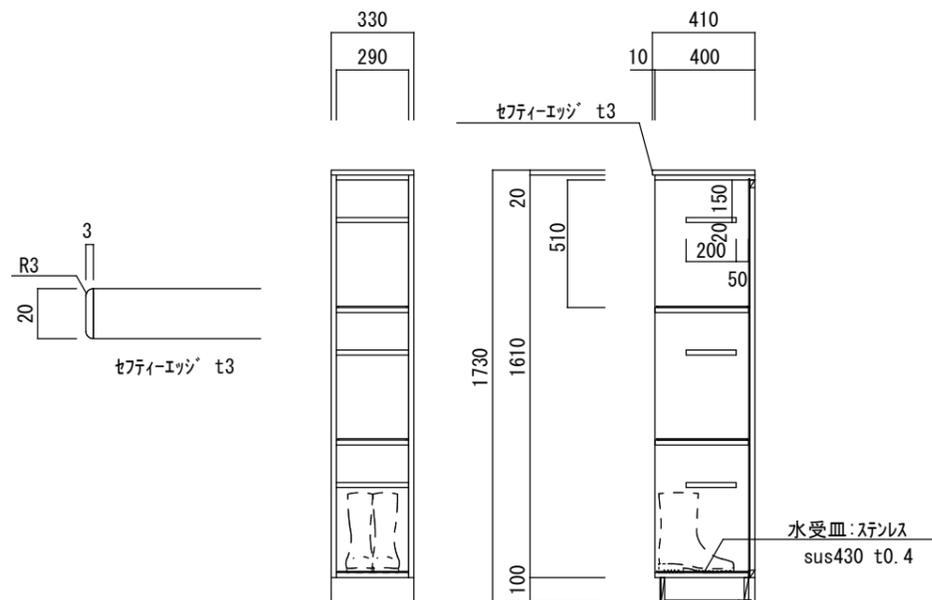
使用対象年齢	—
耐荷重	980N(100kgf)
製品重量	3.6kg
材質	本体:ABS樹脂 カハ:ABS樹脂
付属品	表示マーク:2枚 消音ゴム:1個 消音ゴム用タビリングネジ φ4×25:2本 裏カハ:2個 裏カハ用小ネジ M5×8:2本 使用説明ステッカー:1枚 セットキャップ:2個

下足箱

2ヶ所

本体	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧ハニチルボード t20(表面硬度9H以上)
天板	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧ハニチルボード t20(表面硬度9H以上) 木口(前端):ABS樹脂3mm厚(セフティエッジ)
棚	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧ハニチルボード t20(表面硬度9H以上)
台輪	化粧合板貼

※耐久面を考慮し、コート紙系ハニチルボードは使用不可
(材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること)



3人用

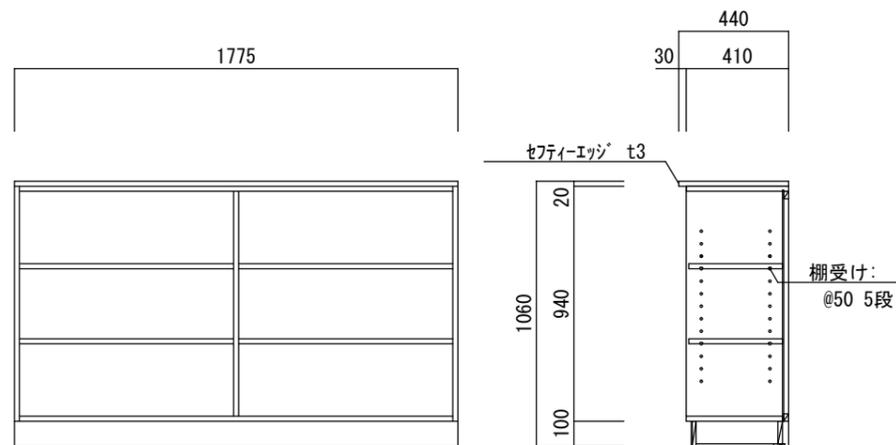
木製棚

1ヶ所

本体	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧ハニチルボード t20(表面硬度9H以上)
天板	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧ハニチルボード t20(表面硬度9H以上) 木口(前端):ABS樹脂3mm厚(セフティエッジ)
棚	光触媒によるVOC低減・抗菌・抗ウイルス機能付き両面メラミン化粧ハニチルボード t20(表面硬度9H以上) 棚受け:ステンレスφ9
台輪	化粧合板貼

※耐久面を考慮し、コート紙系ハニチルボードは使用不可
(材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること)

材質:ブナ ウレタン塗装



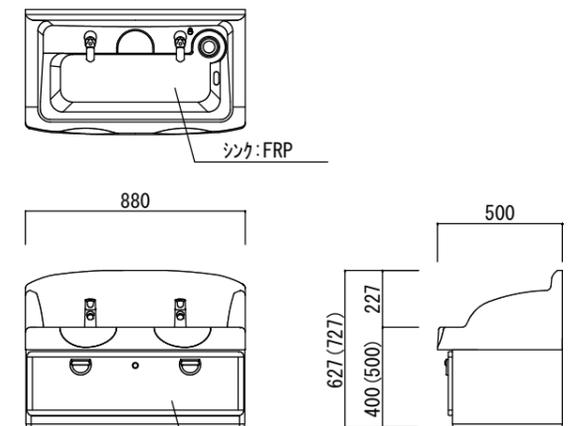
洗いキャビネット2連

0~4歳用

5ヶ所

5歳用

1ヶ所



キャビネット:メラミン化粧板貼り
参考品番:ウチカ 8-342-6337

設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号

車田 寛

意匠設計者

設計年月日

工事名

(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

A2版 100%
A3版 71%

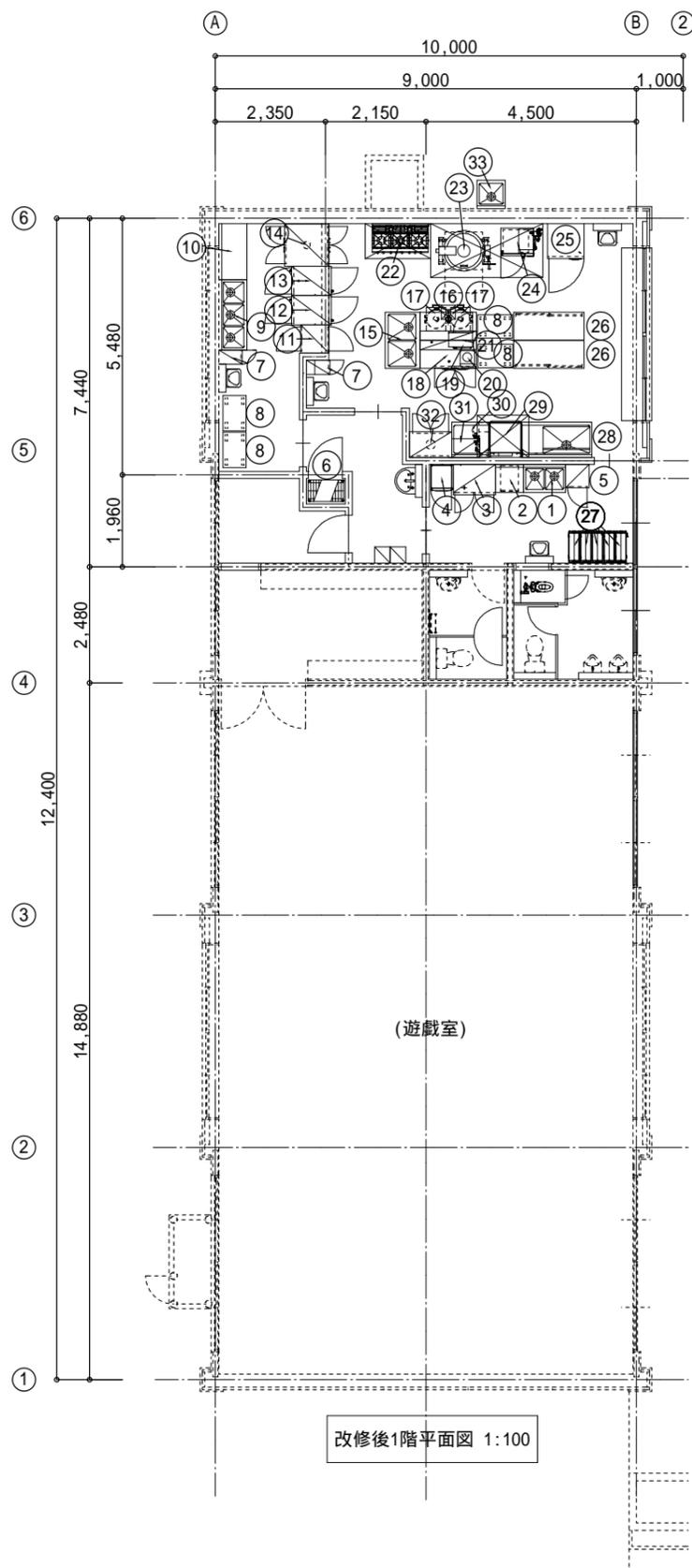
図面No

A-62

図面名
家具詳細図

縮尺

1/20

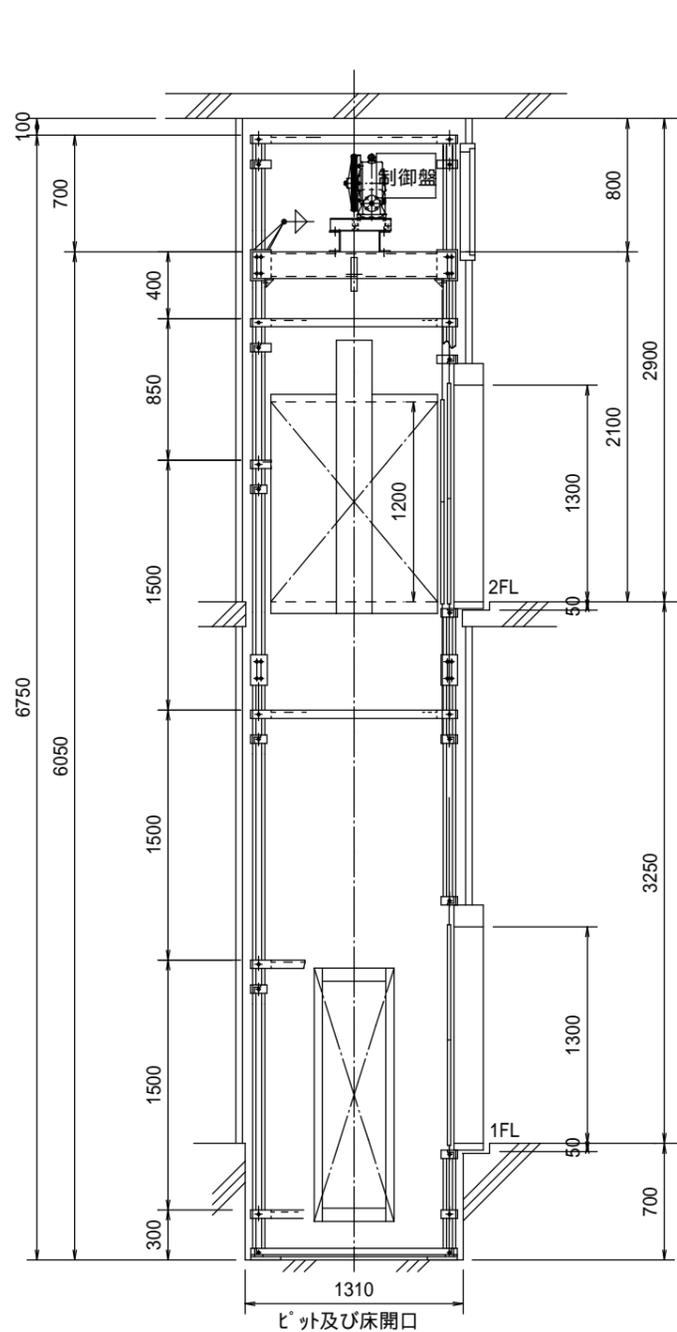


改修後1階平面図 1:100

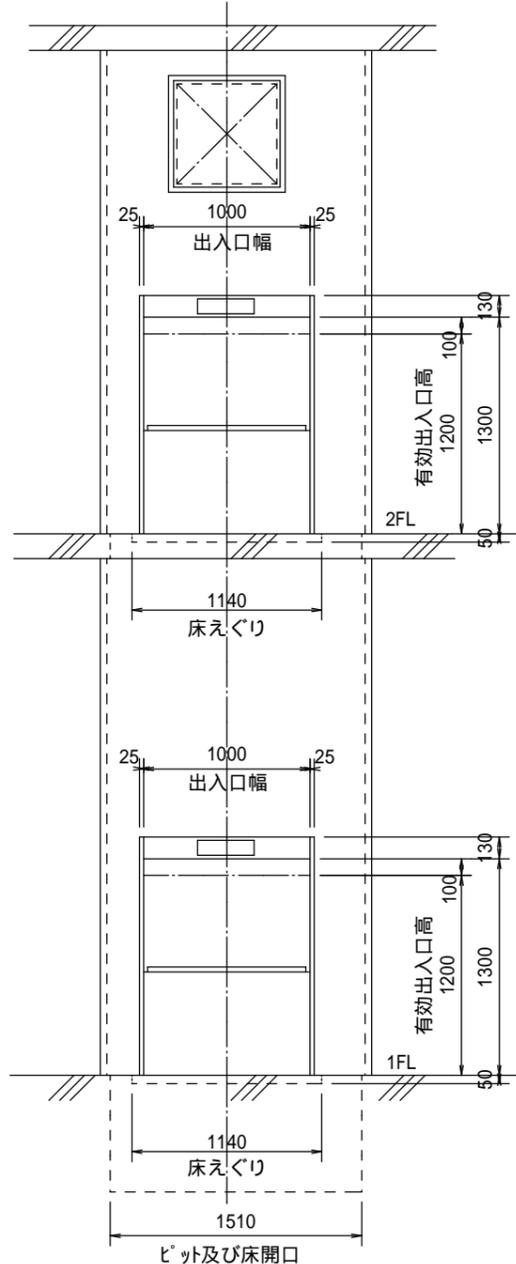
厨房設備器具明細表

No	品名	参考型式	規格寸法			台数	配管接続口径(A)			電気(60Hz)kW			蒸気			冷却水			備考	
			W	D	H		給水	給湯	排水	単相100V	単相200V	三相200V	供給	戻り	kg/h	供給	戻り	l/min		
1	二槽シンク	NS2-96B	900	600	850	1	15x2	15x2	40x2											
2	引出付テーブル	NT-66B1D	600	600	850	1														
3	冷凍冷蔵庫	HRF-90AFT-1	900	650	1910	1			間接40		0.388									冷凍:272L 冷蔵:272L
4	検査用冷凍スリッパ	VF-K120X	460	585	1110	1					0.13									冷凍:117L
5	掃除用具入れ		500	500	1800	1														
6	ラック	MS760-19	758	460	1892	1														
7	包丁まな板殺菌庫	USC-1	300	500	1600	2					0.48									包丁8本 まな板4枚 乾燥機能付
8	移動台		750	500	850	4														
9	三槽シンク	NS3-156B	1500	600	850	1	15x3	15x3	40x3											
10	作業台	NT-126B	1200	600	850	1														
11	バスル戸棚		600	600	1910	1														
12	バスル冷蔵庫	HF-63CA3-2D2D-RR	625	850	1910	1			間接40				0.424							冷凍:529L
13	バスル冷蔵庫	HR-63CA-2G2G-RR	625	850	1910	1			間接40		0.376									冷蔵:529L
14	器具消毒保管機	ISC-W20JW-EF	900	950	1880	1								7.95						ウォーム機能・自己診断機能付 両面式
15	二槽シンク		1200	750	850	1	15x2	15x2	40x2											
16	作業台		1200	600	850	1														炊飯+ト2台付
17	ガス炊飯器	RR-300C	492	423	426	2				13ミリ	5.52								S	炊飯量:2.0~6.0L
18	コールドテーブル冷蔵庫	RT-120SNG-1-ML	1200	600	850	1			間接40		0.328									冷蔵:245L
19	上棚		1200	400		1														両面 自立型
20	IH調理器	KZ-PH34	304	345	54	1					1.4									
21	電子レンジ	NE-711GV	510	360	306	1					1.26									
22	ガステーブル	XY-12605T	1200	600	850	1				20	48.8								G	
23	ガス回転釜	DGK-30J-D	1256	860	1720	1	15	15	グレーチング	20	29.1								G	満水量:100L ドロロック付
24	スチームコンベクションオーブン	CS13A-E5	700	590	1495	1	15		高温間接40				5.5					G	2/3扉開閉 5段階 軟水器付 架台(B仕様)付	
25	プラスチック	HRC-5B	780	750	850	1			間接40		0.401									1/1扉開閉 深さ65mm 5枚収納
26	戸棚付作業台	HTC-156	1500	600	850	2														
27	ステンス折畳カート	ESW-K1	650	230	1070	5														
28	ソルトテーブル		1500	750	850	1	15x2	15x2	40											ラック付
29	食器洗浄機	ND-8TG	940	750	1610	1		20	高温25 高温50	15	17.4			1.9				H		
30	クリンテーブル		800	750	850	1														
31	ラックシェルフ		600	400		1														壁掛型
32	消毒保管機	ISC-S10JW-EF	900	550	1880	1								5.2						三相 片面 ウォーム機能付 自己診断機能付
33	一槽シンク		600	600	850	1	15	15	40											設置場所打合せ要
...総使用量...											106.38	5.243	0.0	20.974						

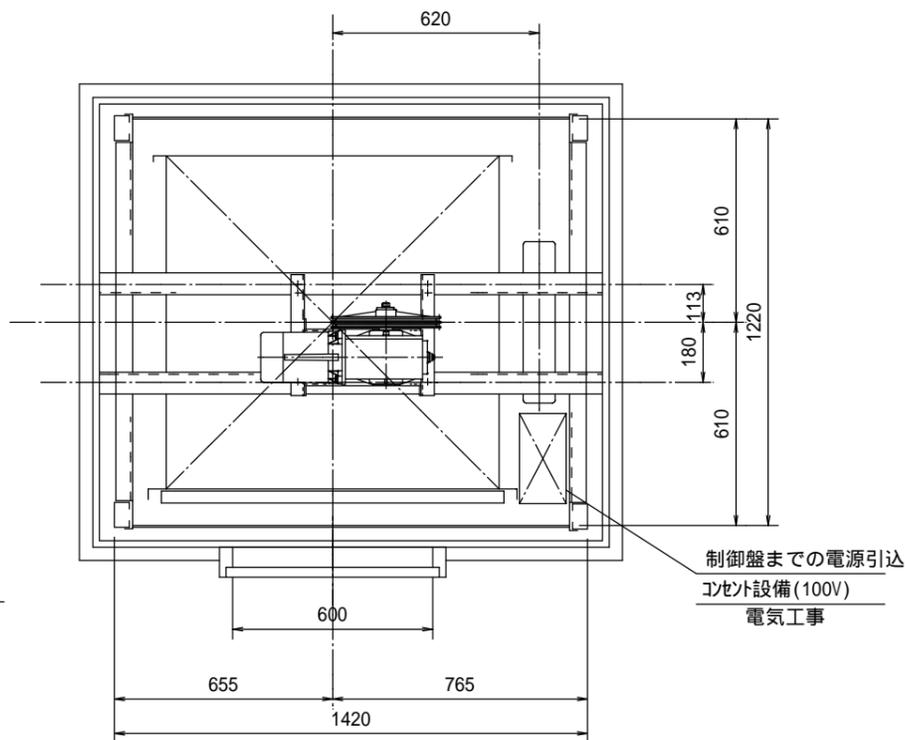
注:上記接続工事並びに消費量は、各器具に於ける1台を示す



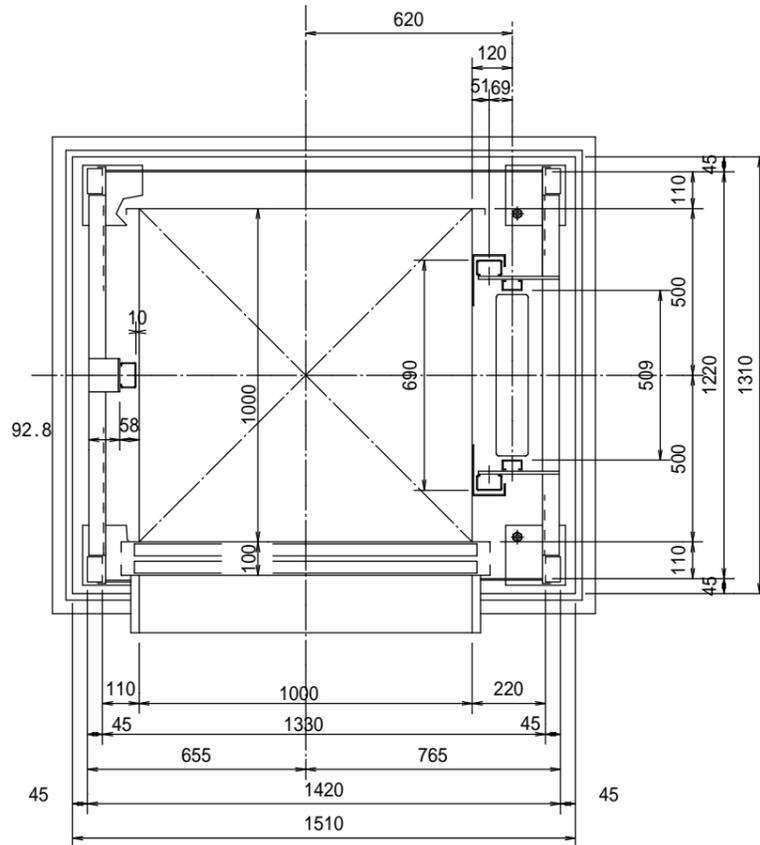
昇降路断面図 S=1:30



出入口正面図 S=1:30



機械室平面図 S=1:15



昇降路平面図 S=1:15

仕様	
用途	荷物用
型式	SL-300-S45
最大積載量	300 kg
電動機	3相220V 60Hz kW2.2
昇降速度	45 m/min
制御方式	インバータ制御方式
操作方式	相互階操作方式
行程	3m 250
全高	6m 050
停止箇所	(1~2)階 (2)停止
加工内法	1000W × 1000D × 1200H
三方枠	1000W × 1200H
出入口扉(手)	2枚扉上下開き式
加工扉(手)	2枚扉上下開き式
標示装置	使用中灯・位置表示灯(到着灯兼用)
連絡装置	インターホン
ワイヤロープ	径 8 m/m 2本掛
ガイドレール	加工側 □75 × 45 × 15 加工側 □60 × 30 × 10
安全装置	ドアスイッチ, ドアロック
加工ウエイト	45% 加減式
その他の装置	到着アラーム, 扉開放厳禁アラーム, 空転防止装置,

出入口意匠	
三方枠	鋼板1.6tウレタ樹脂塗装
扉	鋼板1.6tウレタ樹脂塗装
敷居	縞鋼板3.2tウレタ樹脂塗装

加工意匠	
天井	鋼板1.6tウレタ樹脂塗装
壁	鋼板1.6tウレタ樹脂塗装
床	縞鋼板3.2tウレタ樹脂塗装
扉	鋼板1.6tウレタ樹脂塗装

- 確認事項
- 1 昇降路及び機械室内に他用途の配管、ダクトが露出しないこと。
 - 2 昇降路壁には配管類を埋め込まないこと。
 - 3 機械室出入口扉は施錠付鋼板製とすること。
 - 4 電源電圧の変動率は+5~-5%以内のこと。

出入口は板厚1.5mm以上であり、JIS規格協会標準JEAS-207Aに定めた構造を採用していますので平12建告第1369号による特定防火設備と見なされます。

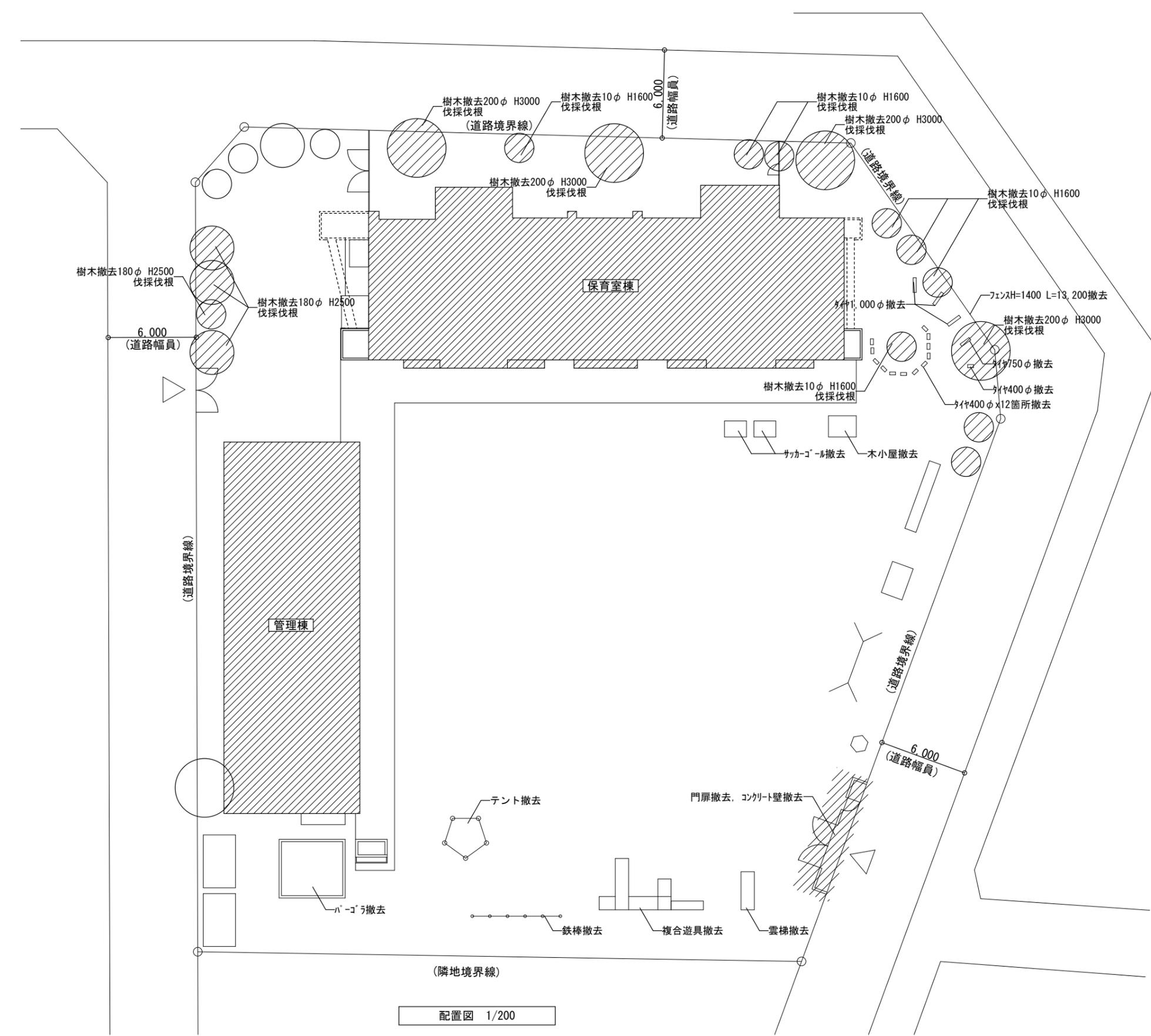
設計に緑を

記事	
----	--

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

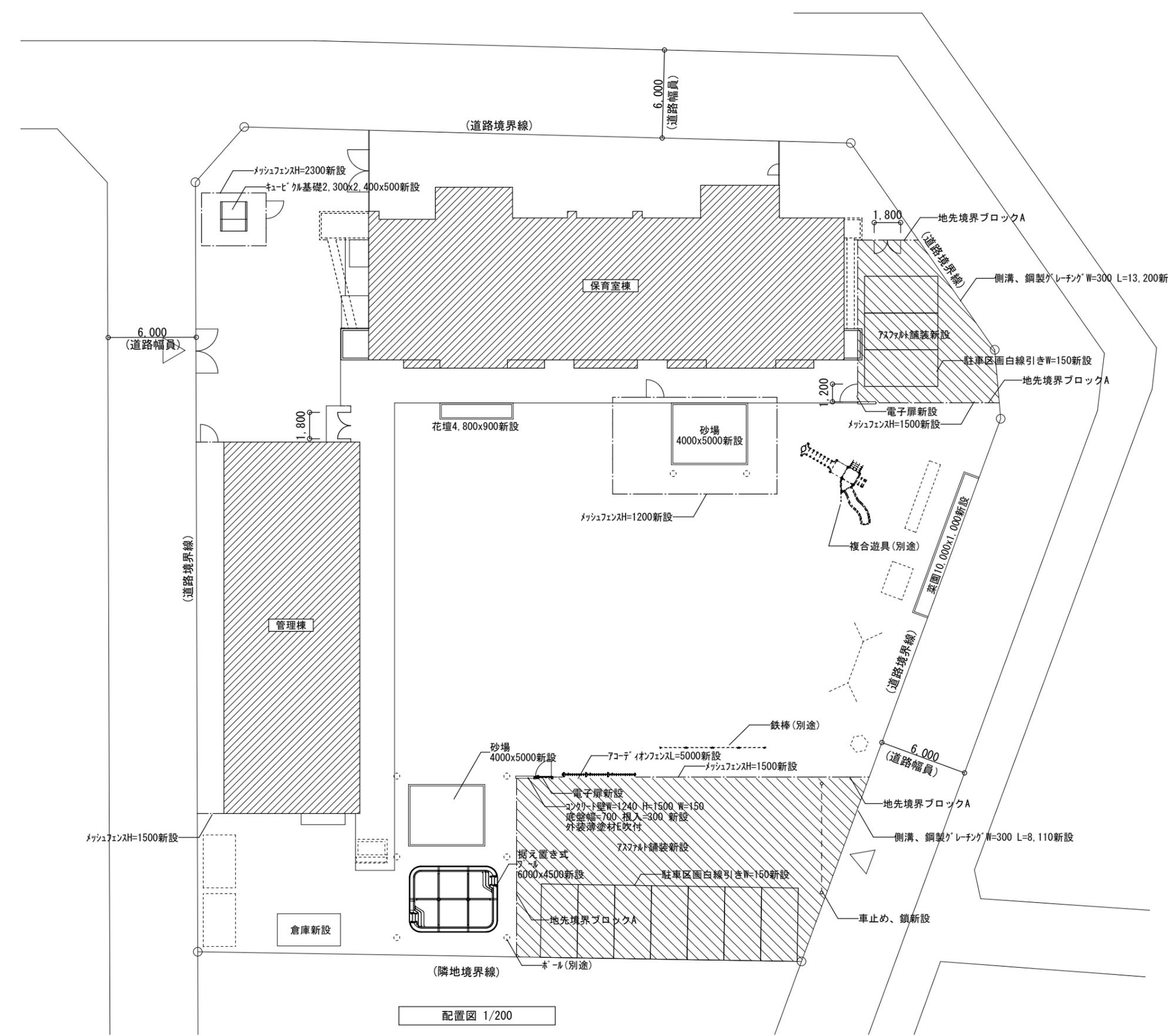
設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
	(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 3版 71%	A-64
	図面名	縮尺	
	ダミー加工詳細図(参考図)	1/15, 1/30	



配置図 1/200

記事	 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)	A 3版 71%	
			図面名	縮尺		
			改修前外構配置図	1/200		

設計に緑を

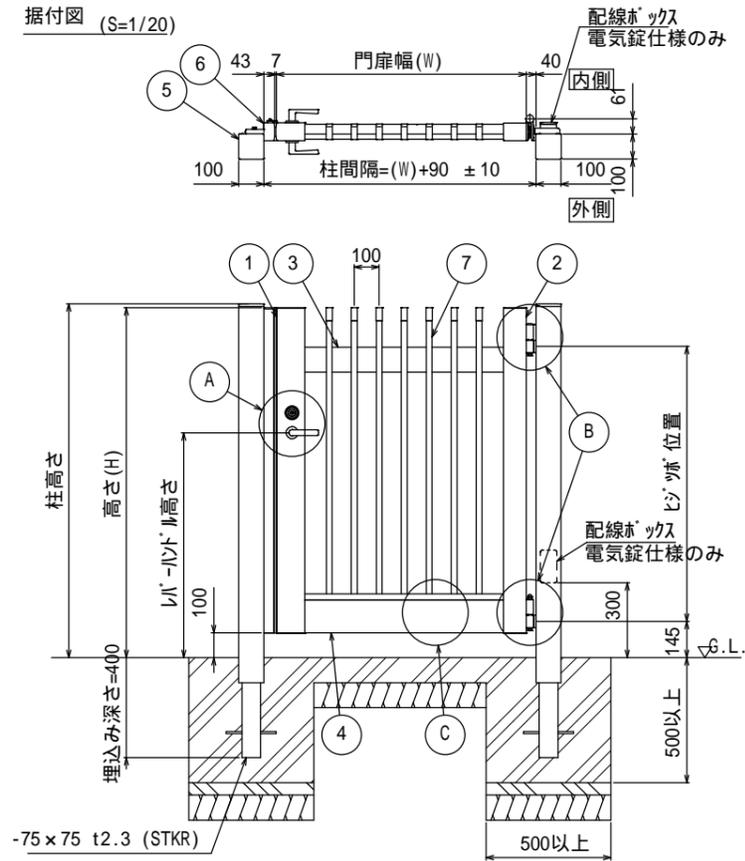


配置図 1/200

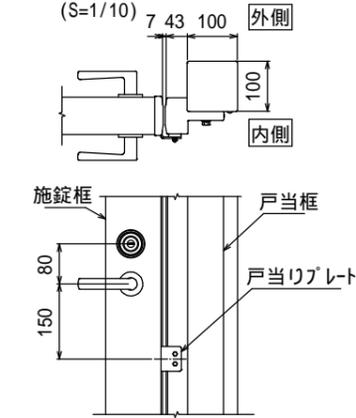
記事	 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A2版 100%	図面No
				(仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)	A3版 71%	
			図面名	改修後外構配置図	縮尺	
					1/200	

設計に緑を

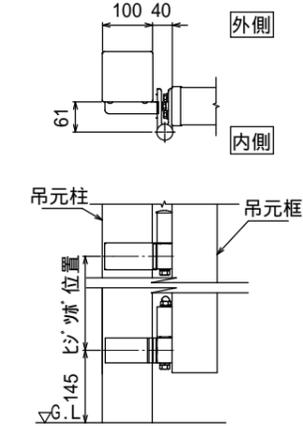
据付図 (S=1/20)



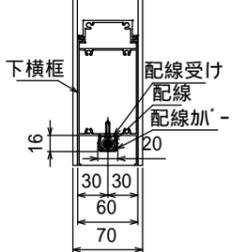
(A) 施錠部詳細図 (S=1/10)



(B) 吊元部詳細図 (S=1/10)

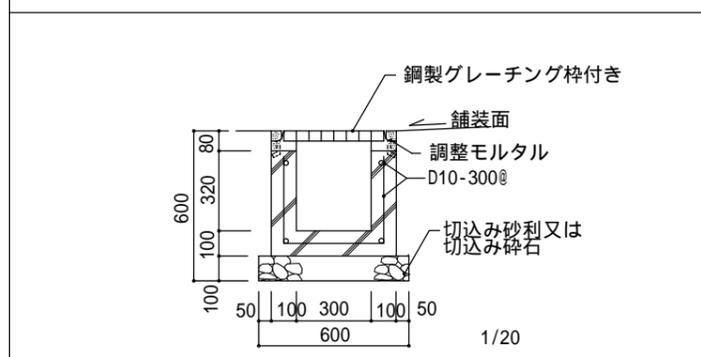
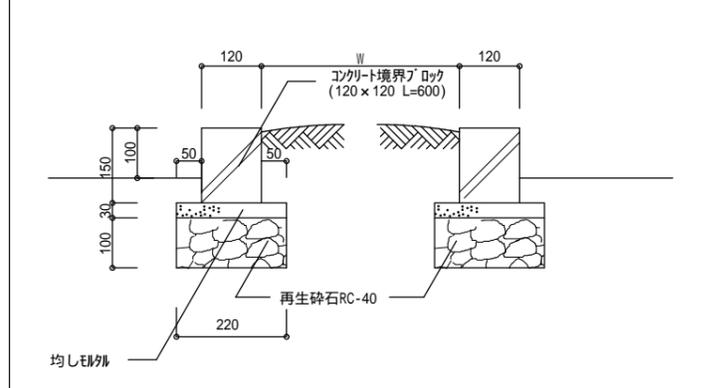
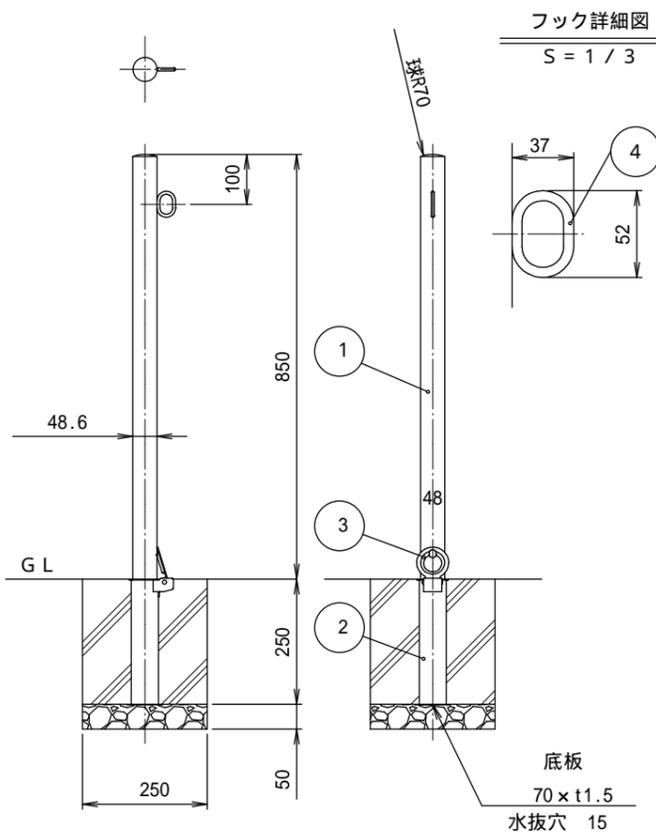
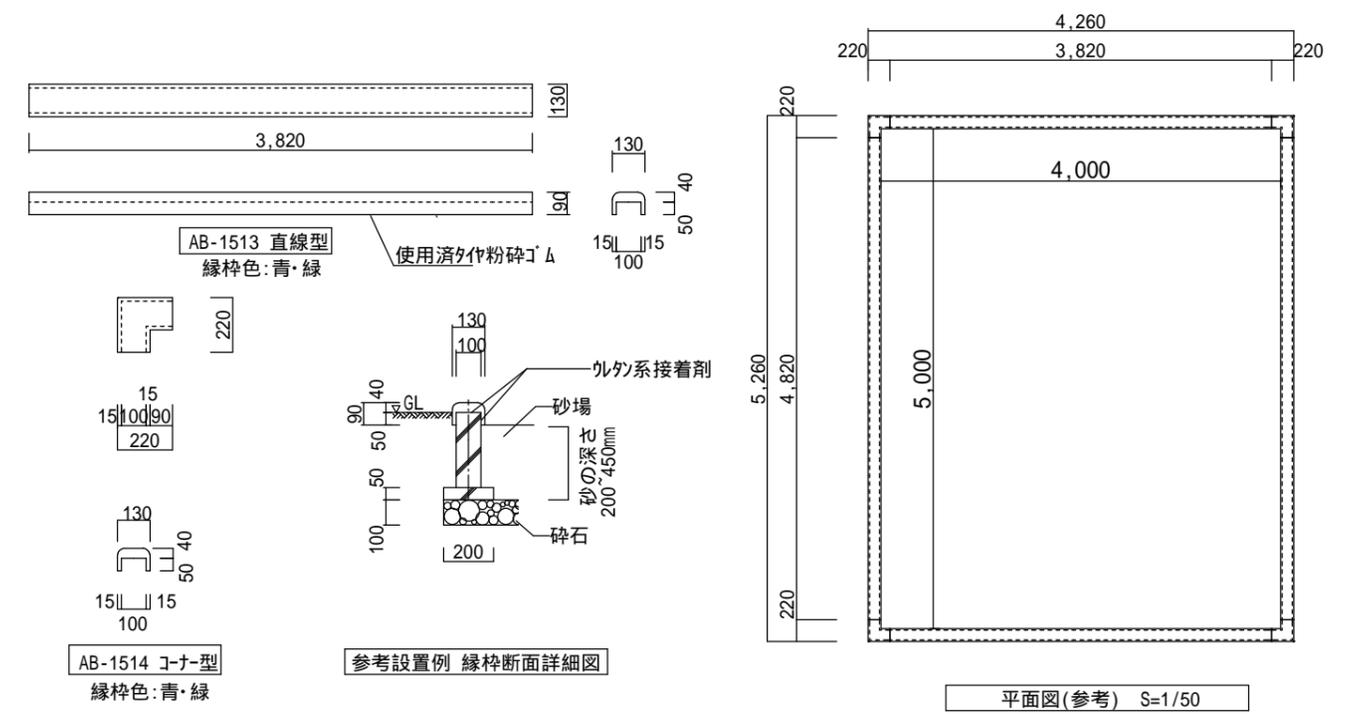
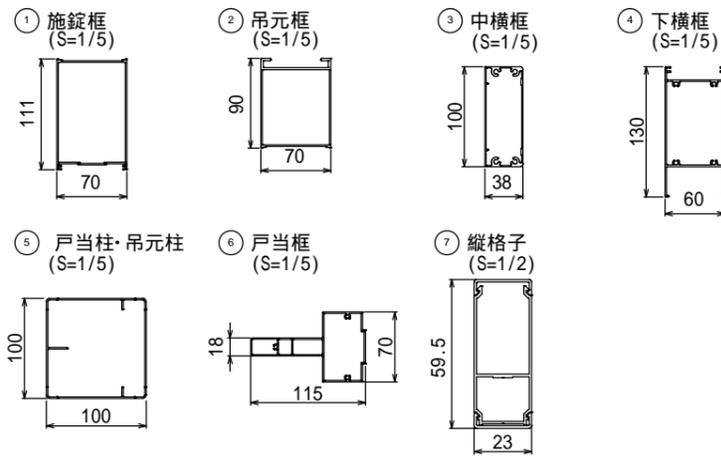


(C) 配線部詳細(電気錠仕様) (S=1/5)

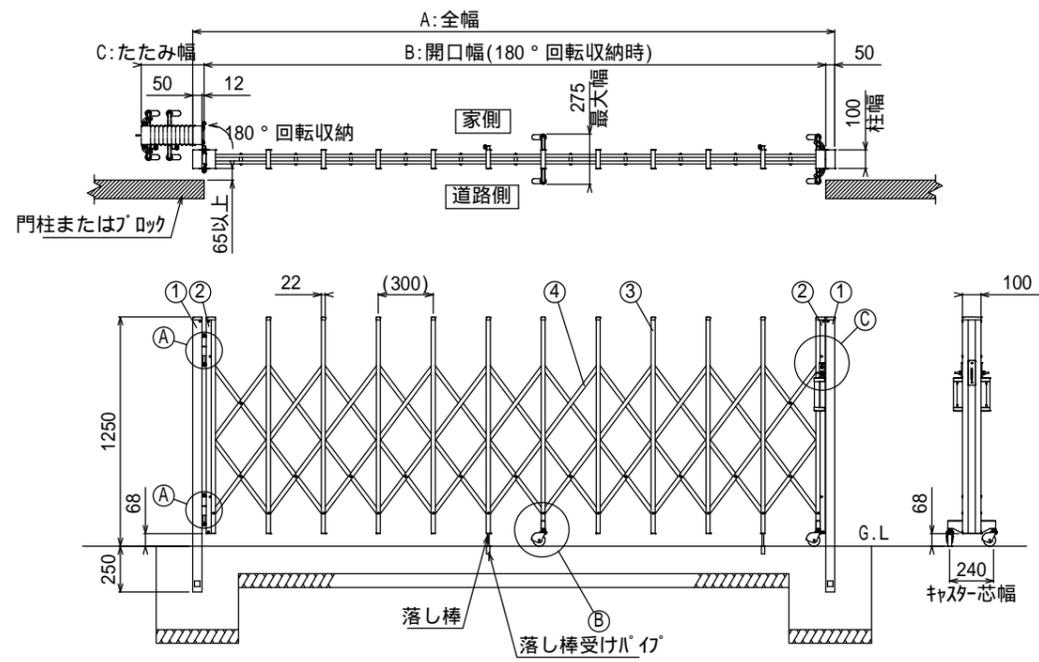


ねじ類	スルス
⑦ 縦格子	7M2押出形材 陽極酸化・塗装複合被膜
⑥ 戸当框	7M2押出形材 陽極酸化・塗装複合被膜
⑤ 戸当柱・吊元柱	7M2押出形材 陽極酸化・塗装複合被膜
④ 下横框	7M2押出形材 陽極酸化・塗装複合被膜
③ 中横框	7M2押出形材 陽極酸化・塗装複合被膜
② 吊元框	7M2押出形材 陽極酸化・塗装複合被膜
① 施錠框	7M2押出形材 陽極酸化・塗装複合被膜
主要部材	仕様(材質・塗装)
型式コード	BSRL-10 S BSRL(M-F)-10 S
商品名	補門扉BSRL型

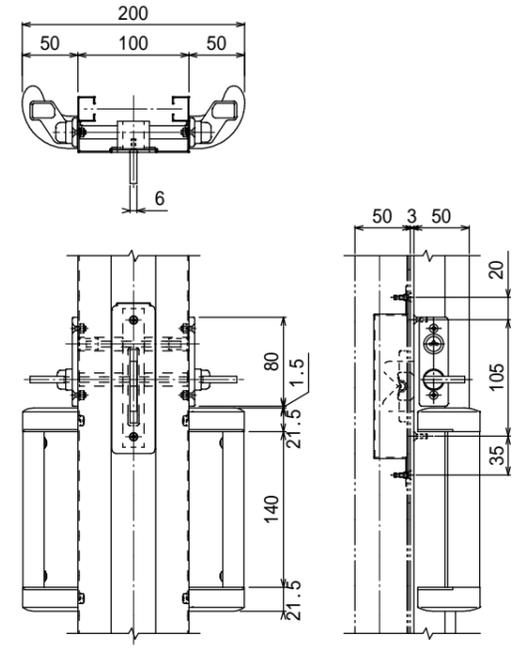
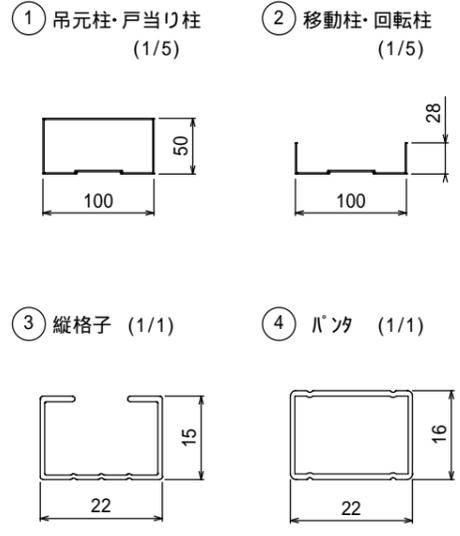
主要部材断面図



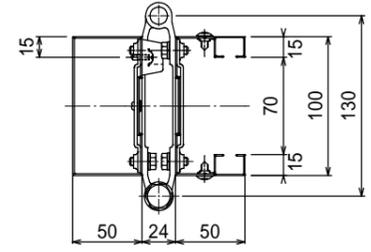
据付図 (1/30)



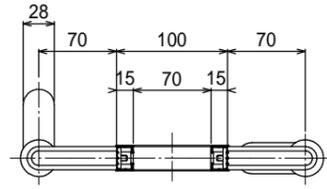
主要部材断面図



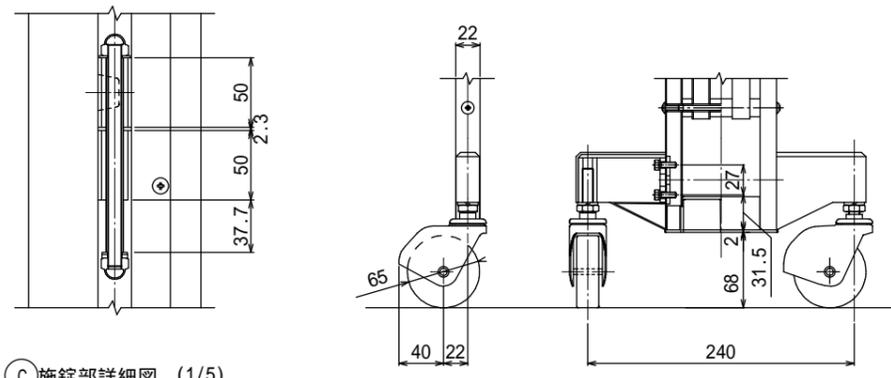
① ヒンジ・ヒンジ部 部詳細図 (1/4)



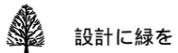
② キャスター部詳細図 (1/5)



③ 施錠部詳細図 (1/5)



ホルト・ナット類	ステンレス(SUS) 加メトッキ品(内装部)
幅決パイプ	合成樹脂(ポリイソ)
格子キャップ	ASA樹脂
移動柱・回転柱 キャップ	ASA樹脂
吊元柱・戸当り柱 キャップ	ASA樹脂
④ パンタ	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 縦格子	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② 移動柱・回転柱	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
① 吊元柱・戸当り柱	アルミ押出型材 陽極酸化・塗装複合皮膜
主要部材	仕様(材質・塗装)



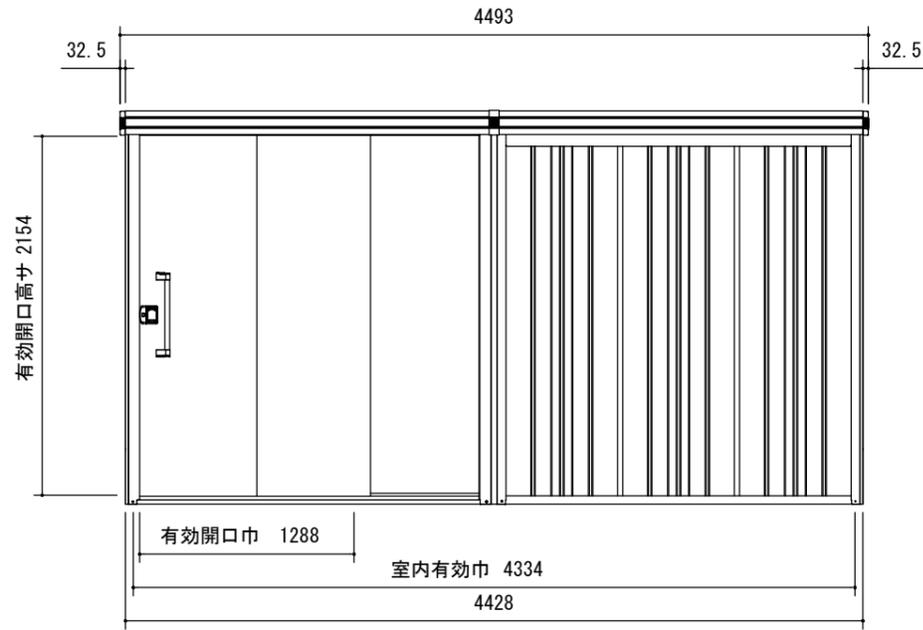
設計に緑を

記事	

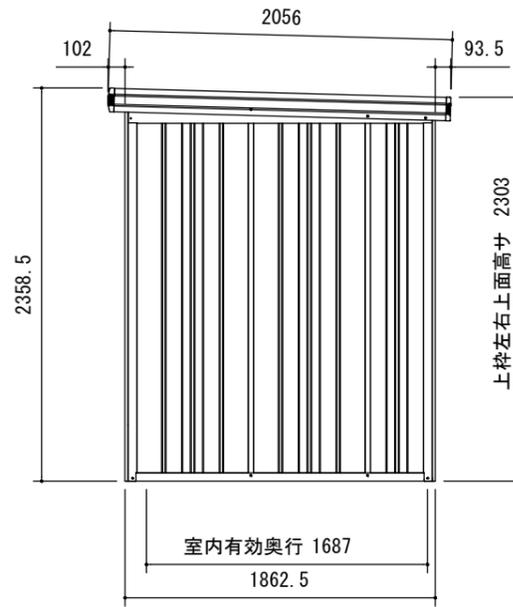
株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

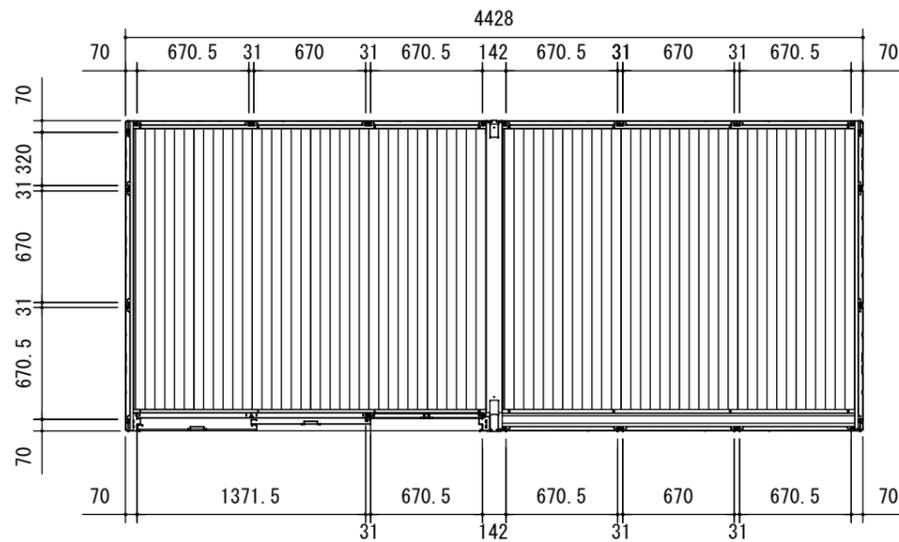
設計年月日	工事名 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 2版 100% A 3版 71%	図面No A-68
	図面名 7コティ門扉詳細図	縮尺 1/5, 1/20	



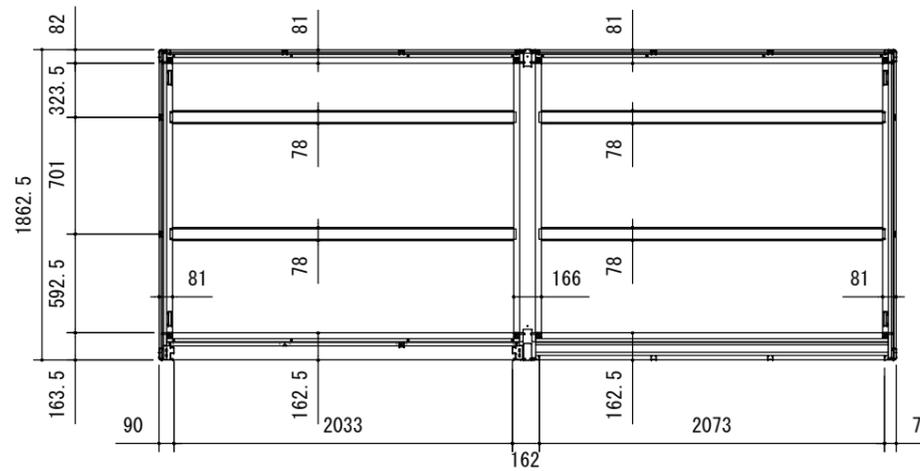
正面立面図 (S=1/50)



側面立面図 (S=1/50)



平面図 (S=1/50)



床伏図 (S=1/50)

部材名	厚さ(㎜/m)	材質
屋根板	0.4	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
床補強	1.2	溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板SGLCC
<一般型> もやA-A3.0	1.2	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
<積雪型> もやC-A3.0S	2.3	塗装溶融亜鉛めっき鋼板CGCC
下枠前(側・後・中)	1.2(1.0)	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
土台前	1.0	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
桁前	1.0	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
上枠前(後)	1.0(0.8)	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
上枠左,右	0.8	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC(ツトンカラー)
<一般型> 上枠中	1.2	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
<積雪型> 上枠中 S	1.6	塗装溶融亜鉛めっき鋼板CGCC
上レール	1.2	アルミニウム合金押出型材
下レール	0.8	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
鼻隠し前	0.5	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC(ツトンカラー)
鼻隠し後	0.5	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
柱	0.8	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
中柱	0.8	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
	1.2	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
扉	0.8	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
壁ハル	0.5	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
袖壁	0.5	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
間柱	1.0	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
床板	0.6	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板CGLCC
アソクプレート(L)	2.3	溶融亜鉛めっき鋼板SGCC(後塗装仕上げ)

部材名	サイズ(巾×高さ)
扉前 H-A	716 × 2178
扉後 H-A	716 × 2178
壁ハル H-A	670 × 2110
壁ハル H-F	319.5 × 2110
袖壁 H-A	670 × 2149

※基礎はコンクリートブロック(6カ所)とする。

プール本体特記仕様書

4.5×6.0 寸 1/30

ただしプール材は組立誤差や温度変化により膨張・収縮が生じます。

規模	プール材(呼称:全幅×全長)	4.5×6.0	m
	水深:	0.55	m
	水面積:	19.1	m ²
	容量:(水深550mmの場合)	9.9	m ³
本体重量:	500	Kg	

材質	FRP(Fiberglass Reinforced Plastics): 不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの		
----	--	--	--

成形法	ハンドレイアップ法		
-----	-----------	--	--

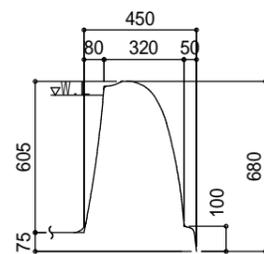
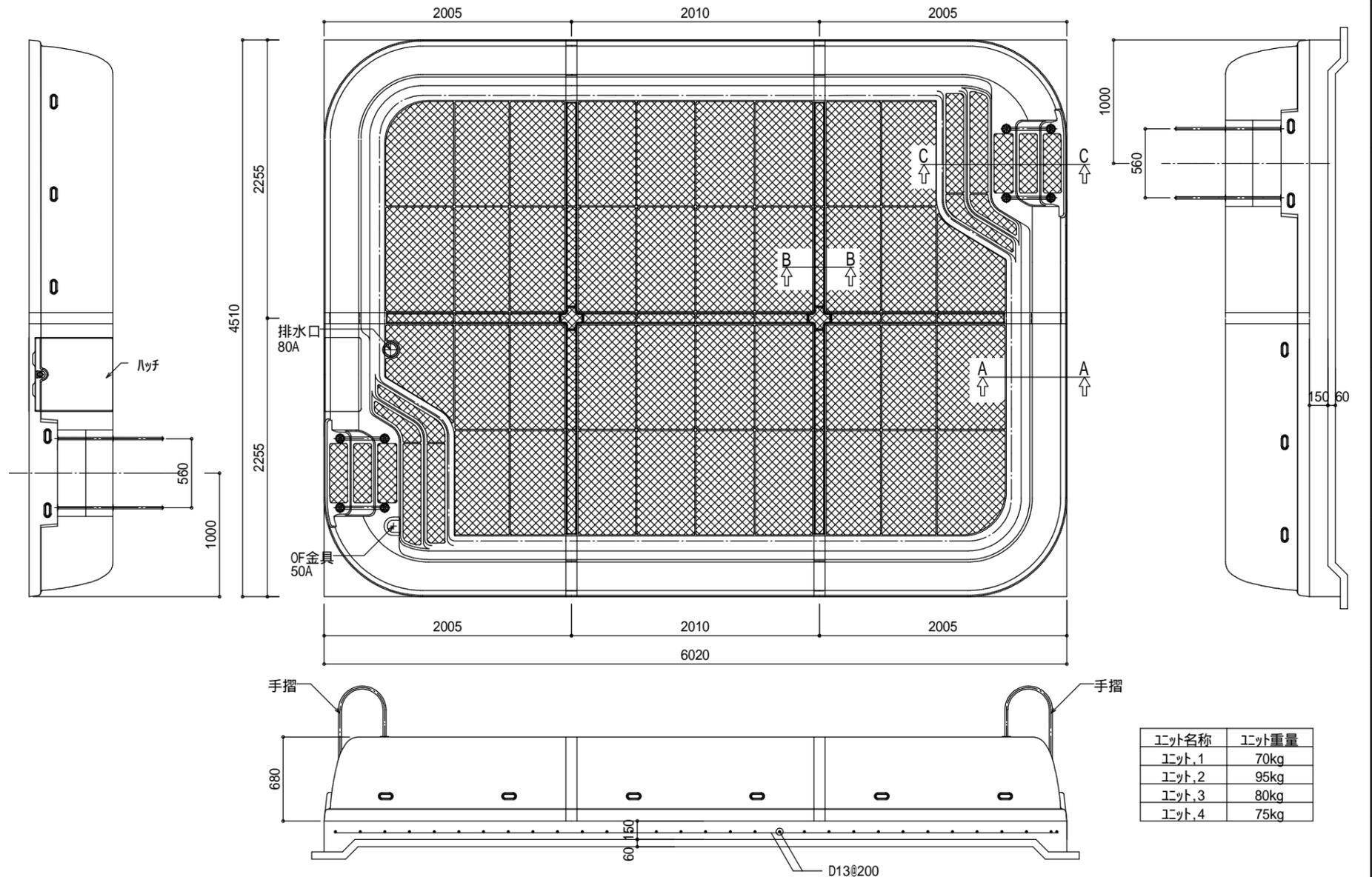
各部構造	側板	単板構造	
	底板	サトイチョ構造(芯材 硬質発泡材)	
	コヒツク	FRP単板構造	

付属部品	1 手摺	SUS304	2	セット
	2 昇降階段	FRP製	2	ヶ所
	3 ハッチ	FRP製	1	ヶ所

配管部品	1 排水口	BSC Rc80A(50A 2ヶ所)	1	個
	2 オールフロー金具	BSC Rc50A	1	個

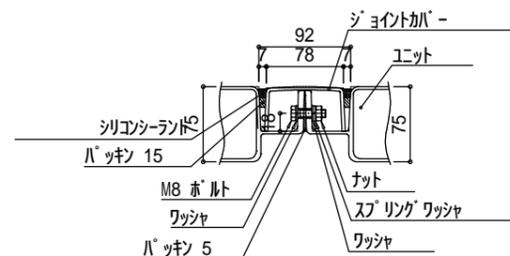
塗装	ゲルコート(顔料を含んだポリエステル樹脂塗料)仕上げ(工場製作)		
	1 内壁、床	ペーブルコート7(水色)	
	2 外壁	グリーンシユイロコート1(黄色)	

用語説明	ハンドレイアップ法	型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を置き、これに成形樹脂を含浸させて硬化後型から外して得る成形法
	BSC	黄銅鑄物
	Rc	管用オールめすねじ



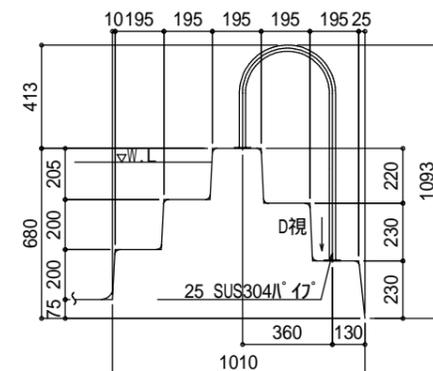
A-A断面

側壁断面詳細図(S=1/20)
ユニット共通基本断面
(排水ユニットの長辺を除く)



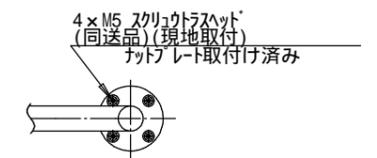
B-B断面

ユニット接合断面(S=1/5)



C-C断面

階段部基本断面 (S=1/20)



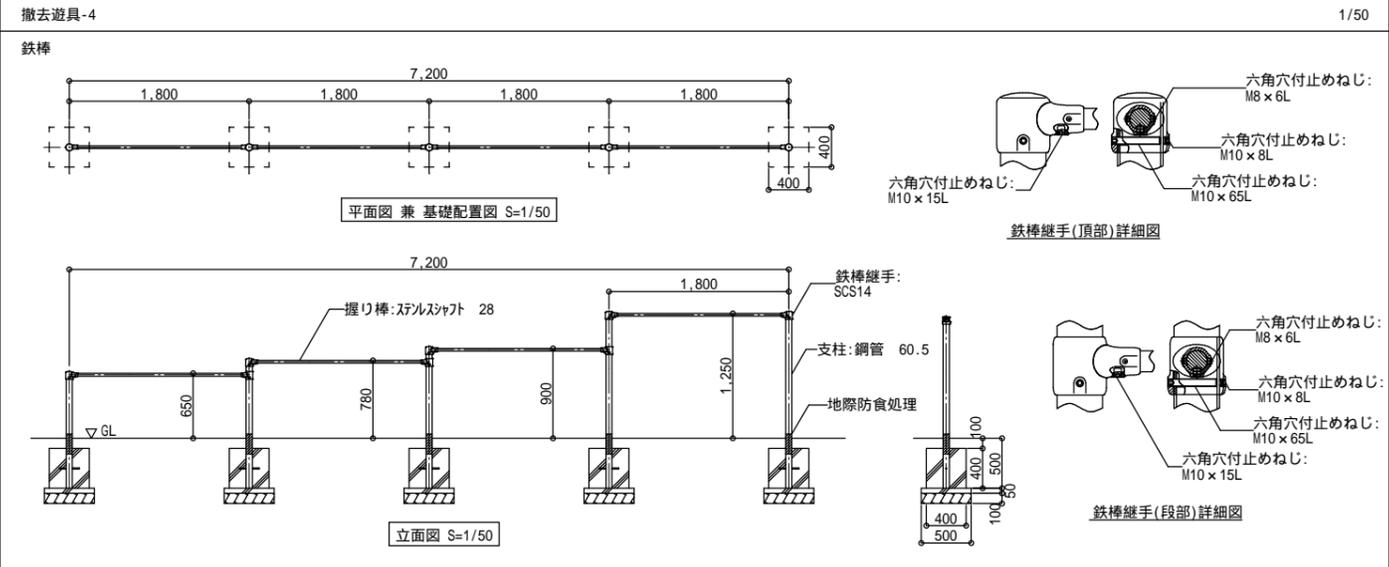
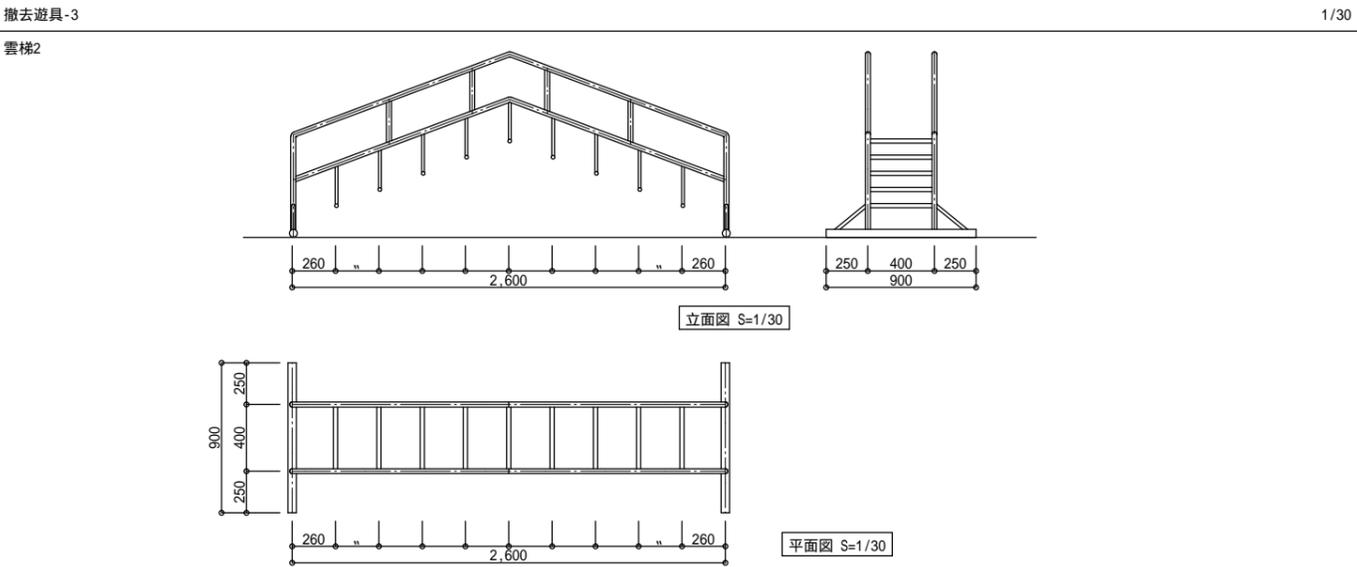
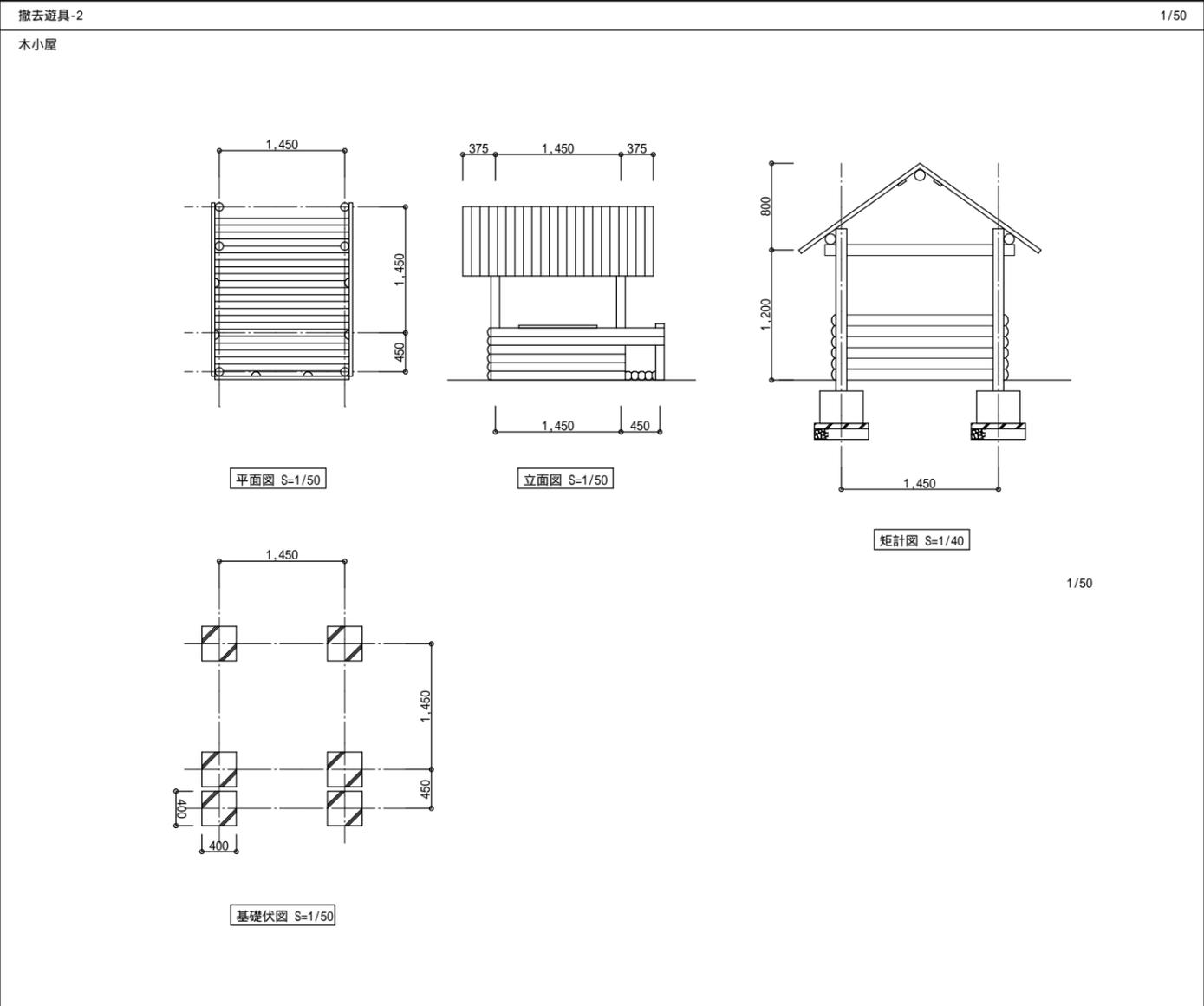
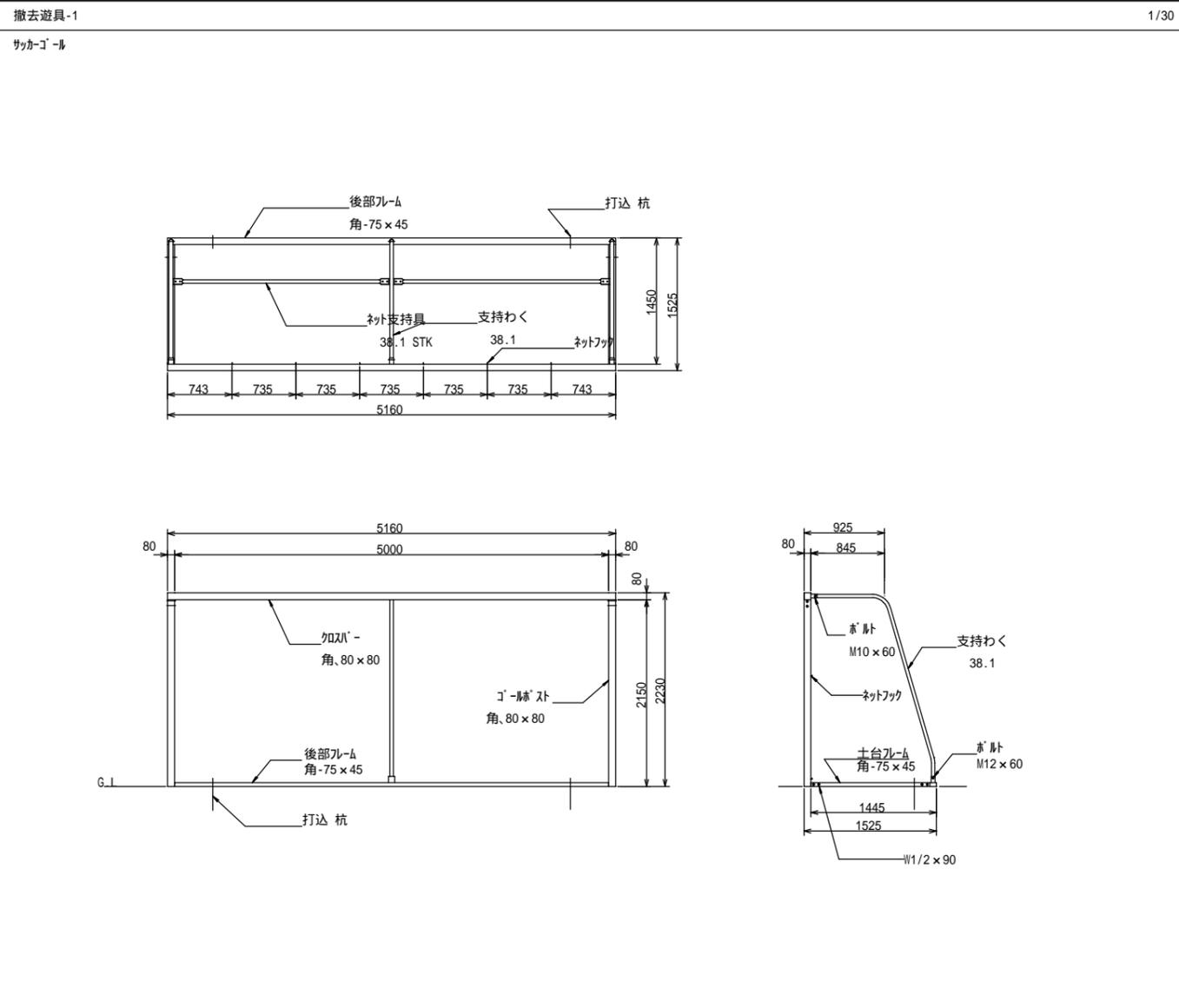
D視図

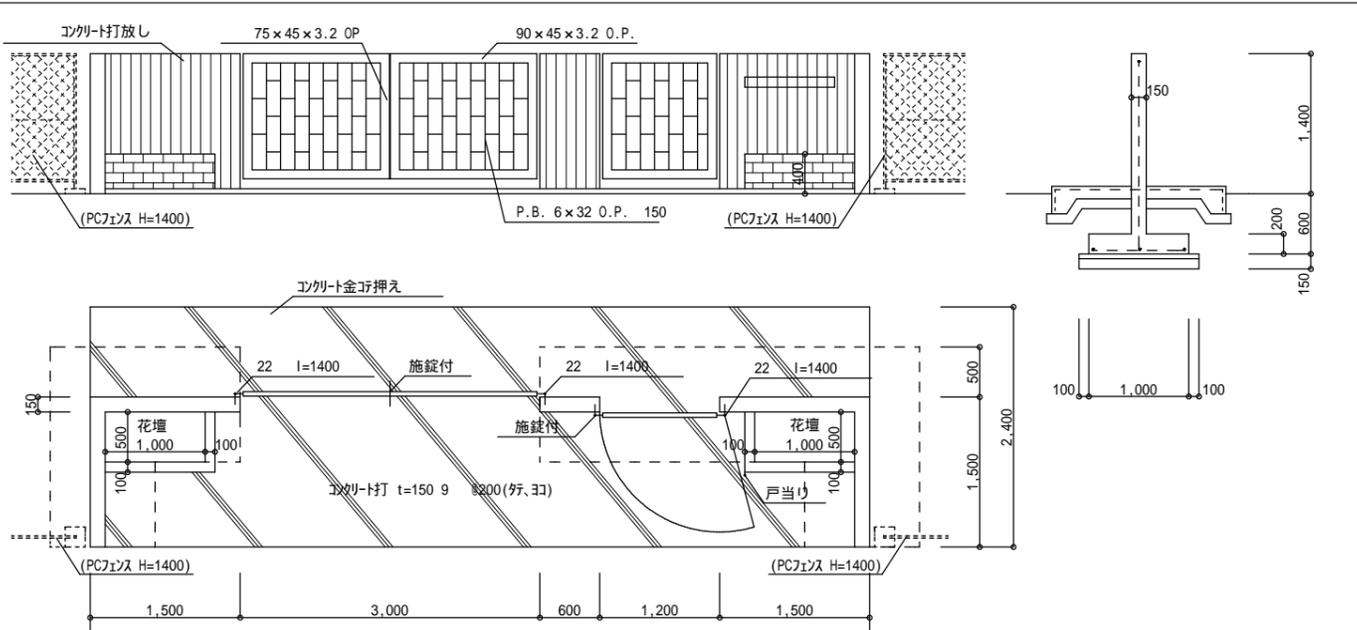
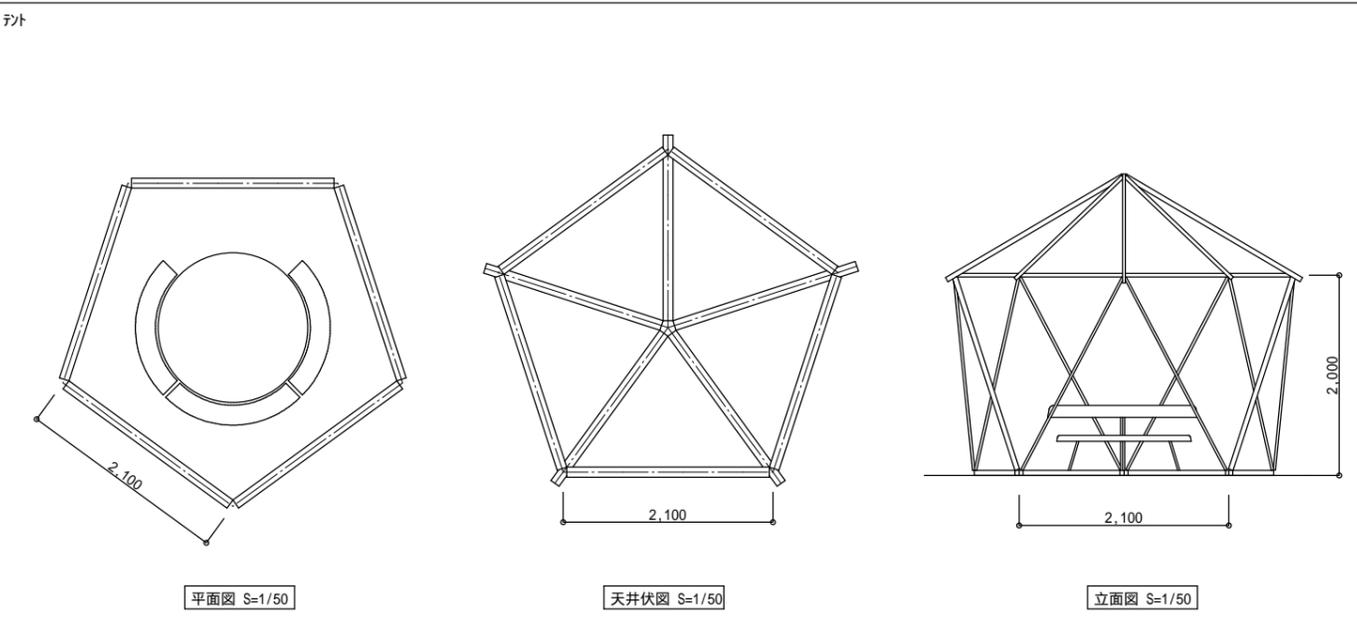
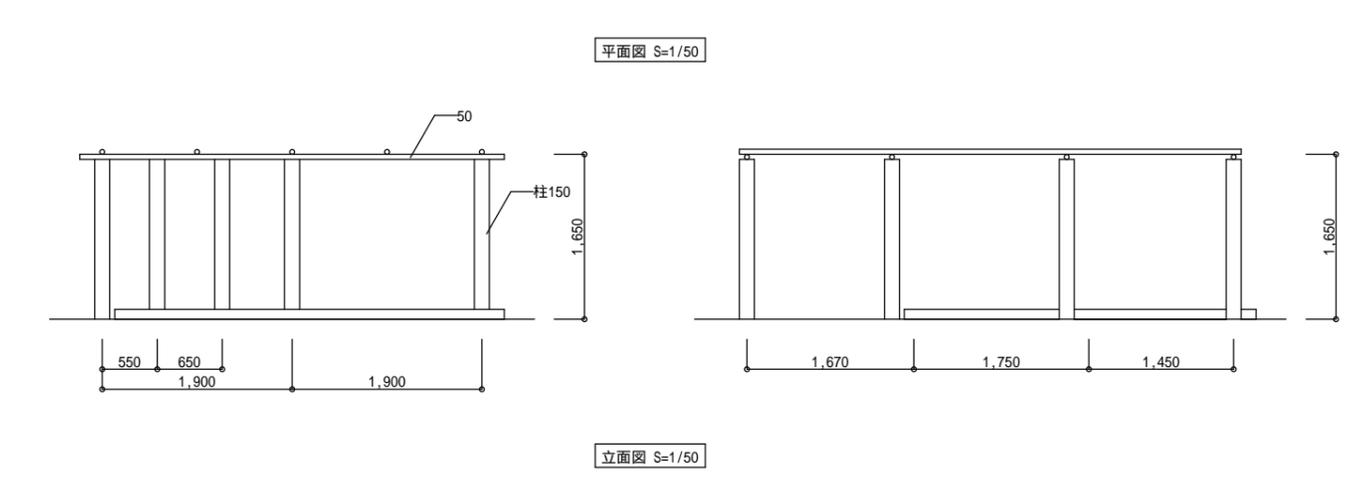
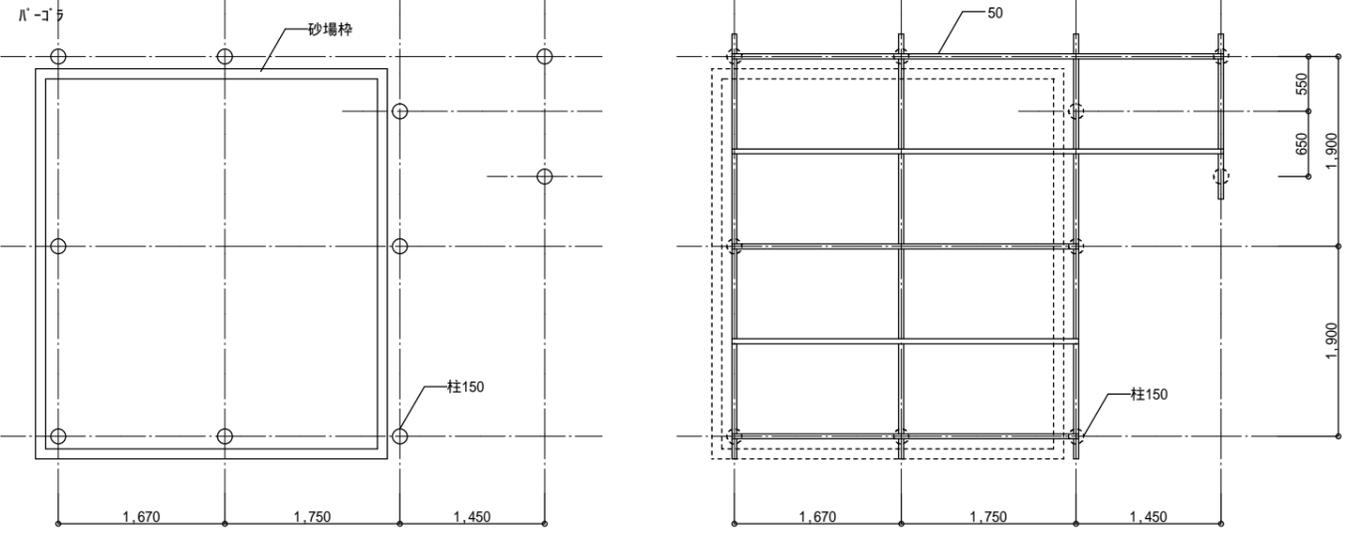
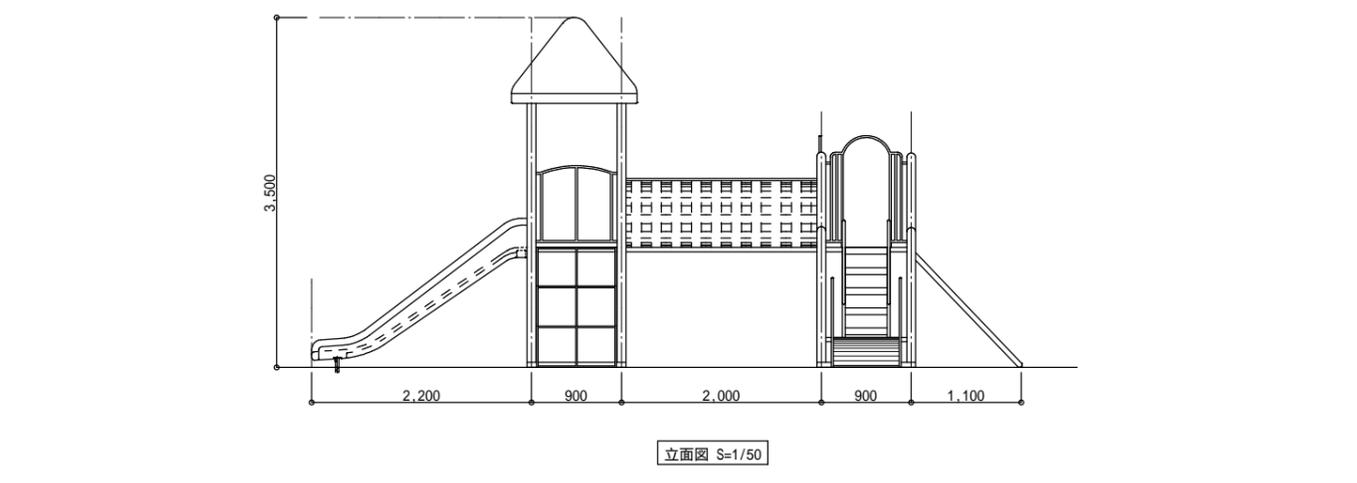
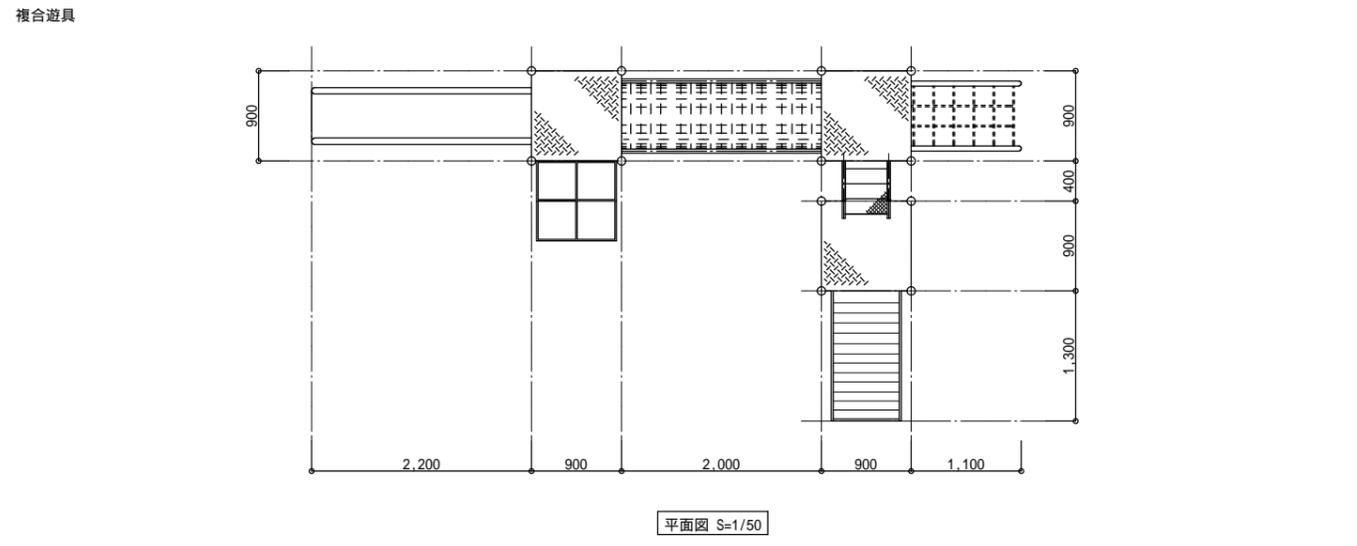
手摺取付要領 (S=1/5)



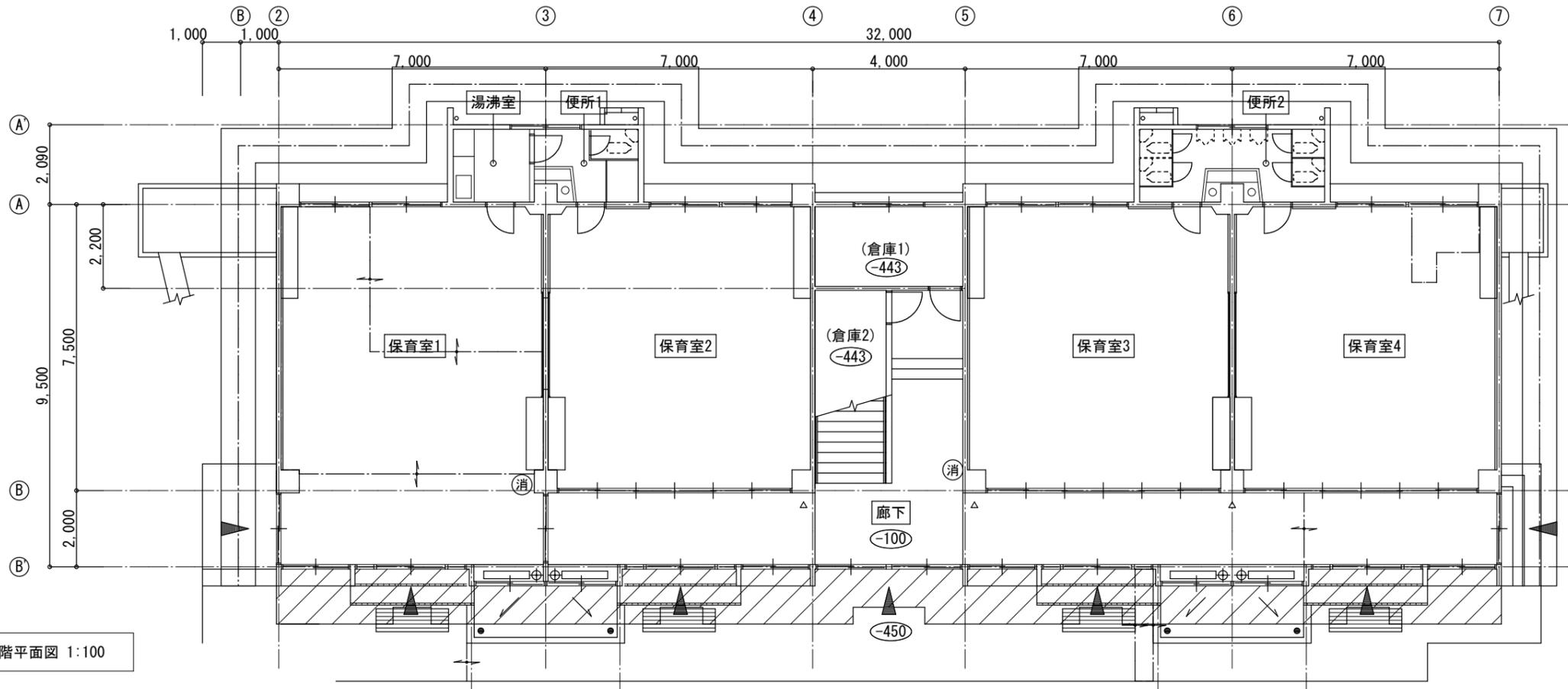
設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A2版 100% A3版 71%	図面No A-70
				図面名 プール詳細図	縮尺 1/5, 1/20	

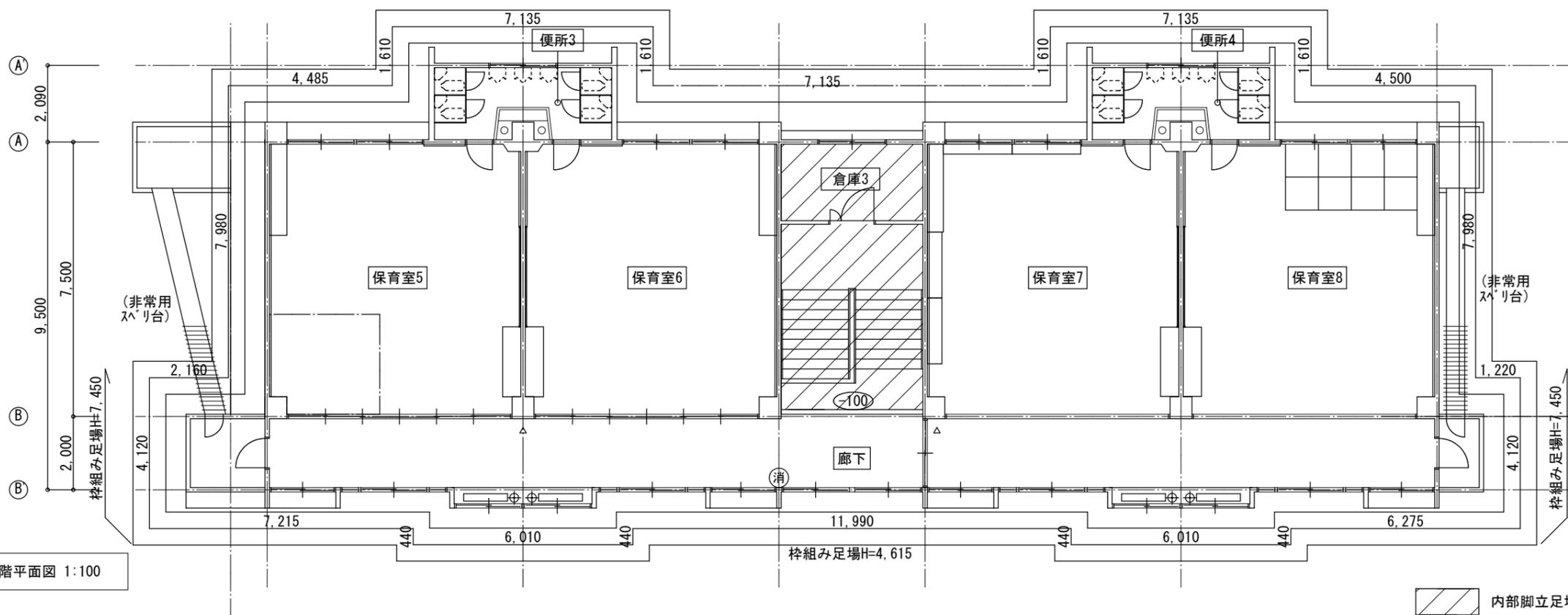




記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名 (仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 2版 100%	図面No A-72
				図面名 撤去外構詳細図-2	A 3版 71%	
					縮尺 1/50	



1階平面図 1:100



2階平面図 1:100

内部脚立足場を示す。

※仮設として、敷地出入口にフェンスバリケード30mを見込む。



設計に緑を

記事	

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

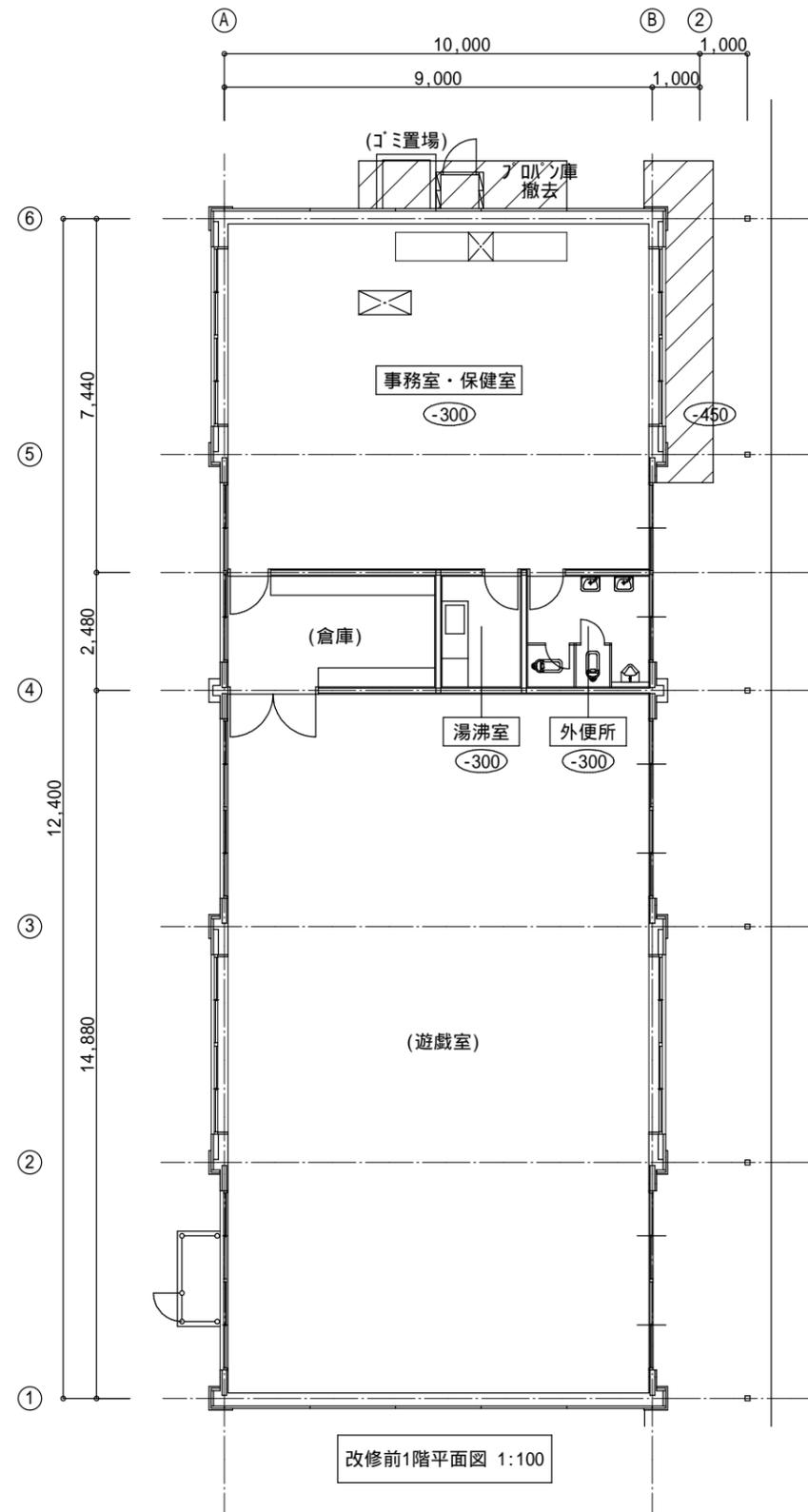
管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名
 (仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)
 図面名
 仮設計画-1

A2版 100%
 A3版 71%
 縮尺
 1/100

図面No
 A-73



 内部脚立足場を示す。

特記仕様書 (構造関係)

8 耐震改修工事
共通事項

8-1 鉄筋工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for ① 適用範囲, ② 既存部分の処理等, ③ 鉄筋, ④ 溶接金網, ⑤ 鉄筋の継手及び定着, ⑥ 溶接継手, ⑦ 割製補強筋.

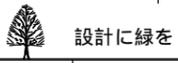
Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for ④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔, ⑤ 圧接完了後の圧接部の試験, ⑥ 機械式継手, ⑦ 溶接継手, ⑧ 割製補強筋.

8-2 コンクリート工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for ① コンクリートの種類, ② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等, ③ セメント, ④ 骨材, ⑤ 混和材料, ⑥ 構造体用モルタル, ⑦ 中コンクリート, ⑧ マスコンクリート, ⑨ 無筋コンクリート, ⑩ 流動化コンクリート, ⑪ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地.

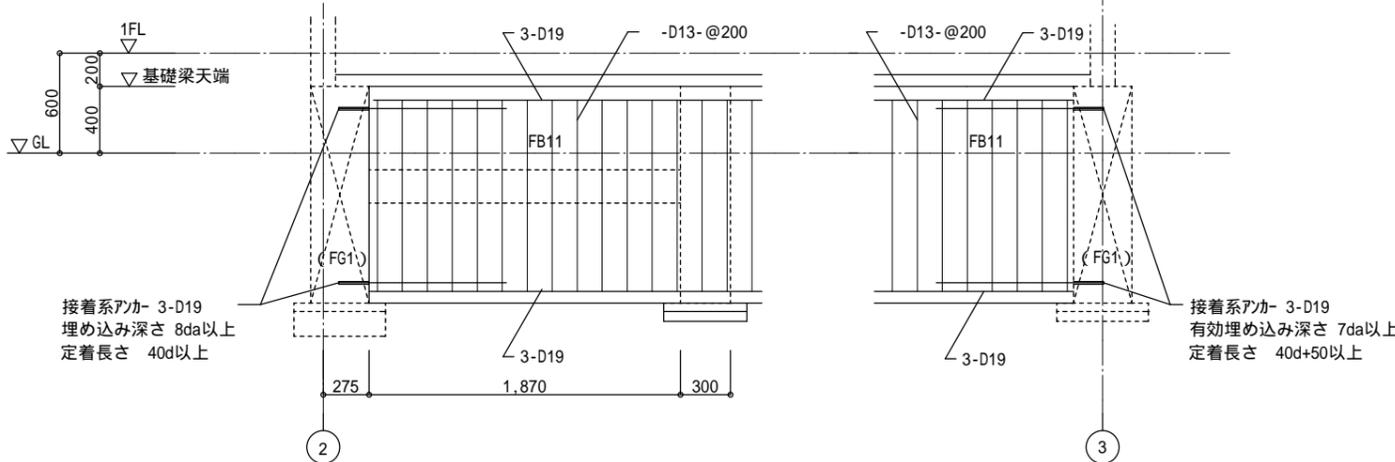
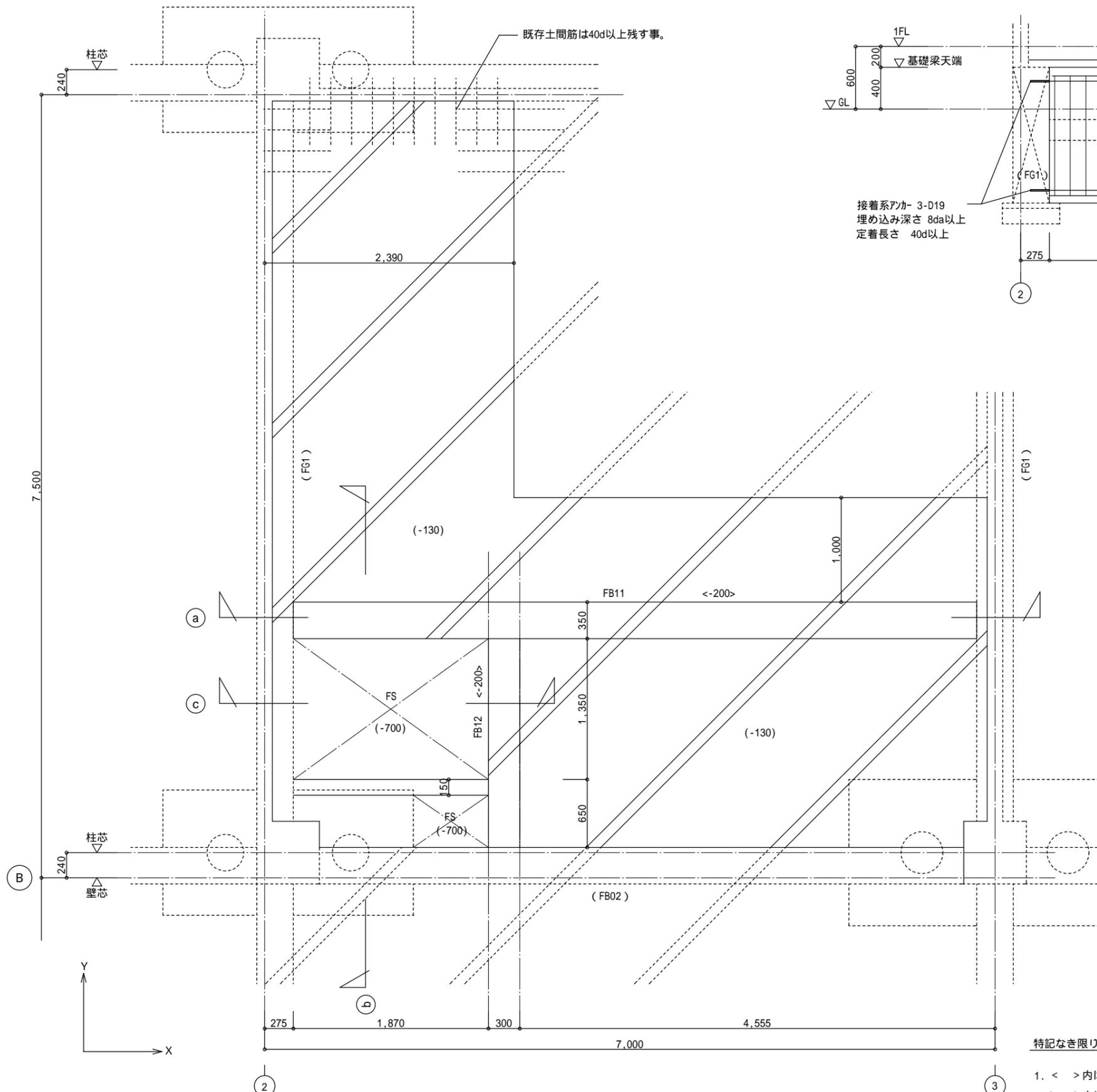
8-3 鉄骨工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for ⑫ 構造体コンクリートの仕上り, ⑬ 打増し厚さ (打増し仕上げ部), ⑭ 型枠, ⑮ 型枠の加工及び組立, ⑯ コンクリートの打込み工法等, ⑰ 鉄骨製作工場, ⑱ 鉄骨製作工場における施工管理技術者, ⑲ 鋼材.

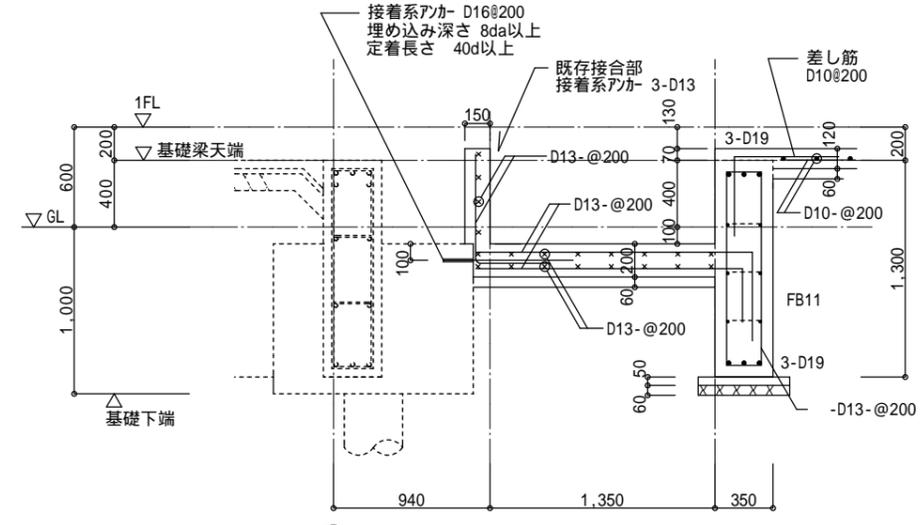


設計に緑を

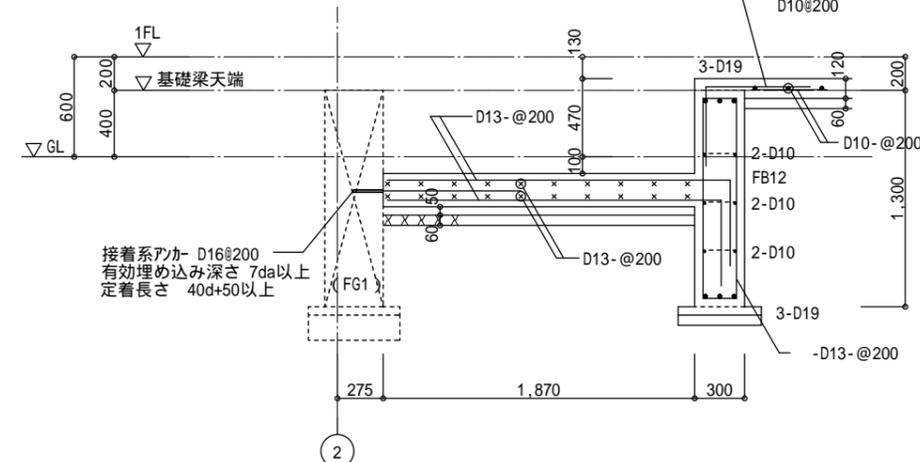
④	高力ボルト	高力ボルトの種類 トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト 2種 (F10T) ()	[8.2.9]	11	溶接作業を行う 技能資格者の 技量付加試験	試験の要領 構造図による	[8.15.3]	8-4 あと施工アンカー 工事	①	あと施工アンカー 材料等 [8.2.4]	8-7 耐震スリット 新設工事	1	耐震スリットの 方式、幅及び深さ	方式 ・完全 ・部分 幅及び深さ 構造図による 設置箇所 構造図による	[8.25.2]									
		ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔 ・構造図による	[8.13.2]	12	溶接接合	開先の形状 構造図による 構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-2 ・鋼製エンドタブの切断部分 切断する箇所 構造図による 切断する範囲 構造図による 鋼製エンドタブ、裏当て金等、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ 改修標準仕様書8.15.7(1)(カ)(b) による ・構造図による	[8.15.4]							[8.15.7]	2	耐震スリットの 施工前の埋込み 配管等の探査	既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる	[8.12.4]						
		摩擦面の処理方法 自然発錆 (黒皮等を除去した後に自然放置して表面に赤さびが発生した状態) ・プラスト処理 (表面粗度50µmRz以上) ・すべり試験の実施 すべり係数試験 すべり耐力試験 試験方法等 構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(イ)による摩擦面の確認は、 本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8.14.2]	13	入熱、バス間温度の 溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・適用箇所 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・構造図による	[8.15.7]							3	耐震スリット充填 材の挿入及び周囲 補修等	・耐火材 使用箇所及び仕様 構造図による ・遮音材 使用箇所及び仕様 構造図による	[8.25.2]							
		5	溶融歪れめっき 高力ボルト	セットの種類 1種 (F8T) 相当 ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔 ・構造図による 摩擦面の処理方法等 プラスト処理 (表面粗度50µmRz以上) 又はりん酸塩処理 ・構造図による ・すべり試験の実施 すべり係数試験 すべり耐力試験 試験方法等 構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(イ)による摩擦面の 確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8.13.2]	[8.20.5]	14							溶接部の試験	平12報告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査 抜き取り検査	[8.15.7]	[8.15.12]	4	耐震スリット の埋込み及び 配管等の探査	埋戻し及び盛土 改修標準仕様書 8.28.3(2)(ウ)(b) 表8.28.1による ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() ・材料 () 工法 ()	[8.25.2]			
		6	普通ボルト	ボルト及びナットの材料 標準仕様書 表7.2.3(JIS鋼質品)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、 材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸 法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット とし、材料は鋼とする。 座金 JIS B 1256による ・構造図による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔 ・構造図による 母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径 ねじの呼び径+1.0mm ・構造図による	[7.2.3]	[8.13.2]	[7.3.8]							15	錆止め塗装	塗料の種類 ・耐火被覆材の接着する面の塗装 範囲 構造図による ○耐火被覆材の接着する面以外の塗装 範囲 標準仕様書 8.17.2 (ア)・(オ)以外 ・構造図による 塗料の種類 下記以外の鉄鋼面は、7章 [塗装改修工事] による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 A種 ・B種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ()	[8.17.2]	[8.17.4]	[8.18.2-8]	1	耐震スリット の埋戻し及び 盛土	埋戻し及び盛土の材料及び工法 改修標準仕様書 8.28.3(2)(ウ)(b) 表8.28.1による ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() ・材料 () 工法 ()	[8.28.3]	
		7	アンカーボルト	・構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B1220) ・ ABR400 ・ ABR490 () ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 () アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 標準仕様書 表7.2.3による ・構造図による ・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・図示による () 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 標準仕様書 表7.2.3による	[7.2.4](7.3.2)	[7.3.2]	16							耐火被覆	種類、材料、工法等 種類	[8.17.2]	8-5 グラウト 工事	①	柱底均しモルタル 及びグラウト材	8-8 土工事及び 地業工事	2	山留めの撤去	鋼矢板等の抜き跡の処理 直ちに砂で充填する ・意匠図による 山留めの存置 ・行う 存置範囲 現場説明書の施工条件明示による	[8.28.3]
		8	溶接材料	溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・構造図による	[8.2.10]	17	アンカーボルト等の 設置等							構造用アンカーボルトの形状及び寸法 構造図による 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 構造図による 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 構造図による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 ・A種 ・B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種類 厚さ () 種類 A種 ・B種	[7.10.3]	[7.10.3]	[7.10.3]	[7.10.3]	[7.10.3]	3	杭地業	支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) 構造図による 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 構造図による ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 構造図による ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 構造図による ・杭の溶接継手 技能資格者の技量 構造図による 溶接部の確認 構造図による ・杭頭を処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) 構造図による ・杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同割合のもの ・構造図による 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・構造図による 杭の鉛直度 ・1/100以内 ・構造図による 記録する施工状況等 構造図による	[8.28.4]	
		9	スタッド	種類等 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 JIS B1198 (頭付きスタッド)	[8.2.11]	18	鉄骨プレース設置後 の仕上げ							意匠図による	[8.22.9]	②	穿孔	埋込み配管等の探査方法 鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる ()	[8.12.4]	1	埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の材料及び工法 改修標準仕様書 8.28.3(2)(ウ)(b) 表8.28.1による ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() ・材料 () 工法 ()	[8.28.3]	
		10	製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] に加えて、次による 通しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ・H12報告第1464号第二号イ(2)による ・構造図による アンダーカットの寸法 ・H12報告第1464号第二号イ(3)による ・構造図による 食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・構造図による	[8.13.3]	19	鉄骨プレース設置後 の仕上げ							意匠図による	[8.22.9]	③	施工確認試験	試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 構造図による (社)日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー-技術管理士」の 資格以上の能力を有する者とする。	[8.12.12]	2	杭地業	支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) 構造図による 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 構造図による ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 構造図による ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 構造図による ・杭の溶接継手 技能資格者の技量 構造図による 溶接部の確認 構造図による ・杭頭を処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) 構造図による ・杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同割合のもの ・構造図による 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・構造図による 杭の鉛直度 ・1/100以内 ・構造図による 記録する施工状況等 構造図による	[8.28.4]	



断面詳細図 1/30



断面詳細図 1/30



断面詳細図 1/30

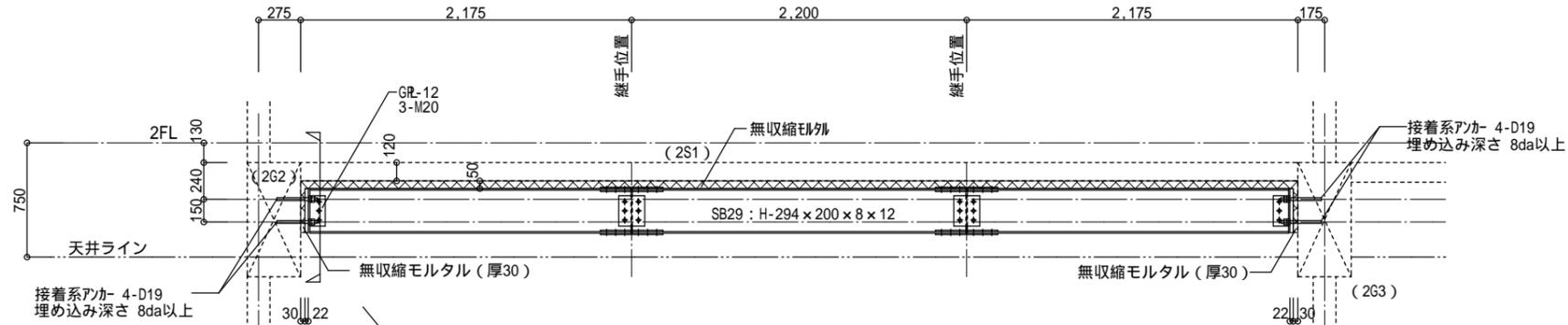
特記なき限り下記による

- < >内は1FLからの地中梁天端レベルを示す。
- ()内は1FLからのスラブ天端レベルを示す。

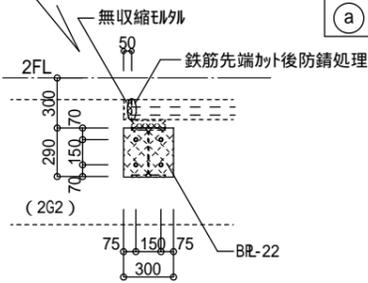
保育棟、管理棟共に土間コンクリートの改修部分は本土間改修に準じること。

設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
			図面名	1階床補強詳細図(保育室棟)	縮尺	S- 04

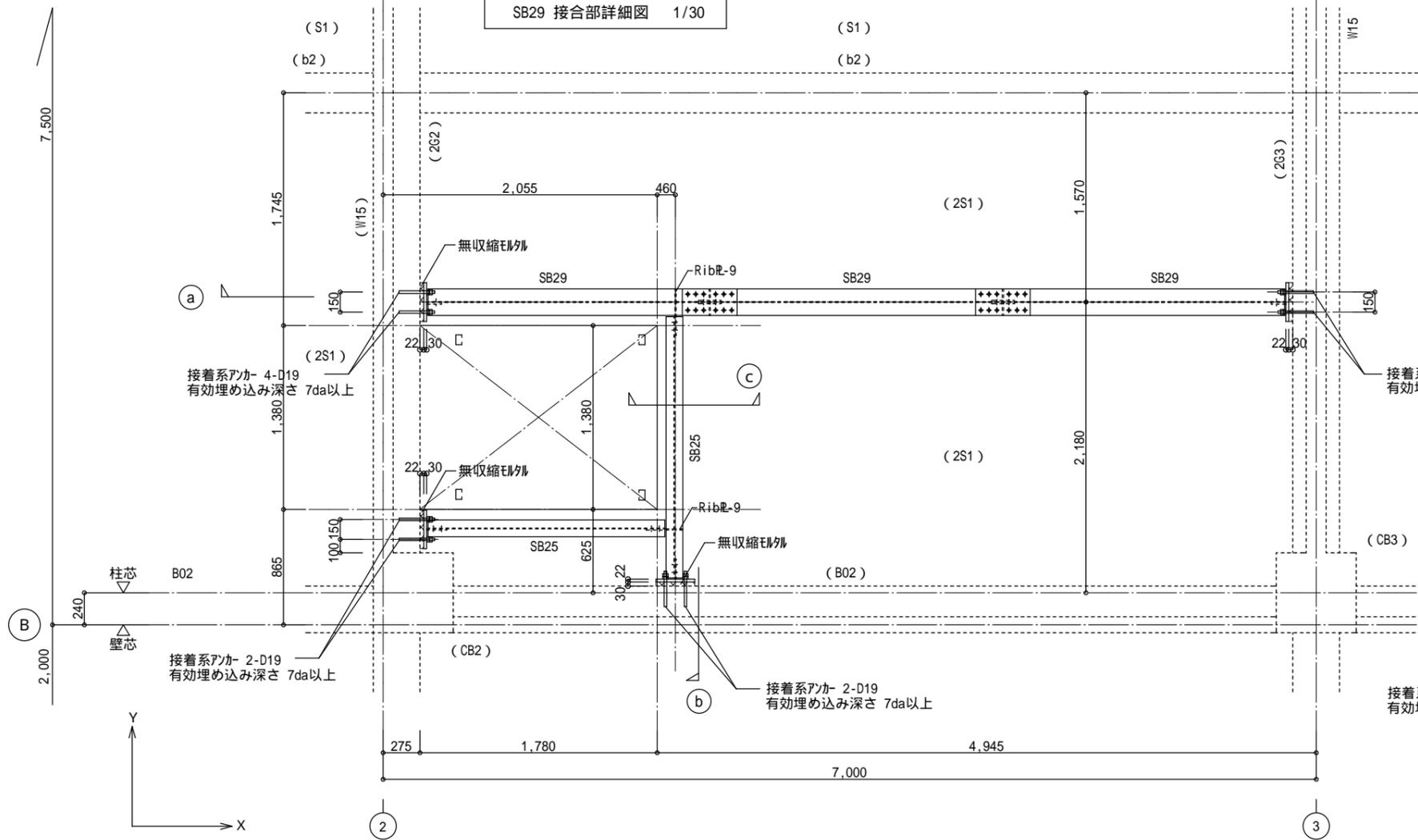


(a) 断面補強詳細図 1/30



SB29の継手は、地組を行い、チェーンブロック等で吊り上げを行う。
鉄骨梁上部の無収縮モルタルは、既存コンクリートに削孔し、流し込むこと。

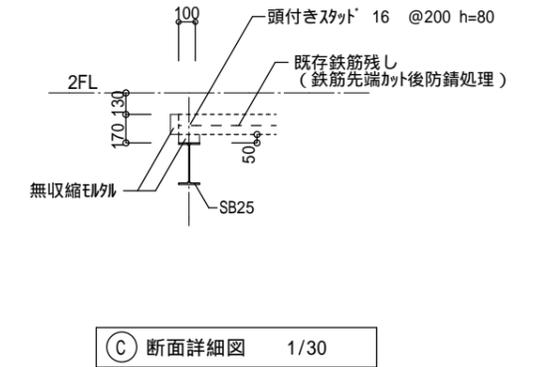
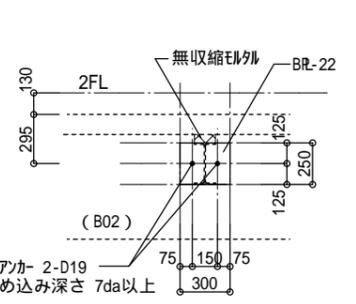
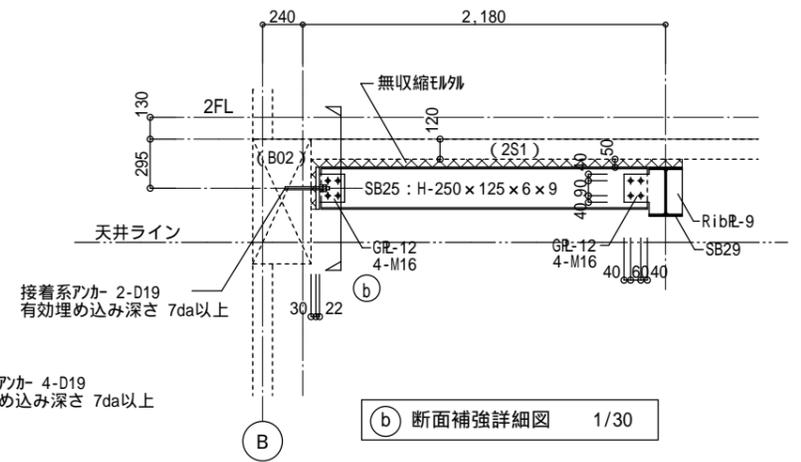
SB29 接合部詳細図 1/30



鉄骨継手リスト 1/20

H-294 × 200 × 8 × 12

フランジ	BOLT	24-M20 L=60	S.PL	外S.PL 2PL-9 × 200 × 410
ウェブ		6-M20 L=55		内S.PL 4PL-9 × 80 × 410
				2PL-9 × 200 × 170



設計に緑を

既存大梁リスト 1/50

階	符号	2G2	2G3	2B02	
		全断面	全断面	両端	中央
2	位置				
	断面				
	B×D	350×750	350×750	350×750	
	上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22
	下端筋	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22
	あばら筋	□-9 @180	□-9 @180	□-9 @180	
腹筋	2-9	2-9	2-9		

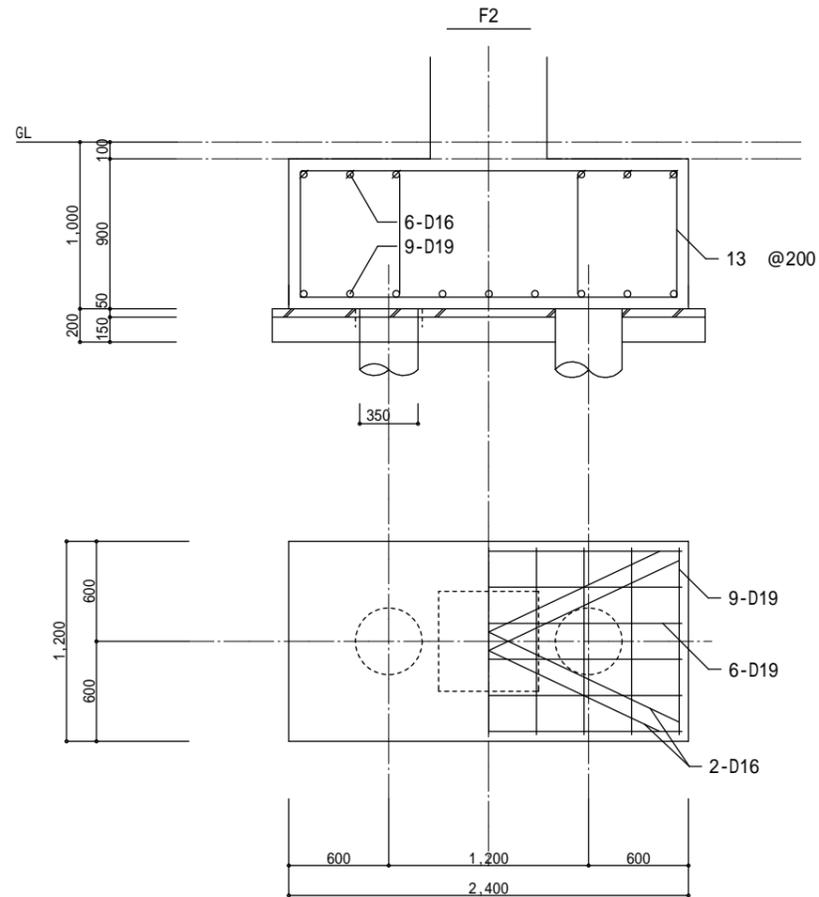
既存地中梁リスト 1/50

階	符号	FG1	FB02	
		全断面	外端	中央・内端
1	位置			
	断面			
	B×D	350×1,300	350×1,300	
	上端筋	5-D22	5-D22	3-D22
	下端筋	5-D22	3-D22	3-D22
	あばら筋	□-13 @250	□-13 @250	
腹筋	4-13	4-13		

既存壁リスト 1/30

壁厚	W15		
断面			
縦筋	9 @150		
横筋	9 @150		

既存基礎リスト 1/30



既存 スラブリスト

符号	厚さ	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			端部	中央	端部	中央	
2S1	120	上	9 , 13 @160	-	9 , 13 @160	-	4辺固定
		下	9 @320	9 @160	9 @320	9 @160	



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

設計年月日

工事名
(仮称)田野浦認定こども園改修工事(建築主体工事)

図面名
既存部材リスト(保育室棟)

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺

図面No
S- 06

参考数量書

工事名称 (仮称) 田野浦認定こども園改修工事 (建築主体工事)

工事場所 三原市宗郷三丁目

[工事概要]

用途, 構造, 面積	幼稚園型認定こども園 管理棟：鉄骨造平屋建て, 床面積223.20㎡ 保育室棟：鉄筋コンクリート造2階建て, 床面積657.58㎡	
工事範囲	改修工事	
別途工事	電気設備工事, 給排水衛生設備工事, 空調換気設備工事	
工期	契約締結日の翌日 ~ 令和6年2月29日	
一般事項		
《 工事予算内訳 》	合計金額	
〈内 訳〉		
区分	金額	概要
設計金額		
消費税額		
合計金額		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

保育室棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生(外部改修)		208	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		208	m ²			
防音シート張り		663	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 RC造標準日数 修理費含む 12m未満 2階建 建築面積750m ²	663	m ²			
安全手摺 (手すり先行方式)	枠組足場用 掛払・共用賃料・基本料	104	m			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	39.6	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	663	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	39.6	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		663	m ²			
[内部]						
墨出し(内部改修)	個別改修	568	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	568	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	568	m ²			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	568	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	568	m ²			

保育室棟		外部改修工事		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	728	m ²			
A-1	塗膜剥離材工法 ※外壁改修部分	60	m ²			
高圧水洗浄	150~200kg/cm ²	728	m ²			
素地ごしらえ	コンクリート面 工程B種 ※外壁改修部分	60	m ²			
B-2 打放し面ウットシール 材充填工法	1.0mm以上 挙動 無し	11.7	m			
C-1 クラック部打放し面サ ビ鉄筋処理		22.7	m			
E-1 打放し面充填工法	ポリマーセメント	12	m ²			
E-2 打放し部欠損部処 理	ポリマーセメント	12	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 軒裏	77	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回	572	m ²			
撥水材塗り	コンクリート面	49	m ²			
塗膜防水(材工共)	X-2 密着工法 ウルタコンム系 平面 表面塗装シルバー	30	m ²			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	44.8	m			
D P塗り(細幅) 改修仕様	鉄鋼 3級 素地ごしらえ及び下塗り共	61.4	m			
D P塗替 改修仕様	鉄鋼 3級 素地ごしらえ及び下塗り共	10.7	m ²			

保育室棟		内部改修工事		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート撤去	鉄筋切断共 人力 集積共	1.1	m ³			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 人力 集積共	6.3	m ³			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20~30mm	72.1	m			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20~30mm	9.5	m			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	18.6	m ²			
床組撤去	ころばし 集積共	240	m ²			
床・縁甲板 フローリング撤去	集積共	240	m ²			
ロッカー撤去	集積共	4	か所			
整理棚撤去	集積共	4	か所			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	136	m ²			
壁モルタル・プ ラスター 撤去	集積共	1	m ²			
木製幅木撤去	集積共	109	m			
天井合板・ボ ード 撤去	一重張り 一般 集積共	131	m ²			
天井合板・ボ ード 撤去	一重張り 石綿含有 集積共	33.3	m ²			
天井下地撤去	集積共	164	m ²			

保育室棟		内部改修工事		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
[躯体工事]						
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	14.1	m ³			
床付け	総掘り	7.6	m ²			
埋戻し(B種)	- 発生土	7	m ³			
盛土(B種)	発生土	1.8	m ³			
建設発生土運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m ³ 土砂 DID区間有り 60.0km以下	9.9	m ³			
建設発生土処分		9.9	m ³			
砂利地業	再生クラッシュラン	2	m ³			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	31.9	m ²			
異形鉄筋	SD295 D10	0.3	t			
異形鉄筋	SD295A D13	0.4	t			
異形鉄筋	SD295A D16	0.1	t			
異形鉄筋	SD345 D19	0.1	t			
スクラップ 控除	H2	▲0.02	t			
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	0.9	t			

保育室棟		内部改修工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.9	t			
無筋コンクリート	捨てコンクリート Fc=18N/mm2 S=15	0.4	m3			
鉄筋コンクリート	土間コンクリート Fc=21N/mm2 S=15	5	m3			
鉄筋コンクリート	Fc=21N/mm2 S=15	4.7	m3			
鉄筋コンクリート	Fc=21N/mm2 S=18	1.2	m3			
構造体強度補正值	FC=27-21N/mm2 S=15	9.7	m3			
構造体強度補正值	FC=27-21N/mm2 S=18	1.2	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - - S15~S18	0.4	m3			
コンクリート打設手間	土間 人力打設 - - S15~S18	5	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 人力打設 - - S15~S18	4.7	m3			
コンクリート打設手間	耐震補強壁 ポンプ打設 - - S15~S18 標準階高 圧送費、基本料別途	1.2	m3			
コンクリートポンプ 圧送	基本料金別途加算	12	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金		1	回			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部	23	m ²			
型枠	普通合板型枠 耐震改修用 地上軸部 -	8.6	m ²			

保育室棟		内部改修工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
型枠運搬費	10 t 車 30km程度 往復	31.6	m ²			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	8.6	m ²			
H型鋼	SS400 H-250×125×6×9	0.1	t			
H型鋼	SS400 H-294×200×7×10	0.4	t			
軽量形鋼	SSC400 C-100×50×20×2.3	0.1	t			
切板	SS400 PL-9	0.1	t			
切板	SS400 PL-12	0.02	t			
切板	SS400 PL-22	0.1	t			
スラップ 控除	H2	▲0.02	t			
トルネード形高力ボルト	S10T M20×60	50	本			
トルネード形高力ボルト	S10T M20×55	13	本			
トルネード形高力ボルト	S10T M20×50	7	本			
トルネード形高力ボルト	S10T M16×45	17	本			
工場加工組立	耐震補強(鉄骨部分補強準用)	0.7	t			
工場錆止め塗装	JIS K5674	21.4	m ²			

保育室棟		内部改修工事		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
工場溶接	隅肉6mm換算	8.9	m			
現場建方	耐震補強(鉄骨部分補強準用)	0.7	t			
高力ボルト締付		0.7	t			
場内小運搬		2	t			
鉄骨運搬	6t車	0.7	t			
無収縮モルタル圧入	Fc=30N/mm2	0.3	m3			
無収縮モルタル用型枠	H=200程度 両面木製	2.4	m			
あと施工アンカー	接着系 D19用 上向き 有効埋込長12da 定着長40da+50	13	本			
あと施工アンカー	接着系 D19用 下向き 有効埋込長12da 定着長40da+50	13	本			
あと施工アンカー	接着系 D19用 横向き 有効埋込長7da 定着長40da+50	19	本			
あと施工アンカー	接着系 D16用 横向き 有効埋込長7da 定着長40da+50	80	本			
あと施工アンカー	接着系 D13用 上向き 有効埋込長7da 定着長170	7	本			
あと施工アンカー	接着系 D13用 下向き 有効埋込長7da 定着長170	7	本			
あと施工アンカー	接着系 D19用 横向き 有効埋込長7da ボルト共	13	本			
あと施工アンカー	金属系 M12用 下向き ボルト共	7	本			

保育室棟		内部改修工事		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
目あらし	コンクリート面 壁	1.6	m ²			
目あらし	コンクリート面 天井	1.4	m ²			
[仕上]						
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×5	10.1	m			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	36.8	m ²			
床組(ころばし)	根太40×45 @300 松 転し大引90×90 @900 松	233	m ²			
下地板張り	フッ合板 厚15	233	m ²			
天然木化粧複合 フローリングボード張り	B種下張必要 厚12 なら	4	m ²			
木製幅木	H=60	4.4	m			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	40.9	m ²			
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りなし @300	6.8	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	44.4	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート含む	486	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート含む	37.7	m ²			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H300~500程度	3	m			

保育室棟		内部改修工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 300×300mm程度 ボート等切込み共	22	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	38	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 100φ ボート等切込み共	13	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 150φ ボート等切込み共	32	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	38	か所			
天井廻縁	塩化ビニル製	516	m			
くつざり	ステンレス製 厚さ2.0 幅40	7.5	m			
下り壁見切縁	塩化ビニル製	3	m			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	27.8	m ²			
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	44.5	m			
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RA種(新規面)	11.1	m			
SOP塗り 改修仕様	木部 工程A種 塗料1種 下地RA種(新規面)	53.4	m ²			
EP塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	68.2	m ²			
EP塗り 改修仕様	ボート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(新規面)	102	m ²			
EP塗り 改修仕様	コンクリート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(新規面)	8.6	m ²			

保育室棟		内部改修工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E P塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	115	m ²			
E P-G塗り 改修仕様	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 下地調整RB種(新規面)	37.7	m ²			
E P-G塗り 改修仕様	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	136	m ²			
ビニル床シート	無地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	229	m ²			
ビニル床シート 防滑・抗菌性	無地 厚さ2.0 織布積層ビニル床シート 多湿部 熱溶接工法	36.8	m ²			
ビニル床シート 防滑	無地 厚さ2.0 織布積層ビニル床シート 一般床 熱溶接工法	34.1	m ²			
ビニル幅木	高さ60	157	m			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 -	86	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 下張GB-R 厚12.5共	27	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	2.3	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り -	19.5	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 下地張り -	118	m ²			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ボード下地 目透かし -	139	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン 突付け	486	m ²			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	37.7	m ²			

保育室棟		内部改修工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
手洗い	シンク:FRP製・キャビネット:メラミン樹脂化粧板 880×500×627	6	か所			
流し台	BL型 幅1200	2	台			
物干しポール		1	か所			
コンロ台	BL型 幅600	2	台			
天吊カーテンレール	ステンレス製 H=600 L=2050(R付)	1	か所			
天吊カーテンレール	ステンレス製 H=600 L=2500(R付)	1	か所			
ステンレス製腰掛用 手摺		2	か所			
面台	W150×H20 メラミン化粧板t=0.75 ポストフォームT=20	8.9	m			
侵入防止柵	2015/250/40*600 床固定共 出入口1カ所	1	か所			
侵入防止柵	2785/250/40*600 床固定共 出入口1カ所	1	か所			
侵入防止柵	7465/250/40*600*2 床固定共 出入口2カ所	1	か所			
木製柵	1775x440x1060	1	か所			
木製見切縁	110×25	1.2	m			
木製見切縁	165×25	5.5	m			
カーテンレール	ステンレス製 手引き 引分け 軽量用(10-60)	92.1	m			

保育室棟		内部改修工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダムウェータ		1	式			
消火器	埋込みBOX共 材工	3	か所			
室名札		10	か所			
ピクトサイン		8	か所			
鏡	400*600	2	か所			
木製スロープ	ころばし根太40×45 @300 松 構造用合板 厚15 1/12勾配	4.7	m ²			
[アルミ製建具]						
AA-101 アルミ製可動網戸	900*1200	32	か所			
取付調整費	アルミ製建具	1	式			
運搬費	アルミ製建具	1	式			
[鋼製建具]						
SD-101 鋼製片引き戸	防火設備 600*600	1	か所			
取付調整費	新設鋼製建具	1	式			
運搬費	新設鋼製建具	1	式			
[木製建具]						

保育室棟		内部改修工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
WD-101 木製片開き戸	800*2000	3	か所			
WD-102 木製引違い戸	1940*2000	1	か所			
WD-103 木製引違い戸	1800*2000	3	か所			
WD-104 木製片引き戸	900*2000	7	か所			
WD-105 木製片引き戸	900*2000	1	か所			
WW-101 木製羽目殺し窓	1400*1150	1	か所			
木製戸移設	WD-2 建具調整共	2	か所			
運搬費	新設木製建具	1	式			
[トイレ ^ス]						
TB-101 トイレ ^ス	1600*1900	1	か所			
TB-102 トイレ ^ス	(1440+940)*1900	1	か所			
TB-103 トイレ ^ス	1425*1900	1	か所			
TB-104 トイレ ^ス	(885+1170)*1900	1	か所			
TB-105 トイレ ^ス	(1610+1470)*1900	1	か所			
TB-106 トイレ ^ス	(740+1090)*1200+(1170+90)*1200	2	か所			

保育室棟		内部改修工事		発生材処理		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み	ボード・木材類 人力	20	m3			
発生材積込み	コンクリート類 人力	11.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	17.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	7.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 石こうボード類 DID区間有り 60.0km以下	1.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	0.02	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	0.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	0.7	m3			
発生材処分	木くず	17.9	m3			
発生材処分	コンクリート	7.1	m3			
発生材処分	モルタル	0.3	m3			
発生材処分	石膏ボード	1.2	m3			
発生材処分	ガラス・陶磁器くず類	4	m3			

遊戯室棟		外部改修工事		発生材処理		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内装材 積込み	機 械	0.2	m3			
コンクリート類 集積、積込み	機 械	1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.04	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	0.04	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	0.2	m3			
とりこわし 発生材処分	コンクリート類(有筋)	0.1	m3			
とりこわし 発生材処分	地業	0.04	m3			
とりこわし 発生材処分	スレート波板	0.04	m3			
とりこわし 発生材処分	コンクリートブロック	0.4	m3			
とりこわし 発生材処分	ALC版	0.5	m3			
とりこわし 発生材処分	木屑	0.2	m3			
スクラップ 運搬		1	t			

遊戯室棟		内部改修工事		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート撤去	鉄筋切断共 人力 集積共	12.1	m ³			
地業撤去	機 械 集積・積込み共	9.7	m ³			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	37.1	m			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	6.1	m ²			
ビニル床シート撤去	集積共	68	m ²			
ビニル床タイル撤去	一般 集積共	4.1	m ²			
木製幅木撤去	集積共	28.1	m			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	24.8	m ²			
壁モルタル・プーラスター撤去	集積共	9	m ²			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	62.7	m ²			
壁下地撤去	集積共	56.5	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	68	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 石綿含有 集積共	6.1	m ²			
コンロ台撤去	600×550×620 集積共	1	か所			
流し台撤去	1200×550×800 集積共	1	か所			

遊戯室棟		内部改修工事		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
[躯体工事]						
砂利地業	再生クラッシュラン	4.4	m3			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	81.2	m ²			
異形鉄筋	SD295 D10	0.5	t			
スクラップ 控除	H2	▲0.01	t			
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	0.5	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.5	t			
鉄筋コンクリート	土間コンクリート Fc=18N/mm ² S=15	8.8	m3			
コンクリート打設手間	土間ポンプ打設 S15～S18 圧送費、基本料別途	8.8	m3			
コンクリートポンプ 圧送	基本料金別途加算	8.8	m3			
コンクリートポンプ圧送 基本料金		1	回			
[スロープ 躯体]						
根切り	つぼ、布掘り 深さ2.5m程度	17.9	m3			
床付け	総掘り	11.1	m ²			
埋戻し(B種)	発生土	13.8	m3			

遊戯室棟		内部改修工事		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
盛土(B種)	発生土	4.1	m3			
盛土(B種)	発生土	4.5	m3			
砂利地業	再生クラッシュラン	2.9	m3			
異形鉄筋	SD295 D10	0.4	t			
異形鉄筋	SD295 D13	0.1	t			
スクラップ 控除	H2	▲0.01	t			
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	0.5	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	0.5	t			
無筋コンクリート	捨てコンクリート Fc=18N/mm2 S=15	0.6	m3			
鉄筋コンクリート	土間コンクリート Fc=18N/mm2 S=15	5.6	m3			
鉄筋コンクリート	Fc=18N/mm2 S=15	5	m3			
構造体強度補正值	FC=24-18N/mm2 S=15	10.6	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 - -	0.6	m3			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 - S15~S18 - 圧送費、基本料別途	5.6	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 - S15~S18 - 圧送費、基本料別途	5	m3			

遊戯室棟		内部改修工事		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートポンプ 圧送	基本料金別途加算	10.6	m ³			
コンクリートポンプ圧送 基本料金		2	回			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部	27.1	m ²			
型枠	普通合板型枠 7- ¹ / ₂ 構造 地上軸部 階高2.8m程度	23.6	m ²			
型枠運搬費	10 t 車 30km程度 往復	50.8	m ²			
あと施工アンカー	金属系 D10用 横向き 差し筋共	63	本			
あと施工アンカー	金属系 D13用 横向き 差し筋共	4	本			
[仕上]						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	113	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	14.1	m ²			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 800×2000mm	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 850×2000mm	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 3670×2800mm	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 1000×2000mm	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 930×2000mm	1	か所			

遊戯室棟		内部改修工事		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 外等四方補強 3600×2120mm	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 2750×2015mm	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 810×2000mm	1	か所			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途	4.4	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート別途	70.5	m ²			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 300×300mm程度 ボート等切込み共	7	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 175mmφ程度	4	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 2510×220mm程度	1	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 1255×220mm程度	8	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 1500×800mm程度	1	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 200mmφ程度	3	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 150φ	2	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボート等切込み共	5	か所			
天井インサート	一般用	112	m ²			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	5	か所			

遊戯室棟		内部改修工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井廻縁	塩化ビニル製	99.7	m			
ステンレスカウンター	SUS304 t=1.5 曲げ加工 W=3700, D=530 見付45mm	1	か所			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	72.4	m ²			
床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	0.7	m ²			
E P 塗り 改修仕様	ボート面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	19.9	m ²			
E P 塗り 改修仕様	ボート面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	3	m ²			
E P 塗り 改修仕様	けい酸カルシウム板面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	67.5	m ²			
E P 塗り 改修仕様	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	174	m ²			
ビニル床シート	防滑性 無地 厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法 H=200巻き上げ	49.3	m			
ビニル床シート	防滑性 無地 厚さ2.0 多湿部 熱溶接工法	57.8	m ²			
ビニル床シート	無地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	14.6	m ²			
ビニル幅木	高さ60	23.9	m			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 突付け -	1.4	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 突付けV目地 -	21.2	m ²			
壁 シーリング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボート下地 下地張り -	185	m ²			

遊戯室棟		内部改修工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ポर्ट下地 目透かし	174	m ²			
天井 化粧 せっこうポर्ट 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン 突付け	4.4	m ²			
天井 フレキシブルポर्ट張り	厚4 突付	3	m2			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	67.5	m ²			
ポーストフォーム天板	厚25 W=150 表面:マリン化粧板t=0.75	7.8	m			
ピット		1				
下足箱	330x410x1410	2	か所			
厨房機器		1	式			
着替え台	464x448	1	か所			
TB-108 トイレブース	1658*1900	1	か所			
TB-109 トイレブース	(1655+940)*1900+(200+765)*1200	1	か所			
SSF-101 ステンレス製三方枠	2750*2015	1	か所			
取付調整費	新設ステンレス製建具	1	式			
LSD-101 軽量鋼製片開き戸	800*2000	2	か所			
LSD-102 軽量鋼製片開き戸	810*2000	1	か所			

遊戯室棟		内部改修工事		発生材処理		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み	コンクリート類 人力	23.6	m3			
発生材積込み	ボード・木材類 人力	2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	12.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	0.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	0.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 石こうボード類 DID区間有り 60.0km以下	1.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	0.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 石こうボード類 DID区間有り 60.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	9.7	m3			
とりこわし 発生材処分	コンクリート	12.1	m3			
とりこわし 発生材処分	木くず	0.4	m3			
とりこわし 発生材処分	廃プラスチック類	0.2	m3			
とりこわし 発生材処分	石膏ボード	1.4	m3			
とりこわし 発生材処分	ガラス・陶磁器くず類	0.9	m3			

外構		外構工事			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
土間解体	RC造 土間部 大型ブレーカー、圧砕機併用	21.7	m ³			
フェンス撤去	鉄類 集積共	4.9	m			
サークル撤去	鉄類 2100x2100x3000 集積共	1	か所			
鉄棒撤去	鉄類 7200x1250 集積共	1	か所			
サッカーゴール撤去	鉄類 5160x1525x2230 集積共	2	か所			
水平雲梯撤去	鉄類 2600x100x1485 集積共	1	か所			
複合遊具撤去	鉄類 7100x3500x350 集積共	1	か所			
タイヤ撤去	1000 φ	3	か所			
タイヤ撤去	750 φ	1	か所			
タイヤ撤去	450 φ	13	か所			
パース撤去	4870x3800x1650	1	か所			
木製小屋撤去	1450x1900x2500	1	か所			
門扉撤去	スチール製門扉	5.3	m ²			
コンクリート撤去		1.7	m ³			
土間、基礎解体	RC造 基礎部、土間部 大型ブレーカー、圧砕機併用	1.5	m ³			

外構		外構工事		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
[躯体工事]						
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	9.3	m3			
埋戻し(B種)	- 発生土	6.1	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 土砂 DID区間有り 60.0km以下	3.1	m3			
建設発生土処分		3.1	m3			
砂利地業	再生クラッシュラン	2.3	m3			
異形鉄筋	SD295 D10	0.02	t			
異形鉄筋	SD295 D13	0.2	t			
スラップ 控除	H2	▲0.01	t			
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	0.2	t			
鉄筋運搬費	4t車 30km程度	0.2	t			
無筋コンクリート	捨てコンクリート Fc=18N/mm2 S=15	0.5	m3			
鉄筋コンクリート	土間コンクリート Fc=18N/mm2 S=15	4.2	m3			
鉄筋コンクリート	基礎コンクリート Fc=18N/mm2 S=15	4.9	m3			
構造体強度補正值	FC=24-18N/mm2 S=15	9.1	m3			

外構		外構工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 S15~S18	0.5	m ³			
コンクリート打設手間	土間 人力打設 S15~S18	4.2	m ³			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18	4.9	m ³			
型枠	普通合板型枠 基礎部	12.1	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	1.7	m ²			
型枠運搬費	10 t 車 30km程度 往復	13.8	m ²			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	1.7	m ²			
[仕上]						
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クワッション 500m ² 未満	357	m ²			
道路区画線	白線引き W150	105	m			
地先境界ブロックA	120×120×600	72	個			
鋼製グレーチング 溝ふた	U字溝用 普通目 平型 T-14 ホール固定無 300用	13.2	m			
壁付手摺	ステンレス製 HL仕上 手摺:34φ 手摺子34φ@900	15.5	m			
ステンレスノンスリップ		33.6	m			
笠木天端コンクリート 直均し仕上げ	金ごて 幅300	15.5	m			

外構		外構工事		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	49.8	m ²			
床コンクリート直均し仕 上げ	刷毛引き仕上	7.5	m ²			
メッシュフェンス	H=1200(片開き扉1か所共) 基礎共	35.6	m			
メッシュフェンス	H=1500 基礎共	91.6	m			
メッシュフェンス	H=2300 基礎共	16	m			
フェンス扉	W=1200 H=1500 基礎共	3	か所			
フェンス扉	W=1800 H=1500 基礎共	2	か所			
フェンス扉	W=1200 H=2300 基礎共	2	か所			
電子扉	片開き W=1000 基礎共	2	か所			
アコーディオンフェンス	片引き L=5000	1	か所			
砂場	4000x5000	2	か所			
倉庫	4428x1862.5	1	か所			
据え置き式プール	6000x4500	1	か所			
コンクリート境界ブロック	120×120 L=600	33.4	m			
車止め	ステンレス製H850 48.6φ	2	か所			

外構		外構工事		発生材処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み	ボード・木材類 人力	4.7	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 木材類 DID区間有り 60.0km以下	5.7	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	4.7	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.3	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	2.2	m3			
とりこわし発生材処分	木	5.7	m3			
とりこわし発生材処分	コンクリート類(コンクリート塊)	4.7	m3			
とりこわし発生材処分	レンガ	0.3	m3			
とりこわし発生材処分	コンクリート類(有筋)	2.2	m3			
スクラップ 運搬		2	t			
スクラップ	H2	▲1.7	t			
スクラップ	H3	▲0.3	t			
計						

